令 和 7 年 度

主要施策の成果に関する報告書

射　　水　　市

令和７年度における主要施策の成果に関する報告について

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３３条第５項の規定により、令和７年度一般会計及び特別会計における主要施策の成果に関する報告書を次のとおり提出します。

令和８年８月３１日

射水市長　　夏　野　元　志

目　　次

１　令和７年度決算の概要

(1) 会計別決算収支の状況 …… 5
(2) 財政収支（一般会計）及び財政健全化指標等の推移 …… 6
(3) 会計別決算の概要（対予算比、対前年度比） …… 7

２　主要事業の執行状況

(1) 一般会計 …… 9
歳入 …… 9
歳出 …… 15
議会費 …… 20
総務費 …… 21
民生費 …… 73
衛生費 …… 106
労働費 …… 130
農林水産業費 …… 132
商工費 …… 149
土木費 …… 161
消防費 …… 183
教育費 …… 190
災害復旧費 …… 235
公債費 …… 240
予備費 …… 241

(2) 国民健康保険事業特別会計 …… 243
(3) 後期高齢者医療事業特別会計 …… 256
(4) 介護保険事業特別会計 …… 261

３　財産の状況 …… 281

４　市債の状況 …… 284

参考　令和７年度物価高騰対応地方創生臨時交付金を活用した事業一覧（一般会計） …… 286

１　令和７年度決算の概要

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

1　令和７年度決算の概要

（1）会計別決算収支の状況

（単位：千円）

区　　分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 （形式収支額） C （A－B）	翌年度へ 繰り越すべき財源 D	実質収支額 （C－D）
一般会計	49,114,383	47,577,493	1,536,890	※ 538,106	998,785
特別会計	19,718,374	19,608,716	109,658	0	109,658
国民健康保険事業特別会計	7,236,693	7,149,421	87,272	0	87,272
後期高齢者医療事業特別会計	2,806,547	2,801,468	5,080	0	5,080
介護保険事業特別会計	9,675,134	9,657,828	17,306	0	17,306
合　　計	**68,832,758**	**67,186,209**	**1,646,548**	**538,106**	**1,108,442**

※　翌年度へ繰り越すべき財源は、継続費逓次繰越、繰越明許費繰越及び事故繰越しに係る財源である。

①　一般会計決算収支の状況

歳入総額49,114,383千円に対し、歳出総額は47,577,493千円である。 歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支額は1,536,890千円であり、この額から翌年度へ繰り越すべき財源538,106千円を差し引いた実質収支額は、998,785千円の黒字となった。

②　特別会計決算収支の状況

（ア）国民健康保険事業

歳入総額は7,236,693千円、歳出総額は7,149,421千円であり、実質収支額は、87,272千円の黒字となった。

（イ）後期高齢者医療事業

歳入総額は2,806,547千円、歳出総額は2,801,468千円であり、実質収支額は、5,080千円の黒字となった。

（ウ）介護保険事業

歳入総額は9,675,134千円、歳出総額は9,657,828千円であり、実質収支額は、17,306千円の黒字となった。

（2）財政収支（一般会計）及び財政健全化指標等の推移

（単位：千円）

区　　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
形式収支 （歳入総額－歳出総額）	2,315,207	1,823,825	2,357,389	1,540,735	1,536,890
実質収支 （形式収支－翌年度に繰り越すべき財源）	1,791,436	1,536,673	1,715,705	935,217	998,785
単年度収支 （当該年度実質収支額－前年度実質収支額）	460,784	▲ 254,763	179,032	▲ 780,488	63,568
実質単年度収支 （単年度収支＋財調積立金＋市債繰上償還額－財調取崩額）	476,014	910,519	1,230,542	321,060	416,709
（財調積立額）	15,230	16,255	19,539	21,645	26,778
（市債繰上償還額）※	0	1,149,027	1,031,971	1,079,903	526,363
（財調取崩額）	0	0	0	0	200,000

※当年度の市債繰上償還額の内訳　・地方公共団体金融機構資金3件　526,363千円を繰上償還
（借入年度 平成21年度～平成22年度、借入額1,763,900千円、利率1.7%）

〔参考〕

減債基金積立額	974,519	394	1,289	164,497	95,420

〔財政健全化指標等〕

実質公債費比率（%）	8.8	9.2	9.3	8.5	7.6
将来負担比率（%）	78.7	67.0	61.7	58.9	52.6
財政力指数	0.66	0.65	0.64	0.64	0.62

(3) 会計別決算の概要（対予算比、対前年度比）

① 歳入

（単位：千円、%）

区　　分	予算額　A	構成比	決算額　B	構成比	差引額（B－A）	収入率（B／A）	前年度決算額 C	前年度比（B－C）
一般会計	56,270,112	73.9	49,114,383	71.4	▲ 7,155,729	87.3	47,464,028	1,650,355
特別会計	19,922,679	26.1	19,718,374	28.6	▲ 204,305	99.0	19,612,114	106,260
国民健康保険事業特別会計	7,332,021	9.6	7,236,693	10.5	▲ 95,328	98.7	7,326,350	▲ 89,657
後期高齢者医療事業特別会計	2,806,648	3.7	2,806,547	4.1	▲ 101	100.0	2,651,120	155,427
介護保険事業特別会計	9,784,010	12.8	9,675,134	14.1	▲ 108,876	98.9	9,634,644	40,490
合　　計	**76,192,791**	**100.0**	**68,832,758**	**100.0**	**▲ 7,360,033**	**90.3**	**67,076,142**	**1,756,616**

② 歳出

（単位：千円、%）

区　　分	予算額　A	構成比	決算額　B	構成比	差引額（A－B）	執行率（B／A）	前年度決算額 C	前年度比（B－C）
一般会計	56,270,112	73.9	47,577,493	70.8	8,692,619	84.6	45,923,293	1,654,200
特別会計	19,922,679	26.1	19,608,716	29.2	313,963	98.4	19,463,314	145,402
国民健康保険事業特別会計	7,332,021	9.6	7,149,421	10.6	182,600	97.5	7,194,954	▲ 45,533
後期高齢者医療事業特別会計	2,806,648	3.7	2,801,468	4.2	5,180	99.8	2,647,779	153,689
介護保険事業特別会計	9,784,010	12.8	9,657,828	14.4	126,182	98.7	9,620,581	37,247
合　　計	**76,192,791**	**100.0**	**67,186,209**	**100.0**	**9,006,582**	**88.2**	**65,386,607**	**1,799,602**

2　主 要 事 業 の 執 行 状 況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

【主な事業内容及び成果の記載に当たって】

「指標項目」は、射水市総合計画実施計画において、成果指標として挙げている主な項目を用いている。
【交付金】は全額、地方創生臨時交付金を充当した事業を表している。
【交付金※】は一部、地方創生臨時交付金を充当した事業を表している。
【大雨】は大雨に伴う災害復旧事業を表している。
【地震】は令和６年能登半島地震に伴う災害復旧事業を表している。

【評価と今後の方向性（担当課意見）の記載に当たって】

各事業の今後の方向性については、担当課意見を下記の６分類で記載している。

完　了 ： 令和７年度をもって事業が完了した場合
拡　充 ： 事業、制度の対象範囲等を令和７年度と比較して拡充することを検討している場合
継　続 ： 令和７年度とほぼ同じ内容で実施する場合
見直し ： 現段階で方向性は示せないが、今後効果を高めるためなど取組方法の見直しを検討する場合
縮　小 ： 事業、制度の対象範囲等を令和７年度と比較して縮小することを検討している場合
廃　止 ： 令和７年度をもって事業、制度を廃止・中止した場合

2　主要事業の執行状況

(1) 一般会計決算の概要

①　歳入の状況

（単位：千円、％）

区　　分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (B－A)	収入率 (B／A)	前年度決算額 C	構成比	前年度比 (B－C)
1 市税	15,565,890	27.7	15,717,745	32.0	151,855	101.0	15,018,743	31.6	699,002
2 地方譲与税	408,000	0.7	389,291	0.8	▲ 18,709	95.4	377,871	0.8	11,420
3 利子割交付金	9,000	0.0	28,255	0.1	19,255	313.9	6,959	0.0	21,296
4 配当割交付金	95,000	0.2	126,657	0.3	31,657	133.3	122,064	0.3	4,593
5 株式等譲渡所得割交付金	158,000	0.3	184,496	0.4	26,496	116.8	157,019	0.3	27,477
6 法人事業税交付金	240,000	0.4	281,445	0.6	41,445	117.3	256,653	0.5	24,792
7 地方消費税交付金	2,502,000	4.4	2,589,112	5.3	87,112	103.5	2,397,517	5.1	191,595
8 ゴルフ場利用税交付金	46,000	0.1	47,769	0.1	1,769	103.8	49,001	0.1	▲ 1,232
9 環境性能割交付金	46,000	0.1	43,649	0.1	▲ 2,351	94.9	44,947	0.1	▲ 1,298
10 地方特例交付金	83,296	0.1	92,548	0.2	9,252	111.1	529,671	1.1	▲ 437,123
11 地方交付税	10,566,448	18.8	10,873,762	22.1	307,314	102.9	10,600,826	22.3	272,936
12 交通安全対策特別交付金	11,000	0.0	9,738	0.0	▲ 1,262	88.5	10,569	0.0	▲ 831
小　　計	**29,730,634**	**52.8**	**30,384,466**	**61.9**	**653,832**	**102.2**	**29,571,840**	**62.3**	**812,626**
13 分担金及び負担金	95,609	0.2	92,134	0.2	▲ 3,475	96.4	153,461	0.3	▲ 61,327
14 使用料及び手数料	562,309	1.0	565,535	1.2	3,226	100.6	568,482	1.2	▲ 2,947
15 国庫支出金	9,038,991	16.1	7,703,889	15.7	▲ 1,335,102	85.2	6,997,699	14.7	706,190
16 県支出金	3,691,363	6.6	3,438,444	7.0	▲ 252,919	93.1	2,922,344	6.2	516,100
17 財産収入	78,861	0.1	105,374	0.2	26,513	133.6	161,221	0.3	▲ 55,847
18 寄附金	522,153	0.9	522,813	1.1	660	100.1	264,620	0.6	258,193
19 繰入金	1,350,534	2.4	1,198,395	2.4	▲ 152,139	88.7	398,883	0.8	799,512
20 繰越金	1,540,734	2.7	1,540,735	3.1	1	100.0	2,357,389	5.0	▲ 816,654
21 諸収入	895,223	1.6	915,299	1.9	20,076	102.2	1,048,890	2.2	▲ 133,591
22 市債	8,763,700	15.6	2,647,300	5.4	▲ 6,116,400	30.2	3,019,200	6.4	▲ 371,900
小　　計	**26,539,478**	**47.2**	**18,729,918**	**38.1**	**▲ 7,809,560**	**70.6**	**17,892,188**	**37.7**	**837,730**
合　　計	**56,270,112**	**100.0**	**49,114,383**	**100.0**	**▲ 7,155,729**	**87.3**	**47,464,028**	**100.0**	**1,650,355**

② 市税収入の状況

（単位：千円、％）

区　分	予算額 A	調定額	収入済額 B	不納欠損額	還付未済額	収入未済額	対調定収入率	対予算比較（B－A）	対予算収入率	前年度収入済額 C	前年度比（B－C）
1款 市税	15,565,890	16,030,821	15,717,745	14,678	1,121	299,519	98.0	151,855	101.0	15,018,743	699,002
1項 市民税	6,370,400	6,590,811	6,453,303	5,073	1,003	133,437	97.9	82,903	101.3	5,765,524	687,779
1目 個人	5,170,000	5,316,154	5,186,816	4,263	616	125,690	97.6	16,816	100.3	4,605,712	581,105
現年課税分	5,138,000	5,185,346	5,149,896	0	575	36,025	99.3	11,896	100.2	4,565,668	584,228
滞納繰越分	32,000	130,807	36,920	4,263	41	89,665	28.2	4,920	115.4	40,043	▲ 3,123
2目 法人	1,200,400	1,274,657	1,266,487	810	387	7,747	99.4	66,087	105.5	1,159,813	106,674
現年課税分	1,199,000	1,266,161	1,264,613	0	387	1,934	99.9	65,613	105.5	1,157,899	106,714
滞納繰越分	1,400	8,496	1,874	810	0	5,812	22.1	474	133.8	1,914	▲ 40
2項 固定資産税	8,217,140	8,433,367	8,266,453	8,890	112	158,136	98.0	49,313	100.6	8,257,691	8,762
1目 固定資産税	8,171,000	8,387,226	8,220,312	8,890	112	158,136	98.0	49,312	100.6	8,210,124	10,188
現年課税分	8,138,000	8,222,043	8,185,239	350	111	36,565	99.6	47,239	100.6	8,176,037	9,202
滞納繰越分	33,000	165,184	35,073	8,540	1	121,571	21.2	2,073	106.3	34,088	985
2目 国有資産等所在市町村交付金	46,140	46,141	46,141	0	0	0	100.0	1	100.0	47,567	▲ 1,426
現年課税分	46,140	46,141	46,141	0	0	0	100.0	1	100.0	47,567	▲ 1,426
3項 軽自動車税	353,750	375,638	366,984	714	6	7,946	97.7	13,234	103.7	353,120	13,864
1目 環境性能割	23,650	29,322	29,322	0	0	0	100.0	5,672	124.0	26,147	3,175
2目 種別割	330,100	346,316	337,661	714	6	7,946	97.5	7,561	102.3	326,972	10,689
現年課税分	328,100	338,271	335,273	13	6	2,991	99.1	7,173	102.2	324,601	10,673
滞納繰越分	2,000	8,045	2,388	702	0	4,956	29.7	388	119.4	2,372	16
4項 市たばこ税	598,000	602,848	602,848	0	0	0	100.0	4,848	100.8	615,272	▲ 12,424
1目 市たばこ税	598,000	602,848	602,848	0	0	0	100.0	4,848	100.8	615,272	▲ 12,424
現年課税分	598,000	602,848	602,848	0	0	0	100.0	4,848	100.8	615,272	▲ 12,424
5項 入湯税	26,600	28,157	28,157	0	0	0	100.0	1,557	105.9	27,136	1,021
1目 入湯税	26,600	28,157	28,157	0	0	0	100.0	1,557	105.9	27,136	1,021
現年課税分	26,600	28,157	28,157	0	0	0	100.0	1,557	105.9	27,136	1,021

③　市税以外の収入状況（主なもの）

（単位：千円、％）

区分・内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B－C	決算額の主な内訳
2款　地方譲与税	408,000	389,291	▲ 18,709	95.4	377,871	11,420	
1項　地方揮発油譲与税	82,000	78,375	▲ 3,625	95.6	82,521	▲ 4,146	
2項　自動車重量譲与税	276,000	260,412	▲ 15,588	94.4	252,539	7,873	
3項　特別とん譲与税	36,000	37,084	1,084	103.0	30,076	7,008	
4項　森林環境譲与税	14,000	13,420	▲ 580	95.9	12,735	685	
3款　利子割交付金	9,000	28,255	19,255	313.9	6,959	21,296	
4款　配当割交付金	95,000	126,657	31,657	133.3	122,064	4,593	
5款　株式等譲渡所得割交付金	158,000	184,496	26,496	116.8	157,019	27,477	
6款　法人事業税交付金	240,000	281,445	41,445	117.3	256,653	24,792	
7款　地方消費税交付金	2,502,000	2,589,112	87,112	103.5	2,397,517	191,595	
8款　ゴルフ場利用税交付金	46,000	47,769	1,769	103.8	49,001	▲ 1,232	
9款　環境性能割交付金	46,000	43,649	▲ 2,351	94.9	44,947	▲ 1,298	
10款　地方特例交付金	83,296	92,548	9,252	111.1	529,671	▲ 437,123	住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金81,722、定額減税減収補填特例交付金1,574、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金9,252
11款　地方交付税	10,566,448	10,873,762	307,314	102.9	10,600,826	272,936	
普通交付税	9,166,448	9,166,448	0	100.0	8,656,956	509,492	
特別交付税	1,400,000	1,707,314	307,314	122.0	1,943,870	▲ 236,556	
12款　交通安全対策特別交付金	11,000	9,738	▲ 1,262	88.5	10,569	▲ 831	
13款　分担金及び負担金	95,609	92,134	▲ 3,475	96.4	153,461	▲ 61,327	
1項　分担金	2,564	1,931	▲ 633	75.3	6,065	▲ 4,134	農業用施設災害復旧事業費分担金1,771、農地災害復旧事業費分担金160
2項　負担金	93,045	90,202	▲ 2,843	96.9	147,397	▲ 57,195	老人保護措置費負担金2,051、保育園保育料85,298　等
14款　使用料及び手数料	562,309	565,535	3,226	100.6	568,482	▲ 2,947	
1項　使用料	263,886	268,101	4,215	101.6	263,218	4,883	斎場使用料42,434、道路占用料45,249、住宅費使用料（公営住宅使用料等）101,360、フットボールセンター使用料26,341　等
2項　手数料	298,423	297,434	▲ 989	99.7	305,264	▲ 7,830	戸籍住民基本台帳費手数料（証明発行手数料）26,122、清掃費手数料（ごみ処理手数料、収集指定袋手数料等）255,310　等

区分·内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B－C	決算額の主な内訳
15款　国庫支出金	9,038,991	7,703,889	▲ 1,335,102	85.2	6,997,699	706,190	
1項　国庫負担金	4,337,558	4,339,714	2,156	100.0	3,797,638	542,076	障害者自立支援給付費負担金1,282,344、子どものための教育・保育給付費交付金1,131,029、児童手当等国庫負担金1,495,619、生活保護費負担金204,345　等
2項　国庫補助金	4,687,655	3,348,346	▲ 1,339,309	71.4	3,188,675	159,671	新しい地方経済・生活環境創生交付金492,178、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金686,182、重層的支援体制整備事業交付金123,230、妊婦のための支援給付交付金67,969、子ども・子育て支援交付金100,798、物価高対応子育て応援手当補助金263,924、社会資本整備総合交付金316,394、学校施設環境改善交付金117,448、土木災害復旧事業費補助金117,922、農業用施設災害復旧事業費補助金28,118、農地災害復旧事業費補助金625、公営住宅復旧事業費補助金11,325、災害等廃棄物処理事業費補助金241,896、公立社会教育施設災害復旧費補助金359,174　等
3項　国庫委託金	13,778	15,828	2,050	114.9	11,386	4,442	国民年金事務費委託金10,203、消防団の力向上モデル事業費委託金3,340　等
16款　県支出金	3,691,363	3,438,444	▲ 252,919	93.1	2,922,344	516,100	
1項　県負担金	1,747,700	1,746,185	▲ 1,515	99.9	1,763,297	▲ 17,112	介護給付費負担金613,153、国民健康保険基盤安定負担金187,976、後期高齢者医療基盤安定負担金210,516、子どものための教育・保育給付費負担金514,996、児童手当等県負担金174,505　等
2項　県補助金	1,615,203	1,381,444	▲ 233,759	85.5	894,718	486,726	重層的支援体制整備事業交付金67,301、地域密着型介護基盤整備事業費補助金130,201、重度心身障害者等医療費補助金113,968、放課後児童健全育成事業費等補助金56,993、乳児、幼児及び妊産婦医療費補助金127,450、多面的機能支払交付金121,011、企業立地助成金157,097、公立学校情報機器整備事業費補助金280,679　等
3項　県委託金	328,461	310,815	▲ 17,646	94.6	264,329	46,486	県税徴収事務費委託金164,126、参議院議員選挙委託金34,422、衆議院議員選挙委託金29,735、国勢調査委託金41,656、民生委員費委託金13,759　等
17款　財産収入	78,861	105,374	26,513	133.6	161,221	▲ 55,847	
1項　財産運用収入	67,529	72,642	5,113	107.6	37,794	34,848	財産貸付収入14,196、利子及び配当金58,446
1目　財産貸付収入	8,450	14,196	5,746	168.0	7,422	6,774	
2目　利子及び配当金	59,079	58,446	▲ 633	98.9	30,372	28,074	
2項　財産売払収入	11,332	32,732	21,400	288.8	123,427	▲ 90,695	
1目　不動産売払収入	5,001	22,604	17,603	452.0	105,946	▲ 83,342	
2目　物品売払収入	851	4,648	3,797	546.2	973	3,675	
3目　債権売払収入	5,480	5,480	0	100.0	0	5,480	

区分·内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B－C	決算額の主な内訳
18款　寄附金	522,153	522,813	660	100.1	264,620	258,193	一般寄附金38,812、ふるさと射水応援寄附金259,120、民生費寄附金2,100、教育費寄附金4,200、商工費寄附金1,181、総務費寄附金217,400
19款　繰入金	1,350,534	1,198,395	▲ 152,139	88.7	398,883	799,512	
1項　基金繰入金	1,296,995	1,146,996	▲ 149,999	88.4	348,185	798,811	
1目　公共施設建設等基金繰入金	342,000	342,000	0	100.0	0	342,000	
2目　小杉インターパーク管理基金繰入金	900	900	0	100.0	900	0	
3目　合併地域振興基金繰入金	320,000	320,000	0	100.0	0	320,000	
4目　ふるさと射水応援基金繰入金	185,201	185,201	0	100.0	317,913	▲ 132,712	
5目　森林環境保全基金繰入金	17,811	17,811	0	100.0	14,017	3,794	
6目　新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金	18	18	0	100.0	15,355	▲ 15,337	
7目　漁業振興基金繰入金	66	66	0	100.0	0	66	
8目　財政調整基金繰入金	350,000	200,000	▲ 150,000	57.1	0	200,000	
9目　減債基金繰入金	81,000	81,000	0	100.0	0	81,000	
2項　特別会計繰入金	53,539	51,399	▲ 2,140	96.0	50,698	50,698	重層的支援体制整備事業繰入金51,399
20款　繰越金	1,540,734	1,540,735	1	100.0	2,357,389	▲ 816,654	前年度繰越金935,217、逓次繰越繰越金65,126、繰越明許費繰越金540,296、事故繰越繰越金97
21款　諸収入	895,223	915,299	20,076	102.2	1,048,890	▲ 133,591	
1項　延滞金·加算金及び過料	19,200	22,895	3,695	119.2	16,225	6,670	
2項　市預金利子	918	11,286	10,368	1,229.4	2,412	8,874	
3項　貸付金元利収入	417,338	417,839	501	100.1	413,319	4,520	
4項　受託事業収入	19,717	17,996	▲ 1,721	91.3	15,139	2,857	
5項　雑入	438,050	445,283	7,233	101.7	601,796	▲ 156,513	

区分·内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B－C	決算額の主な内訳
22款　市債	8,763,700	2,647,300	▲ 6,116,400	30.2	3,019,200	▲ 371,900	
1項　市債	8,763,700	2,647,300	▲ 6,116,400	30.2	3,019,200	▲ 371,900	
1目　総務債	534,000	207,300	▲ 326,700	38.8	114,900	92,400	コミュニティセンター整備事業債154,100、万葉線設備整備事業債31,500、防災施設整備事業債1,500、あいの風とやま鉄道設備整備事業債1,700、総務管理施設整備事業債1,400、DX推進事業債17,100
2目　民生債	117,500	44,700	▲ 72,800	38.0	8,000	36,700	福祉施設整備事業債44,700
3目　衛生債	279,900	65,700	▲ 214,200	23.5	801,100	▲ 735,400	一般会計出資債65,100、墓苑施設整備事業債600
4目　農林水産業債	111,700	82,800	▲ 28,900	74.1	107,700	▲ 24,900	農業農村整備事業債80,100、漁港修築事業債2,700
5目　商工債	1,465,500	495,100	▲ 970,400	33.8	115,900	379,200	道の駅整備事業債495,100
6目　土木債	953,900	475,900	▲ 478,000	49.9	319,500	156,400	高効率照明整備事業債1,400、道路整備事業債243,400、河川整備事業債1,100、港湾整備事業債29,600、都市計画街路整備事業債11,300、まちづくり交付金事業債9,800、公園整備事業債52,900、重点密集市街地整備事業債98,300、宅地液状化防止事業債28,100
7目　消防債	480,300	130,700	▲ 349,600	27.2	130,300	400	消防施設整備事業債130,700
8目　教育債	3,560,400	488,600	▲ 3,071,800	13.7	652,000	▲ 163,400	統合小学校整備事業債171,300、小学校整備事業債51,700、中学校整備事業債20,300、大門中学校整備事業債195,100、芸術文化施設整備事業債24,300、保健体育施設整備事業債9,700、学校給食センター整備事業債16,200
9目　災害復旧債	1,260,500	656,500	▲ 604,000	52.1	644,200	12,300	公共土木施設等災害復旧事業債176,600、農林水産施設災害復旧事業債56,700、公営住宅災害復旧事業債4,700、公共施設災害復旧事業債201,400、災害対策債217,100
市税以外の収入合計	40,704,221	33,396,640	▲ 7,307,581	82.0	32,445,286	951,354	

④　歳出の状況（目的別）

（単位：千円、％）

区　　分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 （A－B）	執行率 （B／A）	前年度決算額 C	前年度比 （B－C）
1 議会費	286,061	0.5	272,390	0.6	13,671	95.2	272,263	127
2 総務費	7,552,897	13.4	6,845,922	14.4	706,975	90.6	6,438,507	407,415
3 民生費	16,244,706	28.9	15,751,385	33.1	493,321	97.0	14,662,824	1,088,561
4 衛生費	5,182,917	9.2	4,510,798	9.5	672,118	87.0	5,240,849	▲ 730,051
5 労働費	26,199	0.0	24,727	0.1	1,472	94.4	22,788	1,939
6 農林水産業費	1,099,329	2.0	999,770	2.1	99,559	90.9	1,055,038	▲ 55,268
7 商工費	3,773,555	6.7	2,461,237	5.2	1,312,318	65.2	1,443,818	1,017,419
8 土木費	6,001,801	10.7	5,063,651	10.6	938,149	84.4	4,920,084	143,567
9 消防費	1,912,204	3.4	1,408,057	3.0	504,147	73.6	1,363,976	44,081
10 教育費	7,337,811	13.0	3,955,408	8.3	3,382,403	53.9	3,543,968	411,440
11 災害復旧費	1,260,598	2.2	795,175	1.7	465,423	63.1	972,547	▲ 177,372
12 公債費	5,506,256	9.8	5,488,973	11.5	17,283	99.7	5,986,630	▲ 497,657
13 予備費	85,780	0.2	0	0.0	85,780	0.0	0	0
合　　計	**56,270,112**	**100.0**	**47,577,493**	**100.0**	**8,692,619**	**84.6**	**45,923,293**	**1,654,200**

※ 継続費逓次繰越、繰越明許費繰越及び事故繰越しに係る翌年度繰越額（計7,059,324千円）の内訳

総　務　費	467,864千円	コミュニティセンター整備事業費、地域交通対策費、万葉線対策費、防災対策費、戸籍住民基本台帳費
民　生　費	144,214千円	高齢者福祉施設費、高齢者世帯等物価高騰対策事業費、保育園等管理運営費、物価高対応子育て応援手当、セーフティネット支援対策費
衛　生　費	459,328千円	子ども子育て総合支援センター管理費、地球温暖化対策推進費、野手埋立処分所整備事業費、災害廃棄物処理事業費、被災家屋等解体費、水道事業会計繰出金
農林水産業費	51,338千円	土地改良事業推進対策費、農地管理費、新湊漁港建設費
商　工　費	1,174,267千円	商工業振興費、観光推進費、観光交流センター管理運営費
土　木　費	776,297千円	道路橋梁総務費、市道新設改良費、地方道路交付金事業費、道路橋梁維持費、交通安全施設整備費、道路情報提供施設等管理費、橋梁長寿命化・耐震化対策事業費、除雪対策費、消雪施設維持管理費、河川管理費、都市計画総務費、都市再生整備事業費、公園維持管理費、市営住宅維持管理費、重点密集市街地整備費、宅地液状化防止事業費、建築指導費（繰越明許）
消　防　費	455,413千円	消火栓整備事業費、防火水槽整備事業費、通信施設整備事業費
教　育　費	3,239,232千円	学校給食センター管理費、学校管理費（小）、新湊放生津小学校整備費、堀岡小学校整備費、文化財保存費、陶房「匠の里」管理運営費、新湊中央文化会館・小杉文化ホール管理運営費、大門総合会館管理運営費、大島絵本館管理運営費、スポーツ施設維持管理費、学校体育施設開放事業費、パークゴルフ場維持管理費、海竜スポーツランド維持管理費、フットボールセンター管理運営費
災害復旧費	291,371千円	土木災害復旧費、土木災害復旧費（繰越明許）

⑤　歳出の主な内訳（目的別）

（単位：千円）

区　　分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 （A－B）	決算額の主な内訳
1 議会費	272,390	272,263	127	議員報酬181,720、議会運営費31,925　等
2 総務費	6,845,922	6,438,507	407,415	
総務管理費	5,594,885	4,907,710	687,175	職員管理費217,319、財政対策積立金122,198、その他目的基金753,243、庁舎等管理費482,862、公共施設マネジメント推進費372,539、移住・定住促進事業費158,191、地方創生推進費128,824、電算管理費247,354、ＤＸ推進事業費164,288、協働のまちづくり推進費189,270、コミュニティセンター管理運営費209,704、コミュニティセンター整備事業費167,953、コミュニティバス運行費476,248、万葉線対策費130,176　等
徴税費	737,529	1,151,000	▲ 413,471	賦課事務費160,149、徴収事務費24,035、定額減税補足臨時給付金給付費303,010　　等
戸籍住民基本台帳費	290,922	277,323	13,599	戸籍住民基本台帳費108,090　等
選挙費	131,547	53,149	78,398	参議院議員通常選挙費20,577、射水市長選挙及び射水市議会議員選挙費47,680、衆議院議員総選挙費24,542　等
統計調査費	52,314	13,733	38,581	国勢調査費41,463　等
監査委員費	38,726	35,593	3,133	監査委員費3,250　等
3 民生費	15,751,385	14,662,824	1,088,561	
社会福祉費	7,420,611	7,348,288	72,323	高齢者福祉施設費208,850、介護保険事業特別会計繰出金1,469,510、後期高齢者医療事業特別会計繰出金1,538,800、地域支援事業費186,116、国民健康保険事業特別会計繰出金472,688、重度心身障害者等医療費助成費280,703、自立支援給付費2,445,152、非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費40,453、高齢者世帯等物価高騰対策事業費39,837　等
児童福祉費	7,978,106	6,968,610	1,009,496	放課後児童健全育成事業費177,793、児童手当等給付費1,853,829、児童扶養手当給付費220,371、子ども及び妊産婦医療助成費447,504、保育園等管理運営費874,154、保育園等運営委託等事業費2,656,338、物価高対応子育て応援手当263,349　等
生活保護費	344,574	322,141	22,433	セーフティネット支援対策費34,700、生活保護扶助費281,363　等
災害救助費	8,095	23,785	▲ 15,690	災害見舞事業費5,513、災害弔慰金2,582

（単位：千円）

区　　分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 （A－B）	決算額の主な内訳
4 衛生費	4,510,798	5,240,849	▲ 730,051	
保健衛生費	1,046,282	1,103,188	▲ 56,906	不妊治療等助成費22,579、母子保健推進費93,570、がん対策推進費91,523、予防接種費362,560、斎場管理費110,874、地球温暖化対策推進費11,010　等
清掃費	2,193,339	3,122,949	▲ 929,610	塵芥収集費362,264、クリーンピア射水管理費814,594、野手埋立処分所管理費214,416、野手埋立処分所整備事業費40,000、災害廃棄物処理事業費235,842、被災家屋等解体費195,252　等
病院費	1,106,301	954,160	152,141	病院事業会計繰出金1,106,301
上水道費	164,877	60,553	104,324	水道事業会計繰出金164,877
5 労働費	24,727	22,788	1,939	勤労者福祉推進費17,439、雇用対策費7,289
6 農林水産業費	999,770	1,055,038	▲ 55,268	
農業費	835,144	805,166	29,978	ふるさと特産品推進費128,243、土地改良事業推進対策費318,238、農地管理費164,161　等
林業費	42,841	45,944	▲ 3,103	林業振興推進費22,689、有害鳥獣捕獲対策費6,468、緑化推進費11,083　等
水産業費	121,785	203,929	▲ 82,144	海面漁業振興費72,682　等
7 商工費	2,461,237	1,443,818	1,017,419	商工業振興費107,543、企業誘致対策費495,109、中小企業振興対策費405,768、観光推進費107,106、道の駅整備事業費965,557、観光交流センター管理運営費133,535　等
8 土木費	5,063,651	4,920,084	143,567	
道路橋梁費	1,936,476	1,990,683	▲ 54,207	市道新設改良費93,519、地方道路交付金事業費34,742、道路橋梁維持費326,661、橋梁長寿命化・耐震化対策事業費203,492、除雪対策費636,695、消雪施設維持管理費272,344　等
海岸河川費	119,326	91,787	27,539	河川管理費59,969、海岸総務費12,694　等
港湾費	132,641	106,756	25,885	港湾建設促進費33,600、海王丸パーク活用推進費72,424　等
都市計画費	394,500	401,799	▲ 7,299	地籍調査費16,074、都市再生整備事業費20,842、公園維持管理費265,566　等
下水道費	1,849,644	1,937,966	▲ 88,322	下水道事業会計繰出金1,849,644
住宅費	631,065	391,093	239,972	市営住宅維持管理費121,602、宅地液状化防止事業費56,519、重点密集市街地整備費239,121　等

（単位：千円）

区　　分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 （A－B）	決算額の主な内訳
9 消防費	1,408,057	1,363,976	44,081	常備消防費118,804、消防団運営費82,064、通信施設整備事業費45,785、消防車両整備事業費44,132、消防団拠点施設整備事業費37,394　等
10 教育費	3,955,408	3,543,968	411,440	
教育総務費	557,564	507,879	49,685	教育委員会事務局費156,530、学校図書館活動推進費49,009、学校給食センター管理費137,698　等
小学校費	1,481,566	1,389,043	92,523	学校管理費（小）218,852、学校給食費（小）159,798、スクールバス運行費（小）74,842、教育振興運営費（小）467,792、新湊放生津小学校整備費471,212　等
中学校費	750,840	580,088	170,752	学校管理費（中）103,646、学校給食費（中）75,100、教育振興運営費（中）258,426、大門中学校整備費264,999　等
幼稚園費	19,990	19,128	862	幼稚園管理費5,415　等
社会教育費	727,232	655,245	71,987	図書館管理運営費96,984、芸術文化振興費72,927、新湊中央文化会館・小杉文化ホール管理運営費161,893、大門総合会館管理運営費46,228、大島絵本館管理運営費92,857　等
保健体育費	418,217	392,584	25,633	スポーツ推進事務管理費40,883、スポーツ施設維持管理費185,643、海竜スポーツランド維持管理費79,743、フットボールセンター管理運営費37,172　等
11 災害復旧費	795,175	972,547	▲ 177,372	
土木施設災害復旧費	365,266	501,635	▲ 136,369	土木災害復旧費365,266
農林水産業施設災害復旧費	103,337	170,524	▲ 67,187	農業用施設災害復旧費56,689、農地災害復旧費9,437、林道災害復旧費1,964、水産業施設災害復旧費35,247
文教施設災害復旧費	326,572	216,095	110,477	体育施設災害復旧費326,572
廃棄物処理施設災害復旧費	0	84,293	▲ 84,293	
12 公債費	5,488,973	5,986,630	▲ 497,657	公債費元金償還費4,712,561、公的資金繰上526,363、公債費利子償還費246,575　等
合　　計	**47,577,493**	**45,923,293**	**1,654,200**	

⑥　歳出の状況（性質別）

（単位：千円、％）

区　　分	決 算 額	構成比	前年度決算額	構成比	前年度比		主な変動要因分析
					増 減 額	増減率	
1 人件費	6,691,001	14.1	6,205,441	13.5	485,560	7.8	職員及び会計年度任用職員の給与改定等に伴う増
うち職員給	4,044,559	8.5	3,797,377	8.3	247,182	6.5	
2 扶助費	9,260,557	19.5	9,054,667	19.7	205,890	2.3	自立支援給付費、児童手当等給付費、物価高対応子育て応援手当等の増
3 公債費	5,485,498	11.5	5,980,804	13.0	▲ 495,306	▲ 8.3	公的資金繰上償還の減
義務的経費(1～3)	**21,437,056**	**45.1**	**21,240,912**	**46.3**	**196,144**	**0.9**	
4 普通建設事業費	4,280,049	9.0	4,252,053	9.3	27,996	0.7	
うち補助事業費	2,095,746	4.4	1,862,778	4.1	232,968	12.5	道の駅整備事業費、新湊放生津小学校整備費等の増
うち単独事業費	1,998,722	4.2	2,237,068	4.9	▲ 238,346	▲ 10.7	片口小学校整備費、中太閤山小学校整備費等の減
うち県営事業負担金等	185,581	0.4	152,207	0.3	33,374	21.9	土地改良事業推進対策費、港湾建設促進費等の増
5 災害復旧事業費	940,045	2.0	1,255,540	2.7	▲ 315,495	▲ 25.1	
うち補助事業費	676,092	1.4	565,146	1.2	110,946	19.6	体育施設災害復旧費等の増
うち単独事業費	263,953	0.6	690,394	1.5	▲ 426,441	▲ 61.8	土木災害復旧費、農地災害復旧費、農業用施設災害復旧費等の減
投資的経費(4～5)	**5,220,094**	**11.0**	**5,507,593**	**12.0**	**▲ 287,499**	**▲ 5.2**	
6 物件費	8,427,158	17.7	7,560,031	16.5	867,127	11.5	物価高による委託料の増、被災家屋等解体費、教育振興運営費等の増
7 維持補修費	1,039,306	2.2	1,203,421	2.6	▲ 164,115	▲ 13.6	除雪対策費等の減
8 補助費等	6,046,237	12.7	5,435,823	11.8	610,414	11.2	移住・定住促進事業費、コミュニティバス運行費、高齢者福祉施設費、病院事業会計繰出金、芸術文化振興費等の増
9 積立金	875,441	1.8	442,785	1.0	432,656	97.7	その他目的基金等の増
10 投資及び出資金	636,175	1.3	751,492	1.6	▲ 115,317	▲ 15.3	下水道事業会計繰出金の減
11 貸付金	420,898	0.9	416,200	0.9	4,698	1.1	奨学金、中小企業振興資金預託金等の増
12 繰出金	3,475,128	7.3	3,365,036	7.3	110,092	3.3	介護保険事業特別会計繰出金、後期高齢者医療事業特別会計繰出金の増
その他の経費(6～12)	**20,920,343**	**44.0**	**19,174,788**	**41.8**	**1,745,555**	**9.1**	
合　　計	**47,577,493**	**100.0**	**45,923,293**	**100.0**	**1,654,200**	**3.6**	

1 款　議 会 費

事業名	議会運営費	（ 1款 議会費　1項 議会費　1目 議会費 ）	決算書	64 ページ	担当部課	議会事務局議事調査課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			30,488	【37,552】	31,925	【42,188】		【36,388】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			議会Ｗｉ－Ｆｉ機器を更新したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	346	0	341			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	30,142	0	31,584			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 市議会（委員会）開催状況 (1) 市議会 ・6月定例会　21日　・9月定例会　29日　・11月臨時会　1日　・12月定例会　21日　・3月定例会　21日 (2) 委員会 ・ 議会運営委員会　32日　・総務文教常任委員会　7日　・民生病院常任委員会　6日 ・ 産業建設常任委員会　7日　・予算特別委員会　14日　・決算特別委員会　5日 ・ 広報委員会　8日	
2 付議事件の審議結果等 (1) 市長提案　119件（可決、承認等　105件　議決事項でないもの　14件） (2) 議員提案　5件　推薦、選挙　5件	
3 議会情報の発信等 (1) 議会だよりの発行 議会の活動状況を市民に発信するため、分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努めた。 発行回数　年4回（定例会の翌々月の1日発行）　発行部数　約33,000部/回（全世帯へ配布） (2) 議会映像の配信 本会議及び予算特別委員会をケーブルテレビで放送したほか、市ホームページにてインターネット中継（録画）を行った。	
4 議会報告会の開催 議会をより身近なものに感じてもらえるよう、議員が議会情報を直接市民に報告・説明するとともに、市民の声を市政に反映するため、常任委員会ごとに議会報告会を開催した。 ・総務文教常任委員会　7月25日　・民生病院常任委員会　8月12日　・産業建設常任委員会　ＹｏｕＴｕｂｅ動画配信	
5 議員研修会の開催 (1)日時：3月27日　13時～16時 (2)内容：議員質問力の向上（講師：法政大学法学部　土山教授）	

2 款　総 務 費

事業名	職員管理費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 2目 人事管理費 ）	決算書	65 ページ	担当部課	企画管理部人事課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			211,986	【219,051】	217,319	【227,863】		【203,648】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			人事管理システムを導入したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	1,926	0	1,862			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	210,060	0	215,457			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 令和6年能登半島地震における中長期の職員派遣【地震】 地方自治法第252条の17の規定に基づき、各市から職員を派遣いただき、復旧・復興業務に従事していただいた。 派遣費用の負担金 ・ 長野県千曲市（令和7年4月1日～令和8年3月31日、1人） 5,244千円 ・ 長野県長野市（令和7年4月1日～令和8年3月31日、1人） 8,360千円 ・ 愛知県稲沢市（令和7年4月1日～令和8年3月31日、1人） 6,254千円 ・ 宮城県塩竈市（令和7年4月1日～令和8年3月31日、1人） 9,510千円	継続	地方自治法に基づく中長期の職員派遣を受け入れ、令和6年能登半島地震からの復旧・復興業務を進めることができた。 令和8年度も引き続き4名の派遣職員に従事していただき、復旧・復興業務を進める。
2 人事管理システムの導入 これまで紙やエクセルで管理してきた人事に関する各種情報を一元化・可視化し、データに基づいた適材適所の人員配置や効果的な人材育成、人事評価の効率化等を実現するため、人事管理システムを導入した。 ・ システム導入費及び利用料 5,737千円	継続	システム導入により、人事データの一元化・可視化及び人事評価の効率化を図ることができた。 引き続き、人事データの蓄積を進め、適材適所の人員配置や効果的な人材育成につなげていく。

事業名	職員表彰・研修費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	2目 人事管理費 ）	決算書	65 ページ	担当部課	企画管理部人事課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			7,002	【8,481】	1,869	【4,481】		【5,188】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和5年度から令和6年度にかけて実施した、公民連携事業について学び、実践する都市経営プロフェッショナルスクールが終了したことによる。 令和6年能登半島地震からの復旧・復興に取り組むことを最優先とし、中央省庁への派遣研修を休止したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	213	0	21			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	6,789	0	1,848			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 階層別研修及び専門研修の実施 新任職員研修や幹部職員研修等の階層別研修のほか、職務遂行に必要な知識や技能を習得する専門研修を実施した。 ・ 階層別研修　227人 （令和6年度　239人） ・ 専門研修　937人 （令和6年度　669人）	継続	研修の実施により、職員の職務遂行能力の向上を図ることができた。 引き続き、オンライン研修の積極的な活用等、職員が研修を受講しやすい環境づくりを整えつつ、職場や職員のニーズを踏まえた研修を企画する。
2 派遣研修の実施 課題発見・解決能力や政策形成能力を養成するため、富山県への派遣研修を実施した。	継続	国や自治大学校等への派遣研修は、職員の幅広い視野と高度な知識の習得につながるものと考えており、引き続き、人員配置の状況なども考慮しながら実施していく。
3 とやま呉西圏域連携事業 ・人事交流 砺波市と職員1人（行政職）の人事交流を行った。 ・合同研修 圏域の行政リソースを生かした効率的な研修の実施により、職員の資質向上や交流促進につながった。 令和7年度研修テーマ：職員力向上研修『避難所運営ゲーム「ＨＵＧ」を活用した防災研修』	継続	人事交流は、派遣期間が1年であり、業務の継続性や各市の受入課の体制等に課題があるため、令和7年度末で終了した。 合同研修は、高度かつ効果的な人材育成、交流促進を図るため、継続的に参加する。

事業名	広報広聴費（繰越明許）	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	3目 文書広報費 ）	決算書	66 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					3,498	【3,500】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	3,498			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市制20周年動画制作業務委託 合併後20年間を振り返る過去の映像や季節映像など新たな撮影も行いながら、ストーリー性を持った映像とし、「笑顔」、「つながり」など、未来への希望を感じさせるテーマで制作を行った。 委託期間　令和7年1月31日～12月31日 委　託　料　3,498千円	完了	市制20周年記念式典における上映のほか、ＹｏｕＴｕｂｅや市ホームページ等で発信し、映像を通じて市民の未来への期待と市への愛着の醸成につなげた。

事業名	広報広聴費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	3目 文書広報費 ）	決算書	66 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			40,241	【48,765】	47,622	【49,940】		【50,204】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	2,000	0	2,000			
	国庫支出金	諸収入	0	1,737	0	1,692			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	36,504	0	43,930			
	財産売払収入		0		0				

市制20周年記念事業として、広報いみず特別号の発刊、新・ＢＳ日本のうた公開収録、市長出演特別企画番組に係る経費のほか、広報いみずの印刷製本費用の増による。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 広報事業 広報いみずやケーブルテレビのほか、市ＬＩＮＥ公式アカウントや各種ＳＮＳなど多様な広報媒体を用いて情報発信力の強化に努め、市民に”伝わる”行政情報を提供するとともに、市の魅力を発信した。 (1) 広報いみずの発行 市政情報をあらゆる年齢層の市民に分かりやすく、見やすく情報を伝えるため、内容やレイアウトを工夫した。 発行回数　年12回　発行部数　33,400部／月 (2) 市ＬＩＮＥ公式アカウントによる情報発信事業 子育てや健康・福祉に関する情報や各種イベント情報などの市政情報を、希望する市民等へ効果的に配信したほか、市民限定クーポンの継続配布を行い、友だち登録を促した。 友だち登録者数　32,788人（令和7年度末） 契約期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日	継続	多様な広報媒体を効果的に活用することで、市民等へ必要な情報の迅速かつ的確な提供につなげた。 引き続き、情報発信力の強化に努めていく。 また、Ｖチューバ―を活用した魅力発信を強化し、シティプロモーションの推進につなげていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
(3) Ｖチューバーを活用した番組制作 ゲストに案内人として出演してもらい、テーマごとにスペシャリストの視点で本市の取組や魅力を発信した。 また、ＹｏｕＴｕｂｅでインストリーム広告を活用し、県内外での視聴機会を創出したことにより、視聴回数を伸ばした。 配信回数　年5回 委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委　託　料　705千円 (4) ケーブルテレビ行政番組放送 「テレビ広報いみず」では、担当課職員等が出演し、行政情報やイベント情報などを分かりやすく説明した。 新春対談では、「Ｓｔａｒｔ × ＩＭＩＺＵ ～ワクワクするまちに～」と題して、市長と市内で起業された方、また、起業をサポートする側として活動されている方をゲストに迎え、本市で起業などに挑戦する若者たちの後押しとなるよう、それぞれの取組や今後のまちづくりについて意見を伺った。 契約期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委　託　料　11,079千円 (5) 市政出前講座 担当課職員等が地域へ出向いて事業を詳しく、分かりやすく説明することで、市民に市の現況や取組について理解を深めてもらい、情報共有を図った。 令和7年度実施件数　159件		

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
ホームページのアクセス件数	846,122件	1,682,981件	911,000件
ＳＮＳ(市公式Ｘ、雫Ｉｎｓｔａｇｒａｍ、市公式ＹｏｕＴｕｂｅ、雫ＹｏｕＴｕｂｅ)のフォロワー・チャンネル登録者数	9,407人	11,621人	15,000人

2 広聴事業 市民と行政との対話の機会を設け、市民からの提案を市政に生かす取組として、みえる・わかる・わかり合えるミーティング等を実施し、市民と行政との協働のまちづくりを推進した。 (1) みえる・わかる・わかり合えるミーティングの実施 市長と市民が直接対話する場を設けることで、市民と行政との情報の共有化を進め、市民と行政のわかり合いを推進した。 ・ 市長とのコーヒートーク 市内県立高等学校生徒（12人） 母親クラブ連絡協議会（17人） ・ 市長の出前講座 新湊ロータリークラブ（20人） ・ 市長のタウンミーティング　(95人 計2回) テーマ「地域公共交通　～「のるーと射水」にみんなで乗るーと！～」 令和7年6月27日 大島コミュニティセンター テーマ「こどもまんなか社会　～みんなで育む　こどもの未来～」 令和7年7月6日 クロスベイ新湊 (2) 市長への手紙、市へのメール 市民からの意見・提案に対し、市の現状や考え方を丁寧に回答することで、市民と行政との信頼関係の構築に努めた。 ・ 市長への手紙受付件数　52件 ・ 市へのメール受付件数　150件	継続	市民と直接意見交換することで、課題等の把握や市の取組を共有し、今後の施策の参考とした。 引き続き、市民からの意見等を直接伺う機会を設けることにより、市政に対する理解を高め、信頼される行政運営を目指していく。

事業名	男女共同参画推進費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	3目 文書広報費 ）	決算書	66 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,531	【3,995】	5,953	【6,709】		【7,933】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			第3次射水市男女共同参画基本計画策定に係る市民意識調査集計等業務委託を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	900	0	1,264	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	2,631	0	4,689			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 男女共同参画推進事業 (1) 男女共同参画推進委員会の活動支援 市民による主体的な男女共同参画の推進を図るため、市民35人を男女共同参画推進委員会委員として委嘱し、その活動を支援した。 ア 男女共同参画啓発活動 ・ 啓発週間中における街頭啓発（男女共同参画週間・女性に対する暴力をなくす運動） 実施日：令和7年6月23日、11月22日 ・ あったか家族のひなまつり 実施日：令和8年2月21日　場所：救急薬品市民交流プラザ ・ オレンジキャンペーンｉｎ射水～がんばる女性をみんなで応援～ 実施日：令和8年3月7日　場所：アルビス小杉総合体育センター イ 委員研修会の開催 ウ 広報紙「いみずのに拓く」の発刊 (2) 小杉駅北広告塔への啓発看板設置（令和7年6月2日～6月30日） (3) 男女共同参画審議会の開催 実施日：第1回令和7年8月13日　書面開催　　審議内容：男女共同参画社会に関する意識調査について 実施日：第2回令和8年2月17日　場所：市庁舎　審議内容：第3次射水市男女共同参画基本計画等について (4) 第3次射水市男女共同参画基本計画策定に係る市民意識調査集計等業務委託 令和8年度で計画期間が終了する「第2次射水市男女共同参画基本計画」の次期計画策定に向けた基礎資料とするため、市民の男女共同参画に関する意識や実態、課題等を把握する市民意識調査集計等業務委託を実施した。 委 託 先：（一財）北陸経済研究所 委託期間：令和7年7月3日～12月5日 委 託 料：1,650千円	継続	啓発活動や広報紙の作成により、男女共同参画に関する理解の促進と意識の向上に努めた。 引き続き、街頭啓発や推進委員が実施する各地区での啓発活動を通じ、市民に男女共同参画への理解を深めてもらい、性別に関わらず一人ひとりが共に個性と能力を発揮できる社会の形成を目指していく。 また、市民意識調査の結果や国・県の施策の方向性等を踏まえ、「第3次射水市男女共同参画基本計画」の策定を進めていく。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>2 女性のための無料相談
年間18回（奇数月は1回、偶数月は2回）、女性無料相談を実施した。
・ 年間相談人数　延べ47人</td><td>継続</td><td>配偶者からの暴力等、様々な問題を抱えている女性を対象とした無料相談を実施し、問題解決に向けた支援体制の確保を図った。
引き続き、女性が抱える様々な問題の解決を支援するため、相談事業を実施していく。</td></tr>
<tr><td>3 働く女性のための「いみずキャリアステップ応援塾」【国1/2】
女性が活躍できる環境づくりを目指し、リーダーの役割を担っていく女性のスキルアップを支援するとともに、業種・職種の枠を超えた交流の促進を図った。
・ 開催回数：3回　受講者数：19人</td><td>継続</td><td>女性が能力を発揮し、リーダーとして活躍できる人材の育成を図った。
引き続き、女性のエンパワーメントを推進していくため、事業を継続していく。</td></tr>
<tr><td>4 女性のためのキャリアアップ応援補助金
出産・育児・介護等のために離職した女性や非正規雇用の形態で働いている女性が、就職や起業等に有効な資格を取得するために要した経費の一部を支援した。
・ 補助件数3件</td><td>継続</td><td>就職等に有効な資格取得を支援することで、女性の就業機会の拡大を図った。引き続き、制度の周知に努め、女性の就業を支援していく。</td></tr>
<tr><td>5 女性活躍推進セミナー
地域活動に女性が参画、活動することを後押しし、地域の活性化につなげるためのセミナーを実施した。
・ 富女会 ｉｎ ＩＭＩＺＵ　開催回数2回　受講者数 延べ46人
<table>
<tr><th>開催日</th><th>開催テーマ</th><th>開催場所</th></tr>
<tr><td>令和7年12月6日</td><td>地域を彩る！女性たちの活躍を</td><td>陶房匠の里　研修室</td></tr>
<tr><td>令和8年2月1日</td><td>女性目線を活かして地域も自分も元気に</td><td>陶房匠の里　研修室</td></tr>
</table>
・ 女性活躍学び塾　開催回数1回　受講者数 37人
<table>
<tr><th>開催日</th><th>開催テーマ</th><th>開催場所</th></tr>
<tr><td>令和7年10月12日</td><td>防災・減災研修会</td><td>市庁舎</td></tr>
</table></td><td>継続</td><td>地域活動における女性の担い手の育成を図った。
引き続き、女性の地域活動参画を推進していくため、事業を継続していく。</td></tr>
</table>

事業名	財政対策積立金	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	4目 財政管理費 ）	決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部財政課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			186,143	【186,143】	122,198	【124,235】		【30,340】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			減債基金における臨時財政対策債償還基金費積立金の減少による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	24,143	162,000	33,198	89,000			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
・ 財政調整基金 26,778千円 ・ 減債基金 95,420千円	継続 災害時の財源確保や社会経済情勢の変化等による財政需要に対応していくため、基金の適切な確保に努めていく。

事業名	その他目的基金	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	4目 財政管理費 ）	決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部財政課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			256,642	【256,643】	753,243	【770,447】		【27,749】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	152,849	0	398,872			ふるさと納税（企業版含む）の増加に伴うふるさと射水応援基金積立金の増と田中基金の新設（積立替え）、基金運用利子の増加による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	243,300			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	4,593	99,200	23,321	87,750			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）
・ 公共施設建設等基金	12,823千円	・ 小杉インターパーク管理基金	575千円	継続 各基金の設置目的に応じ、適切な管理・運用に努めていく。
・ 森林環境保全基金	13,610千円	・ 合併地域振興基金	15,126千円	
・ 小林與三次基金	275千円	・ ふるさと射水応援基金	437,492千円	
・ 福祉振興基金	42千円	・ 田中基金	273,300千円	

事業名	会計管理費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 5目 会計管理費 ）	決算書	67 ページ	担当部課	会計管理者会計課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			18,393	【19,200】	23,860	【25,523】		【43,123】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			窓口収納手数料及び公金振込手数料の単価改定により、金融機関公金取扱手数料が増加したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	18,393	0	23,860			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 出納事務 (1) 公金の出納に係る伝票審査の徹底と公金取扱状況検査を実施した。 ・現金出納員等 12か所実施 （令和6年度 12か所） ・収納消込データ作成業務委託 委託期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料 7,049千円 （令和6年度 7,449千円） (2) 歳計・歳計外現金及び基金の安全かつ効率的な運用を行った。	継続	公金の支出命令審査を厳正かつ迅速に行い、適正で確実な支払事務の執行に努めた。 公金等の取扱状況検査を継続して実施し、適正な会計事務と公金の取扱いに対する職員の意識向上を図っていく。

事業名	検査費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 5目 会計管理費 ）	決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部検査監

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			8,810	【8,832】	8,634	【9,169】		【9,792】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	8,810	0	8,634			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 検査指導業務

市発注の工事や業務委託の品質の確保、施工技術水準の向上などを目的に完成検査や工事現場安全パトロールを実施した。

(1) 完成検査

設計図書に基づき検査を実施し、安全管理及び品質管理を中心とした確認を行うとともに、適時指導・助言を行うなど積極的な対応に努めた。

年度	区分	工事	業務委託	計
令和6年度	件数	204件	50件	254件
	金額	5,590,384千円	575,292千円	6,165,676千円
令和7年度	件数	179件	61件	240件
	金額	5,836,523千円	539,098千円	6,375,621千円

※検査対象：工事1,300千円以上(～令和6年度)、2,000千円以上(令和7年度～)
委託　500千円以上(～令和6年度)、1,000千円以上(令和7年度～)
（随意契約・維持修繕を除く）

(2) 工事監察、工事現場安全パトロール

工事の施工途中の現場について施工体制や安全対策の確認や指導を行った。

年度	工事監察	工事現場パトロール	計
令和6年度	3件	7件	10件
令和7年度	10件	16件	26件

※工事監察：低入札調査基準価格を下回る価格で落札した工事等の施工状況を評価するもの。

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

完成検査等の実施により、適正な成果物の引渡しを受けることができた。

今後も継続して工事等の品質確保に努めていく。

事業名	財産管理費（繰越明許）	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	6目 財産管理費 ）	決算書	68 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					7,184	【7,247】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	7,184			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 旧新湊中学校跡地分筆登記業務委託 隣接する市道の拡幅工事に当たり、境界確認及び登記手続を行った。 委託期間　令和7年7月1日～8月20日 委 託 料　837千円	完了	当該業務により、その後の市道拡幅工事が支障なく施工された。
2 南太閤山地区擁壁修繕工事 南太閤山12・15丁目の法面擁壁に生じたひび割れの補修工事を実施した。 工　期　令和7年8月20日～10月17日 契約額　1,760千円	完了	法面擁壁を修繕することにより、当該地区の安全性の向上に寄与した。

事業名	財産管理費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	6目 財産管理費 ）	決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			34,808	【47,876】	36,821	【43,391】		【38,287】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	5,862	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	0	0	36,821			
	財産売払収入		28,946		0				

令和7年度は、工事移転補償金の支払いが大きかったことによる。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 普通財産の管理及び処分 土地建物を維持管理するとともに、未利用財産の貸付を行った。 また、未利用不動産の利活用を促進するため、売却等の条件を整備した。 〈売却条件整備等〉 ・ 登記業務委託 委託期間　令和8年1月13日～3月31日 委 託 料　1,354千円 〈土地売払収入〉 ・ 法定外公共物売払　　18件　　22,605千円　（用地課） 〈土地貸付収入〉 ・ 普通財産貸付（無償貸付含む）　　198件　　8,720千円	継続	市有地（普通財産）を適正に管理するとともに、貸付を行った。 引き続き、売却条件の整備に努めるとともに、未利用市有地の活用に向けた庁内連携を強化し、積極的な情報発信により売却促進に努める。

事業名	庁舎等管理費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費 ）	決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			827,518	【860,094】	470,053	【480,522】		【486,615】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度は、公共施設マネジメント推進費（令和7年度新設）の分が計上されていたことによる。
	使用料・手数料	繰入金	4,050	5,000	4,330	3,000			
	国庫支出金	諸収入	36,876	11,181	0	11,164			
	県支出金	市債	151	0	147	0			
	財産運用収入	一般財源	0	770,260	0	451,412			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 公共施設の省エネルギー推進事業 民間提案による公共施設の省エネルギー化と財政負担の軽減を図った。 (1) 市庁舎（立体駐車場）への太陽光発電設備の設置 ・ 契約期間 令和6年4月1日～令和26年3月31日 ・ 契 約 額 91,656千円 ・ 令和7年度賃借料 4,583千円 (2) 大島分庁舎へのＥＶ充放電設備の設置 ・ 契約期間 令和6年10月1日～令和11年9月30日 ・ 契 約 額 10,200千円 ・ 令和7年度賃借料 2,040千円	継続	引き続き、公共施設の省エネルギー化に努める。

事業名	契約管理費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費 ）	決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,485	【7,932】	2,209	【2,210】		【2,169】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	2,485	0	2,209			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 入札、契約事務の適正な執行

(1) 入札状況

項目	令和6年度		令和7年度	
工事	239件	6,286,954千円	166件	8,483,791千円
一般競争入札	103件	5,376,873千円	81件	7,800,779千円
指名競争入札	136件	910,081千円	85件	683,012千円
委託	110件	1,018,760千円	110件	687,503千円
物品	56件	398,254千円	40件	337,346千円

(2) 低入札価格調査制度　工事入札　3件（工事入札全体166件のうち1.8%）
委託入札　2件（委託入札全体110件のうち1.8%）

(3) 総合評価方式　工事入札 21件（工事入札全体166件のうち12.7%）

(4) 電子入札　電子入札システム　運用サービス利用料　1,698千円
入札　316件（入札全体316件のうち100%）

2 電子契約の運用

令和6年10月から電子契約を導入し、電子契約が可能である業者と電子契約を締結した。
〈電子契約サービス利用料〉 364千円
〈電子契約実績〉 737件

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

公平・公正な制度の運用に努めるとともに、入札結果の公表等を行うことで透明性を高め、適正に入札契約事務を執行した。
また、全ての入札案件を電子入札で実施した。
引き続き、入札契約事務を適正に執行していく。

継続

電子契約の導入業者とは、パソコン上で契約締結を行え、契約事務の効率化につながっている。
引き続き、電子契約での締結を進めていく。

事業名	公共施設マネジメント推進費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費 ）	決算書	68 ページ	担当部課	財務管理部公共施設マネジメント推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					372,539	【374,764】		【384,424】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			令和7年度から公共施設マネジメント推進費が新設されたことによる。（令和6年度同目内財産管理費及び庁舎等管理費）
	使用料・手数料	繰入金			0	100,000			
	国庫支出金	諸収入			9,893	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	262,646			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 公共施設包括管理業務委託の実施 維持管理業務の品質向上と業務効率化を図るとともに、巡回員による速やかな修繕対応や定期点検により、適切な施設の維持管理に努めた。（保守点検等業務の市内受注率：令和2年度まで 38.4% → 令和7年度末 46.5%） ・委 託 先 日本管財（株） ・委託期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日（60か月） ・対象施設 市内公共施設 105施設 ・委 託 料 1,194,500千円 ・令和7年度実績額 270,901千円	継続	引き続き、適切なメンテナンスにより安全性の向上を図りつつ、第2期（令和9～13年度）の業務委託に向けた準備を進め、更なる公共施設マネジメントの推進につなげていく。
2 民間提案制度の実施 民間事業者から、公共施設及び未利用市有地等の利活用や維持管理について市民サービス向上、地域経済活性化及び財政負担の軽減などに資する提案を通年募集した。年2回の審査会を開催し、応募があった2提案全てを採択した。 【採択提案】車両管理の合理化提案・有料老人ホームを核とした地域コミュニティ創出事業 ・審査委員会（8、2月開催） 報償費 26千円	継続	業務改善に係る提案、未利用市有地の活用に関する提案を採択することができた。 提案者との協議が整った提案から事業化を図るとともに、引き続き、本制度を活用していく。
3 公共施設の省エネルギー推進事業 民間提案による公共施設の省エネルギー化と財政負担の軽減を図った。 (1) 公共施設21か所に節水器具を設置（令和4年度採択） ・契約期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日 ・契 約 額 19,470千円 ・令和7年度賃借料 3,894千円 (2) 公共施設20施設の照明ＬＥＤ化と1施設の空調効率化（令和4年度採択） ・契約期間 令和6年4月1日～令和16年3月31日 ・契 約 額 282,480千円 ・令和7年度賃借料 28,248千円 (3) 公共施設7施設の照明ＬＥＤ化と2施設の空調設備更新（令和4年度採択） ・契約期間 令和6年4月1日～令和21年3月31日 ・契 約 額 369,270千円 ・令和7年度賃借料 24,618千円	継続	照明のＬＥＤ化や太陽光発電等省エネルギー事業を実施し、エネルギーコストの低減に寄与した。 引き続き、設置器具や導入設備を適正管理していく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
4 旧放生津小学校跡地施設の利活用検討事業 令和9年度からの利活用に向け民間事業者を対象としたサウンディング型市場調査を実施し、その結果等を参考に「放生津小学校跡地施設利活用事業事業者募集要項」を作成・公表し、運営予定事業者（事業パートナー）を募集した。 ・ 市民ワークショップ等の開催　3回　　委託料　　990千円 ・ ニュースレターの発行　2回　　印刷製本費　　42千円	継続	マルシェイベントや市民ワークショップ等の開催により地域及び民間事業者のニーズを把握するとともに情報共有を図り、事業者募集要項に反映することができた。 今後は選定した運営予定事業者（事業パートナー）とともに、事業化に向けた調査等を進めていく。
5 指定管理者支援金（物価高騰対策№1）【交付金※】 指定管理者に対して光熱費高騰相当分に対する支援を行った。 ・ 市内公共施設の指定管理者（13施設） ・ 支援金　10,474千円	完了	指定管理者におけるエネルギー価格高騰分を支援することで施設の安定した運営を維持した。

事業名	企画推進費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費 ）	決算書	68 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課 企画管理部未来創造課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			66,441	【67,944】	72,387	【75,803】		【75,618】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	1,300			新たに小杉地区まちづくりコーディネーター（地域おこし協力隊）を1名任用したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	66,441	0	71,087			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 市重点事業要望 本市の重点事業を推進するため、国・県に対し要望することにより、事業の進捗に寄与した。 <令和7年度実施（令和8年度分要望）> 区分 / 新規 / 継続 / 再要望 / 新規・継続・再要望 / 新規・継続 / 合計 要望件数 / 7件 / 21件 / 8件 / 2件 / 1件 / 39件 区分 / 採択 / 一部採択 / 未採択 / 合計 措置結果 / 20件 / 12件 / 7件 / 39件 <令和6年度実施（令和7年度分要望）> 区分 / 新規 / 継続 / 再要望 / 新規・再要望 / 新規・継続 / 継続・再要望 / 合計 要望件数 / 5件 / 18件 / 8件 / 1件 / 1件 / 2件 / 35件 区分 / 採択 / 一部採択 / 未採択 / 合計 措置結果 / 14件 / 14件 / 7件 / 35件	継続 39件の要望に対し、太閤山ランド及び海王丸パークの賑わい創出、都市再生計画の推進（小杉地区）のほか、液状化対策の推進など20件が採択され、一部採択が12件となるなど、本市の重点事業の推進に効果があった。 引き続き、国・県等関係機関に対し要望を実施していく。
2 とやま呉西圏域都市圏ビジョンの推進 第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョン（令和3年度～令和7年度）に基づき、呉西6市で連携を図りながら事業を推進した。 また、第3期とやま呉西圏域都市圏ビジョン（令和8年度～令和12年度）を令和8年2月に策定した。 指標項目 / 基準 令和2年度 / 実績 令和7年度 / 目標 令和9年度 呉西圏域連携事業のうち、目標を達成した事業の割合 / 50.0% / 66.7% / 80.0%	継続 引き続き、呉西6市との連携を深めながら、第3期とやま呉西圏域都市圏ビジョンの推進を図る。
3 地域おこし協力隊（まちづくりコーディネーター）の任用 地域住民との交流やまちづくり活動への参画を通じ、エリアの魅力向上を図る地域おこし協力隊員を2名配置した。 （新湊地区まちづくりコーディネーター、小杉地区まちづくりコーディネーター）	継続 活動を通じて地域の魅力発信、地域内外の交流の促進を図ることができた。 今後も活動を継続して実施していく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
4 高等教育機関と連携した学生が参画するまちづくりの推進 (1) 射水ユースクリエイト 地域のまちづくりに関心のある学生や高校生で組織し、市の魅力発信や地域の賑わい創出の取組を企画・実施した。 ・ メンバー　18人（富山県立大学、富山大学、富山高等専門学校、金沢星稜大学、大門高校、新湊高校等） ・ 高校・大学の枠を超えて学生が集まり交流するイベント「とやま青春物語」を開催（参加者25人） ・ 金沢市で地域活性化を目指して活動する「かなざわユースプロジェクト」との意見交換を実施 ・ 氷見市の高校生向けスペース「ひみリベ。」の視察及び代表との意見交換を実施 ・ 地域活動等にボランティアや運営スタッフとして参加（カレーなる秋の収穫祭、ＬＩＮＫ　ＰＡＲＫ） (2) いみず学生アイデアコンテスト 学生の意見を生かしたまちづくりを推進するため、地域課題の解決に向けた提案を学生から募集し、提案発表を行った。 優秀賞3組については、実証実験補助金（上限10万円）を交付し事業の効果検証等を行い、参考とすべき提案や発想については、市の施策検討の参考とした。 ・ 応募総数 18件（うち6件の提案について、外部審査員を含めた審査会を開催、うち3件が実証実験） (3) 市内県立高等学校との連携 各高等学校の提案に基づく連携推進事業を実施し、連絡会議の中で成果発表と意見交換を行った。 <令和7年度の連携推進事業 9事業> ・ 新湊高等学校：新湊を照らそう、「地域の課題を解決！」、地域貢献プロジェクト～『地域のつながりを大切に』～ ・ 小杉高等学校：射水地域で暮らす私たちが取組む課題の発見と研究、探究活動（物理分野「日常や自然現象について物理的視点から考える」社会科学分野「若者が住みたい・住みやすい射水市」） ・ 大門高等学校：Ｌｅｔ’ｓ トライ ＩＭＩＺＵＳＨＩ健康8、学生のための相談機関を作る、詐欺防止アプリ開発、防災デジタルマップ制作 <令和7年度の連携事業補助金 3校 236,323円>（１校あたりの補助金上限100千円） ・ 各校が実施する連携事業の取組を支援するため、必要な経費に対して連携推進事業補助金を交付した。	継続	学生の目線による本市の魅力発信や地域課題の解決に学生のアイデアを生かすなど、学生との連携によるまちづくりを推進した。 引き続き、多くの学生が活動・交流する機会を創出し、学生によるまちづくりを推進していく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
まちづくりに参画した学生・生徒の数	437人	363人	600人
学生・生徒からの政策提案の数	17件	27件	20件
学びの地域拠点の設置数（累計）	-	0件	5件
指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和5-7年度	令和5-9年度
高等教育機関との連携事業数（累計）	1件	19件	25件

事業名	交流推進費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費 ）	決算書	68 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			21,413	【24,398】	16,067	【18,546】		【21,286】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度に実施した友好提携5周年記念式典及び士林区修学旅行受入に係る費用の減による。
	使用料・手数料	繰入金	0	500	0	500			
	国庫支出金	諸収入	1,076	841	908	793			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	18,996	0	13,866			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 国際交流業務委託 国際交流員を配置し、市内小学校での国際理解授業、市民への英会話講座の開催のほか、翻訳業務の対応や、ケーブルテレビを介した日本と海外の文化の紹介等に取り組んだ。 委 託 先 ㈱インタラック関東北 委 託 期 間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料 5,231千円	継続	市民の国際理解の推進につながった。引き続き、事業を実施するとともに、事業内容の充実を図る。
2 射水市民国際交流協会の活動支援 (1) 語学講座や国際理解講座等の開催 ・ 語学講座の開催（英語初級30人、英語中級27人、英語上級23人） ・ 異文化体験交流会 ・ 国際交流ひろば ・ 台湾魅力発見講座 ・ 国際理解講座インドネシア編、モンゴル編 ・ 英語ｄｅクッキング ・ 英語でおしゃべり交流会	継続	市民の国際感覚の醸成や外国人住民への理解の促進につながった。引き続き、国際交流協会と連携し、外国人住民も参加できる事業の充実に努めるなど、多文化共生のまちづくりを推進していく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
多様な価値観の理解に関する講座等の参加者数	142人	247人	200人

(2)（公財）とやま国際センターや富山情報ビジネス専門学校など関係団体と連携した取組
(3) 太閤山日本語グループ及びしんみなとコスモスによる活動への支援

3 射水市外国人ヘルプデスクの設置【国1/2】 ・ 外国人住民の医療や福祉、子育て、教育等の生活に関する情報提供及び相談を多言語、ワンストップで受け付けた。 令和7年4月～令和8年3月 相談者225人、相談件数245件 委 託 先 射水市民国際交流協会 委 託 期 間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料 1,824千円	継続	外国人ヘルプデスク設置により相談窓口を充実させ、日本人住民も外国人住民も共に暮らしやすいまちづくりにつながった。 引き続き、外国人住民からの相談や困りごとに適切に対応するとともに、日本の制度やルールを理解してもらうことで日本人住民の不安解消につながるよう取り組んでいく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
外国人相談窓口利用件数	375件	245件	1,000件
多文化共生キーパーソン登録者数	20人	30人	50人

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>4 姉妹都市・友好都市との交流
(1) 長野県千曲市、北海道剣淵町との交流
児童・生徒が宿泊体験や野外活動を通じて交流を深めたほか、互いに特産品の販売を行い、姉妹都市をＰＲした。
(2) 台北市士林区との交流
・ 地域おこし協力隊（国際交流コーディネーター）の任用
・ 第5回台湾フェアの開催（会場：アイザック小杉文化ホール　ラポール）
・ 市内小中学校、高等学校、専門学校とのオンライン交流（堀岡小学校と士林国民小学校、小杉南中学校と士林国民中学校、新湊高等学校と百齢高級中学校、富山情報ビジネス専門学校と東呉大学）
・ 台湾出身のインフルエンサーによる士林区を含めた台湾へ市の魅力発信
<table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和7年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>交流事業参加者数</td><td>229人</td><td>1,231人</td><td>400人</td></tr></table></td><td>継続</td><td>姉妹都市と特産品や各種団体等を通じた交流を進めることができた。
また、士林区と本市小中高校及び高等教育機関とのオンライン交流を行った。
引き続き、多方面での交流を促進していく。</td></tr>
<tr><td>5 出会いの場の創出
射水市婚活サポーターズクラブ主催の婚活イベントや市補助金を活用した民間団体によるイベントの開催を支援し、結婚を望む方に出会いの場を提供した。
<table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和7年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>出会いイベント等参加者数</td><td>84人</td><td>89人</td><td>120人</td></tr></table></td><td>継続</td><td>出会いイベントの内容を充実させ、より多くの出会いの場の提供に寄与した。
引き続き、結婚を希望する方の成婚につながるよう取り組む。</td></tr>
</table>

事業名	移住・定住促進事業費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費 ）	決算書	68 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			148,227	【168,333】	158,191	【160,479】		【147,349】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	2,000	0	1,100			いみず住まい等応援事業補助金等の申請が増加したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	5,500	0	3,500			
	国庫支出金	諸収入	0	8,281	0	5,366			
	県支出金	市債	5,892	0	5,062	0			
	財産運用収入	一般財源	0	126,554	0	143,163			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 移住・定住促進事業

(1) セミナー・相談会等への参加

オンラインでの移住セミナーや東京での移住相談会に参加して本市の魅力をＰＲし、移住検討者からの相談を受けた。

<オンラインでの移住セミナー、東京での移住相談会>

- とやま移住セミナー（オンライン開催。5月、8月、2月に参加）
- 富山くらし・しごとフェア（6月（19組相談）、8月（12組相談）、1月（9組相談）に東京で開催）
- 北陸3県くらし＆しごとフェア（11月（10組相談）に東京で開催）
- 北陸新幹線沿線5県移住フェア（12月（7組相談）に東京で開催）

(2) 呉西6市連携による事業展開

移住・定住トータルサポート事業

<対面型移住相談イベントへの6市共同出展>

- おいでや‼ いなか暮らしフェア2025（7月（9組相談）に大阪で開催）
- ふるさと回帰フェア2025（9月に東京で開催（7組相談））
- ＪＯＩＮ移住・交流＆地域おこしフェア2025（11月に東京で開催（4組相談））

(3) 移住情報発信事業

移住促進、関係人口創出を図るためのマッチングサイト（スマウト）を活用し、移住情報を発信した。

- 事業費　1,056千円

(4) 移住交流促進事業補助金

移住交流施設の管理・運営を行うＮＰＯ法人に対して助成した。

- 事業費　450千円

<施設利用者数>　（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

施設名	宿泊日数	利用者数
ほうじょうづ	160日	147人

(5) 空き家利活用の促進

固定資産税納税通知書に空き家利活用に関するチラシを同封し、射水市空き家等情報バンクへの登録を促した。

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

地方移住への関心が高まっている中、オンラインでの移住セミナーや東京・大阪での相談会に参加しながら、移住検討者からの相談対応や、いみず住まい等応援事業補助金等の支援制度を周知するなどの取組を行った結果、市外からの移住者数は前年度から66人増加し、407人となった。

引き続き、移住と空き家利活用の相談窓口「＃みらいシテン射水」による移住や空き家利活用に関するサービスをワンストップで提供しながら、移住先として選んでもらえる施策により一層取り組んでいく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
2 移住・定住の促進を図る各種補助事業 (1) 若者世帯の定住促進を図る家賃等の補助 ア 結婚新生活支援事業補助金【県2/3】 これから夫婦として新生活をスタートする世帯を対象に結婚に伴う新生活にかかる費用（住居費やリフォーム費用、引越費用）の支援を行った。（上限：29歳以下600千円、39歳以下300千円） ・ 10件　2,426千円（令和6年度　20件　5,194千円） イ 若者世帯定住促進家賃補助 新婚世帯・転入世帯・子育て世帯に対し、民間賃貸住宅の家賃に対する支援を行い、若者世帯の定住促進を図った。（上限20千円/月、最大24か月） ・ 33件　5,828千円（令和6年度　34件　5,807千円） <新規受付実績>	見直し	いみず住まい等応援事業補助金の活用が増えたこと等により、市外からの移住者数の増加につながった。 令和8年度からの住宅取得に関する補助金については、いみず住まい等応援事業補助金と指定宅地取得支援を統合することで申請者の負担軽減を図るとともに、国の補助金との併用を認めるなどの見直しを行った。 引き続き、各種補助制度の周知や、空き家等情報バンクの活用促進に努め、移住・定住促進及び人口流出対策を着実に実施していく。

年度	令和6年度	令和7年度
新婚世帯	20件　(20件)	10件　(7件)
子育て世帯	2件　(2件)	11件　(4件)
転入世帯	4件	0件

※転入世帯は新婚世帯や子育て世帯には該当しない場合の件数を表す。
また、（　）内の件数は転入世帯（内数）を表す。

(2) 指定宅地取得支援
市が指定する未利用地を購入した者に対し、土地取得費の一部を助成（取得した土地面積×2,600円/㎡（上限600千円）を3か年に分けて助成）することで、子育て世帯をはじめとする定住人口の増加と良好な住宅環境の形成を図った。
・ 112件　21,341千円（令和6年度　106件　20,288千円）
<新規受付実績>

年度	令和6年度	令和7年度
新規受付件数	39件	37件

(3) いみず住まい等応援事業補助金
市外からの転入に伴い新築住宅を取得された方や、市民も含め空き家を購入された方が定住される場合に、住宅取得費用を補助し、子育て世帯をはじめとする定住人口増加の促進を図った。（上限2,000千円（令和6年能登半島地震の被災者で罹災証明書が半壊以上の世帯の場合は上限3,000千円））

	令和6年度	令和7年度
空き家利活用事業	15件　9,479千円 （うち被災世帯　6件　6,179千円）	12件　7,200千円 （うち被災世帯　3件　3,700千円）
新築等取得事業	101件　87,400千円 （うち被災世帯　1件　1,500千円）	113件　101,300千円 （うち被災世帯　5件　8,100千円）

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
(4) その他の補助金 ア 移住支援金【県2/3】 3件　3,600千円（令和6年度　4件　2,400千円） イ 明日の射水を担う若者定住助成金 16件　1,381千円（令和6年度　13件　1,085千円）	

指標項目	基準	実績	目標
	H30-R2平均	令和7年度	令和9年度
移住相談窓口や制度を活用した市外からの移住者数	100人	407人	150人

指標項目	基準	実績	目標
	H30-R4平均	令和7年度	令和9年度
空き家等情報バンクや補助制度等を利用した空き家の利活用数	33件	46件	80件

事業名	連携中枢事業費（広域型大学連携研究事業）	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	7目 企画費 ）	決算書	68 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,092	【2,520】	1,775	【2,520】		【2,510】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	1,726	0	1,477			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	366	0	298			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 広域型大学連携研究事業 とやま呉西圏域調査研究事業補助金により、大学等が行う地域課題解決に向けた調査研究（4件）に対して支援した。 ・ 有効な移住・定住施策について（人口動態の分析と事例研究） ・ 空き店舗における持続可能なサービス実現に向けたイノベーション創出の実証的研究（継続） ・ 二拠点居住の契機となりうる交流人口増加に関する基礎的研究-氷見市姿地区における賑わいづくり- ・ 内川地区の次世代都市化基盤となる建設に向けた社会的・文化的・空間的調査	継続 呉西圏域内の地域課題の共有と解決に向けた調査研究が行われた。呉西6市の事業担当者を対象とした調査研究事業の報告会を年度内に開催し、各市の課題解決への活用や新たな政策立案等の参考とした。 令和8年度からスタートした都市圏ビジョンにも引き続き事業を位置づけており、呉西6市の課題解決に向けた高等教育機関との連携を強化していく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
とやま呉西圏域調査研究事業の地域課題への提案件数(累計)	52件	81件	90件

事業名	地方創生推進費（繰越明許）	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	7目 企画費 ）	決算書	68 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					348	【1,000】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	348			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 内川未来戦略関連事業 内川のブランド価値の向上を実現し、地域経済の好循環を生み出すための戦略等を検討するため「内川未来戦略会議」を開催した。また、各種団体の内川の景観をテーマにした講演会の開催に対して支援した。	継続	内川未来戦略に掲げたビジョン「わざわざ暮らしたい奇跡の湊町、内川」の実現に向け、今後、官民が連携して各事業に取り組んでいく。

事業名	地方創生推進費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	7目 企画費 ）	決算書	68 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			110,297	【180,552】	128,477	【165,854】		【139,404】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	2,000	0	2,000			新しい地方経済・生活環境創生交付金事業（誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト）の実施計画に基づく事業の進捗による。（計画期間：令和6年度～令和8年度）
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	39,307	0	61,780	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	68,990	0	64,697			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト【国1/2】 ⑴新しい暮らし方への挑戦応援 ア 中小企業支援・交流の拠点整備運営支援事業 市内中小企業の経営支援や市内学生と中小企業との交流による新たなビジネスチャンスの獲得を支援するため、ビジネス支援センターを運営した。 ・ビジネス支援センター運営業務委託 委 託 先 （株）北陸銀行、（株）サーキュレーション、（株）ＡＴＯＭｉｃａ 委 託 期 間 令和6年12月25日～令和9年3月31日 委 託 料 29,700千円 ・学生と企業の交流事業業務委託 委 託 先 （株）トワクル 委 託 期 間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料 3,947千円	継続	誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクトについては、新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用した3か年事業の2年目として、⑴新しい暮らし方への挑戦応援では、中小企業支援、空き店舗調査、事業承継支援、女性の働き方支援、エリアリノベーションまちづくり、移住・空き家相談などを行い、相談・支援体制の構築及び支援サービスの充実につながった。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
イ　市内商店街空き店舗調査事業 　商店街等の空き店舗の件数及び状況等を把握し、利活用の可能性や空き店舗対策の基礎資料とするための調査を行った。 ・商店街空き家店舗等調査業務委託 委　託　先　　射水市商工会 委 託 期 間　　令和7年7月28日～令和8年3月13日 委　託　料　　2,497千円 ウ　空き店舗（事業承継希望者）と創業希望者とのマッチング事業 　市内中小企業等が事業承継に積極的に取り組む機運の醸成や、企業が円滑に承継できる環境を整備するため、事業承継マッチングに必要なサービスを提供した。 ・事業承継マッチング支援事業業務委託 委　託　先　　（株）ライトライト 委 託 期 間　　令和7年11月11日～令和8年3月31日 委　託　料　　2,886千円 エ　女性の多様な働き方支援事業 　女性をはじめとした市民の多様な働き方を支援するため、市内企業に対しては業務切り出しや外注化の支援、就労希望者に対してはビジネススキル習得を支援した。 ・射水市女性等の多様な働き方支援業務委託 委　託　先　　（株）Ａｓｉａｎ　Ｂｒｉｄｇｅ 委 託 期 間　　令和7年7月31日～令和8年3月19日 委　託　料　　5,500千円 オ　内川周辺エリアリノベーションまちづくり推進事業 　空き家の増加が進んでいる内川周辺エリアにおいて、地域課題の解決とエリアの価値向上を図るため、空き家のリノベーションにより新たに事業を生み出す民間プレイヤーの発掘を図るスクールや講演会等を開催した。 ・内川周辺エリアリノベーションまちづくり総合プロデュース業務委託 委　託　先　　（株）リノベリング 委 託 期 間　　令和7年7月9日～令和8年3月24日 委　託　料　　16,386千円 カ　移住・空き家トータルサポート事業 　民間のアイデアやノウハウを活用して移住や空き家利活用の促進を図るため、移住検討者や空き家利活用希望者をサポートするワンストップ窓口を運営したほか、20代の若者が集まる同窓会イベントを東京都内で開催した。 ・移住・空き家トータルサポート業務委託 委　託　先　　（一社）とやまのめ 委 託 期 間　　令和6年8月1日～令和9年3月31日 委　託　料　　16,499千円 ・25歳のいみずの同窓会開催業務委託 委　託　先　　（一社）とやまのめ 委 託 期 間　　令和7年10月27日～令和8年3月13日 委　託　料　　865千円	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
キ　ウォーカブルなまちづくり推進事業 市民に対するイタリア文化の認知度向上及び国際交流の基盤づくりとするため、「イタリアの食」をテーマにしたイベント等を開催した。 ・いみず「イタリアの食」魅力フェア補助金 交　付　先　　いみず「イタリアの食」魅力フェア実行委員会 事 業 期 間　　令和7年10月10日～令和8年2月19日 交 付 金 額　　2,376千円		
⑵エリア外の人の関心を集める風土づくり ア　内川周辺のエリア発信事業 優れた景観への誘導を促進し、景観デザインの観点からエリアの価値向上を図る「内川周辺まちなみづくり構想」に基づき、観光案内看板の盤面デザインの更新や市観光協会ホームページの刷新に合わせ内川に特化したページを作成した。 ・内川周辺観光案内看板盤面デザイン作成及び内川サイト作成業務委託 委　託　先　　（一社）射水市観光協会 委 託 期 間　　令和7年12月1日～令和8年3月27日 委　託　料　　1,790千円 イ　魅力的なまちなみ形成事業 魅力的なまちなみを形成、誘導、維持するためのガイドラインの作成と補助制度の検討を行った。 ・内川まちなみづくりガイドライン策定支援業務委託 委　託　先　　（一社）射水市観光協会 委 託 期 間　　令和7年7月18日～令和8年3月18日 委　託　料　　4,980千円 ⑶新たな人流を生み出す地域交通の確保 ア　電気自動車によるＡＩデマンド型地域公共交通の実証運行事業 自家用車に頼らないまちづくりと新たな人流の創出を目的として、電気三輪自動車及び電動カート等の実証運行を内川周辺を含む射水ベイエリアで実施した。 ・べいぐるん実証運行検証業務委託 委　託　先　　海王交通（株） 委 託 期 間　　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委　託　料　　18,370千円 ・べいぐるんシステム運行支援業務 委　託　先　　ネクスト・モビリティ（株） 委 託 期 間　　令和7年9月1日～令和8年3月31日 委　託　料　　1,531千円 ・電動カート等管理運営事業補助金 交　付　先　　海王交通（株） 事 業 期 間　　令和7年4月1日～令和8年3月31日 交 付 金 額　　1,198千円	継続	⑵エリア外の人の関心を集める風土づくりでは、内川周辺エリアの情報発信やまちなみづくりのガイドラインを策定し、エリアの価値向上に向けた風土づくりに寄与した。 ⑶新たな人流を生み出す地域交通の確保では、ＡＩデマンド型地域公共交通や電動キックボードの実証運行を行い、地域交通の維持・充実化につながった。 引き続き、国の交付金を活用しながら、新たな人の流れを創出し、持続可能な活力ある地域を作り上げていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
・レンタカー等地域クーポン券事業業務委託 委　託　先　　射水商工会議所 委 託 期 間　　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委　託　料　　250千円 イ　電動キックボード等の新しい移動手段の実証運行事業 太閤山地区リノベーション計画に掲げた「地域交通の維持・充実」を図るため、手軽に移動できる手段のひとつとして、電動キックボードの導入に向けた実証実験を実施した。 ・電動キックボード実証実験業務委託 委　託　先　　（株）Ｌｕｕｐ 委 託 期 間　　令和7年4月22日～11月28日 委　託　料　　2,382千円		
2 富山県スポーツによる関係人口の創出と地域活性化プロジェクト【国1/2】 ⑴水鉄砲を使ったニュースポーツ大会の開催 射水市の市名にちなみ、「水を射る」をコンセプトとした水鉄砲を活用した対戦型ニュースポーツ大会を開催した。市内外から参加された方々同士の交流促進や関係人口の創出等による地域活性化を図った。また、県内のプロスポーツ選手を招聘することで話題性を創出し、イベントの認知度向上につなげた。さらに、競技の様子等を編集したプロモーション動画を制作・発信し、射水市の認知度向上につなげた。（動画再生回数376万回） ・射水市認知度向上イベント企画・運営業務委託 委　託　先　　（株）日本旅行　ＴｉＳ富山支店 委 託 期 間　　令和7年7月15日～令和8年2月27日 委　託　料　　9,900千円	継続	富山県スポーツによる関係人口の創出と地域活性化プロジェクトについては、新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用した県連携事業として実施し、スポーツを通じた関係人口の創出だけでなく、県内外への射水市の認知度向上にもつながった。 今後は、ふるさと住民登録制度など国の関係人口の創出に向けた取組を注視しながら、引き続き関係人口の創出及び地域活性化に取り組む。

事業名	電算管理費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 8目 行政情報推進費 ）	決算書	69 ページ	担当部課	企画管理部ＤＸ推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			224,475	【227,364】	247,354	【252,373】		【266,097】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度中のペーパーレス推進環境構築のリース料が令和7年度から12か月分となった。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	202	0	544			
	県支出金	市債	3,876	0	4,129	1,500			
	財産運用収入	一般財源	0	220,397	0	241,181			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 スターリンク衛星通信システムの導入 災害など非常時のインターネット通信の確保と、平常時の来庁者向けフリーＷｉ－Ｆｉとして整備した。 ・スターリンク衛星通信システム導入及び庁内フリーＷｉ－Ｆｉ環境導入委託 委 託 期 間　令和7年4月1日～5月31日 委　託　料　1,662千円	完了	災害時に備え、インターネット通信の冗長化を図るとともに、来庁者向けのフリーＷｉ－Ｆｉの整備を行った。
2 ペーパーレス推進環境構築 （１）庁舎内の内部業務系端末に仮想ブラウザ、顔認証の導入とＷｉ－Ｆｉ環境の整備を行った。 契 約 期 間　令和6年10月～令和11年9月（60か月） 契 約 金 額　148,104千円 令和7年度実績額　29,621千円 （２）保育園・幼稚園等の出先施設の内部業務系端末に、仮想ブラウザ・顔認証の導入を行った。 契 約 期 間　令和7年10月～令和12年9月（60か月） 契 約 金 額　46,926千円 令和7年度実績額　4,693千円（6か月） ※仮想ブラウザ：内部業務系端末をインターネット空間に直接繋がずに仮想上でインターネットを閲覧できる仕組み	継続	ペーパーレス推進に向けた環境整備に取り組み、引き続き端末や印刷に要する経費の削減、業務効率化に努める。

事業名	ＤＸ推進事業費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 8目 行政情報推進費 ）	決算書	69 ページ	担当部課	企画管理部ＤＸ推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			299,896	【306,115】	164,288	【172,967】		【543,693】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			自治体システムの統一・標準化が延伸されたことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	152,356	0	33,147			
	県支出金	市債	0	0	0	12,100			
	財産運用収入	一般財源	0	147,540	0	119,041			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 ＤＸの推進 令和3年度に策定したＤＸビジョンの推進期間が令和7年度末で終了することから、ＤＸ体験イベントや富山県立大学の学生と市職員によるワークショップ等を実施し、第3次総合計画で構成するライフステージに合わせ、ＤＸで目指す10年後の未来の姿を描いた「射水市ＤＸビジョンＶｅｒ.2.0」を策定した。	継続	新たなＤＸビジョンにおいては、ＤＸの効果をより多くの分野に拡充させ、更なる市民サービスの向上につなげることとした。 引き続き、推進本部やワーキンググループで施策を検討していくとともに、関係機関と連携しながらＤＸの推進に取り組んでいく。
2 自治体システムの統一・標準化 自治体システムの標準化に向け、各種作業（データ移行、初期設定等）を行った。 ・ 富山県市町村共同利用型自治体クラウドサービス標準化対応業務委託 委託期間 令和7年4月1日～令和8年3月26日 委 託 料 48,229千円 ・ 富山県市町村共同利用型クラウドサービス標準化対応に係るデータ抽出業務 委託期間 令和7年4月1日～令和8年3月26日 委 託 料 4,279千円	継続	スケジュールの見直しに対応しつつ、引き続き、県内市町村共同で準備を進めていく。
3 生成ＡＩサービス導入事業 庁内業務の効率化、負担軽減を図り、職員がコア業務に注力できる環境を整備した。 ・ 生成ＡＩサービス提供業務 委託期間 令和7年5月15日～令和8年3月31日 利 用 料 990千円	継続	議事録の要約やアイデア創出、各種文案の作成など、業務効率化が図られた。引き続き、庁内業務の効率化に向け、多様なシーンで利用を促していく。

事業名	行財政改革等推進費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	9目 行財政改革等推進費 ）	決算書	69 ページ	担当部課	企画管理部ＤＸ推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,096	【5,151】	6,562	【6,656】		【6,646】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			業務改革支援等業務委託を執行したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	5,096	0	6,562			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 業務改革支援等業務委託

「業務改革（ＢＰＲ）」を推進するため、職員研修やワークショップ形式でのＢＰＲの検討により、職員が主体的にＢＰＲの手法を用いて業務改革に取り組む仕組みの構築（「ＢＰＲの自走化」）に向けた今後の取組につなげた。

委　託　先　　(株)ガバメイツ
委 託 期 間　　令和7年4月1日～令和8年3月31日
委　託　料　　6,490千円

(1)ＢＰＲワークショップ

今後の取組を見据え、まずは庁内におけるＢＰＲモデルを確立するべく、先行的に2つの業務を選定し、(株)ガバメイツの伴走支援を受けて実業務での改善を検討し、その検討過程や成果を報告会等を通じて庁内に共有した。

・開催日　令和7年5月27日、8月21日、9月30日の全3回にわたり実施

対象事業名	担当課	業務改善の成果
障害福祉サービス支給決定業務	社会福祉課	面談業務における生成ＡＩを活用した電子化を図り、年間132時間の業務削減（見込み）につなげた。
保育園等入園業務	子育て支援課	ＡＩ－ＯＣＲを活用した申請処理の電子化や事務手順の見直しを行い、年間233時間の業務削減（見込み）につなげた。

(2)職員研修

研修名	実施日	受講対象者	参加者
管理職研修（マインド研修）	令和7年5月27日	課長及び班長	46人
業務手順書整備相談会	令和7年8月21日、9月30日	希望する職員	10人
ＢＰＲワークショップ報告会	令和8年2月5日	係長以下の職員	27人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

業務改革支援ツールを導入し、全庁的に業務手順書の精緻化を図ることで更なる業務の可視化を進めるとともに、ＢＰＲの実践に向けた取組においては、職員研修によりマインドの醸成を図り、また、ワークショップでは実業務でのＢＰＲを実施することで、今後の取組の展開に必要となる成功体験や知見を獲得することができた。

令和8年度は、庁内での「ＢＰＲの自走化」確立を見据え、令和7年度のワークショップで得られたノウハウを活用し、各課が1業務以上の業務改善に取り組む「全庁一斉改善運動」を展開し、業務効率化とサービスの向上を進めていく。

事業名	地域振興費（繰越明許）	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					3,256	【3,256】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	3,256			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 公民館建設等補助金【一部地震】 自治会等が社会教育及び地域活動の振興を図るため、その拠点となる集会施設の修繕に要する経費に対して補助を行い、自治会活動の推進を図った。 ・ 修繕 1件 ・ 能登半島地震の被害に伴う修繕 1件	完了	集会施設の修繕に対して補助を行うことで自治会活動の拠点整備を支援することができた。

事業名	地域振興費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			14,822	【19,762】	31,900	【33,559】		【9,873】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	2,000	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	20,000			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	12,822	0	11,900			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 射水市地域振興会連合会の活動支援 射水市地域振興会連合会の運営に対して補助を行い、富山県自治会連合会及び各地域振興会との連絡調整の円滑化、活力ある地域づくりの推進を図った。 ・ 地域振興会連合会の活動状況 総　　会 ：令和7年6月2日 役 員 会 ：6回（令和7年4月24日、6月2日、8月1日、9月26日、令和8年1月20日、3月26日） 理 事 会 ：5回（令和7年6月2日、8月1日、9月26日、令和8年1月20日、3月26日） 視察研修 ：令和7年8月27日～28日　愛知県北名古屋市、岐阜県郡上市 市制20周年記念講演会 ：令和8年2月7日 演題「二十歳の射水市・千数百歳の射水郡その実力とこれからの協働・共創」 講師　㈱日本総合研究所主席研究員　藻谷浩介氏 ※市制20周年みんなでお祝い事業補助金採択事業	継続	射水市地域振興会連合会の活動を通じて、地域振興会相互の連携及び関係諸団体との連絡協調を強化し、地域活動の推進を図った。 引き続き、地域の発展及び活力ある地域社会の実現に取り組んでいく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
2 公民館建設等補助金【一部地震】 自治会等が社会教育及び地域活動の振興を図るため、その拠点となる集会施設の建設等に要する経費に対して補助を行い、自治会活動の推進を図った。 ・ 新築　1件（令和6年度　2件） ・ 修繕　9件（令和6年度　3件） ・ 能登半島地震の被害に伴う修繕　1件（令和6年度　19件） （一財）自治総合センターからの助成金（コミュニティセンター助成） ・ 新築　1件	継続	集会施設の建設等に対して補助を行うことで自治会活動の拠点整備を支援することができた。 引き続き、支援を継続し、自治会活動の推進に取り組んでいく。
3 自治会掲示板設置等補助金 自治会等が地域住民へ各種周知広報を行うため、掲示板の設置への補助を行い、円滑な自治会活動の推進を図った。 ・ 1件　40千円（令和6年度　1件）	継続	掲示板設置への補助を行うことにより、自治会活動の推進を図った。 引き続き、支援を継続し、自治会活動の推進に取り組んでいく。
4 自治会・町内会活動のデジタル化の推進 自治会等が地域住民へ各種周知広報を行うため、電子自治会アプリ「結ネット」導入への補助を行い、円滑な自治会活動の推進を図った。 ・ 結ネット体験ワークショップの開催　5回開催　参加者35人 ・ 新規補助団体数　5団体（令和6年度　8団体） ・ 導入団体数（令和7年度末時点）　46団体	継続	結ネットの導入を検討している自治会等を対象とした体験ワークショップを開催し、新規導入団体数が増加した。 引き続き、導入支援を継続するとともに、導入団体へのフォローアップを行い、導入団体の増加と地域活動の推進を図っていく。

事業名	協働のまちづくり推進費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			156,643	【157,821】	189,270	【191,080】		【174,936】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			賃金単価の上昇に伴う地域型市民協働事業の事業費の増による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	156,643	0	189,270			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 地域型市民協働事業交付金

27の地域振興会に交付金を交付し、地域の課題解決に向けた各種事業の取組を推進した。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
地域型市民協働事業数	36件	36件	40件

2 地域提案型市民協働事業補助金

地域による自主的なまちづくりを推進するため、地域振興会から提案のあった新規2事業（外 継続4事業）を採択し、事業実施を支援した。

＜令和7年度実施事業＞

事業名	団体名	区分
脳トレで一生青春「いきいき長寿　新湊」	新湊地域振興会	新規
みんなでアート！～児童生徒と地域住民による大型作品づくり～	三ケ地域振興会	新規
みんなで考えよう！自主防災の必要性！	放生津地域振興会	継続
みんな集まれ七美こども神輿	七美地域振興会	継続
学童バス停の花壇設置による笑顔いっぱい運動事業	水戸田地域振興会	継続
橋下条歴史書作成事業	橋下条地域振興会	継続

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

各種事業を推進し、地域の実情に合った協働事業を実施することができたが、各地域振興会において、地域活動を行う担い手の確保が大きな課題となっている。

引き続き、地域と対話し、過度な負担とならないよう配慮しながら柔軟に取り組んでいく。

継続

市民協働事業の実施により、地域ごとの課題の解決や、地域に合ったまちづくりを推進することができた。

引き続き、地域の自主性を尊重した協働のまちづくりを推進していく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 公募提案型市民協働事業補助金 各種団体の専門性・先駆性などの特性を生かした提案を採択し、事業実施を支援した。 なお、令和7年度は、市制20周年を記念した公募提案型市民協働事業として、新規8事業（外 継続2事業）を支援した。 ＜令和7年度実施事業＞	継続	市制20周年を契機に、本市の魅力の再認識と郷土愛の醸成を図るとともに、市内全体で節目を祝う機運づくりにつなげた。 引き続き、提案団体の特性を生かした協働のまちづくりを推進していく。

事業名	団体名	区分
射水市制20周年記念　少年野球大会	射水市少年野球連盟	新規
ママたちに届ける産前産後ケア	Ｈａｐｐｙ ♡ 産後ケア Ｆｒｏｍ いみず	新規
制服循環プロジェクト　「つなぐ」 不要になった制服・学用品を次の子供たちへつなぐ・住みよい地球を未来の子どもたちへ繋ぐ	とやま制服循環プロジェクト協議会	新規
日本一おいしいフェスへの第一歩～「いみずのさかな」を全国へ～	とやま湾フェスティバル実行委員会	新規
射水市芸文祭「早春のつどい」	射水市芸術文化協会	新規
ＩＭＩＺＵ　ＣＲＯＳＳ　～つなぐ射水の未来～	射水商工会議所青年部	新規
第4回のじた総踊り街流し納涼祭＆テックボールで金メダリストを射水から（北澤カップ）	のじた総踊り街流し納涼祭実行委員会	新規
放生津地区獅子舞演舞会	越中祭青年会	新規
シンボルツリーのもとで集う 大・学園祭	小杉まちづくり協議会	継続
みんなで祝う いみず20周年 みんなで目指す いみず30周年『ＳＰＥＣＩＡＬ　ＬＩＮＫ　ＰＡＲＫ　ＩＭＩＺＵ　20ｔｈ　ａｎｎｉｖｅｒｓａｒｙ～祝20周年 そしてその先へ～』	射水まちづくりネットワーク	継続

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
4 協働のまちづくりを担う人材の育成 (1) 射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～ まちづくりへの関心を高める事業を実施し、担い手となる人材の発掘・育成を図った。 ・ 実施回数　2回、参加者数　延べ36人 (2) 射水まちづくりセミナー まちづくりに役立つスキル等を学ぶ機会を提供し、まちづくり実践者のスキルアップやネットワーク形成を図った。 ・ 実施回数　2回、参加者数　延べ45人 (3) ＮＰＯ法人等連携強化事業 多様な主体による市民協働のまちづくりを推進し、射水市内で活動するＮＰＯ法人及びまちづくり関係団体を対象として連携の強化を図った。 ア　まちづくり関係団体連絡会議の開催 ・ 実施日：＜講演会＞令和7年10月19日　参加者数　15人（参加団体6団体） イ　射水まちづくり関係団体活動展 ・　実施日：令和8年3月2日～3月31日、出展団体　18団体 ウ　まちづくり談話室の開催 ・ 実施回数　12回、参加者数　延べ179人	継続	まちづくりについて考え、参画するきっかけを参加者に提供することができた。 引き続き、協働のまちづくりを担う多様な人材や団体の育成に取り組んでいく。

事業名	コミュニティセンター管理運営費（繰越明許）	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					1,868	【1,868】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	1,868			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 水戸田コミュニティセンター排煙装置等修繕 水戸田コミュニティセンターの排煙装置及び敷地境界フェンスの修繕を実施した。 工　期　　令和8年1月15日～3月23日 契約額　　858千円 2 大島コミュニティセンター柱上高圧気中開閉器等更新工事 大島コミュニティセンターの高圧電力の引き込み柱に設置されている気中開閉器等を更新した。 工　期　　令和7年7月31日～10月31日 契約額　　803千円	完了	施設の安全性や機能維持に必要な修繕・更新工事を実施し、利用者が安心して利用できる環境の維持につなげた。引き続き、適切な施設の管理運営を実施していく。

事業名	コミュニティセンター管理運営費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			209,051	【215,013】	207,836	【208,829】		【320,735】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	1,930	0	1,379	200,000			
	国庫支出金	諸収入	0	1,070	0	1,254			
	県支出金	市債	0	30,700	0	2,500			
	財産運用収入	一般財源	0	175,351	0	2,703			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 コミュニティセンターの指定管理 全て(27地域)のコミュニティセンターに指定管理者制度を導入し、各地域振興会が地域の実情に合わせ、効果的・効率的に施設の管理運営を行った。 〈令和7年度指定管理の状況〉 ・ 指定管理施設　24施設 ・ 直営施設　　3施設（七美、池多、中太閤山）	継続	指定管理者である各地域振興会と協議しながら、円滑な施設の管理運営を行うことができた。 引き続き、適切な施設の管理運営を実施していく。
2 大集会室空調設備設置工事実施設計 塚原・南太閤山コミュニティセンター大集会室空調設備設置工事設計業務委託 利用者の快適で安全な活動環境を確保するため、新たに集会室に空調設備を設置するための実施設計を行った。 委託期間　　令和7年5月20日～9月12日 委 託 料　　2,541千円	継続	実施設計を基に令和8年度は空調設備設置工事を実施する。

令和6年度に海老江コミュニティセンターの空調設備更新工事を実施したことによる。

事業名	コミュニティセンター整備事業費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			13,984	【14,000】	167,953	【395,214】		【21,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			池多コミュニティセンター大規模改修工事を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	12,500	0	151,600			
	財産運用収入	一般財源	0	1,484	0	16,353			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 池多コミュニティセンター大規模改修工事 個別施設計画に基づき、老朽化が著しいコミュニティセンターについて、長寿命化を図る大規模改修工事を実施した。 (1) 建築主体工事 工　期　令和7年6月26日～令和8年4月13日 契約額　277,750千円（うち令和7年度支出額：166,650千円） (2) 電気設備工事 工　期　令和7年6月5日～令和8年4月13日 契約額　34,100千円（うち令和7年度支出額：0円） (3) 機械設備工事 工　期　令和7年6月2日～令和8年5月1日 契約額　47,787千円（うち令和7年度支出額：0円） (4) 改修工事監理 工　期　令和7年6月2日～令和8年4月9日 契約額　10,945千円（うち令和7年度支出額：0円） (5) 建築主体付帯工事 工　期　令和8年3月17日～4月13日 契約額　7,810千円（うち令和7年度支出額：0円） (6) 電気設備付帯工事 工　期　令和8年2月6日～4月13日 契約額　1,991千円（うち令和7年度支出額：0円） (7) 機械設備付帯工事 工　期　令和8年3月25日～5月1日 契約額　5,170千円（うち令和7年度支出額：0円）	継続	池多コミュニティセンターの改修工事に着手し、令和8年6月の供用開始に向けて着実に施工を進めることができた。
（繰越明許費　227,261 千円） ・事　業　名　池多コミュニティセンター大規模改修工事及び備品購入等 ・完 了 時 期　令和8年8月		

事業名	市制20周年記念事業費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					5,299	【5,489】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	100			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	5,199			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果

1 射水市制20周年記念事業

(1)射水市制20周年記念式典等の開催

ア　射水市制20周年記念式典

令和7年11月1日、高周波文化ホールにて式典を開催し、約600人が出席した。

イ　市政特別功労者表彰

永年にわたり、多額の寄附を通じて本市に多大なる貢献をされた田中産業（株）に対し、市政特別功労者表彰を授与した。

ウ　「未来の射水市」作文コンクール

市内小学校4年生を対象に「未来の射水市」をテーマとした作文を募集し、応募総数401点の中から選ばれた最優秀賞受賞作品を記念式典内で発表・表彰した。

エ　射水市制20周年記念特別感謝状

市勢伸展に寄与する団体において功績が顕著であった方及び多額の寄附をいただいた方54人に対し、特別感謝状を贈呈した。

(2)名誉市民功績紹介パネルの制作・展示

射水市名誉市民13人の功績を紹介するパネルを制作し、巡回展示を行った。

展示期間	展示場所
令和7年11月1日	高周波文化ホール（市制20周年記念式典会場）
令和7年11月21日～12月5日	新湊博物館
令和7年12月5日～令和8年1月6日	クロスベイ新湊
令和8年2月10日～3月3日	中央図書館
令和8年3月12日～3月27日	市庁舎エントランスホール

評価と今後の方向性（担当課意見）

完了

市制20周年に合わせて記念行事等を実施し、節目の年を市民とともに祝うとともに、これを機に更なる飛躍と発展に向けて歩み出す機運を醸成した。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）

(3)射水市制20周年みんなでお祝い事業

市制20周年の盛り上げを図ることを目的とし、市内団体等が自ら企画し実施する8事業に対し、補助を行った。

事業名	団体名
第13回射水ケーブルネットワーク杯健康麻将交流大会	ＮＰＯ法人健康麻将越中ひばり会
世界が選ぶ射水　～外国人目線から見た射水のよさ～	ＮＧＯダイバーシティとやま
海竜マリンフェスタ　～海にひらく、20年のありがとう～	射水市ヨット協会
ふらっと誕生25周年＆射水市誕生20周年記念イベント	ＮＰＯ法人ふらっと
田んぼ地域を彩るアート『射水市市制20周年』田んぼフラワーアート	(株)ファーム沖塚原
射水市制20周年記念・ひまわり迷路	公立大学法人富山県立大学
射水市制20周年記念・アランマーレ富山ホームゲーム	アランマーレ富山
射水市制20周年記念　射水市地域振興会連合会記念講演	射水市地域振興会連合会

事業名	交通安全対策費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交通安全対策費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			8,297	【9,001】	8,813	【9,503】		【9,623】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	330	0	389	0			
	財産運用収入	一般財源	0	7,967	0	8,424			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 交通安全教室の開催

広く市民を対象とした交通安全教室を52回（受講者4,950人）開催し、交通安全知識の普及及び交通安全意識の高揚を図った。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
交通事故死者数	3人	2人	0人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

令和4年度（基準年度）と比べて交通事故死者数が減少した。

引き続き、交通事故死者数ゼロを目指し、交通安全教室や交通安全キャンペーンを実施するなど啓発に努めていく。

事業名	駐車場・駐輪場管理費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交通安全対策費 ）	決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1,975	【2,346】	3,939	【4,273】		【2,457】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			市営駐車場及び自転車等駐車場の照明灯ＬＥＤ化工事を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	453		452	0			
	国庫支出金	諸収入		1,293	0	1,293			
	県支出金	市債			0	1,400			
	財産運用収入	一般財源		229	0	794			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市営駐車場の指定管理 / タイムズ24（株）（令和6年4月1日～令和9年3月31日） 市営駐車場に指定管理者制度を導入し、効果的、効率的に施設の管理運営を行った。 指定管理施設　市営駐車場7か所	継続	指定管理者と協議しながら、円滑な施設の管理運営を行うことができた。 引き続き、適切な施設の管理運営を実施していく。
2 市営駐車場・自転車等駐車場照明灯ＬＥＤ化工事 利用者の安全な環境を確保するために、市営駐車場・自転車等駐車場照明灯のＬＥＤ化工事を実施した。 (1) 小杉駅東駐車場照明灯ＬＥＤ化工事 工　期　令和7年9月30日～10月31日 契約額　154千円 (2) 太閤山5・6丁目駐車場照明灯ＬＥＤ化工事 工　期　令和7年10月15日～12月31日 契約額　814千円 (3) 大島駐車場照明灯ＬＥＤ化工事 工　期　令和7年10月21日～令和8年2月28日 契約額　200千円 (4) 越中大門駅前自転車駐車場照明灯ＬＥＤ化工事 工　期　令和7年10月30日～12月31日 契約額　803千円	完了	照明灯のＬＥＤ化工事を実施し、施設の環境改善を図った。

事業名	地域交通対策費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 13目 地域交通対策費 ）	決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			60,370	【64,184】	49,998	【263,424】		【37,666】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度に射水市地域公共交通計画の策定が完了したこと及び燃料価格高騰対策支援事業費補助金等の減による。
	使用料・手数料	繰入金	98	0	530	0			
	国庫支出金	諸収入	4,617	27	8,504	20			
	県支出金	市債	1,395	0	0	1,700			
	財産運用収入	一般財源	0	54,233	0	39,244			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 小杉駅南口駅舎管理運営事業 鉄道利用者の利便性を確保するため、小杉駅南口駅舎の管理運営を行った。 委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料　1,062千円	継続	今後も鉄道利用者の利便性を確保するため、適切に管理運営を行う。
2 経営安定基金 並行在来線の第三セクター会社(あいの風とやま鉄道㈱)に係る安全対策等への投資や運賃値上げの抑制等、利用者の利便性を確保するための拠出を行った。	継続	今後も並行在来線の利用者の利便性の確保及び経営の安定化に資するため、負担金を拠出する。
3 燃料価格高騰対策支援事業費補助金（民間路線バス、タクシー、鉄道）（物価高騰対策№2）【交付金】 燃料価格高騰の影響を受ける民間路線バス事業者、市内タクシー事業者及び鉄道会社に対して、燃料費高騰分の費用443千円を支援した。 ・ 路線バス事業者（2社）　33千円 ・ タクシー事業者（2社）　123千円 ・ 鉄道会社（1社）　287千円	完了	燃料価格の高騰により経営に影響が生じた民間路線バス事業者、タクシー事業者及び鉄道会社に対して燃料費の一部を補助することで事業継続を支援した。 今後も、状況に応じて、支援を検討する。
4 バス路線維持費等特別補助金（物価高騰対策№3）【交付金】 物価高騰により運行経費に係る欠損が拡大している路線バスを維持するため、民間路線バス事業者に対して支援を行った。 ・ 路線バス事業者（2社）　8,060千円	完了	民間路線バス事業者に対し運行経費の一部を補助することで運行本数の維持を支援した。 今後も、状況に応じて、支援を検討する。
（繰越明許費　208,830 千円） ・事　業　名　小杉駅南口こ線橋及び南口駅舎改修設計業務（5,830千円） 完了時期　令和9年1月22日 ・事　業　名　越中大門駅エレベーターこ線橋新設工事補助金（203,000千円） 完了時期　令和9年3月31日		

事業名	コミュニティバス運行費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域交通対策費 ）	決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			379,418	【384,000】	476,248	【488,508】		【529,229】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			「のるーと射水」の北西・南西エリアの運行開始に伴う初期費用等の増加による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	120,000			
	国庫支出金	諸収入	34,951	15,091	58,715	22,053			
	県支出金	市債	29,887	0	22,028	0			
	財産運用収入	一般財源	0	299,489	0	253,452			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 地域内循環交通の運行体制整備【国、県】

地域内循環交通として、デマンドタクシー、べいぐるん、地域あいのり移動支援実証事業（令和7年10月31日終了）及び「のるーと射水」を運行した。「のるーと射水」は、市内全域での運行となるよう令和7年9月1日から北西・南西エリアにおいて、コミュニティバスの一部路線及びデマンドタクシーから置換して運行を開始した。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
地域内循環交通の運行体制整備件数	3件	7件	8件

2 コミュニティバス等運行事業【国、県】

コミュニティバス（通年12路線、冬期のみ3路線）、デマンドタクシー（大門地区）、のるーと射水（南東・北東・北西・南西エリア）を運行した。

年度別コミュニティバス等乗車人数

区分	コミュニティバス	のるーと射水	デマンドタクシー	合計	対前年比	対元年比
令和元年度	375,770	-	15,278	391,048	93.4%	-
令和5年度	379,564	1,095（※）	8,954	389,613	99.6%	99.6%
令和6年度	277,652	105,154	8,536	391,342	100.4%	100.1%
令和7年度	243,709	141,413	3,009	388,131	99.2%	99.6%

※南東エリア実証運行（コミュニティバスとの並行運行）を除く。

3 燃料価格高騰対策支援事業費補助金（コミュニティバス、「のるーと射水」）（物価高騰対策№4）【交付金】

燃料価格高騰の影響を受けるコミュニティバス、「のるーと射水」運行事業者（4社）に対して、燃料費高騰分の費用を支援した。

・ 事業費　265千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

「のるーと射水」について、新たに北西・南西エリアにも導入したことで、市内全域での運行体制を整備した。

引き続き、地域の実情・特性に応じた地域内交通の確保を図っていく。

継続

令和7年9月から市内全域での「のるーと射水」の運行を開始し、運行の効率化と利便性の向上につなげた。

引き続き、利用実態等を踏まえ、利便性と持続可能性が両立した運行を図っていく。

完了

燃料価格の高騰により経営に影響が生じたコミュニティバス及び「のるーと射水」運行事業者に対して、燃料費の一部を補助することで経営の安定化につなげた。

今後も、状況に応じて、支援の実施を検討していく。

事業名	万葉線対策費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域交通対策費 ）	決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			169,144	【171,040】	130,176	【142,140】		【152,890】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度にＩＣカードシステムの開発及び導入作業が完了したことに伴う補助金の減による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	28,601	0	132	0			
	県支出金	市債	0	43,300	0	31,500			
	財産運用収入	一般財源	0	97,243	0	98,544			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 万葉線維持対策補助金交付事業

万葉線㈱に対して、施設整備や運行費用の補助を行い、安全で安定した運行の確保や利便性の向上、経営の安定化を図った。

(1) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金
- 線路設備〔重軌条化〕（海王丸－東新湊間）
  〔ゲージタイ設置〕（東新湊－中新湊間）
- 信号保安設備〔信号警報灯・踏切遮断機更新〕（西新湊構内）
- 電路設備〔電柱更新〕（中伏木構内、中新湊構内）

(2) 車両保存費補助金
- 台車、制御装置、空調設備等、重要な部分の定期検査

(3) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金対象外事業費補助金
- 高岡駅溝レール肉盛溶接、庄川口駅・中伏木駅井戸及び消雪配管更新、西新湊変電所詳細検査ほか

(4) 万葉線運行費補助金
- 万葉線事業者の負担を軽減し、万葉線の経営安定化を図った。

(5) ＩＣカード保守管理費補助金
- ＩＣカードシステムの保守管理

(6) 万葉線安全運行対策補助金
- 1000型車両の定期検査材料購入・車輪購入、7074号車体外板補修・ラッピング張替ほか

年度別利用者数

区分	年間乗車人数	対前年比	対元年比
令和元年度	1,135,583人	95.3%	-
令和6年度	1,089,688人	101.8%	96.0%
令和7年度	1,219,708人	110.7%	107.4%

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

万葉線の安全で安定した運行の確保や利便性の向上、経営の安定化につなげた。

今後も引き続き、支援を行っていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
2 燃料価格高騰対策支援事業費補助金（物価高騰対策№5）【交付金】 燃料価格高騰の影響を受け、厳しい経営状況にある万葉線運行事業者に対し、燃料費の高騰分の費用を支援した。 ・ 事業費　　132千円	完了	燃料価格の高騰により経営に影響が生じた万葉線㈱に対して、燃料費の一部を補助することで経営の安定化につなげた。 今後も状況に応じて、支援を検討する。
（繰越明許費　　11,535 千円） ・事　業　名　令和7年度車両保存費補助金 ・完 了 時 期　令和8年5月21日		

事業名	防犯対策費（繰越明許）	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	14目 防犯対策費 ）	決算書	72 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					3,027	【3,033】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	3,027			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 防犯カメラ設置事業（防犯カメラ設置工事費） 小杉駅周辺（北口ロータリー、広場駐車場、南口ロータリー、地下道）、越中大門駅周辺（自転車駐車場東側・西側）、清水公園（庄川右岸水害予防倉庫付近公衆トイレ）の市内の3か所（7台）に防犯カメラを設置した。	継続	防犯カメラ設置により、安全で安心なまちづくりを推進した。 今後も、地域の要望や警察の意見等を踏まえ、設置を行っていく。

事業名	防犯対策費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	14目 防犯対策費 ）	決算書	72 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			9,373	【12,689】	7,321	【7,628】		【12,140】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	24	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	9,349	0	7,321			
	財産売払収入		0		0				

令和6年度に防犯カメラの設置を前倒ししたことによる。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 防犯対策事業 広く市民を対象とした防犯意識の普及啓発活動に加え、青色回転灯装着車によるパトロールなどの地域が主体となった防犯活動を支援し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進した。 ・ 青色回転灯防犯パトロール活動団体	継続	市民の防犯意識の高揚を図る啓発活動をはじめ、防犯活動に対する支援を行い、安全で安心なまちづくりを推進した。 引き続き、関係団体と連携し、防犯対策の推進に取り組んでいく。

	団体数	車両台数
令和7年度末	20団体	19台

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	331件	347件	270件以内

事業名	防災対策費（繰越明許）	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	15目 防災対策費 ）	決算書	72 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					3,178	【3,649】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	3,178			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 令和6年能登半島地震検証結果を踏まえた事業 沿岸部を中心に、電柱に設置している海抜表示板を更新した。従来の海抜表示に加え、津波の想定浸水深を追記、津波ハザードマップが確認できるよう二次元コードを表示した。（201か所）	継続	検証結果を踏まえ、海抜表示板を拡充することで、住民の防災意識の高揚を図った。 令和７年度は、庁舎内に設置されているJアラート受信機を更改する業務等を繰り越す。

事業名	防災対策費	（ 2款 総務費	1項 総務管理費	15目 防災対策費 ）	決算書	72 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			46,706	【53,564】	84,200	【98,401】		【70,299】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	20,075	0	1,700			令和6年に実施した能登半島地震対応検証委員会の結果を踏まえ、各種事業を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	2	0	2	0			
	国庫支出金	諸収入	0	2,000	14,992	1,900			
	県支出金	市債	0	2,000	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	22,629	0	65,606			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 令和6年能登半島地震検証結果を踏まえた事業 (1)避難所初動運営キットの配備 避難所の開設・運営を円滑に行うため、避難所開設時に最低限必要な物品をまとめた避難所初動運営キット（ファーストミッションボックス）を第一次避難所に配備した。（71か所） (2)地域防災計画等の見直し 計画の実効性を高めるため、地域防災計画等の見直しを行った。 委 託 先 （株）建設技術研究所 富山事務所 委託期間 令和7年6月12日～令和8年3月24日 委 託 料 7,975千円	継続	検証結果を踏まえ、各種事業に取り組み、防災体制の構築を図った。 今後も引き続き、さらなる体制強化に向けた取り組みを推進していく。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>(3)避難所生活環境改善事業【国1/2】
避難所生活や運営の改善につなげるための資機材を整備した。
・避難者のプライバシーを確保するため、ベッド、ホワイトボード、テーブルに可変できる災害時対応型パーティション（54台）を購入し、各コミュニティセンターに2台ずつ配備した。
・健康被害防止及び避難所の衛生環境の確保を図るため、自動ラップ式トイレ一式（54台）及びワンタッチテント（64張）を購入し、各コミュニティセンターにそれぞれ2セット配備した。（残りテント10張は市集中管理）
・避難所への物資運搬の効率化を図るため、リフト付きトラックを1台整備した。
(4)被災者生活再建支援システム導入事業【国1/2】
被災認定調査、罹災証明書の発行、被災者台帳の管理を一元化し、迅速かつ公平な被災者の生活再建支援業務体制が確立できるシステムを導入した。</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2 地区防災計画策定促進、防災士養成推進
地域防災力を高め、災害に強いまちづくりを推進するため、出前講座等を実施し、地区防災計画の策定を促進した。
また、地域における防災リーダーの育成を目的に、県と連携して防災士の資格取得を支援した。
・防災士養成事業　8地域振興会において14人養成
<table>
<tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr>
<tr><th>令和4年度</th><th>令和7年度</th><th>令和9年度</th></tr>
<tr><td>地域振興会から推薦され資格取得した防災士数</td><td>86人</td><td>123人</td><td>136人</td></tr>
<tr><td>地区防災計画策定数</td><td>1地域振興会</td><td>11地域振興会</td><td>6地域振興会</td></tr>
</table></td><td>継続</td><td>地区防災計画の策定促進及び防災士の養成を推進することで地域防災力の底上げを図った。
今後も引き続き、地域の防災力向上に資する取組を推進していく。</td></tr>
<tr><td>3 災害用備蓄品等整備事業
市備蓄計画に基づき、避難所に配備する災害用備蓄品の整備を進めた。
食料（ビスケット等）、携帯トイレ、敷きマット、毛布</td><td>継続</td><td>災害用備蓄品を計画的に整備することができた。
今後も引き続き、発災への備えとして備蓄の充実に取り組む。</td></tr>
<tr><td>4 防災に関する市民啓発
地域防災力の向上及び市民の防災意識の高揚を目的に講演会や市政出前講座を実施した。
・防災講演会
<table>
<tr><th>開催日</th><th>開場</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td>令和8年1月24日</td><td>アイザック小杉文化ホール</td><td>約120人</td></tr>
</table>・市政出前講座
<table>
<tr><th>区分</th><th>回数</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td>災害に備えて</td><td>32回</td><td>約1,500人</td></tr>
</table></td><td>継続</td><td>防災講演会や市政出前講座を通じて、市民の防災意識の向上を図った。
今後も引き続き、さらなる意識向上に向けた取り組みを推進していく。</td></tr>
<tr><td>5 防災行政無線の基本計画
デジタル防災行政無線の更新にあたり、防災情報伝達方法のあり方について、総合的な観点から検討するため、基本計画を策定した。</td><td>継続</td><td>今後は、実施設計を行い、更新事業の適切な実施に向けて取り組む。</td></tr>
</table>

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
6 防災行政無線の運用管理 災害に関する情報を正確かつ迅速に伝達し、市民の安全安心の確保につなげる防災行政無線の運用管理を行った。 ・ 同報系無線設備 屋外拡声子局113局、戸別受信機250台 ・ 移動系無線設備 携帯型無線機150台、車載型無線機26台 ・ 防災情報システム エリアメールやホームページ、ケーブルテレビ等、複数の情報媒体を活用した情報伝達システム	継続	災害時の重要な情報伝達手段である防災行政無線（同報系・移動系）の点検整備を行い、確実な運用体制の確保に努めた。 今後も引き続き、災害時における情報伝達手段の確実な運用を図っていく。
7 ウクライナ避難者支援事業 ウクライナ避難者に対し、生活に必要な住宅や家財等を支援した。 家電製品・家財道具の貸与、上下水道料・医療費の免除等 事業費　434千円	継続	ウクライナ避難者の安定生活のため、家電製品貸与や上下水道料免除等の支援を行った。 引き続き、ウクライナ情勢や避難者の就労状況を考慮しながら、支援を行っていく。
（繰越明許費　12,890 千円） ・事　業　名　Jアラート受信機等更改業務 完 了 時 期　令和8年11月30日 ・事　業　名　防災行政無線移動系無線局再免許申請業務委託 完 了 時 期　令和8年6月30日		

事業名	賦課事務費	（ 2款 総務費 2項 徴税費 2目 賦課徴収費 ）	決算書	73 ページ	担当部課	財務管理部課税課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			162,638	【172,125】	160,149	【168,116】		【144,516】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度の法人市民税等の償還金が多額であったことによる。
	使用料・手数料	繰入金	3,832	0	3,916	0			
	国庫支出金	諸収入	0	107	0	115			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	158,699	0	156,118			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 市税の賦課

個人市民税、固定資産税、軽自動車税について、賦課決定し納税通知書を交付した。

納税通知書等送達　124,389件　（令和6年度　123,723件）

<内訳>　市県民税　45,722件　（令和6年度　45,473件）

固定資産税　39,181件　（令和6年度　39,160件）

軽自動車税　39,486件　（令和6年度　39,090件）

(1) 所得税・住民税の申告相談会の実施

適正申告推進のため、令和8年2月16日から3月16日までの間、相談会を開催した。

市民サービスの向上及び申告会場の混雑緩和を目的として、「いみずｅ-予約システム」によるＷＥＢ予約及び電話による事前予約など、予約しやすい環境の整備に努めた。

(2) 固定資産税賦課のための調査、資料収集

翌年度賦課に向けての調査、資料収集、地番・家屋図修正や次回評価替えの準備等を実施した。

ア 新増築家屋の調査及び評価（対象：1月2日から翌年1月1日までの間に完成した家屋）

・新増築家屋　416棟（令和6年度　322棟）

イ 土地の時点修正（令和7年7月1日時点）

令和8年度賦課に向けて、不動産鑑定士に鑑定依頼し、価格が下落した箇所の評価を修正した。

・下落修正地点　146地点（令和6年度　176地点）

ウ 令和9基準年度評価替えに向けての土地評価見直し

(ｱ) 標準宅地の鑑定評価業務委託事業

評価替えの基準日（令和8年1月1日）の標準宅地等の価格把握のため、不動産鑑定士に鑑定を依頼した。

委　託　先　（一社）富山県不動産鑑定士協会　外3者

委 託 期 間　令和7年9月25日又は10月15日～令和8年3月27日

委　託　料　28,418千円（4者合計）

(ｲ) 土地評価業務委託事業

3箇年業務の2年目は、路線価算定のための価格形成要因調査、路線区分の見直しの検討等を行った。

委　託　先　エアロトヨタ㈱富山支店

委 託 期 間　令和6年6月6日～令和9年3月19日

委　託　料　10,197千円（3か年総額　31,383千円）

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

資料収集・整理、調査等に努め、適正な課税につなげた。

引き続き、ＲＰＡ（業務プロセスの自動化）等デジタル技術を活用しながら、業務の効率化に努め、市民の利便性の向上につなげていく。

事業名	徴収事務費	（ 2款 総務費 2項 徴税費 2目 賦課徴収費 ）	決算書	73 ページ	担当部課	財務管理部収納対策課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			15,296	【17,830】	24,035	【30,126】		【25,912】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			Ｗｅｂ口座振替受付サービス導入事業を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	1,588	0	1,697	0			
	国庫支出金	諸収入	0	33	2,913	33			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	13,675	0	19,392			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 コンビニ・スマートフォン・共通納税納付事業 多様な納付環境を整備し、納税者の利便性の向上と利用の促進を図り、納付のキャッシュレス化につなげた。 (1) コンビニ納付 ・ 年間取扱件数 62,083件 （令和6年度 61,767件） ・ 年間取扱金額 969,300千円 （令和6年度 928,433千円） (2) スマートフォン納付 ※二次元コードによるスマートフォン納付は、共通納税に含まれる。 ・ 年間取扱件数 3,674件 （令和6年度 3,704件） ・ 年間取扱金額 65,183千円 （令和6年度 64,853千円） (3) 共通納税 ・ 年間取扱件数 50,226件 （令和6年度 46,477件） ・ 年間取扱金額 4,217,956千円 （令和6年度4,200,363千円）	継続	共通納税の対象税目が拡大していることから、今後も共通納税の利用の増加が見込まれる。 これまで整備してきた多様な納付環境も維持しながら、引き続き、納税者の利便性の向上を図っていく。
2 コールセンター事業 市税等未納者に対し、委託業者による早期納付勧奨の電話催告を実施し、徴収につなげた。 ・ 年間コール済件数 886件 ※税外分含む 委 託 先 （株）エスプールグローカル 委 託 期 間 令和7年6月1日～令和8年3月31日 委 託 料 2,327千円	継続	コールセンター事業は、自主納付の促進と長期滞納の抑止効果も期待できることから、引き続き、事業を実施し収納率の向上に努めていく。
3 口座振替受付サービス 市庁舎（収納対策課）の窓口において口座振替登録ができる「ペイジー口座振替受付サービス」に加え、自宅から口座振替登録ができる「Ｗｅｂ口座振替受付サービス」を令和7年10月から開始し、納税者の利便性の向上につなげた。 ・ ペイジー口座振替受付サービスによる登録件数 901件 （令和6年度 928件） ・ Ｗｅｂ口座振替受付サービスによる登録件数 212件 【国1/2】	継続	口座振替受付サービスは、納税者への利便性が高く、市の事務手続きの簡素化にもつながることから、引き続き、サービスを実施し、口座振替の推進を図っていく。

事業名	定額減税補足臨時給付金給付費	（ 2款 総務費	2項 徴税費	3目 定額減税補足臨時給付金給付費 ）	決算書	74 ページ	担当部課	財務管理部課税課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			721,660	【721,668】	303,010	【303,119】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度の調整給付に対する不足額を令和7年度に給付したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	721,660	0	303,010	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	0	0	0			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 定額減税補足給付金給付事業【国10/10】（物価高騰対策№6）【交付金】

令和6年度に実施した定額減税補足給付金（調整給付）の支給額に不足が生じた方に追加で給付（不足額給付）を行うことにより、物価高騰による経済的負担を軽減した。

申請期限	令和7年10月31日
送付件数	11,245件
支給件数	10,296件
支給率	91.6%

評価と今後の方向性（担当課意見）

完了

国の方針に基づき、給付金の支給についての広報、対象者への案内及び給付等を実施し、物価高騰による経済的負担の軽減を図った。

事業名	戸籍住民基本台帳費	（ 2款 総務費	3項 戸籍住民基本台帳費	1目 戸籍住民基本台帳費 ）	決算書	75 ページ	担当部課	市民生活部市民課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			82,989	【113,746】	88,279	【110,810】		【90,131】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			法改正に基づく戸籍への氏名の振り仮名記載に対応するため、システム改修のほか、氏名の振り仮名の確認通知書作成及び発送に伴う費用の増加による。
	使用料・手数料	繰入金	28,924	0	26,151	0			
	国庫支出金	諸収入	25,001	2,763	40,482	392			
	県支出金	市債	86	0	99	0			
	財産運用収入	一般財源	0	26,215	0	21,155			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 戸籍住民基本台帳事務事業

戸籍・住民票・印鑑証明・諸証明の交付、転入・転出等住民異動届、印鑑登録関係届、戸籍関係届の受理及び異動処理等を行い、適正かつ迅速な事務処理に努めた。また、各種証明書のオンライン申請受付、窓口での届出、申請書等を自動作成する窓口支援システムによる「書かない窓口」を運用し、市民の利便性向上を図った。

〈異動処理件数〉

区分	令和6年度	令和7年度
戸籍届出関係	3,954件	4,450件
住民異動関係	10,253件	10,656件
印鑑登録関係	3,206件	3,025件
合計	17,413件	18,131件

〈証明書の窓口交付〉

区分	令和6年度	令和7年度
戸籍関係	23,935件	21,255件
住民票関係	21,847件	18,925件
印鑑登録関係	11,061件	9,642件
その他証明	1,502件	1,341件
合計	58,345件	51,163件

〈「書かない窓口」を利用した届出、申請〉
・ 件数　57,839件（令和6年度　39,400件）

〈マイナンバーカードの交付〉
・ 交付件数　14,432件　（令和6年度　8,641件）

〈マイナンバーカードの電子証明書の期限更新〉
・ 更新件数　13,750件　（令和6年度　7,971件）

〈証明書のオンライン申請受付〉
・ 戸籍関係　　227件
・ 住民票関係　123件、印鑑証明　2件

〈証明書のコンビニ交付サービス〉
コンビニ交付サービスの周知やマイナンバーカードの普及に伴い交付件数が伸びた。
・ 交付件数　29,442件（令和6年度　27,376件）

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
コンビニ交付サービス利用率	20.9%	35.1%	35.0%

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

スマート窓口推進の取組として、マイナンバーカードを活用した各種証明書のオンライン申請受付、届出、申請書等を自動作成する「書かない窓口」を運用し、市民の利便性向上につながった。
引き続き、マイナンバーカードの普及及び窓口サービスの適正かつ迅速な事務処理に努めていく。

（繰越明許費　　7,348 千円）
・事　業　名　国外転出者のマイナンバーカードへの旧氏及び旧氏の振り仮名表記等に係るシステム改修【国10/10】
・完 了 時 期　令和9年3月

事業名	監査委員費	（ 2款 総務費 6項 監査委員費 1目 監査委員費 ）	決算書	78 ページ	担当部課	監査委員事務局

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,878	【3,217】	3,250	【3,791】		【3,059】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	2,878	0	3,250			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 監査等の実施

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業管理の監査等を下記のとおり実施した。

(1) 定例監査

市庁舎、出先機関等55か所、令和7年5月～令和8年2月　（令和6年度　55か所）

(2) 例月出納検査

一般会計・特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計　毎月1回　計12回　（令和6年度　12回）

(3) 財政援助団体等監査

出資団体、指定管理者等　5団体　6施設　（令和6年度　6団体　4施設）

(4) 決算審査

・ 一般会計、特別会計　令和7年7月18日～8月15日

・ 水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計　令和7年6月16日～8月15日

(5) 健全化判断比率等審査　（決算審査と同期間）

(6) 住民監査請求に基づく監査　0件　（令和6年度　0件）

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

法令等に基づき適正かつ正確に処理されているか、また経済性、有効性及び効率性の観点から監査を実施し、監査委員から改善等の意見が付された。

今後も、監査基準に従い、年間監査計画を定め、監査業務の計画的執行及び質的向上に努めていく。

3 款　民 生 費

事業名	民生児童委員活動費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費 ）	決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			17,737	【17,741】	17,879	【18,552】		【18,758】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	15,749	0	15,806	0			
	財産運用収入	一般財源	0	1,988	0	2,073			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 民生委員・児童委員関係費　　【県10/10（県負20千円、県補2,027千円、県委13,759千円）】

民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が行う活動を支援し、地域福祉の推進を図った。

・ 民生委員・児童委員　　229人（うち主任児童委員　20人）　任期 令和7年12月1日～令和10年11月30日

・ 民生委員児童委員協議会　15地区

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

令和7年12月の一斉改選において委員定数を確保することができた。引き続き、民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会の活動を支援する。

事業名	社会福祉団体等対策事務費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費 ）	決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			76,616	【80,623】	82,980	【84,252】		【74,773】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和7年度に実施した「いみず地域共生プランの中間見直しに係る計画策定支援業務委託」や、いのちのバトン及び避難行動支援事業において実績に基づく傾斜配分を導入したこと等による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	76,616	0	82,980			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 社会福祉協議会補助・委託関係費

(1) 地域福祉活動推進事業

要支援者の見守り等を行う「ケアネット活動」に係る経費を助成し、地域において要支援者が安心して生活できるまちづくりを進めた。

区分	令和6年度	令和7年度
チーム員数	446人	412人
利用者数	209人	185人
活動延べ回数	52,420回	45,453回

(2) ボランティア活動推進事業

社会福祉協議会が設置するボランティアセンターに係る経費を助成し、ボランティア活動の活性化に取り組んだ。

区分	令和6年度	令和7年度
福祉ボランティア団体数	86団体	99団体
福祉ボランティア団体所属人数	1,554人	1,898人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

いみず地域共生プランの中間見直しを適切に実施したほか、ケアネット活動や避難行動支援事業等を通じて地域見守り体制の充実を図り、要支援者の安心な生活確保に努めた。また、事業への傾斜配分導入により効率的な予算執行を図った。

今後は、いみず地域共生プラン中間見直しで定めた施策に基づき、市社会福祉協議会との連携を強化し、地域福祉の増進を図っていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）

(3) いのちのバトン・避難行動支援事業

要支援者の見守り及び緊急時、災害時等の情報提供に活用するため、「いのちのバトン」や「避難行動要支援者登録台帳」を整備した。

委　託　先　　（福）射水市社会福祉協議会
委 託 期 間　　令和7年4月1日～令和8年3月31日
委　託　料　　4,363千円

・ いのちのバトン配備数　　2,265件　（令和6年度　2,333件）
・ 避難行動要支援者登録者数　1,333人　（令和6年度　1,330人）

指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度（R4.3.31）	令和7年度	令和9年度
避難行動要支援者登録率	47.8%	45.6%	64.5%

2 いみず地域共生プラン中間見直しに係る計画策定支援業務委託

市の地域福祉を推進する指針である「いみず地域共生プラン」（令和3年度～令和12年度）について、「地域共生社会」の実現に向けた取組を一層深化するため、中間評価・見直しを実施し、当初の計画策定以降の社会情勢の変化や法改正、各種計画との整合性、国の動向なども盛り込みながら、計画と現状の乖離を修正した。

委　託　先　　(株)ジャパンインターナショナル総合研究所
委 託 期 間　　令和7年4月1日～令和8年3月31日
委　託　料　　4,840千円

事業名	ひきこもり支援対策費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費 ）	決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,494	【3,583】	3,460	【3,764】		【5,547】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,750	0	1,708	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	1,744	0	1,752			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）

1 ひきこもり支援推進事業【国1/2】

ひきこもり支援に携わる人材の養成、相談窓口の設置等のサポート事業を実施した。

委　託　先　　（福）射水市社会福祉協議会
相 談 件 数　　1,463件　　（令和6年度　1,059件）

継続

ひきこもり支援対策事業により当事者や家族の相談支援、地域の理解促進を図った。

引き続き、支援体制の充実や相談窓口の周知等を図る。

事業名	重層的支援体制整備事業費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費 ）	決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1,826	【5,265】	4,947	【6,794】		【6,421】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			参加支援事業における居場所づくりの実施箇所の増による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,045	0	1,351	0			
	県支出金	市債	522	0	675	0			
	財産運用収入	一般財源	0	259	0	2,921			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 重層的支援体制整備事業 【国1/2 県1/4】 (1) 多機関協働事業 支援機関等からつながれた、複雑化・複合化した支援ニーズや課題のある事例に対し、重層的支援会議等を開催し、支援プランに基づき支援を実施した。 ・ 支援世帯数 23世帯（新規相談数 20世帯） ・ 重層的支援会議、重層的支援個別会議、支援会議の開催 15回 ・ 支援プラン作成件数 11件 (2) 参加支援事業 既存事業では対応できない狭間のニーズに対応するため、関係機関との調整を実施し社会参加を支援した。 ・ 参加支援プラン作成件数 2件 (3) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 支援が届いていない人の情報を把握し、本人との関係性をつくるための丁寧な働きかけを行った。 ・ 地域からの情報等による支援対象者の相談件数 2件 ・ 新規プラン作成件数 2件 (4) 民生委員の活動環境整備事業 結ネットを活用し、民生委員間の連絡体制や、情報・資料共有の利便性向上を図った。 ・ 民生委員・児童委員の結ネット登録割合 88%	継続	多機関協働事業等を実施することによりチームでの支援を行った。また、支援関係機関相互の情報共有や意見交換がしやすい体制を整備し、地域支援ネットワークの構築を進めた。 引き続き、関係機関や地域と連携協働しながら、包括的な支援体制の整備に向け、社会資源が不足する分野の取組を計画的に推進していく。

事業名	福祉人材対策事業費	（ 3款 民生費　1項 社会福祉費　1目 社会福祉総務費 ）	決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課 福祉保健部社会福祉課 こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			758	【800】	5,812	【9,050】		【9,150】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			新たに福祉人材就労定着緊急支援事業を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	129	0	261	0			
	財産運用収入	一般財源	0	629	0	5,551			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護人材資格取得支援事業 市内の介護事業所に勤務する介護職員の処遇改善や介護の質の向上を目的とし、介護福祉士資格取得に必要な実務者研修の費用等を支援した。（上限10万円） ・介護福祉士国家試験合格者　6人（受験者6人）	継続	引き続き、資格取得を支援することで、介護の質を高めるとともに、介護職員の処遇改善を図っていく。
2 介護の魅力ＰＲ事業　【県1/2】 (1) 富山福祉短期大学との包括的連携事業 ・介護福祉士を養成する教育機関である富山福祉短期大学と介護人材の確保を目的とした取組を実施した。 (2) 介護施設で花を育てよう大作戦 ・将来の進路を考える小中高生に介護の仕事を知ってもらい、その魅力を伝えることを目的に、花の育成を通して介護施設利用者と児童・生徒との交流を図った。	継続	介護人材を確保するため、介護の魅力を発信していく。
3 福祉人材就労定着緊急支援事業 ・市内民間事業所に新たに採用され勤務する新卒及び潜在的有資格者に対し奨励金の支給を行うことで、正規職員の確保を目指し、加えて、一定の勤務年数を経過するごとに奨励金を支給するほか、市内に居住する者に対し奨励金を加算することで、事業所の就労定着と定住促進を図る目的で支援した。 〈１年目〉就労奨励金20万円+県内移住分20万円+市内移住者分10万円　1年目　最大50万円 〈3・5・7年経過後〉　継続就労奨励金5万円、継続定住奨励金5万円　7年間　最大80万円 【実績】1年目　20人（保育施設9人、介護施設8人、障がい福祉施設3人）	継続	人材を確保するため、有資格者の就労を支援していく。

事業名	新湊交流会館管理費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	2目 社会福祉施設費 ）	決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			15,346	【15,811】	12,433	【12,434】		【12,582】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			前年度に屋上防水工事を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	17	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	2,300	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	13,029	0	12,433			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 新湊交流会館の指定管理 ／ （株）技研サービス（令和4年4月1日～令和9年3月31日） 市民活動の活性化及び市民相互の交流促進のため、施設の適切な管理運営に努めた。 ・ 利用者数 12,104人 （令和6年度 12,304人） ・ 公共施設予約システムを活用し、利用者の利便性の向上を図っている。	継続	指定管理者制度のもと適切な施設運営を行い、市民の交流促進及び地域社会づくりに寄与した。 引き続き、地域の活性化及び市民相互の交流促進を図り、市民生活の向上及び住み良い地域社会づくりを推進していく。

事業名	市民交流プラザ管理費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	2目 社会福祉施設費 ）	決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			15,047	【15,067】	14,673	【14,822】		【15,112】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	6,810	0	6,696	0			
	国庫支出金	諸収入	0	661	0	660			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	7,576	0	7,317			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 いみず市民交流プラザの指定管理 ／ （株）技研サービス（令和6年4月1日～令和9年3月31日） 地域福祉の拠点としての機能や生涯学習及び市民交流の推進のため、施設の適切な管理運営に努めた。 ・ 利用者数 84,519人（令和6年度 77,256人）	継続	指定管理者制度のもと適切な施設運営を行い、市民の交流促進及び生涯学習に寄与した。 引き続き、指定管理者との連携を図りながら、更なる市民生活の向上及び地域の活性化に向けて、市民交流の場としての活用を推進する。

事業名	在宅福祉対策費	（ 3款 民生費　1項 社会福祉費　3目 老人福祉費 ）	決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課 福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			45,055	【48,297】	47,857	【49,122】		【54,259】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	2,500	0	1,000			在宅福祉介護手当の対象者増加や高齢者住宅改善支援事業の申請数増加、また、指定寄附金を活用した小型除雪機の購入などによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	5,165	0	6,148			
	県支出金	市債	3,159	0	3,235	0			
	財産運用収入	一般財源	0	34,231	0	37,474			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 在宅医療・介護・障がい福祉連携推進事業　【県3/4】 医療、介護及び障がい福祉サービスを必要とする市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、多職種による包括的かつ継続的な在宅医療を提供する体制を構築するため、医療関係者と介護・障がい福祉・消防関係者の連携を図った。 在宅医療・介護・障がい福祉連携推進協議会開催 ・ 年間1回　（令和6年度　年間1回）	継続	引き続き、多職種によるサービス提供体制の構築を推進し、在宅療養者の支援を継続していく。
2 外出支援サービス事業 (1) 移送サービス事業 公共交通機関等を利用することが著しく困難な高齢者等を対象に、医療機関への移送サービスを実施した。 ・ 利用者数　延べ1,080人　（令和6年度　延べ1,008人） 令和8年1月から、タクシー事業所と長距離迎車委託を締結した。（迎車距離5㎞以上を対象） 長距離迎車回数　233回（迎車距離計　2,024㎞） (2) 高齢者等車いす対応タクシー券交付事業 在宅要介護高齢者等の外出及び社会参加を促進するため、日常的に車いすを利用されている方に、タクシー利用券を交付した。 ・ 利用者数　339人　（令和6年度　361人）	継続	引き続き、要介護者やひとり暮らし高齢者の在宅における生活を支援するとともに、介護者の負担軽減を図っていく。
3 在宅福祉介護手当支給事業 要介護4、5に認定された高齢者を在宅で介護している方に介護手当（月額5,000円）を支給し、介護者の福祉の増進を図った。 ・ 支給者数　396人　（令和6年度　376人）	継続	引き続き、在宅での介護者への支援を継続し、介護負担を軽減することで在宅介護継続の推進を図る。
4 緊急通報装置設置事業 おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に緊急通報装置を貸与し、24時間体制での見守り、安否確認等を行った。 ・ 設置者数　78人　（令和6年度　93人）	継続	引き続き、ひとり暮らし高齢者等が在宅において安心して生活できるよう見守り体制を継続する。
5 小型除雪機の購入【寄附金】 ひとり暮らし高齢者世帯等の自宅敷地除雪支援体制を強化するため、小型除雪機を購入し高齢者軽度生活援助事業で請け負える作業内容の拡大を図った。 ・ 小型除雪機　2台（軽度生活援助事業の受託者[シルバー人材センター]に無償貸与）	完了	これまで、手作業では請け負えなかった接道距離の長い除雪作業も実施でき、一人暮らし高齢者の除雪支援体制の強化を図った。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>

6 呉西地区成年後見センター運営事業
呉西6市連携事業として、平成31年4月に設置した呉西地区成年後見センターにて成年後見制度に係る業務を行った。
・ 制度及び申立相談　11件　（令和6年度　15件）
・ 市民後見人養成講座の開催（受講者：基礎研修1人）　（令和6年度　受講者：実務研修3人）
・ 市民後見人バンク登録者数　17人
・ 法人後見の受任

</td><td>継続</td><td>呉西地区成年後見センターにおいて、成年後見制度事業の専門的、専従的な取組を行い、相談から後見まで一貫した支援を行うため、呉西6市の連携を図っていく。</td></tr>
<tr><td>

7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
高齢者の心身の多様な課題に対して、きめ細かな支援を実施するため、関係課や地域の関係機関と連携し一体的に保健事業に取り組んだ。
(1)個別的支援（ハイリスクアプローチ）
ア 低栄養防止事業

年度	実施者数	支援件数
令和6年度	27人	65件
令和7年度	31人	85件

イ 口腔機能低下防止事業

年度	実施者数	支援件数
令和6年度	23人	25件
令和7年度	39人	69件

ウ 身体的フレイル予防事業

年度	実施者数	支援件数
令和6年度	11人	13件
令和7年度	30人	30件

エ 糖尿病性腎症重症化予防事業

年度	実施者数	支援件数
令和6年度	32人	71件
令和7年度	28人	51件

オ 生活習慣病（循環器系）予防事業

年度	実施者数	支援件数
令和6年度	54人	62件
令和7年度	59人	64件

カ ポリファーマシー対策事業

年度	実施者数	支援件数
令和6年度	7人	7件
令和7年度	17人	19件

キ 健康状態不明者への支援事業

年度	実施者数	支援件数
令和6年度	97人	107件
令和7年度	173人	182件

</td><td>継続</td><td>富山県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、生活習慣病の重症化予防やフレイル予防のための保健事業を実施している。庁内関係課だけでなく、市医師会や地域包括支援センター等の関係機関とも連携することで、高齢者の健康状態に応じた個別的支援や市内全27地域振興会毎にフレイル予防教室を実施していく。</td></tr>
</table>

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
(2) 通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ） ア みんな元気教室 年度 / 関与した箇所数 / 延べ参加者数 令和6年度 9か所 247人 令和7年度 12か所 314人 イ 100歳体操3年目支援 年度 / 関与した箇所数 / 延べ参加者数 令和6年度 8か所 120人 令和7年度 10か所 204人	

事業名	高齢者福祉施設費（繰越明許）	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	3目 老人福祉費 ）	決算書	81 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					122,420 【123,705】				
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			122,420	0			
	財産運用収入	一般財源			0	0			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 地域密着型介護基盤整備事業費補助金【県10/10】 地域密着型サービスを行う介護事業所に対し、施設整備に要した事業費を支援した。 ・ 認知症対応型共同生活介護（施設整備、開設準備） 56,117千円 ・ 看護小規模多機能型居宅介護（施設整備、開設準備） 48,501千円 ・ 認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護（開設準備） 17,802千円	継続 整備に係る経費を助成することにより、介護基盤の充実及び福祉の向上に寄与した。引き続き、必要な施設整備を支援する。

事業名	高齢者福祉施設費	（ 3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費 ）	決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課 福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			95,853	【219,744】	86,430	【134,271】		【5,817】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	1,000			老人福祉施設整備事業で、1施設分の助成が令和6年度で終了したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	37,797	0	28,350	3,073			
	県支出金	市債	0	0	7,781	0			
	財産運用収入	一般財源	0	58,056	0	46,226			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 いきいき長寿館運営費の指定管理 ／ （株）技研サービス（令和5年4月1日～令和9年3月31日） 高齢者が気軽に集い、活動できる介護予防の場を提供した。また、老朽化した机及びイスを更新し、利用者の利便性向上を図った。 ・ 年間利用者数 5,519人 （令和6年度 4,716人） ・ 公共施設予約システムを活用し、利用者の利便性の向上を図っている。	継続	指定管理者制度のもと適切な施設運営を行い、高齢者の健康保持に寄与した。 引き続き、高齢者が気軽に集い、活動できる場を提供することにより、介護予防の推進並びに健康及び福祉の増進を図る。
2 老人福祉施設整備事業 特別養護老人ホーム等の整備を行った社会福祉法人に対し、その建設に要した事業費について、市の補助相当分に係る借入金の元金及び利子を債務負担行為に基づき助成した。 ・ 社会福祉法人 2法人、2施設	完了	特別養護老人ホーム等の整備に係る経費を助成することにより、介護基盤の充実及び福祉の向上に寄与した。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 社会福祉施設物価高騰対策支援事業補助金（介護福祉施設）（物価高騰対策No.7）【交付金】 介護福祉サービス等事業所を運営する法人に対し、光熱費、ガソリン代及び食材料費の一部を助成し、安定したサービスを提供した。 ［７月～９月分］ ・ 入所系サービス　〈 4,100円／定員〉×1,811人（55事業所）　＝ 7,425千円 ・ 通所系サービス　〈 1,300円／定員〉×1,277人（46事業所）　＝ 1,660千円 ・ 訪問系サービス　〈 6,500円／１サービス〉　×　62事業所　＝　403千円 ・ 支給金額　9,488千円 ［１０～３月分］ ・ 入所系サービス　〈 8,200円／定員〉×1,829人（56事業所）　＝14,998千円 ・ 通所系サービス　〈 2,500円／定員〉×1,285人（47事業所）　＝ 3,213千円 ・ 訪問系サービス　〈10,500円／１サービス〉　×　62事業所　＝　651千円 ・ 支給金額　18,862千円 [合計] ・支給金額　28,350千円	完了	市内で介護サービス事業所を運営する法人に対して、物価高騰による施設運営の経費増加分を支援し、サービス提供体制の確保を図った。 今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。
4 地域密着型介護基盤整備事業費補助金　【県10/10】 地域密着型サービスを行う介護事業所に対し、施設整備に要した事業費を支援した。 ・ 看護小規模多機能型居宅介護（開設準備）　7,241千円 ・ 小規模多機能型居宅介護（看取り環境整備）　540千円	継続	整備に係る経費を助成することにより、介護基盤の充実及び福祉の向上に寄与した。引き続き、必要な施設整備を支援する。
（繰越明許費　　47,716 千円） ・事　業　名　地域密着型介護基盤整備事業費補助金 ・完 了 時 期　令和8年8月31日（予定）		

事業名	地域支援事業費	（ 3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費 ）	決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			179,869	【184,888】	186,116	【188,465】		【189,295】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	300	0	0			地域包括支援センター委託料の積算単価を増額したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	50,404	0	51,111			
	国庫支出金	諸収入	64,518	0	65,074	0			
	県支出金	市債	33,184	0	33,976	0			
	財産運用収入	一般財源	0	31,463	0	35,955			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 地域介護予防活動支援事業 【国25/100 県12.5/100 】 (1) きららか射水100歳体操普及事業 住民が、身近な場所で主体的に取り組むことができ、介護予防に効果のあるおもりを使用した体操の普及を図った。 ・ グループ数 176グループ、登録者数 2,961人 （令和6年度 173グループ、登録者数 2,926人） ・ 「きららか射水100歳体操 マスター養成講座」を開催した。参加者 24人 (2) 地域支え合いネットワーク事業 地域包括ケアシステム構築に向け、高齢者等が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができる地域の支え合い体制の整備及び多様な生活支援サービスの創出を行う団体に対し支援を行った。 ・ 実施地域数 26地域 （令和6年度 26地域） (3) 地域支え合いネットワーク共生社会構築事業 高齢者、障がい者、子ども等が気軽に立ち寄れる地域の常設型の居場所において、選任された相談員がちょっとした困りごとの相談に対応し必要に応じて適切な機関へつなぐことができるよう、居場所の運営の支援を行った。 ・ 実施地域数 3地域 （令和6年度 2地域）	見直し	きららか射水100歳体操は、理学療法士による体操指導や相談、マスター養成講座の開催等、グループの継続的支援や普及啓発を行うことにより更なる推進を図る。 また、地域支え合いネットワーク共生社会構築事業の実施地域の拡大に向け、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等を参考にし、事業内容の見直しを検討していく。
2 地域包括支援センター運営事業 【国38.5/100 県19.25/100】 保健師（看護師）・主任ケアマネジャー・社会福祉士・認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター等を配置する地域包括支援センターを市内6か所に設置し、総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントや介護予防事業を実施した。 ・ 総合相談実施件数 実人員 4,745人 （令和6年度 4,554人） 相談延べ件数 17,626件 （令和6年度 17,560件） 委 託 先 （福）射水万葉会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会、（福）射水市社会福祉協議会 委託期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料 106,000千円	継続	包括圏域の適正化により、地域包括支援センターの適切かつ効率的な運営が進められている。 高齢者が地域でその人らしく生活できるよう、重層的支援体制の整備推進における重要な拠点として多様化するニーズに対応する体制を整えていく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和7年度	令和9年度
地域支え合いネットワーク共生社会構築事業を実施する地域数	1地域	3地域	6地域

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 生活支援体制整備事業　【国38.5/100　県19.25/100】 高齢者、障がい者、子ども等の日常生活を支える多様な支援体制の充実や強化を図るとともに、地域における支え合い体制づくりの推進を図った。 (1) 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会の開催 ・ 年間1回　（令和6年度　年間1回） (2) 生活支援コーディネーターの配置 ・ 第1層（市）　1人 ・ 第2層（地域包括支援センター圏域）　7人 委　託　先　（福）射水万葉会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会、（福）射水市社会福祉協議会 委 託 期 間　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委　託　料　31,800千円	継続	支え合い体制の構築は、おおむね計画どおり進捗している。 地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、多様な主体が参加する支え合い体制の拡充を推進し、さらには共生社会の実現を目指していく。
4 介護予防・生活支援サービス従事者養成研修　【国38.5/100　県19.25/100】 市内介護保険事業所において家事援助等を行う従業員やボランティアを養成する研修会を実施した。 ・開催日　令和8年3月12日・13日 ・受講者　22人	継続	受講後、介護施設へ就職する者もおり、人材参入のきっかけとなっている。 引き続き、養成研修を実施することで、介護の質を高めるとともに、不足する介護人材の育成を図る。

事業名	福祉金等給付費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	6目 障害者福祉費 ）	決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			48,587	【49,936】	47,529	【48,780】		【48,200】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			支給対象者の減及び福祉金管理システム賃借契約が終了したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	48,587	0	47,529			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 福祉金等給付事業 心身障がい者又は自宅で重度心身障がい者を介護している介護者に対し、福祉金等を支給した。 ・ 心身障がい者（児）福祉金　2,356人　（令和6年度　2,388人） ・ 重度心身障がい者等介護手当　96人　（令和6年度　95人）	継続	福祉金等を支給することにより、福祉の増進を図った。 心身障がい者や在宅介護者を支援するため、継続して実施する。

事業名	障害者福祉対策費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	6目 障害者福祉費 ）	決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,771	【6,731】	6,196	【7,450】		【6,886】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	1,297	0	1,369	0			
	財産運用収入	一般財源	0	4,474	0	4,827			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 福祉タクシー等実施事業 重度の障がい者にタクシー券又はガソリン券を支給し、障がい者の自立と社会参加促進を図った。 ・ 交付者数　332人　（令和6年度　316人）	継続	タクシー券等を支給し、障がい者の自立と社会参加促進を図った。重度障がい者を支援するため、継続して実施する。
2 住宅改善費助成事業【県1/2】 在宅重度障がい者の居宅改造費の一部を補助することにより、障がい者の在宅生活の質の向上を図った。 ・ 助成者数　4人　（令和6年度　3人）	継続	居宅改造費を補助し、障がい者の在宅生活の質の向上を図った。 重度障がい者の在宅での日常生活を容易にするため、継続して実施する。
3 重度心身障害者（児）おむつ支給事業【県1/2】 在宅重度障がい者・児で常時おむつを使用している方におむつを現物支給し、介護者の労苦の軽減を図った。 ・ 助成者数　47人　（令和6年度　46人）	継続	おむつを現物支給し、介護者の労苦の軽減を図った。 重度障がい者とその家族を支援するため、継続して実施する。
4 軽度・中等度難聴児補聴器購入費補助事業【県1/2】 軽度・中等度難聴児に補聴器を支給し、障がい者の生活の質の向上を図った。 ・ 助成者数　2人　（令和6年度　2人）	継続	補聴器を現物支給し、障がい者の生活の質の向上を図った。 難聴児とその家族を支援するため、継続して実施する。

事業名	地域生活支援費	（ 3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費 ）	決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			89,779	【93,100】	97,390	【100,077】		【99,702】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和7年度から基幹相談支援センターを開設したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	17,227	0	17,837	0			
	県支出金	市債	8,613	0	7,893	0			
	財産運用収入	一般財源	0	63,939	0	71,660			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 地域活動支援センター委託事業（市内4か所） 障がい者施設に事業を委託し、障がい者の相談援助を行うことで、障がい者の日常生活及び社会生活の自立を図った。 ・ 利用者数　延べ5,392人　（令和6年度　延べ5,252人）	継続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、障がい者等の相談支援のほか、社会との交流等地域生活支援の促進を図るため、継続して実施する。
2 基幹相談支援センター委託事業（市内1か所）【国1/2　県1/4】 相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、「専門的相談支援」「地域移行・地域定着促進のための取組」「権利擁護・虐待防止への取組」など地域の相談支援体制の強化を図った。	継続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、障がい者等の相談支援のほか、社会との交流等地域生活支援の促進を図るため、継続して実施する。
3 移動支援事業【国1/2　県1/4】 屋外移動が困難な障がい者等に対して、外出の支援を行うことにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図った。 ・ 利用回数　197回　（令和6年度　186回）	継続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、外出支援により、障がい者の自立生活及び社会参加の促進を図るため、継続して実施する。
4 日常生活用具給付事業【国1/2　県1/4】 障がい者に対し、日常生活を便利で快適にする用具を給付し、日常生活の自立を図った。 ・ 延べ利用件数　2,233件　（令和6年度　2,331件）	継続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、日常生活用具の給付により、障がい者の日常生活の自立を図るため継続して実施する。

事業名	自立支援給付費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	6目 障害者福祉費 ）	決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,309,800	【2,326,872】	2,445,152	【2,462,597】		【2,304,198】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			自立支援給付においては生活介護、施設入所支援及び就労移行支援の増、障害児通所支援においては児童発達支援及び放課後等デイサービスの増による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,167,615	0	1,271,170	0			
	県支出金	市債	577,990	0	607,448	0			
	財産運用収入	一般財源	0	564,195	0	566,534			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 自立支援給付費【国1/2　県1/4】 障害者総合支援法に基づき、障がい者福祉サービスの給付に必要な支援を行った。 ・ 居宅介護等　　延べ605人　（令和6年度　延べ599人） ・ 上記以外の介護給付費等　延べ10,314人（令和6年度　延べ10,108人）	継続	障害者総合支援法に基づく制度であり、適正な支給決定のもと必要なサービスの給付を継続して実施する。

事業名	障害者福祉施設支援費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	6目 障害者福祉費 ）	決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,694	【5,694】	5,594	【6,377】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	5,694	0	4,348	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	0	0	1,246			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 社会福祉施設物価高騰対策支援事業補助金（障害福祉施設）（物価高騰対策№8）【交付金】 市内障がい福祉サービス事業所を運営する法人に対し、光熱費及びガソリン代、食材料費の一部を助成し、安定したサービス提供を支援した。 [7～9月分] ・入所系サービス　〈4,100円／定員〉×141人（ 8事業所）＝578千円 ・通所系サービス　〈1,300円／定員〉×610人（36事業所）＝793千円 ・訪問系サービス　〈6,500円／1サービス〉×　18事業所　＝117千円 ・支給金額　1,488千円 [10～3月分] ・入所系サービス　〈 8,200円／定員〉×141人（ 8事業所）＝1,156千円 ・通所系サービス　〈 2,500円／定員〉×610人（36事業所）＝1,525千円 ・訪問系サービス　〈10,500円／1サービス〉×　17事業所　＝　179千円 ・支給金額　2,860千円 [合計] ・支給金額　4,348千円 2 射水市障害者グループホーム整備事業補助金 市内障害者グループホームの整備に係る経費の一部を助成し、障がい者の地域生活支援を行った。 ・支給金額　1,246千円	完了	市内で障がい福祉サービス事業所を運営する法人に対して、物価高騰による施設運営の経費増加分を支援し、サービス提供体制の確保を図った。 また、市内障害者グループホームの整備に係る経費を助成することにより、障がい者の地域生活の支援及び福祉の向上を図った。 今後も、状況に応じて、支援の実施を検討していく。

事業名	非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費（繰越明許）	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	13目 非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費 ）	決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					40,453	【70,187】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			40,423	30			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	0			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果

1 非課税世帯物価高騰臨時給付金（物価高騰対策№9）【交付金】

(1)給付金

国の経済対策に基づき、令和6年度住民税非課税世帯へ1世帯当たり3万円の給付金を支給した。

申請期限	令和7年5月30日
送付世帯数	7,193世帯
申請世帯数	6,948世帯（支給6,932、不支給16）
申請率	96.6%

(2)子ども加算

非課税世帯物価高騰臨時給付金の受給世帯へ18歳以下の児童1人当たり2万円の子ども加算を支給した。

対象世帯数	382世帯（673人）
支給世帯数	373世帯（646人）
支給率	97.6%

評価と今後の方向性（担当課意見）

完了

国の方針に基づき、給付金の支給について広報紙、ホームページへ掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。

事業名	高齢者世帯等物価高騰対策事業費	（ 3款 民生費	1項 社会福祉費	14目 高齢者世帯等物価高騰対策事業費 ）	決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					39,837	【49,119】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			39,837	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	0			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 高齢者世帯・生活保護世帯物価高騰対策支援事業（物価高騰対策№10）【交付金】 75歳以上の高齢者のみの世帯及び生活保護世帯へ1世帯当たり4,840円分（11枚）のおこめ券を配付した。 ※令和8年3月31日現在の状況 配付世帯数 6,780世帯 受領世帯数 6,607世帯 受領率 97.4%	継続 おこめ券の配付について広報いみず、ホームページへ掲載し周知を図った。対象者は住民基本台帳情報を基に抽出し申請不要としたことから、速やかに配付することができた。 物価高騰の影響が続く中、引き続き迅速かつ適正な事務に努めながら物価高騰に対する生活支援を継続して実施する。
（繰越明許費 9,282 千円） ・事 業 名 高齢者世帯・生活保護世帯物価高騰対策支援事業【交付金】 ・完 了 時 期 令和9年3月	

事業名	子ども・子育て支援推進費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費 ）	決算書	83 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			81,277	【92,297】	18,057	【20,477】		【21,623】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度末で出産・子育て応援給付金事業が終了したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	38,221	308	398	204			
	県支出金	市債	10,735	0	518	0			
	財産運用収入	一般財源	0	32,013	0	16,937			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 子育て情報の提供 こどもを産み育てやすい環境を作るため、子育て世帯に対し、子育て情報の提供を行った。 ・ 子育てガイドの発行（6,000部） ・ ケーブルテレビを活用した「ちゃいる．ｃｏｍテレビ」の放映 ・ こどもまんなか社会の実現に向けた取組を市の公式インスタグラムで紹介 ・ 子育て支援アプリ「いみすく」ｂｙ母子モで配信	継続	子育て世帯に向けた射水市の子育て情報を幅広く提供できた。 今後も子育て世帯等の意見を踏まえ、より身近で分かりやすい情報提供を行っていく。
2 出生祝いクーポン券交付事業 出生児のいる世帯を対象に、射水市内の提携店舗で使える電子クーポン（2万円分）を交付した。 ・ 事業費　12,868千円 ・ 令和7年度対象出生児数　567人、利用金額　10,442千円	継続	新生児のいる世帯を対象に経済的負担の軽減を図った。 引き続き、経済的支援を行っていく。
3 世界にひとつだけの絵本事業 令和7年度に1歳半になるこどもがいる世帯を対象に「世界にひとつだけの絵本」と大島絵本館で利用できる500円分のチケットを贈った。 ・ 事業費　958千円 ・ 令和7年度絵本申請割合　60.6% ・ 大島絵本館チケット使用枚数　117枚	継続	言葉が出始める時期に、オリジナル知育絵本を贈り、親子間のコミュニケーションづくりと本に親しむきっかけづくりを提供することができた。引き続き、継続していく。

事業名	子ども条例推進費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費 ）	決算書	83 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			8,117	【8,247】	8,179	【8,421】		【9,455】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	8,117	0	8,179			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 子どもの悩み総合相談室運営事業 こどもに関する悩みの相談窓口を開設し、4名の相談員が相談者に対する助言・指導のほか、必要があれば専門機関を紹介するなど、問題解決に向けて取り組んだ。 ・ 相談件数　延べ337件　（令和6年度　延べ268件） ・ リーフレット発行（年1回） ・ 射水市公式ＬＩＮＥでの広報（月1回） 市内の小学5年生及び中学2年生を対象にしたアンケート調査より（調査結果は市のホームページで公開）	継続	電話、メール、来所等を通して、18歳未満のこどもに関する相談に対応した。また、相談室について学校等でのリーフレット配布や公式ＬＩＮＥでの広報を行うことで、認知度の向上に努めた。 今後も相談者が相談しやすい対応と環境整備に努めていく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和7年度	令和9年度
「子どもの悩み総合相談室等を知っている」と回答する割合	42.0%	42.2%	70.0%

2 射水市子どもの権利支援センター（ほっとスマイル）運営事業 悩みを抱えるこどもたちが安心して過ごすことのできる居場所を提供した。 ・ 延べ利用人数　1,401人　（令和6年度　1,312人）	継続	18歳未満のこどもが安心して過ごせる居場所の提供や、こどもに関する保護者の悩み相談に対応した。 その結果、こどもや保護者の心の安定につながった。また、ほっとスマイルの利用者数が年間約100名増加した。 今後も関係機関と連携し利用しやすい環境整備に努めていく。
3 こども条例普及啓発事業 射水市こども計画に示す施策の充実を図るため、市内の小学5年生及び中学2年生を対象にアンケート調査を実施した。 （調査結果は市のホームページで公開）	継続	射水市こども条例の普及啓発を図り、こどもの権利に関する意識の醸成に努めた。 引き続き、こどもの幸せと健やかな成長を図る社会の実現を目指していく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和7年度	令和9年度
こどもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合	97.0%	99.0%	100.0%

事業名	幼児ことばの教室運営費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費 ）	決算書	83 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			4,317	【5,733】	5,384	【6,553】		【6,828】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			会計年度任用職員の人件費の増による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	4,317	0	5,384			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 幼児ことばの教室

就学前の幼児への言語発達・社会性を促す指導、構音訓練を実施した。

また、相談会で幼児や保護者の抱える困難に応じた支援や、射水市内の全保育園、幼稚園等を年2回巡回訪問し、発達の支援が必要な幼児の実態把握と処遇検討を行った。

〈通級・相談状況〉

区分	令和6年度	令和7年度
通級指導(延べ)	989人	863人
電話相談(延べ)	84人	94人
来所相談(延べ)	185人	141人

〈巡回訪問観察児人数〉

	令和6年度	令和7年度
前期	331人	346人
後期	435人	430人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

事例検討会や研修受講をし、専門知識を高め指導の質を上げることに努め、幼児の言語発達の促進と保護者の不安軽減を図った。

射水市民病院「子どものこころの外来」と連携し、必要な支援を行った。

今後も個別通級指導に加え、グループ指導を行い、対人関係やコミュニケーションを実践的に学ぶ機会を設け、多様なニーズに対応していく。

事業名	放課後児童健全育成事業費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費 ）	決算書	83 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			134,617	【138,008】	177,793	【186,597】		【219,667】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			子ども・子育て支援交付金の放課後児童健全育成事業において、令和6年度から常勤職員の配置改善を図るメニューが新たに創設されたことを踏まえ、令和7年度から委託料の「基本額」、「開所日加算額」、「長時間開所加算額」の基準額を見直したため。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	43,164	0	58,702	0			
	県支出金	市債	46,931	0	61,618	0			
	財産運用収入	一般財源	0	44,522	0	57,473			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 放課後児童クラブの運営事業 【国1/3 県1/3】【県1/2】 (1) 労働等により昼間に保護者が不在となる家庭の児童に遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。 ・ 学級数 24学級 （令和6年度 23学級） ・ 登録児童数 884人 （令和6年度 907人） 委 託 先 さくら・こばと学級保護者会 外13団体 委託期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料 152,235千円 (2) 小杉小学校内に新たに放課後児童クラブを開設するための準備を行った。（学級名 小杉いろどり学級） ・ 工 期 令和7年10月30日～令和8年3月25日 ・ 契約額 8,447千円	継続	12校区の児童に遊びや生活の場を提供し、保護者の育児と仕事の両立を支援し、児童の健全育成を図った。残り2校区については、児童館及び児童室で学童的対応を実施し、放課後の児童の健全育成を図っている。 また、大島小学校区に新たに民設民営の放課後児童クラブを開設し、放課後児童の居場所の拡充を図った。 放課後児童クラブの登録児童数増加に対応できるよう、継続して児童の居場所確保に努める。
2 とやまっ子さんさん広場推進事業【県1/2】 地域の子ども達が交流できる居場所作りとしてコミュニティセンター等の施設を活用の上、広場を開設した。 また、大島地区で新規に１か所（大島にこにこ広場）開設した。 ・ 実施箇所数 新湊地域振興会 外9か所	継続	大島地区における新規開設1か所を含む10か所で、地域の子ども達が交流できる放課後の居場所作りを推進した。 地域と連携し、ニーズに合わせた放課後の居場所を確保していく。

事業名	子育て支援センター運営費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費 ）	決算書	83 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			76,277	【98,794】	72,302	【74,359】		【73,188】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	30,296	0	23,233	0			職員の退職に伴う人件費の減による。
	県支出金	市債	25,292	0	23,233	0			
	財産運用収入	一般財源	0	20,689	0	25,836			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 子育て支援センター等の運営事業【国1/3　県1/3】 地域子育て支援の拠点施設として子育て支援センター等を8か所運営し、子育てに関する不安や悩みの相談、子育てサークルの育成支援、地域の子育て情報の提供等を図った。（一般型7か所、連携型1か所(*)） 直　　営　射水市子育て支援センター 委　　託　海老江こども園子育て支援センター、新湊つくりみち子育て支援センター、太閤山子育て支援センター、大島つばさ保育園子育て支援センター、射水おおぞら保育園子育て支援センター、戸破子育て支援センター(*)、ふらっと 委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委　託　料　60,538千円	継続 子育て親子の交流の場の提供及び交流の促進につながった。 引き続き、国・県・民間施設と連携し、地域子育て支援の拠点施設として事業を継続していく。

事業名	ファミリーサポートセンター運営費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費 ）	決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			4,041	【4,168】	4,528	【4,668】		【4,804】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,333	0	1,500	0			
	県支出金	市債	1,351	0	1,510	0			
	財産運用収入	一般財源	0	1,357	0	1,518			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 ファミリーサポート事業【国1/3　県1/3】 ファミリーサポート制度を市民等に広く周知し、子育てのサポートを行いたい方（協力会員）やサポートを受けたい方（依頼会員）等の会員登録を促進し、子育てと仕事の両立、相互援助活動を支援した。	継続 協力会員の登録促進を図り、子育てと仕事の両立に寄与した。 引き続き、制度の周知を図るとともに、国・県・委託事業者と連携し、事業を継続していく。

指標項目		基準	実績	目標
		令和3年度	令和7年度	令和9年度
子育て世帯を支援する地域の取組状況（ファミリーサポートセンターの利用）	年間利用回数	810回	1,470回	900回
	協力会員数	203人	323人	300人

委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日
委　託　料　4,500千円

事業名	家庭児童福祉費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費 ）	決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			10,062	【11,687】	3,554	【4,859】		【5,828】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	84	0			令和6年度決算額のうち、こども家庭センター会計年度任用職員の人件費や要保護児童対策協議会の費用について令和7年度はこども家庭センター運営費で予算計上、執行したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	7,285	11	1,549	0			
	県支出金	市債	2,147	0	379	0			
	財産運用収入	一般財源	0	619	0	1,542			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 家庭児童福祉事業実績 ・産前産後家事サポート事業：延べ50 件 ・こども食堂事業：市内5か所（月1～2回実施）の立ち上げ初年度の運営費や、新たに実施する特色ある取組を助成した。 新規立上げ 1か所：いろどり食堂（太閤山地区） 新たに実施する特色ある取組 2か所：キッズサロンＮＡＮＡＭＩ（七美地区）、ひばりふれあい食堂（戸破地区） ・こどもの居場所づくり支援事業：申請のあった団体に対し、新たに実施する特色ある取組を助成した。 2団体助成：はぁとぴあ21、とまりぎラボ ・子育て短期支援事業（ショートステイ事業）：家庭の経済状況により、利用費用の一部又は全額補助を実施した。 延べ117日（委託先：乳児院、里親1世帯、（一社） ストレングス） ・家事・育児サポート事業：要保護児童等の家庭に託児（＆ｈｏｉｋｕ）やヘルパーの派遣を実施した。 （（福）大江苑ヘルパーステーション）を実施した。 延べ83回（＆ｈｏｉｋｕ 72回、大江苑ヘルパーステーション11回） ・未就園児等全戸訪問・アウトリーチ支援事業 ①4、5歳児の未就園児 9名、不就学児11名（小学生4名、中学生7名）の自宅を職員が訪問した。 ②訪問支援：4件 申請等支援：14件（委託先：（一社）ストレングス） ・子育て支援訪問事業：支援物資を訪問ツールとして、訪問困難家庭に対してアプローチし、支援を開始した。 延べ51回	継続	こども家庭センターが開設されてから2年目を迎え、要保護児童等への支援サービス事業を充実したことにより、サービスの利用につなげやすくなった。 その結果、養育困難家庭への介入が、しやすくなり、生活状況の把握や虐待の早期発見につながった。 今後も要保護児童家庭のニーズや既存の地域資源の把握を行うとともに、不足する支援については、新たな担い手を発掘・養成し、より充実した地域資源ネットワークを形成していく。

事業名	ひとり親家庭等福祉費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	3目 母子福祉費 ）	決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			22,011	【25,875】	22,476	【26,733】		【20,324】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	7,331	60	7,821	10			
	県支出金	市債	2,592	0	3,014	0			
	財産運用収入	一般財源	0	12,028	0	11,631			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 母子・父子自立支援事業

母子・父子自立支援員2人を配置し、ひとり親家庭等の生活の安定及び向上並びに自立を支援した。

相談種別	令和6年度		令和7年度	
	相談件数(延べ)	相談者実人数	相談件数(延べ)	相談者実人数
母子家庭	471件	151人	598件	130人
父子家庭	33件	17人	52件	9人
その他	108件	48人	129件	53人
計	※ 612件	216人	※ 779件	192人

※779件のうち、ＤＶ相談　13件（相談者実人数　9人）

2 母子家庭等自立支援給付事業【国3/4】

ひとり親家庭の母又は父が就業につながる資格を取得するための支援を行った。

区分	令和6年度		令和7年度	
	人数	金額	人数	金額
高等職業訓練促進給付金	8人	9,616千円	7人	9,909千円
高等職業訓練修了支援給付金	2人	75千円	4人	175千円
自立支援教育訓練給付金	2人	85千円	0人	0千円
計	12人	9,776千円	11人	10,084千円

3 ひとり親家庭等学習支援ボランティア事業【県3/4】

こどもたちが生まれ育った環境に左右されず、世代を超えて貧困が連鎖してしまうことのないよう、ひとり親家庭等のこどもに対して、学習の支援を行った。

・ 令和7年度登録者数　44人（うち小学生　23人、中学生　21人）

委　託　先　　射水市母子寡婦福祉連合会、（一社）ガチョック

評価と今後の方向性（担当課意見）

1

継続

母子・父子自立支援員を2人配置し、ひとり親家庭等の生活の安定及び自立の促進に努めた。

今後も現行体制を維持するとともに、相談業務を統括する専門職の配置について検討していく。

2

継続

学業修業期間中の支援を行うことで、当該資格を生かした就業につながった。

今後もひとり親家庭の生活の安定及び自立の促進に資する当該事業を継続的に実施していく。

3

継続

大島地区、新湊地区及び小杉地区の合計3か所でひとり親家庭等のこどもたちに学習支援を行い、学習習慣の定着や学業向上に努めた。

今後もひとり親家庭等のこどもの生活の向上を図るため、当該事業を継続的に実施していく。

事業名	児童扶養手当給付費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	3目 母子福祉費 ）	決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			219,523	【221,009】	220,371	【230,325】		【230,009】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	73,101	479	73,082	775			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	145,943	0	146,514			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 児童扶養手当給付事業【国1/3】

母又は父と生計を同じくしていない児童が育成される家庭（ひとり親家庭等）の生活の安定と自立の促進を図った。

(1) 支給額
- 全部支給　46,690円/月
- 一部支給　11,010～46,680円/月

(2) 児童2人以上の加算額
- 2人目以降　全部支給　11,030円/月
- 2人目以降　一部支給　5,520～11,020円/月

(3) 支給実績
- 令和7年度児童扶養手当支給総額　220,056千円　（令和6年度　219,523千円）

支給延べ人数　5,059人（母4,879人、父180人、養育者0人）
（令和6年度　5,281人（母5,090人、父191人、養育者0人））

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

ひとり親家庭等に児童扶養手当を支給することにより、福祉の増進を図ることができた。
今後もひとり親家庭等の生活の安定及び自立の促進に向けて、児童扶養手当の適正な支給を行っていく。

事業名	ひとり親家庭等医療助成費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	3目 母子福祉費 ）	決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			47,392	【48,200】	54,354	【56,750】		【48,200】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	885	0	7,301			
	県支出金	市債	23,246	0	23,251	0			
	財産運用収入	一般財源	0	23,261	0	23,802			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 ひとり親家庭等医療費助成事業【県1/2】

ひとり親家庭等の入院及び通院に係る医療費（保険診療の自己負担分）を助成することにより、経済的な負担を軽減し、ひとり親家庭等の保健の向上及び福祉の増進を図った。

令和6年度		令和7年度	
助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
16,741件	46,308千円	16,903件	52,863千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

ひとり親家庭等の医療費を助成することにより、保健の向上と福祉の増進を図ることができた。
今後もひとり親家庭等の経済的負担の軽減に資するため、引き続き助成を行っていく。

事業名	子ども及び妊産婦医療助成費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	3目 母子福祉費 ）	決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			464,366	【470,616】	447,504	【458,050】		【455,762】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			子ども医療費助成の件数及び金額の減による。
	使用料・手数料	繰入金	0	107,000	0	48,000			
	国庫支出金	諸収入	1,561	1,063	2,320	2,760			
	県支出金	市債	62,416	0	128,610	0			
	財産運用収入	一般財源	0	292,326	0	265,814			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 子ども医療費助成事業【県4/10】 乳幼児から高校3年生世代までのこどもの入院及び通院に係る医療費（保険診療の自己負担分）を助成することにより、こどもの健康管理と適正な医療の確保を図り、こどもの保健の向上と福祉の増進に資するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。 ・ 助成実績 195,334件、428,466千円 （令和6年度 201,901件、445,027千円）	継続	こどもの保健の向上と福祉の増進に資するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減につながった。 引き続き、事業を実施するとともに、県助成対象年齢の拡充について県へ要望する。
2 妊産婦医療費助成事業【県1/2】 医師の診断により必要と認められた妊産婦の医療費の一部を助成し、その疾病の早期発見と適正な医療を確保することにより、母子の健康の保持及び増進を図った。 ・ 助成実績 504件、5,373千円 （令和6年度 449件、4,647千円）	継続	母子の健康の保持及び増進に資する事業であり、引き続き、事業を推進していく。
3 未熟児養育医療費助成【国1/2 県1/4】 未熟児を対象として指定する医療機関において、入院治療を受ける場合の医療費を助成することにより、適正な医療の確保と福祉の増進、また、乳児の健康管理と保健の向上を図った。 ・ 助成実績 41件、4,460千円 （令和6年度 44件、4,853千円）	継続	乳児の健康管理と保健の向上に資する事業であり、引き続き、事業を推進していく。

事業名	保育園等管理運営費（繰越明許）	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	4目 保育園費 ）	決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					17,435	【18,000】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	17,435			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 (1) 池多保育園駐車場整備工事 工　期　令和7年4月14日～8月15日 契約額　14,960千円 (2) 大門わかば幼稚園消雪設備水中ポンプユニット更新工事 工　期　令和8年1月16日～1月30日 契約額　2,475千円	継続	池多保育園駐車場整備工事及び大門わかば幼稚園消雪設備水中ポンプユニット更新工事を完了し、園児を送迎する際の安全性・利便性を向上させ、消雪設備により安全な保育環境を確保した。 引き続き、保育環境整備に必要な工事を実施していく。

事業名	保育園等管理運営費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	4目 保育園費 ）	決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			747,726	【807,756】	856,719	【966,222】		【941,450】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	15,127	0	9,404	100			
	使用料・手数料	繰入金	25	0	25	0			
	国庫支出金	諸収入	14,282	46,734	11,654	49,487			
	県支出金	市債	14,389	5,700	13,764	44,700			
	財産運用収入	一般財源	0	651,469	0	727,585			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市立保育園及び認定こども園管理運営 ・ 施設数　11園　（令和6年度　11園） ・ 定　員　1,289人　（令和6年度　1,289人） ・ 園児数　延べ12,144人【月平均1,012人】　（令和6年度　延べ12,684人【月平均1,057人】）	継続	射水市こども計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を確保するとともに、保育の質の向上・効率化につながった。 今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努めていく。
2 給食食材料費高騰対策支援事業（物価高騰対策№11）【交付金】 物価高騰等に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立保育園等における給食食材費の高騰相当分の負担を支援した。 ・事業費　5,829千円	継続	給食材料費高騰分の支援を行い、子育て世帯の経済的負担軽減に寄与した。 今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。

非常用発電機更新工事や園舎解体工事を実施したことによる。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 公立保育園等ＩＣＴ化推進事業 保育園等11園に導入した保育業務支援システムを用いて園児の登降園管理や保護者連絡の効率化を図るなど、保育業務負担の軽減を図った。	継続	業務効率化を支援し、保育の質の向上及び保育士の業務負担軽減につながった。 今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。
4 (1) 大門きらら保育園非常用発電機更新工事 工　期　令和8年1月6日～8月31日 契約額　13,849千円 （うち前払金 5,530千円） (2) 旧八幡保育園解体工事 工　期　令和7年11月4日～令和8年8月31日 契約額　95,480千円 （うち前払金38,000千円）	継続	大門きらら保育園の非常用発電機更新工事及び旧八幡保育園の解体工事に着手し、安全な保育環境の整備や遊休資産の適正な処分に向けた取組を進めた。 引き続き、保育環境整備に必要な工事を実施する。
（繰越明許費　67,180 千円） ・事　業　名　(1) 大門きらら保育園非常用発電機更新工事 (2) 旧八幡保育園解体工事 ・完 了 時 期　令和8年8月		

事業名	保育園等運営委託等事業費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	4目 保育園費 ）	決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,557,239	【2,583,054】	2,656,338	【2,688,005】		【3,120,351】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	56,061	0	34,911	0			公定価格の増に伴う施設型給付費の増による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,168,450	485	1,188,124	21,137			
	県支出金	市債	599,264	0	571,771	0			
	財産運用収入	一般財源	0	732,979	0	840,395			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 保育事業委託【国、県】 (1) 市内民間保育園 ・ 施設数 5園 （令和6年度 6園） ・ 定 員 720人 （令和6年度 810人） ・ 園児数 延べ6,993人【月平均583人】 （令和6年度 延べ7,764人【月平均647人】） (2) 市外への広域入所（私立） ・ 施設数 10園 （令和6年度 9園） ・ 園児数 延べ138人【月平均12人】 （令和6年度 延べ144人【月平均12人】）	継続	射水市こども計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を民間施設と連携しながら確保することができた。 今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努めていく。
2 施設型給付、地域型保育給付【国、県】 (1) 認定こども園、幼稚園 ・ 1号 市内 10園（延べ 1,582人【月平均 132人】）（令和6年度 市内10園（延べ 1,782人【月平均 149人】）） 市外 11園（延べ 593人【月平均 50人】）（令和6年度 市外12園（延べ 550人【月平均 46人】）） ・ 2,3号 市内 10園（延べ12,510人【月平均1,043人】）（令和6年度 市内10園（延べ12,430人【月平均1,036人】）） 市外 24園（延べ 548人【月平均 46人】）（令和6年度 市外22園（延べ 570人【月平均 48人】）） (2) 市外への広域入所（公立） ・ 施設数 9園 （令和6年度 11園） ・ 園児数 延べ126人【月平均11人】 （令和6年度 延べ120人【月平均10人】） (3) 事業所内保育施設 市内 2施設（延べ701人【月平均59人】） （令和6年度 2施設（延べ563人【月平均47人】）） 市外 1施設（延べ 52人【月平均 5人】） （令和6年度 3施設（延べ 75人【月平均 6人】））	継続	射水市こども計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を民間施設と連携しながら確保することができた。 今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努めていく。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>3 市内民間保育園等15園の特別保育事業助成等【国1/3　県1/3】
<table>
<tr><th></th><th>延長保育</th><th>休日保育</th><th>一時預かり（保育）</th><th>障害児保育</th><th colspan="2">病児・病後児保育</th></tr>
<tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>病児対応型</th><th>体調不良児対応型</th></tr>
<tr><td>令和7年度</td><td>14園</td><td>8園</td><td>6園</td><td>8園</td><td>1園</td><td>15園</td></tr>
<tr><td>令和6年度</td><td>15園</td><td>9園</td><td>6園</td><td>9園</td><td>1園</td><td>15園</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr>
<tr><th>令和4年度</th><th>令和7年度</th><th>令和9年度</th></tr>
<tr><td>特別保育の充足率</td><td>53.9%</td><td>57.5%</td><td>57.4%</td></tr>
</table></td><td>継続</td><td>射水市こども計画に基づき地域のニーズに合わせた提供体制を国・県・民間施設と連携して整備することができた。
今後も継続して整備を行い、より一層の子育て支援の充実を図っていく。</td></tr>
<tr><td>4 給食食材料費高騰対策支援事業（物価高騰対策№12）【交付金】
物価高騰等に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立保育園等における給食食材費の高騰相当分の負担を支援した。
・ 事業費　10,619千円</td><td>継続</td><td>給食材料費高騰分の支援を行い、子育て世帯の経済的負担軽減に寄与した。
今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。</td></tr>
<tr><td>5 民間保育園等エネルギー価格高騰対策支援事業（物価高騰対策№13）【交付金】
民間の保育サービス提供事業者に物価高騰等に伴う負担軽減と事業継続を図るため、光熱費の価格高騰相当分の一部を支援した。
・ 事業費　3,331千円</td><td>継続</td><td>民間保育園等におけるエネルギー価格高騰分を支援することで、安定した運営を維持できた。
今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。</td></tr>
</table>

事業名	保育園等整備事業費（繰越明許）	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	4目 保育園費 ）	決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					39,277	【42,389】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			26,185	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	13,092			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 保育園空調設備更新等工事 ・ 射水おおぞら保育園空調設備更新等工事 12,649千円 ・ 大島つばさ保育園空調設備更新等工事 6,993千円 ・ 海老江こども園空調設備更新工事 19,635千円	完了	民間保育施設に対して、保育環境を継続して提供するための施設整備を実施することで、快適で安全な保育体制の確立に寄与した。

事業名	保育園等整備事業費	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	4目 保育園費 ）	決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			29,635	【72,024】	13,447	【13,702】		【30,937】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	20,030	0	8,965	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	9,605	0	4,482			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 民間保育園整備事業（施設整備補助）【国1/2】 ・ (学)鷹寺学園 第三あおい幼稚園外壁塗装改修工事 10,147千円 ・ (福)射水万葉会 海老江こども園フェンス改修工事 3,300千円	継続	保育環境を継続して提供するための施設整備を実施することで、快適で安全な保育体制の確立に寄与した。今後も国・県と連携し適正に施設整備を実施していく。

民間保育園の施設整備補助の件数の減による。

事業名	物価高対応子育て応援手当	（ 3款 民生費	2項 児童福祉費	6目 子育て世帯への臨時特別給付金等給付費 ）	決算書	87 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					263,349	【284,766】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			263,349	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	0			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 物価高対応子育て応援手当事業【国10/10】 物価高の影響が長期化しその影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、こどもたちの健やかな成長を応援する観点から、児童1人につき2万円の手当を支給した。 (1)対象児童　平成19年4月2日から令和8年3月31日までの間に生まれたこども (2)支給対象者　・令和7年9月分の児童手当受給者 ・令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童の保護者のうち生計を維持する程度の高い者 (3)支給額　対象児童1人につき2万円 (4)支給実績　令和7年度支給総額　260,980千円 支給延べ人数　7,622人（対象児童　13,049人）	継続	対象者(令和7年9月分の児童手当受給者)に対し申請不要のプッシュ型で手当を支給し、効率的かつ迅速な支援を実現することで、物価高騰に直面する子育て世帯の家計負担の軽減を図った。 令和8年3月生まれの支給対象者については、令和8年度も引き続き適正に支給を行う。
（繰越明許費　19,575 千円） ・事　業　名　物価高対応子育て応援手当事業 ・完 了 時 期　令和8年6月末		

事業名	セーフティネット支援対策費	（ 3款 民生費	3項 生活保護費	1目 生活保護総務費 ）	決算書	87 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			34,088	【37,589】	34,700	【36,546】		【34,085】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	17,575	0	20,332	78			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	16,513	0	14,290			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 生活困窮者自立相談支援事業【国3/4】

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を実施し、支援対象者の自立を促した。また、就労の可否や就労意欲等の相談者の状況に応じ、ハローワークと連携して就労支援を行うことで、就労による早期自立を図った。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
生活困窮者等で就労支援を受けた人が就労した割合	66.6%	58.3%	70.0%

・ 新規相談受付　19件（令和6年度　17件）　・ 支援プラン作成　8件（令和6年度　2件）

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

支援対象者と信頼関係を築き、課題の認識や課題の解決に向けた目標を共有しながら、支援対象者の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行った。支援対象者の生活の自立を図るため、継続して実施する。

2 生活困窮者就労準備支援事業・生活困窮者家計改善支援事業【国2/3】

就労に向けた準備及び家計の課題解決に向けた支援事業を実施し、支援対象者の自立を促した。

・ 就労準備支援件数　3件　（令和6年度　1件）
・ 家計改善支援件数　2件　（令和6年度　1件）

継続

自立相談支援事業を基盤に、就労準備支援事業と家計改善支援事業を一体的に実施しながら、支援対象者の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行った。支援対象者の生活の自立を図るため、継続して実施する。

（繰越明許費　462 千円）
・事　業　名　生活保護システム 最高裁判決に伴うデータ抽出改修業務
・完 了 時 期　令和8年4月

事業名	生活保護扶助費	（ 3款 民生費	3項 生活保護費	2目 扶助費 ）	決算書	88 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			255,961	【258,000】	281,363	【291,321】		【260,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	193,725	576	204,345	1,987			
	県支出金	市債	4,914	0	4,691	0			
	財産運用収入	一般財源	0	56,746	0	70,340			
	財産売払収入		0		0				

被保護人員が増加したことによる生活扶助費、住宅扶助費の増及び、癌治療等による医療扶助費の増による。

主な事業内容・成果

1 生活保護費支給【国3/4、県1/4（※県1/4は県費対象者分のみ）】

生存権の理念に基づき、生活に困窮する全ての国民に健康で文化的な最低生活を保障するための制度であり、適正な運用に努めた。

・ 被保護世帯数　151世帯　（令和6年度　141世帯）
・ 被保護人員　174人　（令和6年度　169人）

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

制度の目的に沿った適切な支援の実施に努めた。被保護者の生活の保障及び生活の自立を図りながら、継続して実施する。

4 款　衛 生 費

事業名	不妊治療等助成費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	1目 保健衛生総務費 ）	決算書	89 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			8,868	【13,000】	22,579	【27,823】		【20,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			助成額の拡充に伴う増による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	25	0	141	0			
	財産運用収入	一般財源	0	8,843	0	22,438			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 不妊治療等助成事業

不妊治療又は不育症治療を受けている夫婦に対して、治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減するとともに、少子化対策の充実を図った。

不妊治療費助成については、令和7年度より助成上限額を10万円から30万円に拡充した。

<助成実績>

項目	令和6年度		令和7年度	
不妊治療	実：110件	延べ：116件	実：142件	延べ：153件
特定不妊治療（先進医療）	実： 2件	延べ： 2件	実： 2件	延べ： 2件
不育症治療【県1/2】	実： 2件	延べ： 3件	実： 8件	延べ： 8件

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

昨年度に比べ、申請件数・助成金額ともに増加し、少子化対策に寄与した。今後も助成事業を継続する。

事業名	母子保健推進費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	2目 母子保健衛生費 ）	決算書	89 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			83,375	【90,333】	93,570	【98,172】		【105,536】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			1か月児健康診査や子育て支援アプリの導入などの事業の拡大による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	4,151	36	7,371	43			
	県支出金	市債	336	0	640	0			
	財産運用収入	一般財源	0	78,852	0	85,516			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 母子保健事業【国、県】

妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の充実を図るとともに母性、乳幼児の健康の保持増進を目的に健康診査、教室、相談、訪問等を実施した。

(1) 健康診査状況

項目	受診人数	
	令和6年度	令和7年度
妊婦一般健康診査（14回）	延べ6,567人	延べ6,748人
産婦健康診査（2回）	延べ1,016人	延べ1,003人
乳児一般健康診査（2回）	延べ892人	延べ990人
新生児聴覚検査	480人	490人
1か月児健康診査	―	462人
3～4か月児健康診査	491人	514人
1歳6か月児健康診査	573人	510人
3歳6か月児健康診査	632人	620人

(2) 教室・相談状況

項目		参加人数（延べ）	
		令和6年度	令和7年度
ママベビ助産師相談		―	143人
妊婦等包括相談支援	妊娠届出時面談	532人	564人
	妊娠・出産応援面談	23人	24人
	いみず子育て応援面談（ママベビ助産師相談含む）	526人	473人
両親教室		242人	286人
育児相談、母乳相談、栄養相談		443人	485人
要観察児相談会・教室		773人	793人
個別発達相談件数（電話・来所）		189件	172件
母子保健推進員活動		947人	988人
産後ケア事業		100人	208人
多胎ピアサポート（トゥインクルクラブ）		15組	17組
いみずっ子Ｂａｂｙの会		136組	168組

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

アンケート指標では、一部例外はあるものの全体的に良化傾向にある。

従来の健康診査、教室、相談事業に加えて、産婦の心身の負担軽減を図るため、「産後ケア事業」の委託事業所を拡充したことで利用者が増加した。また、「ママベビ助産師相談」を新たに実施することにより、母親の育児不安の軽減を図った。

今後も、こども家庭部内の保健・福祉部門の連携をさらに強化し、妊娠期から子育て期へ切れ目のない支援の充実に努めていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）

(3) 訪問指導状況

項目	訪問人数（延べ）	
	令和6年度	令和7年度
新生児訪問指導	345人	265人
未熟児訪問指導	61人	61人
乳幼児訪問指導	98人	157人
産前・産後サポート事業（妊婦・乳児訪問活動）	(実)554人	(実)560人

指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和7年度	令和9年度
子育てが楽しいと思う親の割合	97.3%	98.3%	100.0%
自信を持って子育てができる親の割合	73.6%	71.1%	増加
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	98.7%	97.9%	100.0%
父親が育児に参加する割合	92.7%	93.2%	100.0%
育てにくさを感じた時に対応できる親の割合	85.9%	82.7%	増加

事業名	歯科保健対策推進費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	2目 母子保健衛生費 ）	決算書	89 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			4,972	【5,873】	5,230	【5,531】		【5,596】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	351	0	316			
	県支出金	市債	999	0	1,000	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,622	0	3,914			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 歯科保健事業【県1/3】

妊娠期、乳幼児・学童期まで継続したむし歯・歯周疾患予防事業を実施した。

<健診・教室等実施状況>

項目	令和6年度		令和7年度	
	回数	人数	回数	人数
妊婦歯科健康診査	ー	217人	ー	232人
乳歯むし歯予防教室	87回	延べ1,757人	86回	延べ1,591人
保育園親子歯みがき教室	28回	1,105人	27回	1,012人
小学校親子歯みがき教室	15回	870人	14回	875人
小学校歯周疾患予防教室	5回	228人	14回	649人

<保育園・小学校フッ素洗口実施状況〉

項目	令和6年度		令和7年度	
	施設数	人数	施設数	人数
保育園フッ素洗口(4,5歳児)	27	1,167人	26	1,071人
小学校フッ素洗口(全学年)	15	4,114人	14	4,058人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

小学校歯周疾患予防教室は、令和6年度まで年間5校ずつ実施していたが、令和7年度より市内全校への実施へ拡充した。それにより、より多くの児童に対する適切な健康管理とむし歯・歯周疾患予防意識の向上に努めた。

引き続き、妊娠期から乳幼児、学童期を対象とした歯科保健事業を継続して実施していく。

事業名	成人・老人保健推進費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 成人・老人保健対策費 ）	決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部健康推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			6,336	【7,754】	6,662	【7,304】		【7,755】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	217	0	231			
	県支出金	市債	3,726	0	3,857	0			
	財産運用収入	一般財源	0	2,393	0	2,574			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 健康増進事業【県2/3】

健康増進法に基づき、一般健康診査や健康教育、健康相談を行い、生活習慣病の予防啓発を図った。

異常の早期発見や予防・健康づくりの意識を高めるため、肝炎ウイルス検診や節目年齢を対象とした歯周病検診、骨粗しょう症検診を行った。健康教育では、健康教室や市政出前講座を実施したほか、第3次射水市健康増進プランに掲げる8つの行動目標のうち「身体活動・運動」の分野で重点的な取組を行った。

<検診状況>

項目	受診人数	
	令和6年度	令和7年度
一般健康診査（40歳以上）	16人	12人
肝炎ウイルス検診	160人	202人
歯周病検診	379人	344人
骨粗しょう症検診	434人	455人

<教室・相談状況>

項目	参加人数（延）	
	令和6年度	令和7年度
健康教育	844人	604人
健康相談	738人	1,222人
8つの行動目標における重点的な取組（参加人数は上記の内数）		歩こう動こう+10フェスタ 637人

<訪問指導状況>

項目	訪問人数（延）	
	令和6年度	令和7年度
訪問指導	15人	11人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

検診の受診人数は、概ね横ばいで推移しており、引き続き、各種検診を周知するともに受診勧奨に努めていく。

健康相談はイベントの開催等により大幅に増加し、市民の健康意識の向上につながった。

引き続き、市民が主体となった健康づくり活動を支援するため、第3次射水市健康増進プランの8つの行動目標の推進に取り組んでいく。

事業名	がん対策推進費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 成人・老人保健対策費 ）	決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部健康推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			94,435	【95,714】	91,523	【92,567】		【102,277】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	100			がん検診の受診人数が減少したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	7,000	0	4,000			
	国庫支出金	諸収入	0	3,817	183	3,357			
	県支出金	市債	2,618	0	3,060	0			
	財産運用収入	一般財源	0	81,000	0	80,823			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 がん対策事業【県1/2】

健康増進法、がん対策基本法に基づき、早期発見・早期治療のため、がん検診、がん予防の普及啓発を実施した。

がん検診の受診人数の増加に向けて、24時間いつでも予約可能なＷｅｂ予約、夕方検診や日曜検診、協会けんぽや国保と連携し特定健診とがん検診との同時開催等を実施するなど、働き盛り世代が受診しやすい体制を整備した。

がんの普及啓発として、予防のための生活習慣の改善が健康寿命の延伸に大きな効果があることから、市報や市公式ＬＩＮＥなどで、がん予防を呼びかけた。

がん患者の心理的負担を軽減し療養生活の質の向上を図るため、外見の変化を補完する補正具の購入費用を助成し、社会参加を支援した。

<がん検診>

項目	受診人数	
	令和6年度	令和7年度
肺がん検診	8,209人	7,923人
胃がん検診	2,558人	2,455人
大腸がん検診	5,767人	5,563人
子宮がん検診	3,007人	2,674人
乳がん検診	2,314人	2,143人
前立腺がん検診	617人	586人
ヘリカルＣＴ肺がん検診	182人	182人

＜がん患者補正具購入費用助成＞

項目	助成件数	
	令和6年度	令和7年度
ウイッグ	47件	45件
乳房補正具	14件	17件
計	61件	62件

<健康寿命>

指標項目	基準	実績	目標
	令和5年度	令和7年度	令和9年度
健康寿命	男性79.7歳 女性83.9歳	男性　80.3歳 女性　83.9歳	延伸

※基準値は、国保データベース（KDB）システムから算出

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

がん検診受診者数の増加に向けて、受診しやすい体制を整備しているが、受診人数は減少した。

これまでも、薬局と連携し薬剤師から受診勧奨を行っているほか、ＬＩＮＥ配信やヘルスボランティアによる受診勧奨などを行っており、引き続き、受診人数の増加に努めていく。

また、がん予防の普及啓発を健康イベントや図書館展示、市報、市公式ＬＩＮＥ等で実施し、正しいがんの知識、がん検診の意義や必要性などについて市民の理解を深めるための取組を進めていく。

事業名	健康づくり推進費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 成人・老人保健対策費 ）	決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部健康推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,120	【3,508】	3,037	【3,311】		【2,951】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	294	0	288			
	国庫支出金	諸収入	153	13	137	14			
	県支出金	市債	84	0	71	0			
	財産運用収入	一般財源	0	2,576	0	2,527			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 健康づくり推進事業 市民の自主的な健康づくり活動を支援するため、地域での健康教育、健康づくりボランティア活動等による普及啓発を行い、市民が主体となった健康づくり活動を推進した。 ・ 健康づくり推進協議会（年1回）の開催 ・ 食育推進会議（年3回）の開催 ・ 食育推進会議幹事会（年3回）の開催 ・ ヘルスボランティア活動　　令和7年度会員307人、活動延人数　33,557人 ・ 食生活改善推進員活動　　令和7年度会員241人、活動延人数　5,931人 ・ ぱくぱくクッキング　ケーブルテレビ　年4回放映	継続	地域では、健康づくりボランティアによる健康づくり活動が活発に行われ、市民が主体となった健康づくり活動の推進に寄与した。 引き続き、第3次射水市健康増進プランの8つの行動目標の推進に向け、ヘルスボランティアや食生活改善推進員と連携し、地域での健康づくり活動を行っていく。

事業名	心の健康づくり推進費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 成人・老人保健対策費 ）	決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部健康推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			919	【949】	755	【878】		【908】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	450	0	395	0			
	財産運用収入	一般財源	0	469	0	360			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 こころの健康づくり事業 地域における自殺対策の更なる強化を図ることを目的として、対面相談事業や人材養成事業のほか普及啓発事業などを実施した。 (1) 対面相談事業【県1/2】 こころの健康相談（公認心理師や保健師による個別相談） ・ 公認心理師：年間36回、相談者数延べ65人 ・ 保健師：随時 (2) 人材養成事業【県2/3】 ・ ゲートキーパー養成講座：精神科医や公認心理師などによる講義 年7回実施、受講者数316人（市民269人、専門職25人、市職員22人） (3) 普及啓発事業【県1/2】 ・ 自殺対策強化月間に合わせた図書館での普及啓発イベント、小中学校へのリーフレット配布、街頭啓発 ・ 広報、ケーブルテレビ、市公式ＬＩＮＥによる広報活動や市民に向けた講演会の開催 ・ 相談対応に従事する職員向けガイドブックの作成及び配布 ・ こころの健康チェックシステム「こころの体温計」を活用した普及啓発(利用者数:15,222人/年) (4) 計画策定実態調査事業【県1/2】 健康づくり推進協議会の専門部会である自殺対策部会を開催し、自殺対策推進計画の進捗などについて協議した。	継続	こころの健康相談は、毎月2回相談日を設けているが、相談が増える時期（長期休暇明け、寒冷期等）は相談日を追加して対応している。 人材養成事業は、民間事業所に勤務する方々などにも実施しており、今後も継続して自殺対策に関わる人材を養成していく。 普及啓発事業は、こころの健康チェックシステム「こころの体温計」により、市民自らがこころの状態を知り、早期に心のケアへつなげられるよう促している。

事業名	予防接種費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	4目 予防費 ）	決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部健康推進課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			445,730	【482,900】	362,560	【415,732】		【413,656】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			高齢者新型コロナウイルス感染症及びヒトパピローマウイルス感染症の接種者数が減少したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	86,355	0	40,018			
	国庫支出金	諸収入	4,287	62,989	1,078	0			
	県支出金	市債	44	0	41	0			
	財産運用収入	一般財源	0	292,055	0	321,423			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 乳幼児・児童生徒・高齢者予防接種

感染症の発生及びまん延の予防のため、予防接種法に基づく接種を実施した。

<定期接種実施状況>

項目	接種延人数	
	令和6年度	令和7年度
ロタウイルス感染症	1,119人	1,186人
ＢＣＧ	481人	537人
小児用肺炎球菌	1,998人	2,124人
ヒブ	592人	37人
4種混合	713人	218人
5種混合	1,388人	2,131人
Ｂ型肝炎	1,476人	1,577人
麻しん・風しん（ＭＲ）	1,115人	1,167人
水痘	1,051人	992人
日本脳炎	2,497人	2,404人
ジフテリア・破傷風（ＤＴ）	671人	637人
ヒトパピローマウイルス感染症	3,128人	956人
高齢者インフルエンザ	16,070人	15,549人
高齢者新型コロナウイルス感染症	7,589人	4,204人
高齢者肺炎球菌	198人	325人
高齢者帯状疱疹	-	2,933人

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
予防接種率（麻しん・風しん）	92.4%	96.8%	98.0%

評価と今後の方向性（担当課意見）

拡充

定期接種対象者への個別通知等により、分かりやすい情報提供に努めた。特に麻しん・風しんの予防接種においては、未接種者への継続的な勧奨等を実施することで、接種率が96.8%に達しており、感染症のまん延予防の推進に努めた。

制度面では、令和7年度の高齢者帯状疱疹ワクチンの追加に続き、令和8年度からは妊婦対象のＲＳウイルスワクチンを追加しており、引き続き安全で確実な予防接種を推進する。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>2 こども及び妊婦インフルエンザ予防接種助成事業
インフルエンザの発症や重症化を予防するため、こども及び妊婦に対し、接種費用の助成を行った。
・助成額　注射ワクチン　3,000円上限/回　（未就学児・小学生は2回まで、中学生・高校生・妊婦は1回）
経鼻ワクチン　6,000円上限/回　（2歳以上19歳未満、1回）
・事業費　29,626千円　※ワクチン及び対象者により接種回数が異なる

<table>
<tr><th rowspan="2">対象者</th><th colspan="2">助成延人数</th></tr>
<tr><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr>
<tr><td>未就学児（1回目）</td><td>-</td><td>2,344人</td></tr>
<tr><td>未就学児（2回目）</td><td>-</td><td>1,708人</td></tr>
<tr><td>小学生（1回目）</td><td>2,370人</td><td>2,405人</td></tr>
<tr><td>小学生（2回目）</td><td>1,518人</td><td>1,319人</td></tr>
<tr><td>中学生</td><td>1,099人</td><td>1,048人</td></tr>
<tr><td>高校生相当</td><td>849人</td><td>903人</td></tr>
<tr><td>妊婦</td><td>147人</td><td>162人</td></tr>
</table>
</td><td>継続</td><td>令和7年度に未就学児の接種助成事業が県から移管され、小中学生と同様の助成を実施した。
また、経鼻ワクチンへの助成額を拡充するなど、インフルエンザの発症及び重症化を予防するとともに子育て世帯の経済的負担の軽減に寄与した。
引き続き、インフルエンザ予防接種に関する費用助成を行っていく。</td></tr>
<tr><td>3 帯状疱疹ワクチン任意接種助成事業
帯状疱疹の発症や重症化を予防するため、50歳以上で定期接種の対象とならない方に対し接種費用の助成を行った。
・助成額　生ワクチン　4,000円上限/回　（1回）
組換えワクチン　10,000円上限/回　（2回まで）　※ワクチンの種類により接種回数が異なる
・事業費　10,000千円

<table>
<tr><th rowspan="2">項目</th><th>助成延人数</th></tr>
<tr><th>令和7年度</th></tr>
<tr><td>生ワクチン</td><td>40人</td></tr>
<tr><td>組換えワクチン</td><td>625人</td></tr>
</table>
</td><td>継続</td><td>令和7年度から帯状疱疹の任意接種への助成を開始し、帯状疱疹の発症及び重症化を予防するとともに経済的負担の軽減に寄与した。
引き続き、帯状疱疹ワクチン接種に関する費用助成を行っていく。</td></tr>
</table>

事業名	環境衛生対策費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	5目 環境衛生費 ）	決算書	91 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			7,475	【7,547】	5,276	【5,351】		【7,211】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			公衆浴場衛生設備改善事業補助金が減少したこと及び令和6年度末に公衆浴場電気料金高騰対策補助金を廃止したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	2,000	0	1,500			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	5,475	0	3,776			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 環境衛生対策事業

自治会等で実施する害虫防除及びごみ集積ボックス設置等に対する助成の実施や、空き地に繁茂する雑草等の適正管理の指導を通じ、快適で衛生的な地域環境の保全に努めた。

(1) 害虫防除補助　95件、交付額　2,080千円　（令和6年度　100件、2,057千円）

(2) 衛生害虫防除薬剤散布業務

委託期間　令和7年5月19日～6月30日

委託料　1,287千円　（令和6年度　1,232千円）

港湾地区の防疫のため、庄西地区、新湊地区、放生津地区、堀岡地区及び海老江地区で実施

(3) ごみ集積ボックス等設置費補助

内容	数量	
	令和6年度	令和7年度
大型ごみ集積場設置	1基	1基
ごみボックス設置	20基	21基
ごみボックス補修	1基	6基
防鳥ネット	14基	17基
補助金額	810千円	848千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

自治会等に対する害虫防除やごみ集積ボックス設置等の補助を継続的に実施するなど公衆衛生環境の維持につなげた。

引き続き、地域環境の保全に努めていく。

事業名	美化対策費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	5目 環境衛生費 ）	決算書	91 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,789	【3,979】	3,847	【4,139】		【4,709】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	121	0	146	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,668	0	3,701			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 美化対策事業

廃棄物不法投棄監視員の委嘱や不法投棄監視パトロール会計年度任用職員の雇用により廃棄物不法投棄の未然防止と早期発見に努めた。また、アダプト・プログラム参加団体への支援により地域の美化活動を推進した。

(1) 廃棄物不法投棄監視員設置　25人

(2) 不法投棄監視パトロール会計年度任用職員雇用（令和7年4月～11月　2人）

(3) アダプト・プログラム事業

指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和7年度	令和9年度
アダプト・プログラム活動参加延べ人数	6,687人	5,186人	7,500人

(4) ボランティア保険（不法投棄監視員　25人、アダプト　398人）

(5) 側溝清掃用消石灰配布

(6) クリーン作戦

内容	実施時期
みんなできれいにせんまいけ大作戦	令和7年7月6日
小杉地区クリーン作戦	令和7年5月25日、7月27日
大島地区クリーン作戦	令和7年6月1日
射水市一斉クリーン大作戦	令和7年10月19日

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

不法投棄監視員等の活動は、廃棄物の不法投棄の未然防止や早期発見に有効であり業務を継続する。

アダプト・プログラム事業の実施状況について、登録団体数はほぼ横ばいだが、参加延べ人数は減少傾向にある。今後も参加人数の増加を図るため、市ホームページ・広報等による制度周知の取組みを拡充する。

これらの事業を推進し、地域の環境美化を一層推進していく。

事業名	斎場管理費	（ 4款 衛生費 1項 保健衛生費 6目 斎場費 ）	決算書	91 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			110,098	【110,563】	110,874	【110,949】		【110,185】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	47,530	0	42,479	0			
	国庫支出金	諸収入	0	3	0	2			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	62,565	0	68,393			
	財産売払収入		0		0				

	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 斎場管理 火葬業務等を委託し、施設の適正な運営維持管理を行った。 (1) 長期包括管理運営業務 火葬業務、運営業務、植栽管理業務、場内清掃業務、機械警備業務、空調設備保守管理業務等 委 託 先 （株）五輪 委託期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 委 託 料 498,300千円（令和7年度 99,660千円） (2) 火葬実績	継続
2 フラワーパーク沖塚原パークゴルフ場管理 (1) フラワーパーク沖塚原の指定管理 / （株）ファーム沖塚原（令和6年4月1日～令和9年3月31日） 指定管理者による施設の運営維持管理を行った。 (2) 利用実績	継続

区 分	令和6年度	令和7年度
12歳以上	1,309件	1,157件
12歳未満	13件	10件
計	1,322件	1,167件

	令和6年度	令和7年度
利用者数	6,018人	6,743人

※12月中旬～3月上旬の冬季間は施設休止

令和6年度から令和10年度まで㈱五輪と長期包括管理運営業務を委託契約している。
委託事業者の指揮監督、重要事項の確認を徹底し、施設の適切な管理運営に努めていく。

令和6年度から令和8年度まで指定管理者の㈱ファーム沖塚原による施設の管理を実施している。
引き続き、利用者が安全安心にプレーできるよう指定管理者と連携を密にし、利用者の安全を図るとともに適切な管理運営に努めていく。

事業名	環境保全費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	7目 環境保全費 ）	決算書	92 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			7,744	【9,005】	7,590	【7,966】		【10,104】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	5,000	0	2,000			
	国庫支出金	諸収入	0	0	213	0			
	県支出金	市債	151	0	260	0			
	財産運用収入	一般財源	0	2,593	0	5,117			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 公害対策事業

(1) 環境調査事業

射水市内の環境の現状を把握することを目的として、各種調査等を実施した。

内容			測定地点等	測定回数
大気関係	大気汚染常時観測局保守管理		1地点	常時
水質関係	河川及びため池等に係る水質環境調査	河川	19地点	2回
		海域	2地点	2回
		ため池	9地点	1回
		産業廃棄物処分場	1地点	4回
	工場排水調査		7地点	2回
	産業廃棄物処分場等周辺環境影響調査		5地点	4回
	ゴルフ場使用農薬に係る飲用井戸等水質検査		3地点	1回
	工場影響地下水調査（飲料水細菌・理化学検査）		1地点	1回
土壌関係	産業廃棄物最終処分場周辺土壌・米調査		4地点	各1回
悪臭関係	臭気調査に係る分析等		2地点	1回
騒音関係	自動車騒音常時監視面的評価		1路線	1回
	環境騒音調査（昼・夜）		10地点	各1回
	交通騒音調査（昼・夜）		9路線	各1回
	工場騒音調査（夜）		11地点	1回

指標項目	基準	実績	目標
	令和2年度	令和7年度	令和9年度
環境基準の達成率	96.9%	90.6%	100.0%

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

定期的な大気、水質、騒音等の環境調査を継続して実施することで、市内の公害状況の早期把握と環境の維持に努めた。今後も適切な調査体制を維持し、安全で安心な生活環境の保全を図る。

事業名	地球温暖化対策推進費	（ 4款 衛生費	1項 保健衛生費	7目 環境保全費 ）	決算書	92 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			10,226	【10,909】	11,010	【14,783】		【4,291】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	3,000	0	8,100			
	使用料・手数料	繰入金	0	2,000	0	1,500			
	国庫支出金	諸収入	0	4,793	0	1			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	433	0	1,409			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 地球温暖化対策事業

指標項目	基準	実績	目標
	平成25年度	令和5年度	令和9年度
温室効果ガス排出量	1,276千t-C02	898千t-C02	751千t-C02

※最新の数値は令和5年度

(1) ゼロカーボンシティいみず推進事業

ア 「ゼロカーボンシティいみず」周知啓発事業

ロゴマークやＰＲ動画を作成し2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組推進の機運を醸成

イ 市民向け「いみずＥＣＯチャレンジ2025」

市公式ＬＩＮＥを活用した市民参加型環境ポイント事業を実施し家庭部門における脱炭素を促進

ウ 事業者向け「ゼロカーボンシティいみず環境パートナーシップ事業」

賛同企業や団体等をパートナーに認定し事業部門における脱炭素を促進

(2) マイボトル利用促進事業

市庁舎等7つの市有施設にマイボトル対応型給水器「いいみず　いみず　ウォーターサーバー」を設置し、マイボトルの利用を促進し、使い捨てプラスチックごみの削減や水道インフラを活用した水の地産地消を推進した。

(3) いみず環境チャレンジ10事業

いみずＷＡＯネットワークと連携し、小学4年生を対象とした環境チャレンジ教室を実施した。

(4) ＥＣＯキッズスクール事業

民間企業等と連携し、親子向けの環境教育事業として、太陽光発電ランタン工作、自動販売機クラフトづくり、食品ロス削減サルベージ・パーティ等を実施し、家庭における脱炭素に向けた意識啓発を図った。

(5) 市民向け住宅用太陽光発電システム設置補助事業

住宅用太陽光発電システム設置補助金

(6) 事業者向け充電インフラ導入支援補助事業

充電インフラ導入支援事業補助金

(7) 事業者向け省エネ最適化診断補助事業

省エネ最適化診断事業補助金

補助金	令和6年度		令和7年度	
太陽光発電	36件	2,650千円	60件	4,320千円
充電インフラ	2件	200千円	0件	-
省エネ診断	1件	10千円	2件	19千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

拡充

令和7年度は、ゼロカーボンシティいみず推進事業を新たに展開し、市民や事業者のカーボンニュートラル実現に向けた意識啓発と行動変容やライフスタイル変革を促したほか、環境教育事業や市民向け・事業者向け補助事業の実施など地球温暖化対策の取組を推進した。

令和8年度は、これまでの取組に加え、ゼロカーボンシティいみず推進事業やマイボトル利用促進事業の充実強化を図り、更なる地球温暖化対策の取組を推進する。

（繰越明許費　3,000 千円）

・事　業　名　市民向け住宅用太陽光発電システム設置補助事業

・完 了 時 期　令和9年3月31日

事業名	資源再利用対策費	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費 ）	決算書	93 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			7,075	【7,762】	5,710	【6,563】		【7,320】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度末で、ごみ自家処理機材購入費補助金を廃止したほか、同年度に公募提案型市民協働事業補助金を計上していたことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	3,000	0	2,000			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	4,075	0	3,710			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 資源再利用促進事業

自治会等による資源集団回収の支援、資源ごみ回収用物品の提供等を通じてごみの減量・資源化に努めた。

資源集団回収事業

・ 資源再生利用推進報奨金

4,135千円（1kg当たり3円　回収量1,378ｔ）（令和6年度　4,388千円　回収量1,443ｔ）

・ 資源回収収集運搬委託

委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日

委 託 料　516千円（雑誌1kg当たり2.2円　回収量235ｔ）（令和6年度　531千円　回収量266ｔ）

指標項目	基準	実績	目標
	令和2年度	令和6年度	令和9年度
市民1人当たりのごみ排出量	1,066g	1,022g	983g
リサイクル率	20.9%	19.6%	23.0%

※最新の数値は令和6年度

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

新聞発行部数の減少や書籍・雑誌の市場規模の縮小による紙製品の減少、地域活動の在り方・取組の見直しが進む中、資源回収の活動回数及び回収量の減少が続いている。

地域の団体が自主的に資源の回収活動に取り組めるよう事業を継続するとともに、ごみ分別意識の更なる啓発を図り、リサイクル率の向上に努めていく。

事業名	塵芥収集費	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費 ）	決算書	93 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			357,375	【359,043】	362,264	【367,396】		【393,605】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			燃料費高騰による収集運搬委託料の増及びひとり暮らし高齢者等ごみ戸別収集の開始による。
	使用料・手数料	繰入金	168	0	196	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	3,233	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	357,207	0	358,835			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 一般廃棄物収集運搬事業

家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬を行い、資源の有効利用、生活環境の保全及び公衆衛生を向上させた。

(1) 一般廃棄物収集運搬業務（物価高騰対策No.14）【交付金※】

燃料費高騰の影響を受けている一般廃棄物収集運搬業務委託業者に対し、委託料を増額することで負担を軽減した。

- 一般廃棄物収集運搬業務委託業者　4社
- 委託期間　令和6年4月1日～令和9年3月31日
- 当初委託料（可燃・不燃・資源）　356,934千円
  燃料費高騰分委託料増額　3,329千円
  合計　360,263千円

(2) 犬猫等小動物死体回収運搬業務

- 委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日
- 委託料533千円　小動物死体回収1回当たり9,521円　回数56回（令和6年度　47回　435千円）

(3) ひとり暮らし高齢者等ごみ戸別収集業務

令和7年8月から、ごみの搬出が困難なひとり暮らし高齢者等の自宅まで、週1回燃えるごみの収集に伺う戸別収集を試行実施した。

- 委託期間　令和7年7月4日～令和8年3月31日
- 委 託 料　1,462千円　戸別収集1回当たり1,650円　回数886回（市全域で1月当たり約50件）

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

令和6～8年度にかけて長期契約を締結している一般廃棄物収集運搬業務委託業者に対し、燃料費高騰分を支援することで、安定的な経営を維持する効果があった。

引き続き、一般廃棄物の収集運搬を適切に行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努める。

事業名	クリーンピア射水管理費	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費 ）	決算書	93 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			816,109	【816,426】	814,594	【814,780】		【844,443】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			電気料金等の見直しに伴う長期包括運営業務委託変更による。
	使用料・手数料	繰入金	134,455	0	132,668	0			
	国庫支出金	諸収入	0	356	0	15,661			
	県支出金	市債	388	0	252	0			
	財産運用収入	一般財源	0	680,910	0	666,013			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 一般廃棄物の可燃ごみ焼却事業

一般廃棄物の可燃ごみについて、公害防止基準を守り適正に焼却処理した。
また、焼却施設から発生する余熱を発電や冷暖房、給湯などに有効利用した。

〈可燃ごみ搬入量〉

区分	令和6年度	令和7年度
可燃物	25,902,200kg	25,287,140kg
破砕可燃物	1,023,950kg	938,060kg

〈発電量〉

区分	令和6年度	令和7年度
発電量	6,941,740kwh	6,954,450kwh

〈温浴施設利用者数〉

区分	令和6年度	令和7年度
利用者数	12,943人	12,476人

2 長期包括運営事業

ごみ焼却運転業務等を委託し、適正な維持管理を行った。

委　託　先　　(株)射水環境サービス
委 託 期 間　　令和6年4月1日～令和11年3月31日
委　託　料　　4,047,820千円（うち令和7年度分　809,170千円）

3 包括運営業務モニタリング事業

業務委託発注者は民間事業者が実施する公共サービスの水準をモニタリングする必要があることから、「モニタリングに関するガイドライン」に基づき、ごみの処理状況、公害防止等、管理運営及び財務面からの確認を行った。

委　託　先　　(一財)日本環境衛生センター
委 託 期 間　　令和7年4月1日～令和8年3月31日
委　託　料　　2,658千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

1

継続

一般廃棄物の可燃ごみについて適切な稼働により効率的な焼却処理につなげることができた。
引き続き、施設周辺の環境に配慮し、法令を順守しながら適正な管理に努める。

2

継続

令和6年度から令和10年度まで(株)射水環境サービスと長期包括運営業務を委託している。
委託事業者の指揮監督、重要事項の確認を徹底し、施設を適正に運転管理することができた。
引き続き、施設の適正な維持管理に努めていく。

3

継続

本施設の運営受託事業者の「公共サービス水準」をモニタリングすることで、適正な業務管理につなげることができた。
引き続き、施設の適正な業務管理に努めていく。

事業名	粗大ごみ処理施設管理費	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費 ）	決算書	93 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			70,864	【73,717】	71,131	【79,991】		【78,775】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	10,081	0	9,948	0			
	国庫支出金	諸収入	0	30,320	0	29,131			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	30,463	0	32,052			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみ処理事業

一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみの処理を委託し、適正に処理した。
また、その中から、有価物を選別して再資源化を図った。

・ 委 託 先　(株)ＨＡＲＩＴＡ
・ 委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日
・ 委 託 料　54,233千円

〈粗大・不燃物搬入量及び処理困難物搬入量〉

区分	令和6年度	令和7年度
粗大・不燃物	1,689,700kg	1,528,070kg
廃タイヤ（ホイールなし）	89本	166本
廃タイヤ（ホイールあり）	311本	329本
廃タイヤ（16インチ以上）	43本	52本
バッテリー	95個	91個
消火器	134本	182本

〈有価物選別量〉

区分	令和6年度	令和7年度
破砕鉄分	390,956kg	354,820kg
破砕非鉄	71,035kg	62,010kg

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみの破砕等業務を委託し、適切に処理を行った。また、その中から有価物を選別して資源化につなげた。
引き続き、適正処理及び資源化を図るため、効率的な事業運営に努める。

事業名	処理棟管理費	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費 ）	決算書	93 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			57,408	【59,551】	60,817	【62,140】		【64,826】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			会計年度任用職員一人当たりの人件費の増による。
	使用料・手数料	繰入金	43,537	0	36,954	0			
	国庫支出金	諸収入	0	10,107	0	6,833			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,764	0	17,030			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 廃棄物再生利用事業

射水市分別収集計画に基づき搬入された空き缶、ペットボトル、プラ製資源及び紙製容器包装を容器包装リサイクル法の分別基準に適合させるための選別・圧縮・梱包・保管を行った。

〈資源ごみ選別量〉

区分	令和6年度	令和7年度
スチール缶	9,980kg	7,672kg
アルミ缶	23,150kg	23,858kg
空き瓶（無色）	89,220kg	72,810kg
空き瓶（茶）	100,870kg	88,900kg
空き瓶（その他）	38,760kg	35,880kg
ペットボトル	82,470kg	83,980kg
プラ製資源	365,680kg	377,660kg
紙製容器包装	142,230kg	135,170kg

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

容器包装リサイクル法で規定する資源物を分別基準に基づき作業を実施し、資源化につなげた。

今後も、ごみの減量・資源化のため効率的な事業運営に努める。

事業名	野手埋立処分所管理費	（ 4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費 ）	決算書	93 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			189,024	【197,307】	214,416	【215,750】		【174,152】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			電気料金、燃料費、薬剤費等の高騰の影響及び水処理施設の定期部品交換を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	943	0	709	0			
	国庫支出金	諸収入	11,165	0	0	0			
	県支出金	市債	0	36,600	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	140,316	0	213,707			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 埋立管理事業

埋立物からの浸出水について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他の法令を遵守し、物理化学的、衛生的に処理することで、本市の生活環境及び公共水域の水質の保全に努めた。

(1) 埋立地形式

一般廃棄物の最終処分場 （焼却残渣、ガレキ、土砂・汚泥等）

埋立地面積	埋立容量	埋立残容量（令和8年3月末現在）	埋立方式
22,900㎡	280,000㎥	約21,155㎥	セル埋立工法による準好気性埋立

〈埋立物搬入状況〉

区分		令和6年度	令和7年度
一般搬入		92ｔ	66ｔ
射水市搬入	側溝汚泥等	818ｔ	552ｔ
	クリーンピア射水	2,938ｔ	2,752ｔ
	計	3,756ｔ	3,304ｔ
合計		3,848ｔ	3,370ｔ

(2) 浸出水処理施設形式

雨水によって処分場から出た浸出水を逆浸透膜処理方式により、排水基準値内に処理し、放流及び場内用水として使用した。

処理能力	処理水量	浸出水調整槽容量	処理方式
100㎥/日	約36,500㎥/年	4,000㎥	凝集沈殿処理及び逆浸透膜（ＲＯ）膜処理等複合方式

2 包括運営事業

・ 野手埋立処分所包括運営業務委託

野手埋立処分所の浸出水処理業務等を委託し、適正な維持管理を行った。

委 託 先　(株)神鋼環境ソリューション
委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日
委 託 料　209,000千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続	一般廃棄物の最終処分及び浸出水の処理を適切に実施し、公共水域の水質及び生活環境を維持した。 引き続き、施設周辺の環境に配慮し、法令を遵守した適正な維持管理に努める。
継続	委託事業者に対する指揮監督及び業務確認などの連携を密に行い、施設の適正な運転管理につなげた。 今後も委託事業者に対する適切な指揮監督を継続し、適正な施設の維持管理に努めていく。

事業名	野手埋立処分所整備事業費	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費 ）	決算書	94 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					40,000	【363,008】		【631,985】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	40,000			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 野手埋立処分所整備事業に伴う地域振興補助金 令和7年7月7日に締結した野手埋立処分所整備に伴う覚書に基づき、地域振興補助金を交付し事業の推進を図った。 ・交付先：野手町内会 ・交付額：40,000千円	完了	野手町内会への地域振興補助金の交付は完了し、整備に対しての合意形成を図った。整備工事の着手後も、継続的に協議・調整を行い、早期完成に努める。
（継続費逓次繰越額　322,117 千円） ・事　業　名　野手埋立処分所整備事業 ・完 了 時 期　令和10年3月		

事業名	災害廃棄物処理事業費（繰越明許）	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費 ）	決算書	94 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					142,463	【144,034】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			71,263	0			
	県支出金	市債			0	71,200			
	財産運用収入	一般財源			0	0			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 災害廃棄物処理事業【地震】【国1/2】 地震により市内で多量の災害廃棄物が発生したことに伴い、本市の生活環境を保全するため、災害廃棄物の仮置場を設置し、焼却や最終処分が必要なものを除き、可能な限り再利用・再資源化を図り、適切に処理した。 （1）災害廃棄物処理及び仮置場管理運営業務 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、公費解体により発生した災害廃棄物の処理及び仮置場の管理運営を実施した。 ・委 託 先　射水市一廃収運業者協議会 ・委託期間　令和6年6月15日～令和8年3月31日 ・委 託 料　142,034千円	継続	災害廃棄物を仮置場に搬入し、再利用・再資源化を図り適切に処理することで、復旧・復興と公衆衛生の確保に努めた。引き続き、適正な処理を行い、計画的な事業完了を目指す。

事業名	災害廃棄物処理事業費	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費 ）	決算書	94 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			99,966	【244,000】	93,379	【143,000】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	42,786	0	46,779	0			
	県支出金	市債	0	57,100	0	46,600			
	財産運用収入	一般財源	0	80	0	0			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 災害廃棄物処理事業【地震】【国1/2】 （1）災害廃棄物処理及び仮置場管理運営業務 ・委 託 先　射水市一廃収運業者協議会 ・委託期間　令和6年6月15日～令和8年3月31日 ・委 託 料　93,379千円（令和7年度） ＜災害廃棄物（公費解体分）処理量＞（令和8年3月31日時点）	継続	災害廃棄物を仮置場に搬入し、再利用・再資源化を図り適切に処理し、仮置場を3月末に閉鎖した。事情により未申請となっている被災家屋の解体を行った場合、それに伴い発生する廃棄物を適切に処理する。

品目	木くず	コンクリート等	瓦	ガラス、陶磁器	畳	廃石膏ボード	混合廃棄物	粗大不燃物	小型家電	金属くず	可燃物	合計
処分量(t)	1,879	3,063	704	37	82	197	901	36	31	108	333	7,371

（繰越明許費　　21,800 千円）
・事　業　名　災害廃棄物処理事業
・完 了 時 期　令和9年3月末

事業名	被災家屋等解体費（繰越明許）	（ 4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費 ）	決算書	94 ページ	担当部課	市民生活部環境課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					195,252	【279,472】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			97,652	0			
	県支出金	市債			0	97,600			
	財産運用収入	一般財源			0	0			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 被災家屋等の公費解体及び撤去事業【国1/2】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、被災家屋等の公費解体を実施した。 ・解体棟数　54棟 ・契 約 額　153,238千円	継続	被災した半壊以上の家屋を対象に公費解体を実施し、生活環境・公衆衛生の保全及び二次災害の防止を図った。引き続き取組んでいく。
2 被災家屋等の自費解体及び撤去に要する費用の償還に関する事業【国1/2】【地震】 所有者が自ら費用負担した解体・撤去事業費の償還を行った。 ・償還件数　1件 ・償還金額　5,874千円	完了	自費解体に要した費用の償還を実施し、生活環境・公衆衛生の保全及び二次災害の防止を図った。
3 公費解体等による隣接する家屋等の境界壁復旧補助事業【国1/2】【地震】 隣接する家屋との共有壁復旧に係る費用を負担した申請者へ、補助金を交付した。 ・補助件数　29件 ・補助金額　21,869千円	完了	公費解体に伴い、隣接家屋と共有していた境界壁の再建費用の補助金を交付し、被災者へ費用負担の軽減を図った。
4 令和6年能登半島地震に伴う公費解体支援業務委託【国1/2】【地震】 災害からの復旧・復興のため、被災家屋等の公費解体事業に関する支援業務を実施した。 ・委 託 先　（一社）日本補償コンサルタント復興支援協会 ・委託期間　令和6年3月1日～令和8年3月25日 ・委 託 料　14,272千円（令和7年度）	継続	現地測量や所有者との調整等、公費解体事業の推進を図った。引き続き取組んでいく。

5 款　労 働 費

事業名	勤労者福祉推進費	（ 5款 労働費	1項 労働諸費	1目 労働諸費 ）	決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			16,617	【16,979】	17,439	【17,866】		【16,905】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	16,000	0	16,000			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	617	0	1,439			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 射水市ゆとりライフ互助会事業 市内の中小零細企業の従業員及びその家族に共済給付を行うなど、福利厚生の充実を図った。 指標項目 / 基準 H28-H30平均 / 実績 令和7年度 / 目標 令和9年度 ゆとりライフ互助会加入者数　839人　702人　1,000人	継続 市内中小企業の福利厚生の向上につなげた。 今後も事業内容の充実と会員増に努めていく。
2 中小企業退職金共済契約掛金補助 中小企業退職金共済に新規加入した事業者に掛金の一部を助成し、勤労者の福祉向上と雇用の安定を図った。 ・8件　1,038千円　（令和8年3月時点加入者数　3,867人）	継続 市内中小企業の退職金制度加入を促進することで、勤労者の福祉増進と雇用安定につなげた。 今後も事業の周知に努めていく。
3 勤労者福利対策貸付預託金 貸付原資の一部を市内金融機関に預託することにより、勤労者の生活を長期・低利な融資によって支援した。 (1) 組織労働者福利対策貸付預託金 新規貸付　233件　1,551,080千円　（令和6年度　251件　1,236,580千円） (2) 勤労者小口資金預託金 新規貸付　3件　1,850千円　（令和6年度　4件　2,500千円）	継続 市内勤労者の生活支援につなげた。 今後も事業周知に努めていく。

事業名	雇用対策費	（ 5款 労働費 1項 労働諸費 1目 労働諸費 ）	決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			6,171	【7,650】	7,289	【8,333】		【8,393】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			ワークセンター射水への会計年度任用職員配置の見直し及び国交付金を活用した採用促進応援事業の実施による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	2,200	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	6,171	0	5,089			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 地域職業相談室運営 ワークセンター射水をハローワーク高岡と連携して運営し、求職者の利便性の向上に努めた。 ・ 紹介件数 1,105件 （令和6年度 1,155件）	継続	引き続き、ワークセンター射水の適正な運営を支援し、求職者の利便性向上に努めていく。
2 障がい者雇用奨励金 市内にある事業所の事業主が、市内に住所を有する障がい者を常用労働者として、国等の助成金支給期間満了後も引き続き12か月雇用し、以降も継続して雇用されると見込まれるものに対して奨励金を交付した。 指標項目 / 基準 H28-30平均 / 実績 令和7年度 / 目標 令和9年度 障がい者雇用奨励件数 / 5件 / 2件 / 7件	継続	障がい者の雇用の継続につなげた。 引き続き、障がい者を雇用する事業主を支援していく。
3 学生企業訪問支援事業補助 市雇用対策推進協議会が市内企業への就職率の向上と離職率の抑制を図るため、市内学生等に企業の現場見学を通じて直接アピールする機会を提供するバスツアーを実施した。 参加事業所 11社 参加学生24人（令和6年度 参加事業所 14社 参加学生26人）	継続	事業を実施し、市内学生等に対する企業のＰＲにつながった。 引き続き、市内企業の人材確保に向けた取組を継続していく。
4 就職活動支援動画作成補助 雇用環境が厳しさを増す中、インターネット上で動画により雇用確保を図る市内中小企業の取組に対し、その制作費用の一部を支援した。 ・就職活動支援動画作成補助事業者数 3社	継続	若者等が目に触れやすい手法で行う市内中小企業の雇用対策に対し、引き続き支援する。
5 採用促進応援事業【国1/2】 自社の魅力・良さ・仕事のやりがいなどを学生等に直接伝える機会であるインターンシップの実施を伴走的にサポートすることにより、市内中小企業等の雇用確保を支援した。 委 託 先 （株）Ａｓｉａｎ Ｂｒｉｄｇｅ 委託期間 令和7年8月29日～令和8年3月19日 委 託 料 4,400千円	継続	市内企業の雇用確保を応援するため、引き続き実施する。

6 款　農 林 水 産 業 費

事業名	農業委員会費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 1目 農業委員会費 ）	決算書	96 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			10,935	【13,459】	11,853	【13,185】		【14,370】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	34	0	355			
	県支出金	市債	2,444	0	2,751	0			
	財産運用収入	一般財源	0	8,457	0	8,747			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 農業の発展と農業者の地位向上に向けた取組の推進

農業生産の基盤となる優良農地の保全と有効活用を推進した。

農業委員25人（会長1人、委員24人）

(1) 担い手確保と農地利用集積の支援

地域農業の構造改革を推進するため、農業の担い手育成と農地の有効利用（農業経営基盤強化促進法）による農地の貸し借りの促進を通じ活力ある農業基盤の強化を図った。

(2) 地域に根ざした農政活動の展開

地域の世話役と農業者の利益代表として、農業委員の一人ひとりが地域できめ細かな世話役活動を行い、農業者や集落の声を行政や政策に反映した。

(3) 農地行政の適正な執行

農地の売買や転用など、農地法に基づく許認可について、農業者を代表する機関として公正な審査を行った。

- 農地法第3条届出　89件（令和6年度 114件）
- 農地法第4条届出　4件（令和6年度 7件）
- 農地法第5条届出　45件（令和6年度 40件）
- 農地法第18条通知　114件（令和6年度 112件）
- 農地法施行規則第29条届出　1件（令和6年度 2件）
- 買受適格証明の交付　0件（令和6年度 1件）
- 農地法第3条許可申請　55件（令和6年度 59件）
- 農地法第4条許可申請　10件（令和6年度 4件）
- 農地法第5条許可申請　26件（令和6年度 19件）
- 事業計画変更承認申請　0件（令和6年度 1件）
- 農用地利用集積計画の決定　887件（令和6年度 1,868件）

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

農地に関する事務を執行する行政委員会として、農地法に基づく農地の売買・賃借の許可、農地転用案件への意見具申を適正に行った。

引き続き、農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の最適化活動を推進する。

事業名	農業振興推進費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費 ）	決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			40,075	【46,353】	65,008	【71,661】		【110,760】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			新たに射水市アグリテックバレー推進サポートセンターを設置したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	6,000	0	7,000			
	国庫支出金	諸収入	3,807	0	9,307	0			
	県支出金	市債	569	0	12,549	0			
	財産運用収入	一般財源	0	29,699	0	36,152			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業組織強化補助 市内の集落営農組織及び認定農業者等中核的な個人農家の活発な活動を促進するための助成を行い、各組織において、情報交換や研修会等が行われ、経営者としての資質向上が図られた。 ・ 営農組織連絡協議会補助金 530千円 ・ 担い手連絡協議会補助金 260千円	継続	集落営農組織及び認定農業者等中核的な個人農家の活発な活動促進に効果があった。 引き続き、次代を担う農業後継者の育成や確保に向けて取り組んでいく。
2 作物品質向上対策事業 安定的な農業生産と品質向上、均一化のために、土づくり資材や種子更新に対して助成を行った。 ・ 地力増強推進対策事業補助金 6,097千円 ・ 大豆・大麦種子更新対策事業補助金 6,460千円 ・ もみ殻シリカ灰肥料普及拡大支援事業 5,291千円	継続	安定的な農業生産と品質向上、均一化のために、土づくり資材や種子更新に対して助成を行い、品質及び単収の向上や、地域資源であるもみ殻の利用拡大に効果があった。 引き続き、市内農作物の収量の安定と品質の向上に向け取り組んでいく。
3 農業経営支援事業 37経営体に対し、田植機、トラクター、コンバインなどの農業用機械更新等導入補助を行い、経営の安定化に一定の効果があった。 ・ 農業経営支援事業補助金 9,792千円	継続	各経営体の農業機械の導入補助を行うことにより、農業経営に係る負担軽減に効果があった。 引き続き、農業経営の安定化、経営体の育成を支援していく。
4 農業用施設電気料金支援事業（物価高騰対策No.17）【交付金】 光熱水費高騰の影響を受けている農協共同利用施設及び大規模生産者に対し、乾燥調製施設等にかかる電気代の高騰額を補助し、農業支援を図った。 ・交付対象 農協共同利用施設他、大規模生産者 計14施設 ・交付金額 1,606千円	完了	電気代高騰の影響額を補助することで農協や大規模生産者の負担を軽減し、共同利用施設使用料を抑制することにより、市内農業経営体の負担を軽減した。
5 農業共同利用施設の燃料費高騰支援事業（物価高騰対策No.18）【交付金】 燃料価格高騰の影響を受けている農協の農業共同利用施設に対し、施設稼働燃料である灯油代の高騰額を補助し、農業支援を図った。 ・交付単価 10円/リットル ・交付金額 401千円	完了	燃料価格高騰の影響額を補助することで農協の負担を軽減し、共同利用施設使用料を抑制することにより、市内農業経営体の負担を軽減した。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
6 射水市アグリテックバレー推進サポートセンター運営業務【国1/2】 射水市アグリテックバレー推進サポートセンター（Ｆａｒｍｅｒ’ｓ　Ｄｏｏｒ　ＩＭＩＺＵ）を設置して専門のアドバイザーを配置し、新規就農や販売先の開拓、事業継承等の相談に応じたほか、ＳＮＳ等により本市農業の情報発信を図った。 委 託 先　　ランドブレイン（株）・（一社）とやまのめ 委託期間　　令和7年10月1日～令和10年3月31日 契 約 額　　72,633千円 令和7年度契約額　　14,674千円	継続	情報発信等により本市農業への関心が高まり、新規就農相談に繋がる効果があった。 これらの取組に加え、体験ツアーの開催等により引き続き新規就農者の確保に努めていくほか、農業DX推進等により、生産性・収益性の向上にも取り組んでいく。

指標項目	基準	実績	目標
	H28-H30平均	令和7年度	令和9年度
農産物の販売額	2,740百万円	3,697百万円	2,877百万円
農業法人の経常利益額	520百万円	1,406百万円	572百万円

事業名	水田利活用推進対策費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費 ）	決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			49,951	【53,583】	45,387	【49,624】		【46,142】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			産地づくり対策補助金の減（大豆作付け面積の減）による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	8,578	0	7,902	0			
	財産運用収入	一般財源	0	41,373	0	37,485			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 水田農業推進事業

当該補助実施により、全市的計画による生産調整の実施と麦・大豆の作付け推進、品質向上及び園芸作物の生産振興に効果があった。

(1) とやま型水田フル活用促進事業費補助金【県10/10】

ア 園芸作物等産地収益力強化事業

（基本8,630円/10a）

・水田園芸拡大品目（たまねぎ・にんじん・キャベツ・さといも）（対象面積6.52ha）

・稼げる！園芸産地プラン品目（えだまめ・しろねぎ・こまつな・いちご、さつまいも）（対象面積7.03ha）

イ 射水市農業再生協議会事務費

(2) 富山県経営所得安定対策推進指導費補助金【県10/10】

地域農業再生協議会補助 5,852千円

(3) 産地づくり対策補助金【市（作目ごとに設定）/10a】

基幹的な転作作物である、麦・大豆の作付け推進

大麦：394.9ha、大豆：405.9ha（うち118.9haは二毛作）

(4) 化学肥料削減緑肥推進補助金【市10/10】

大麦・大豆の生産と組み合わせた緑肥の取組に対する支援

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
化学肥料低減の取組面積（緑肥）	67ha	63.7ha	100ha

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

(1)、(2)については、全額県補助で実施しており、園芸作物の生産振興に効果があるため、引き続き事業を継続していく。

(3)については、近年の大雨や高温により反収が不安定な大豆の作付け面積が前年度より減少したものの、主食用米の需給調整に必要であることから、引き続き事業を継続し、麦・大豆の作付けを推進していく。

(4)については、緑肥種子の購入費に対する国の補助制度の廃止等により目標面積には届いていないが、環境保護と農業生産の持続可能性を確保するために化学肥料の低減は必要であることから、引き続き事業を継続していく。

事業名	担い手育成対策費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費 ）	決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,737	【5,862】	5,433	【7,958】		【20,944】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			新規就農者に対するハード事業（新規就農者経営安定化事業費補助金）の増による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	66			
	国庫支出金	諸収入	0	1,204	0	0			
	県支出金	市債	2,443	0	4,139	0			
	財産運用収入	一般財源	0	90	0	1,228			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業資金利子補給【県10/10】 農業生産法人や認定農業者が借り入れた制度資金に対し、利子助成したことにより、設備投資等費用が軽減され、経営改善に効果があった。 ・ 農業経営基盤強化資金利子助成 1件	継続	農業経営の安定化に向け、今後も事業を継続していく。
2 新規就農者育成総合対策事業 経営開始資金 【県（国）10/10】 国の制度を活用し、新規就農者への支援を行うことにより、設備等の初期投資が軽減され、新規就業者の育成に効果があった。（新規就農者1人） 指標項目 / 基準：平成29年度-令和4年度 / 実績：令和5-7年度 / 目標：令和5-9年度 新規就農者数（累計） 5人 4人 10人	継続	新規就農者は設備投資等初期費用が大きいため本事業は重要と考えており、引き続き支援していく。

事業名	６次産業化推進費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費 ）	決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,552	【3,579】	3,187	【3,274】		【5,911】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	2,000	0	1,000			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	1,552	0	2,187			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 6次産業化推進事業 農林漁業者が、生産に加え加工や販売なども行うことにより、農林水産物等の高付加価値化等を図る6次産業化への取組を支援した。 いみずサクラマスブランド推進事業 サクラマスのブランド化を推進するとともに、販路拡大やイメージアップ戦略等を展開した。 ・イベント出展販売（千曲市あんずまつり、泉佐野市農業祭、富山駅桜まつり、市農業産業まつり等）によるＰＲ ・地方市場への出荷数の増加 ・人気回転寿司チェーン店への販路継続	継続	いみずサクラマスのブランド化を推進することにより、養殖漁業の振興、地域の活性化を図っていく。また、販路拡大を中心に事業を展開し、令和9年度まで継続していく。

事業名	ふるさと特産品推進費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費 ）	決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			66,528	【78,200】	128,243	【136,130】		【150,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			寄附額及び寄附件数が増加したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	66,528	0	128,243			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 ふるさと射水応援寄附

本市特産の米の返礼品強化に向け、営農組合や個人農家の参画を得て、新米の予約受付や収穫後の寄附の継続受付を実施し、寄附額の拡大につなげた。

また、地域活性化を目的として、飲食店、宿泊施設、レジャー施設において、寄附を行うことで即時に利用できる電子クーポンを返礼品とする現地決済型ふるさと納税を導入した。

（令和8年3月末　30加盟店）

寄附件数　　8,846件　【うち災害寄附　99件】　　（令和6年度　5,138件）

寄附額　259,120千円　【うち災害寄附　878千円】（令和6年度　141,879千円）

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
ふるさと納税における寄附額	307,455千円 (R5.3.31)	259,120千円 (R8.3.31)	500,000千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

米の返礼品の安定的な在庫確保を行い、定期便など寄附促進につながる商品の充実を図る。また、人気の高いシロエビやカニ等の返礼品のＰＲ強化に加え、水産加工業者や鮮魚店と連携した新たな返礼品の開発を進めることで、本市特産品の魅力を広く発信し、安定した財源の確保を図っていく。

事業名	農村環境施設管理費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 4目 農村環境改善費 ）	決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			11,709	【12,140】	8,781	【9,039】		【8,182】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			新湊農村環境改善センターの廃止による。
	使用料・手数料	繰入金	28	0	2	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	11,681	0	8,779			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 大島農村環境改善センター及び大島北野河川公園施設の指定管理 ／ 特定非営利活動法人 おおしま熱中塾（令和8年4月1日～令和13年3月31日） 令和6年度：利用者数 13,373人 令和7年度：利用者数 14,133人	継続	指定管理者と連携を密にしながら施設の適切な管理運営に努め、農村生活の環境改善、健康増進及び地域連帯感の醸成に寄与した。 引き続き、施設管理を適切に継続し、効率的な運営に努めていく。
2 射水市ふれあい農園の指定管理 ／ 特定非営利活動法人 しもむらスポーツクラブまいけ（令和7年4月1日～令和12年3月31日） 令和6年度：利用者数 55人 令和7年度：利用者数 49人	継続	指定管理者と連携を密にしながら施設の適切な管理運営に努め、市民の健康的でゆとりのある生活の確保に寄与した。 引き続き、施設管理を適切に継続し、効率的な運営に努めていく。

事業名	土地改良事業推進対策費（繰越明許）	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費 ）	決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					64,660	【64,799】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	17,200			
	財産運用収入	一般財源			0	47,460			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 県営農地整備事業等負担金 (1)県営農村地域防災減災事業負担金（池多地区） （事業費 12,000千円） (2)県営農村地域防災減災事業負担金（針山口六ケ用水地区） （事業費 267,000千円） (3)県営農村整備事業負担金（中沖地区2地区） （事業費 200,000千円） (4)県営農地整備事業負担金（島地区） （事業費 120,000千円） (5)県単独農業農村整備事業　補助金（11地区） （事業費 104,100千円）	継続	農地の適切な保全及び維持管理に寄与した。 今後も継続的な事業の推進を図っていく。

事業名	土地改良事業推進対策費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費 ）	決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			264,114	【329,640】	253,579	【293,243】		【285,189】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	556	12,700	664			
	県支出金	市債	141,639	63,100	132,028	51,400			
	財産運用収入	一般財源	0	58,819	0	56,787			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業農村整備事業の負担金及び補助金 県や土地改良区が行う、ほ場整備、ため池や老朽化した用排水路などの農業用施設の補修事業等に対して、負担金や補助金を交付した。	継続	農地の適切な保全及び維持管理に寄与した。 今後も継続的な事業の推進を図っていく。
2 多面的機能支払交付金【県（国）1/2　県1/4】 (1) 農地維持支払及び資源向上支払（共同）　取組組織数　77組織 農用地、水路、農道等の地域資源や農村環境の良好な保全活動に対して補助金を交付した。 (2) 資源向上支払（長寿命化）　取組組織数　30組織 農業用排水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の取組に対して補助金を交付した。	継続	(1)については、農地の地域資源や環境保全の向上に寄与した (2)については、農作業の円滑化に寄与した。 今後は、資源向上支払取組組織数の拡大等に向けて進めていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 中山間地域等直接支払交付金【県（国）1/2　県1/4】 中山間地域等直接支払交付金（旧金山村、旧櫛田村、旧池多村）　取組組織数　8組織 高齢化や人口減少が著しい中山間地域等において、農業生産活動の継続に向けた取組に対して補助金を交付した。	継続	農地の地域資源や環境保全の向上に寄与した。 今後も継続的に取組を支援していく。
4 農地防災減災事業【県10/10】 防災重点ため池について、豪雨調査・耐震診断を実施した。 ・ 立神上堤豪雨調査・耐震診断業務委託 委 託 期 間　令和7年7月28日～令和8年1月21日 委　託　料　6,707千円 ・ 堀田上堤豪雨調査・耐震診断業務委託 委 託 期 間　令和7年8月7日～令和8年1月28日 委　託　料　6,793千円	継続	災害時に影響度が高いとされる、防災重点ため池の豪雨調査・耐震診断を行うことにより、今後の防災・減災の事業計画の推進に寄与した。 今後も継続的に実施する。
（繰越明許費　37,687 千円） ・事　業　名　県営農地整備事業等負担金・県単独農業農村整備事業補助金 ・完 了 時 期　令和9年3月		

事業名	農地管理費（繰越明許）	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費 ）	決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					5,795	【5,795】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			762	4,200			
	財産運用収入	一般財源			0	833			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 県営水利施設整備事業（牛ヶ首3期地区） 2 土地改良事業推進特別補助金（牛ヶ首3期地区）	継続	農業用施設の適正な維持管理が実施された。 農業の持続的発展や農業生産基盤の安定化のため、今後も推進が必要である。

事業名	農地管理費	（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費 ）	決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			147,083	【154,190】	158,366	【169,190】		【174,111】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	144	0	144	0			
	国庫支出金	諸収入	192	338	76	403			
	県支出金	市債	1,441	7,200	3,257	7,300			
	財産運用収入	一般財源	0	137,768	0	147,186			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 土地改良事業等の負担金 県や土地改良区が行う用排水路等の農業用施設の維持管理事業費の一部を負担した。 ・ 県単独農業農村整備事業（防災福祉対策事業・施設機能保全型）負担金 ・ 射水平野土地改良区施設維持管理負担金 ・ 国営造成施設管理強化事業負担金 ・ 県営造成施設管理強化事業負担金 ・ 県営基幹水利施設管理事業負担金 ・ 国営土地改良事業負担金 ・ 土地改良施設維持管理適正化事業負担金	継続	農業用施設の適正な維持管理に寄与した。 農業の持続的発展や農業生産基盤の安定化のため、今後も推進が必要である。
2 農業水利施設電気料金高騰対策緊急支援事業（物価高騰対策No.19）【交付金】 光熱費高騰の影響を受ける土地改良区に対し、農業水利施設の電気代高騰分の支援を行った。 ・ 事業費 76千円	完了	土地改良区に対して燃料高騰分を支援することで、土地改良事業者の安定的な経営の維持が図られた。

特記事項（決算規模の変動要因等）：土地改良事業に対する負担金の増額等による。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 農業用施設の修繕 農道施設や排水路の修繕を実施した。 ・ 青井谷地内排水路修繕 ・ 農道標識修繕	継続	農業用施設の適正な維持管理に寄与した。今後、土地改良施設の老朽化が懸念され、計画的な更新を検討する必要がある。
4 農道補修用砕石の提供 農道補修用砕石の提供を実施した。 ・12地区に配布	継続	農業用施設の適正な維持管理に寄与した。農道の機能維持に効果が認められ、今後も継続的に実施していく。
5 農地集積・集約化支援事業（畦畔除去） 農地の大区画化を図るため畦畔除去を実施した。 ・6組織にて実施	継続	従前より狭小な農地を畦畔除去により農地が大区画化され生産性向上に寄与した。 今後も継続的に実施し農地集積・集約化を推進していく。
（繰越明許費　　8,584 千円） ・事　業　名　県営基幹水利施設保全事業 ・完 了 時 期　令和9年3月		

事業名	林業振興推進費	（ 6款 農林水産業費 2項 林業費 1目 林業振興費 ）	決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			27,951	【29,666】	22,689	【24,451】		【38,254】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			森林整備事業の業務量の減による。
	使用料・手数料	繰入金	0	13,297	0	17,811			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	14,261	0	4,670	0			
	財産運用収入	一般財源	0	393	0	208			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 里山再生整備事業【県10/10】 竹林等の整備を行い森林の適正な維持管理業務を実施した。 里山林整備業務委託（6地区） 委 託 先　富山県西部森林組合 委 託 期 間　令和7年5月24日～12月24日 委 託 料　10,969千円	継続	里山の下刈や除伐等を行い、明るく見通しのきく森林化に寄与した。 今後も未実施地区において、継続的に事業を推進していく。
2 県単独森林整備事業【県1/2】 林木の健全な成長など森林の公益的機能の維持・向上を目的とし、より効率的な森林整備普及の向上を図るための保育・修景林整備及び林道開設・補修を実施した。 事業主体：富山県西部森林組合	継続	土砂災害の防止、保水、生物多様性の保全など森林の有する多面的機能が発揮されるよう適切な整備・保全管理の推進に寄与した。 今後も未実施地区において、継続的に事業を推進していく。

事業名	有害鳥獣捕獲対策費	（ 6款 農林水産業費 2項 林業費 1目 林業振興費 ）	決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,638	【8,195】	6,468	【14,443】		【9,718】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	7	0	1,746	0			
	財産運用収入	一般財源	0	5,631	0	4,722			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 有害鳥獣対策事業 有害鳥獣対策協議会に委託し、鳥獣被害対策実施隊の捕獲活動等を実施することで、カワウ、 カラス、イノシシ等の有害鳥獣による農水産物被害の抑制に取り組んだ。 また、令和7年9月施行のクマ緊急銃猟体制整備強化のため、備品購入及び訓練を実施した。 委 託 先　射水市有害鳥獣対策協議会 委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料　3,590千円	継続	実施隊の高齢化、担い手不足の課題がある中、ＩｏＴを活用した鳥獣被害の抑制により、実施隊の負担軽減を図りながら活動を維持していく。 クマ対策については、実践的な訓練を行うことにより初動対応能力が向上した。今後は、継続的に実運用を通じた訓練内容・備品の見直しや関係機関との連携強化を図っていく。

事業名	緑化推進費	（ 6款 農林水産業費 2項 林業費 2目 緑化推進費 ）	決算書	99 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			11,441	【11,860】	11,083	【11,483】		【11,223】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	4,490	0	4,283			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	6,951	0	6,800			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 花と緑の銀行射水支店への活動助成 花と緑の銀行射水支店の各地方銀行の活動に助成し、市内の緑化を推進した。 ・ 小学校、保育園、各地花壇への緑化木・花苗の配布活動 ・ 花壇コンクールの開催（幼稚園・保育園、学校、花の道、一般花壇、街角） 事業主体：花と緑の銀行射水支店 補助金額：10,547千円	継続	市内緑化推進に向けて、引き続き、活動に対し支援していく。
2 フラワーポット管理 小杉駅南北等に設置してあるフラワーポットの管理を実施した（植栽、水やり、施肥等）。 委託期間 令和7年6月23日～12月5日 委託料 528千円	継続	市民の緑化意識の向上のため、今後も、市街地における憩いの空間を創出・維持するよう努めていく。

事業名	海面漁業振興費（繰越明許）	（ 6款 農林水産業費 3項 水産業費 2目 水産業振興費 ）	決算書	99 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					54,834	【55,292】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			52,097	0			
	財産運用収入	一般財源			0	2,737			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 水産業施設等災害復旧費支援事業【地震】 令和6年能登半島地震により被災した施設等の復旧工事を支援した。 (1) 水産業共同利用施設災害復旧事業費補助金【国、県】 ・事業費 52,097千円 交付対象者：新湊漁業協同組合、新湊水産物商業連合協同組合、堀岡養殖漁業協同組合 (2) 水産関係団体施設等再建支援事業費補助金 ・事業費 2,737千円 交付対象者：新湊水産物商業連合協同組合	完了	能登半島地震で被災した水産業施設等の復旧工事に対する補助事業を実施し、安心して漁業が継続できる環境の整備に寄与した。

事業名	海面漁業振興費	（ 6款 農林水産業費 3項 水産業費 2目 水産業振興費 ）	決算書	99 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			149,673	【208,628】	17,848	【20,965】		【286,919】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	6,000	0	6,000			
	国庫支出金	諸収入	1,724	0	5,379	0			
	県支出金	市債	99,189	16,400	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	26,360	0	6,469			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 海面漁業振興事業 漁業経営の安定化を図るため、漁場環境の整備及び漁業後継者育成などの事業並びに養殖漁業の研究・進展等を支援することで、海面漁業の振興と安定に寄与した。 (1) 種苗放流事業補助 (4) 漁業近代化資金利子補給 (2) 漁獲共済掛金補助 (5) 水産多面的機能発揮対策事業 (3) 漁船保険料補助 (6) 魚食普及推進事業補助	継続	海面漁船漁業は、水産資源の減少や管理型漁業の影響等により、近年の水揚高は減少傾向となっていることから、引き続き、放流事業や、水産多面的事業で実施している藻場保全等を実施し水産資源保護に努めていく。 また、漁業者の経営安定や事業の持続化を図るための総合的な対策を実施していく。

指標項目	基準	実績	目標	※最新数値は令和6年度
	平成29年度-令和3年度平均値	令和6年度	令和9年度	
１人当たりの漁業所得	4,150千円	5,790千円	4,565千円	
指標項目	基準	実績	目標	
	平成29年度-令和4年度	令和5-7年度	令和5-9年度	
新規漁業就業者数（累計）	5人	6人	10人	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
(7) 漁業燃油価格高騰支援事業（物価高騰対策№20）【交付金】 漁業経営セーフティネット構築事業に係る燃油補填積立金の一部を支援した。 ・事業費　597千円　交付対象者：23経営体	完了	漁業者の負担を軽減することで、漁業者の経営安定化に寄与した。
(8) 漁業者物価高騰支援事業（物価高騰対策№21）【交付金】 高騰する光熱費の削減に寄与するＩＣＴブイ改良に係る費用の一部を支援した。 ・事業費　4,400千円　交付対象者：新湊漁業協同組合	完了	陸上で沖合の様子を把握し、無駄な出漁を減らすことで漁業経営の省コスト化に寄与した。
(9) 漁業共同利用施設支援事業補助金（物価高騰対策№22）【交付金】 電気料金高騰の影響を受けている漁協の共同利用施設に対し、電気料金の高騰額を支援した。 ・事業費　382千円　交付対象者：新湊漁業協同組合	完了	施設利用料への影響を緩和し、施設を利用する漁業者の負担を軽減することで、漁業者の経営安定化に寄与した。

事業名	新湊漁港建設費（繰越明許）	（ 6款 農林水産業費 3項 水産業費 4目 漁港建設費 ）	決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					600	【600】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	600			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 水産物供給基盤機能保全事業 1号岸壁の補修を行い、漁港機能の保全を図った。	継続	今後も漁港施設の整備等を県へ要望していく。

事業名	新湊漁港建設費	（ 6款 農林水産業費 3項 水産業費 4目 漁港建設費 ）	決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			0	【600】	5,622	【10,690】		【22,200】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	2,700			
	財産運用収入	一般財源	0	0	0	2,922			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 県単独漁港海岸整備事業 漁港道路の側溝整備等を行い、漁港機能の強化を図った。 2 水産物供給基盤機能保全事業 奈呉の浦大橋の補修等を行い、漁港機能の保全を図った。 3 漁港施設機能強化事業 護岸（A）の改良等を行い、漁港機能の強化を図った。 4 農山漁村地域整備交付金 新湊漁港（東地区）敷地内の舗装、照明灯の設置を行い、漁港機能の強化を図った。	継続	今後も漁港施設の整備等を県へ要望していく。
（繰越明許費 5,067 千円） ・事 業 名 1.県単独漁港海岸整備事業 1,200千円 2.水産物供給基盤機能保全事業 120千円 3.漁港施設機能強化事業 127千円 4.農山漁村地域整備交付金 3,620千円 ・完 了 時 期 令和9年3月31日		

7 款　商 工 費

事業名	商工業振興費	（ 7款 商工費	1項 商工費	2目 商工業振興費 ）	決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			118,960	【129,112】	107,543	【285,090】		【73,529】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	829	0	672			物価高騰対策として国交付金を活用した消費喚起事業について、システム運営経費が軽減されたことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	10,000	0	10,000			
	国庫支出金	諸収入	68,304	0	58,044	0			
	県支出金	市債	0	0	464	0			
	財産運用収入	一般財源	0	39,827	0	38,363			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 商店街新規出店支援事業 商店街等の空き店舗への出店を支援することにより、地域商店街の振興に寄与した。 ・4件　3,834千円　（令和6年度　4件　4,900千円）	継続	内川周辺を含めた市内商店街への出店に関する相談が多いことから、地域の活性化を図るため、事業を継続していく。
2 販路拡大支援事業 市内中小企業者に対し、県外で行われる展示会・商談会への出展料等の一部を支援し、販路拡大及び新規顧客獲得を支援した。 ・13件　3,208千円　（令和6年度　12件　2,868千円） 指標項目 / 基準 令和4年度 / 実績 令和7年度 / 目標 令和9年度 中小企業販路拡大支援事業成約率：30% / 26% / 36%	継続	市内事業者の販路拡大と新規顧客獲得につなげた。 前年度に比べ申請件数は増加しており、引き続き、事業者の販路拡大を支援していく。
3 創業支援事業 市内で新たに創業、又は創業して間もない個人や中小企業者に対し、事業に要した経費の一部を助成した。 ・20件　7,710千円　（令和6年度　24件　9,849千円） 指標項目 / 基準 令和4年度 / 実績 令和7年度 / 目標 令和9年度 創業支援事業補助金利用件数：19件 / 20件 / 19件	継続	補助金利用件数はほぼ横ばいであり、相談も多いことから、引き続き、市内での創業希望者、創業者を支援していく。
4 消費喚起プロジェクト支援補助金（物価高騰対策№23）【交付金】 長期間にわたる燃料・原材料価格の上昇による物価高騰の影響を受けている市内企業や市民生活を支援するため、射水市商工協議会が実施した30%プレミアム付き商品券発行事業を支援した。 ・プレミアム付きデジタル商品券事業　58,717千円	完了	高プレミアム率を付与することで、商品券の使用総額は321,129千円に達しており、市民生活をはじめ、地域経済の活力回復及び産業振興に寄与した。
（繰越明許費　164,516 千円） ・事　業　名　消費喚起プロジェクト支援補助金【交付金】 ・完 了 時 期　令和9年3月		

事業名	企業誘致対策費	（ 7款 商工費	1項 商工費	2目 商工業振興費 ）	決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			316,406	【331,789】	495,109	【519,697】		【612,080】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			企業立地奨励事業助成金について、当初見込みと比較して事業費が減となる企業が多かったため。（年度末での確定が重なり、減額補正対応が困難であった。）
	使用料・手数料	繰入金	1,500	6,900	1,437	8,900			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	100,005	0	157,097	0			
	財産運用収入	一般財源	0	208,001	0	327,675			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 企業立地奨励事業等助成金事業

工場等の新設又は増設を行った企業者を支援することで、新たな雇用の創出及び税収の安定化等、産業振興に効果があった。

(1) 企業立地奨励事業助成金（県助成金対象事業）【県1/2】
- 新規　2企業　113,184千円　（東洋紡㈱、ウッドリンク㈱）
- 継続　3企業　200,010千円　（シミックＣＭＯ㈱富山工場、立山化成㈱、日本重化学工業㈱）

(2) 企業立地奨励事業助成金
- 新規　7企業　68,124千円　（明興工業㈱、三進運送㈱、ＳＫ商事㈱、日本石油輸送㈱、㈱ヤマシタ、㈱大成商運、ＷＡＺＵＫＡホールディングス㈱）
- 継続　3企業　38,953千円　（㈱ウッドフレンド（2か所）、㈱大樹、石丸工業㈱）

(3) 宿泊施設立地促進助成金（建築助成金）
- 新規　1企業　33,340千円　（ルートインジャパン㈱）

(4) 宿泊施設立地促進助成金（経営安定助成金）
- 継続　3企業　13,180千円　（㈱スーパーホテル、新港ビル㈱、㈲桜町商事）

(5) 雇用創出企業立地支援事業補助金
- 新規　2企業　5,000千円　（㈱大樹、石丸工業㈱）

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
企業団地分譲率	98.1%	97.5%	100.0%

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

助成金の交付によって市内での工場等の新増設を促し、新規雇用の創出と税収の安定化に寄与した。

今後も本市の特性や企業ニーズ等を踏まえ、助成金制度の拡充等を検討し、優良企業の誘致を図っていく。

事業名	中小企業振興対策費	（ 7款 商工費	1項 商工費	2目 商工業振興費 ）	決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			402,198	【402,287】	405,768	【405,845】		【421,161】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			融資額の増加に伴う保証料助成及び融資残高に応じた金融機関への預託金がそれぞれ増額したことによる。 損失補償が昨年度と比較して著しく減少したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	383,538	0	391,312			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	18,660	0	14,456			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 中小企業融資制度 中小企業者に設備資金や運用資金を融資することにより、経営基盤の強化と安定化を図った。 (1) 小口事業資金等保証料助成 制度融資利用者に対し、要綱に基づき保証料の一部又は全部を助成した。 ・ 12,580千円 （令和6年度 9,430千円） (2) 富山県信用保証協会補助 前年度の融資実績に応じて支援した。 ・ 1,054千円 （令和6年度 773千円） (3) 小口事業資金貸付預託金 対象者：従業員20人（商業・サービス業5人）以下の中小企業者 ・ 新規貸付 87件 418,930千円 （令和6年度 67件 259,620千円） (4) 中小企業振興資金貸付預託金 対象者：従業員21人（商業・サービス業5人）以上の中小企業者等 ・ 新規貸付 25件 279,551千円 （令和6年度 25件 270,500千円） (5) 創業者支援資金貸付預託金 対象者：創業予定者又は創業2年未満の中小企業者 ・ 新規貸付 3件 7,500千円 （令和6年度 5件 16,400千円） (6) 短期季節資金預託金 対象者：夏季又は年末等一時的に資金を必要とする中小企業者 ・ 新規貸付 0件 0円 （令和6年度 1件 5,000千円） (7) 商工組合中央金庫預託金 中小企業育成融資資金に必要な資金を預託した。 ・ 新規貸付 60件 3,026,102千円 （令和6年度 74件 6,496,575千円） (8) 中小企業振興資金損失補償料 市制度融資の代位弁済 ・ 1件 62千円 （令和6年度 4件 8,782千円） (9) 小規模事業者経営改善資金利子助成 日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金の利用者に対し、利子の2分の1を助成した。 ・ 66件 1,934千円 （令和6年度 52件 1,110千円）	継続	各種制度融資の実施により、市内中小企業の経営基盤の強化を支援した。 今後も経済状況を注視し、適切に制度を運用していく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
2 中小企業・小規模企業振興会議 中小企業・小規模企業振興基本条例に基づいた第3次射水市中小企業振興計画の目標値の達成状況を報告するとともに、新たな中小企業振興策や労働環境の整備、雇用の確保を念頭に、会議を開催した。 ・ 委員　　15人 ・ 開催回数　1回 企業状況調査 ・ 市内企業790社を対象にアンケート調査の実施	継続	事業成果の検証及び今後の中小企業振興の在り方について協議を行い、計画の推進につなげた。 今後も計画の推進に対する協議の場として開催する。また、毎年企業状況調査を実施し、市内企業の状況を把握するなど、引き続き、計画目標の達成に向け着実に事業を実施していく。

事業名	連携中枢事業費（異業種交流促進事業）	（ 7款 商工費	1項 商工費	2目 商工業振興費 ）	決算書	101 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			4,388	【7,371】	5,047	【7,873】		【6,761】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	3,687	0	3,895			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	701	0	1,152			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 異業種交流促進事業 圏域内企業の交流や県外企業との新たなビジネスマッチングの実現に向けた機会創出を目的に、呉西6市で異業種交流展示会「メッセナゴヤ2025」への共同出展を実施した。 ・ メッセナゴヤ2025 開催期間　対面：令和7年11月5日～11月7日 オンライン：令和7年10月27日～11月28日 開催場所　ポートメッセなごや 総来場者数　50,705人 出展者数　844社・団体 共同出展事業者数　16社（うち射水市内事業者6社）	継続	圏域内企業の販路拡大も図られており、今後、更なるビジネスマッチングの実現に向けて、効果が見込まれる展示会に積極的に参加していく。

事業名	地域資源ブランディング推進費	（ 7款 商工費　　1項 商工費　　2目 商工業振興費 ）	決算書	101 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課 産業経済部観光まちづくり課 産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			19,982	【31,800】	25,321	【33,000】		【31,460】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			寿司店等新規出店・維持応援事業において、補助金の交付を1件行ったことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	9,991	0	11,431	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	9,991	0	13,890			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 寿司店等誘致事業【国1/2】 射水市の寿司文化の維持・継承に向けて、首都圏等から寿司店の誘致を図り、既存寿司店とともに食を通じた地域の新たな賑わいを創出するもの。 首都圏等の寿司職人や飲食店関係者を対象に、射水市の食材や出店環境等の魅力を発信するとともに、ＰＯＰ ＵＰイベント(参加者10人）やモニターツアーの実施（参加者8人）、出店希望者への伴走支援等を通じて、出店候補者の発掘から実出店の創出に向けた取組を実施した。 委 託 先　（一社）とやまのめ 委託期間　令和7年5月12日～令和8年3月13日 委 託 料　4,999千円	継続	モニターツアーや首都圏でのＰＲ活動等を通じて、射水市での寿司店出店に向けた情報発信やネットワーク形成を行った結果、出店に意欲を示す民間出資者を確保することができた。今後は、寿司職人の発掘から出店支援までを重点的に実施し、実出店の創出につなげていく。
2 寿司ＰＲイベント事業【国1/2】 (1)台湾での周知ＰＲ事業 台湾高雄市にて、氷見市と連携し、現地の観光事業者を対象に富山湾で水揚げされた鮮魚やいみずサクラマスを使用した寿司をその場で握るイベントを開催し、本市の寿司の魅力をダイレクトに伝えた。（55社79人が参加） 委 託 先　いみず観光物産インバウンド発信会 委託期間　令和7年5月29日～令和8年2月27日 委 託 料　4,000千円 (2)射水の寿司ＰＲイベント事業 本市への誘客を目的に新湊漁港で水揚げされた魚介類を食材とした寿司を中心としたメニューを提供する射水市フェアを「有楽町かきだ」「とやま鮨銀座」において開催し、本市の寿司、厳選された新鮮な魚介類の魅力を首都圏に向けて発信した。	継続	令和8年度は、台湾台北市や首都圏等で、引き続き寿司のＰＲイベントを開催し、本市の寿司の魅力を伝えていく。

	「有楽町かきだ」	「とやま鮨銀座」
委　託　先	（一社）とやまのめ	㈱ビーライン
委　託　期　間	令和7年11月28日～令和8年2月6日	令和7年12月8日～令和8年2月9日
委　託　料	3,000千円	2,926千円
アンケート回収	330件	494件

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 寿司職人担い手育成事業【国1/2】 市内での新たな寿司店の開業や既存寿司店の後継者確保のため寿司職人を目指すきっかけづくりとなる事業として、若者向け寿司教室の開催や寿司文化の醸成を広めるため絵本を制作し、市内小学生に配布した。 ・寿司職人担い手育成業務委託 委 託 先　（一社）アルベルゴディフーゾ新湊を拓く会 委託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日 委 託 料　2,937千円	継続	若年層を中心に職業選択の一つとして寿司職人を意識してもらう事業を展開することで、将来においても市内の寿司文化が維持・継承できる基盤づくりに継続して取り組む。
4 寿司店等新規出店事業【国1/2】 市内で寿司を提供する料理店の新規出店並びに維持・継承を支援することにより、来訪者の増加による地域経済の活性化や新湊漁港で水揚げされる新鮮な魚介類や農産物の活用による地産地消の推進、また、アルコール醸造施設の進出を促すことにより、魚料理店とアルコール提供店との相乗効果による新たな価値の創造を図るため、高付加価値をつけるための厨房機器等の取得費用や賃貸借費用、アルコール醸造施設に必要な設備の取得及び賃貸借費用について支援した。 ・寿司店等新規出店・維持応援補助　1件	継続	市内への寿司店の出店を検討する事業者に対し、引き続き支援し、新規出店等を後押しする。
5 新規漁業就労者応援事業 ・担い手不足が顕在化している漁業従事者の生活環境・待遇を改善し、新たな漁業就労者の確保を図った。 新規漁業就労者数1人	継続	本事業により新規漁業就労者の確保につなげた。引き続き、就業支援に取り組む。

事業名	消費生活安定対策費	（ 7款 商工費	1項 商工費	3目 消費者行政推進費 ）	決算書	101 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			4,012	【4,436】	4,034	【4,755】		【4,122】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	42	0	314	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,970	0	3,720			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 消費者行政推進事業 振り込め詐欺や悪質商法等による被害防止のために、広く市民を対象とした消費生活相談や消費者講座による啓発活動を実施し、消費者の自立と意識向上を図った。 また、通話録音装置の貸与事業を継続し、特殊詐欺等の被害防止を図った。 ・ 消費生活相談　457件　（令和6年度　394件） ・ 消費者講座　14回　（令和6年度　14回） ・ 通話録音装置貸与台数　20台　（令和6年度　18台）	継続	幅広い年代に対し消費者講座を実施し、振り込め詐欺や悪質商法等による被害の防止策について積極的に啓発した。 引き続き、消費者講座等により市民一人ひとりが知識と行動力を身に付けた自立した消費者となるよう啓発に努めるとともに消費生活センターの利用促進を図っていく。

指標項目	基準	実績	目標
	平成28-30年度平均	令和7年度	令和9年度
消費生活教室受講者数	908人	478人	1,300人

事業名	観光推進費	（ 7款 商工費	1項 商工費	4目 観光費 ）	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			82,532	【89,300】	107,106	【135,491】		【103,526】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	508			内川周辺地区案内標識等設置工事の実施、射水市観光協会補助金の増額、富山新港花火大会事業補助金の増額などによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	22,000	0	11,000			
	国庫支出金	諸収入	7,962	0	3,159	1,481			
	県支出金	市債	0	0	4,490	0			
	財産運用収入	一般財源	0	52,570	0	86,468			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 越中だいもん凧まつり 地域の担い手の減少、高齢化等により、参加団体は20団体にとどまった。（前回：令和6年度25団体） 令和7年度をもって市などで構成する実行委員会形式での事業運営は終了することとした。 来 場 者 数　約6,000人　（前回：令和6年度約5,000人） 補　助　額　3,345千円	完了	後継事業となる凧文化継承事業にて地域資源である凧文化を次世代に継承する取組を行っていく。
2 富山新港花火大会 市制20周年を祝し、ナイアガラ花火の実施を含め2,000発を超える多彩な花火を打上げ、例年以上に豪華な花火大会を行った。 また、海外を含む団体ツアーや個人向けに有料観覧席の販売を行い、財源確保に取り組んだ。 来 場 者 数　約35,000人　（前回：令和6年度約30,000人） 補　助　額　10,000千円	継続	多くの来場があり、にぎわい創出に寄与した。有料観覧席の更なる販売促進を図るとともに、新たに企業版ふるさと納税による財源確保を行うなど、持続可能な花火大会となるよう努めていく。
3 2025しんみなと漁港復興朝市 「新湊カニかに海鮮白えびまつり」の代替イベントとして、新湊漁港を会場に鮮魚販売や海鮮鍋の提供、「お魚ふれあい水槽」や「ミニ競り」などのイベントを実施した。 令和7年度をもってこれまでの祭り形式のイベントは終了し、市などで構成する実行委員会は解散することとした。 来 場 者 数　約1,500人　（前回：令和6年度約2,000人） 補　助　額　2,731千円	完了	今後は海業（海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業）の考え方に基づき、地域関係者が連携し、市民や観光客に親しまれる事業の実施に向けて検討を進めていく。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>4 射水市コンベンション開催事業補助事業
学会、スポーツ大会等を主催する団体に対し、会場使用料や宿泊費を補助することにより、交流人口の拡大を通した地域の活性化を図った。

補助団体数　8団体　（前回：令和6年度6団体）
事　業　費　1,431千円
<table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>H28-H30平均</th><th>令和7年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>コンベンション開催事業等での県外からの宿泊者数</td><td>263人</td><td>1,193人</td><td>2,000人</td></tr></table></td><td>拡充</td><td>市内の宿泊施設やスポーツ施設等の利便性をＰＲするなどスポーツ大会やコンベンション誘致に努めた。
令和8年度から、宿泊補助の対象を「県外」から「市外」の宿泊者へ拡充して利用を促していく。</td></tr>
<tr><td>5 内川周辺地区案内標識等設置工事【県1/3】
内川への誘導を強化するため、道路標識での公共駐車場の表示や内川までの方向系サインの新設、散策者用の案内看板の設置位置の見直し及び盤面の更新を行った。
施工期間　令和7年12月26日～令和8年3月27日
工事請負費　14,795千円</td><td>完了</td><td>道路標識に公共駐車場を示すマークを表示するとともに、クロスベイ新湊から内川までの道路に2か所方向系サインを新設するなど誘導の強化を図った。また、サインの素材を錆調にするなど、内川の景観と調和したデザインとした。</td></tr>
<tr><td>6 観光協会への補助（インバウンド（台湾）誘客事業に対する補助）【国1/2】
訪日台湾人観光客の誘致促進のため、高岡市・氷見市と連携し、台北市で開催された台湾旅博（ＴｉＴＥ）へ出展し、商談会を実施した。

実施期間　令和7年8月22日～8月25日
補助金　4,000千円
商談数　100件</td><td>継続</td><td>台湾旅博への出展により、旅行の具体的な相談や販売を行った。
今後は、台北市に加え、台中市、高雄市においても商談会を行い、台湾からの更なる誘客の増加に取り組んでいく。</td></tr>
<tr><td>7 道の駅まるごと射水管理運営事業　／　㈱道の駅新湊（令和7年4月1日～令和23年3月31日）
名称を「道の駅新湊」から「道の駅まるごと射水」に改め、物産館と食遊館の2館体制とし、令和7年11月にリニューアルオープンした。オープン後は、食遊館と物産館の間の広場を活用したよさこいや獅子舞演舞などのイベントを実施し、賑わいの創出に努めた。
また、道路利用者に休憩の場を提供するとともに、観光客に対し本市が誇る地域資源の魅力や観光情報を提供するため、施設の適正な維持管理に努めた。
・入館者数　464,215人</td><td>継続</td><td>引き続き施設の適正管理に努めるとともに、今後もイベントの開催や道の駅周辺の施設との連携を通じて、道の駅周辺エリアの更なる賑わい創出を図っていく。</td></tr>
</table>

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
（繰越明許費　　20,000 千円） ・事　業　名　いみず食泊割キャンペーン事業業務委託【交付金】 ・完 了 時 期　令和9年2月	

事業名	川の駅新湊・いみず観光情報館維持管理費	（ 7款 商工費	1項 商工費	4目 観光費 ）	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			28,312	【28,435】	30,852	【30,867】		【29,809】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			指定管理料の更新による。
	使用料・手数料	繰入金	3	0	3	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	28,309	0	30,849			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 川の駅新湊・いみず観光情報館の指定管理　／　㈱新湊観光船（令和7年4月1日～令和10年3月31日） 新湊観光船の発着を含む内川観光の拠点として、内川周辺を訪れる観光客に対し情報発信や土産物の販売等を行った。 併せて、施設の適正な維持管理に努めた。 ・川の駅新湊入館者数　令和7年度　43,766人　（前年度　44,961人） ・いみず観光情報館入館者数　令和7年度　8,448人　（前年度　7,090人）	継続	多彩な自主事業を展開しながら、更なる賑わい創出や交流人口の拡大に取り組んでいく。

事業名	道の駅維持管理費（繰越明許）	（ 7款 商工費	1項 商工費	4目 観光費 ）	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			7,092	【7,092】	27,698	【46,300】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	27,600			
	財産運用収入	一般財源	0	7,092	0	98			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道の駅新湊等外構災害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震により地盤沈下が生じたため、災害復旧工事を実施した。 ・施 工 期 間　令和7年3月26日～11月10日 ・工事請負費　27,698千円	完了	地盤沈下の復旧工事を実施し、施設の機能回復を図った。

事業名	道の駅整備事業費（遖次繰越）	（ 7款 商工費	1項 商工費	4目 観光費 ）	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					30	【30】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			15	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	15			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道の駅新湊等改修事業（継続費） 道の駅新湊及び旧新湊農村環境改善センターの建物を活用し、更なる賑わいの創出や射水ブランドの推進等に取り組むため、施設の設計・施工・管理運営等を一体的に行う民間事業者による整備を実施した。 道の駅新湊大規模改修に伴う附帯工事【国1/2】 ・施 工 期 間　令和8年1月27日～3月26日 ・工 事 請 負 費　583千円（うち遖次繰越分30千円）	完了	令和7年11月にリニュアルオープンした。今後は道の駅周辺エリアの更なる賑わい創出に向け、指定管理者と連携して取り組んでいく。

事業名	道の駅整備事業費（繰越明許）	（ 7款 商工費	1項 商工費	4目 観光費 ）	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					161,801	【214,647】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	144,900			
	財産運用収入	一般財源			0	16,901			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道の駅周辺エリア整備事業 市道作道228号線の付け替え工事及び駐車場増設工事を実施した。 道の駅新湊増設駐車場用地造成工事 ・施 工 期 間　令和7年3月18日～11月13日 ・工 事 請 負 費　43,555千円（うち繰越明許分25,605千円） 道の駅周辺道路等用地造成工事 ・施 工 期 間　令和7年4月16日～12月11日 ・工 事 請 負 費　110,458千円 道の駅周辺道路等舗装工事 ・施 工 期 間　令和7年8月1日～令和8年1月8日 ・工 事 請 負 費　43,039千円（うち繰越明許分25,000千円）	完了	令和7年11月にリニュアルオープンした。今後は道の駅周辺エリアの更なる賑わい創出に向け、指定管理者と連携して取り組んでいく。

事業名	道の駅整備事業費	（ 7款 商工費	1項 商工費	4目 観光費 ）	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			167,468	【382,147】	803,726	【805,190】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			道の駅整備事業の進捗による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	25,410	0	385,443	0			
	県支出金	市債	0	115,900	0	350,200			
	財産運用収入	一般財源	0	26,158	0	68,083			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道の駅周辺エリア整備事業 (1)道の駅新湊等改修事業（継続費） 道の駅新湊及び旧新湊農村環境改善センターの建物を活用し、更なる賑わいの創出や射水ブランドの推進等に取り組むため、施設の設計・施工・管理運営等を一体的に行う民間事業者による整備を実施した。 道の駅新湊（別館）大規模改修工事【国1/2】 ・施 工 期 間　令和6年12月24日～令和7年11月4日 ・工事請負費　333,300千円（うち支出額315,981千円） 道の駅新湊（本館）大規模改修工事【国1/2】 ・施 工 期 間　令和7年4月1日～11月4日 ・工事請負費　355,003千円 (2)周辺エリア整備事業 道の駅新湊の周辺エリア整備として、外構工事、市道作道228号線の付け替え工事及び駐車場増設工事を実施した。 道の駅新湊大規模改修（外構）工事【国1/2】 ・施 工 期 間　令和7年9月8日～11月10日 ・工事請負費　54,835千円 道の駅増設駐車場舗装工事【国1/2】 ・施 工 期 間　令和7年8月1日～12月26日 ・工事請負費　45,984千円 道の駅周辺道路等舗装工事 ・施 工 期 間　令和7年8月1日～令和8年1月8日 ・工事請負費　43,039千円（うち支出額18,039千円）	完了	令和7年11月にリニュアルオープンした。今後は道の駅周辺エリアの更なる賑わい創出に向け、指定管理者と連携して取り組んでいく。

事業名	観光交流センター管理運営費	（ 7款 商工費	1項 商工費	4目 観光費 ）	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			133,079	【135,716】	133,535	【1,127,407】		【59,429】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	5,689	0	5,484	0			
	国庫支出金	諸収入	0	584	0	589			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	126,806	0	127,462			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 観光交流センターの管理運営事業 ／ 新港ビル㈱（令和5年4月1日～令和8年3月31日） 観光交流センター（クロスベイ新湊）の管理運営に指定管理者制度を導入し、射水ベイエリア観光の発着点として、新湊地区の賑わい創出や地域活性化に取り組んだ。 また、クロスベイ新湊を核とした地域活性化を図るため、マルシェ等の賑わい創出イベントを開催した。 ・ 来館者数 239,067人（令和6年度 264,030人）	継続	令和5年度から指定管理者制度を導入し、施設運営に民間活力を取り入れることで、更なる賑わい創出や地域活性化に取り組んでいく。
（繰越明許費 989,751 千円） ・事 業 名 観光交流センター取得費 ・完 了 時 期 令和8年4月 ・事 業 名 観光交流センター備品購入 ・完 了 時 期 令和9年3月		

8 款　土 木 費

事業名	道路橋梁総務費	（ 8款 土木費　1項 道路橋梁費　1目 道路橋梁総務費 ）	決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部用地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			112,724	【124,719】	143,198	【151,600】		【173,149】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			・歳入：法定外公共物売却収入の増額 ・歳出：ＬＥＤ道路照明灯リース代金の増額
	使用料・手数料	繰入金	46,628	0	46,520	0			
	国庫支出金	諸収入	0	770	0	487			
	県支出金	市債	0	11,100	0	1,400			
	財産運用収入	一般財源	0	54,226	0	72,187			
	財産売払収入		0		22,604				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 防犯灯・街路灯ＬＥＤ化事業 防犯灯や街路灯をＬＥＤ化することにより、維持管理（電気料金含）コストの削減及び環境に配慮した低炭素社会の実現に貢献した。 【令和7年度】 リース　405箇所(街路灯リース388箇所、防犯灯17箇所)	継続 令和7年度は街路灯のＬＥＤ化に取り組み、防犯灯、道路照明灯、街路灯のＬＥＤ化率は99%に達した。引き続き、街灯のＬＥＤ化率100%を目指して整備を進める。
（繰越明許費　4,764 千円） ・事　業　名　照明灯撤去工事 ・完 了 時 期　令和9年3月31日	

事業名	市道新設改良費（繰越明許）	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	2目 道路新設改良費 ）	決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					58,213	【62,915】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	52,300			
	財産運用収入	一般財源			0	5,913			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 市道新設改良事業 市道本村常国線　外5路線 ・ 委託料　市道広上水源地線　外1路線 ・ 工事請負費　市道本村常国線　外3路線	継続 生活に密着した市道の拡幅改良、舗装新設等を行い、快適で利便性の高いまちづくりの向上に寄与した。 引き続き安全で安心に利用できる道路の整備を計画的に進める。

事業名	市道新設改良費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	2目 道路新設改良費 ）	決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			38,485	【101,400】	35,306	【128,880】		【90,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	34,600	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,885	0	35,306			
	財産売払収入		0		0				

市道大江419号線道路改良工事等において、関係者及び関係機関との調整に不測の日数を要したため、令和7年度中に発注まで至らず執行されなかったことによる。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 市道新設改良事業 生活に密着した市道の拡幅改良、舗装新設等を行い、快適で利便性の高いまちづくりの向上に成果があった。 市道庄川本町三日曽根線　外10路線 ・ 委託料　市道大江1410号線　外2路線 ・ 工事請負費　市道庄川本町三日曽根線　外8路線 ・ 公有財産購入費　市道大江419号線　外2路線 ・ 補償補填及び賠償金　市道広上水源地線　外2路線	継続 11路線に着手しており、引き続き、安全で安心に利用できる道路の整備を計画的に進める。
（繰越明許費　93,573 千円） ・事　業　名　市道新設改良事業 ・完 了 時 期　令和9年2月	

事業名	地方道路交付金事業費（繰越明許）	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	2目 道路新設改良費 ）	決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					33,370	【66,974】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			17,495	0			
	県支出金	市債			0	13,800			
	財産運用収入	一般財源			0	2,075			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 社会資本整備総合交付金事業 ・ 市道朴木赤井線 ・ 市道三ケ34号線 ・ 市道大門針原線	継続 通学路における歩道の設置など、安全・安心な歩行空間を確保し、快適に暮らせるまちづくりに成果があった。 引き続き、市の地区間を連絡する道路や交通・物流拠点へのアクセス道路等、幹線市道の整備を計画的に進める。

事業名	地方道路交付金事業費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	2目 道路新設改良費 ）	決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			64,552	【132,166】	1,372	【120,824】		【176,545】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	34,573	0	390	0			
	県支出金	市債	0	26,600	0	200			
	財産運用収入	一般財源	0	3,379	0	782			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 社会資本整備総合交付金【国50/100（国55/100）】 活力ある地域づくりを目指し、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、市内道路網の体系的な整備を行った。 また、通学路における歩道の設置など、安全・安心な歩行空間を確保し、快適に暮らせるまちづくりに成果があった。 ・ 市道大門針原線	継続 引き続き、市の地区間を連絡する道路や交通・物流拠点へのアクセス道路等、幹線市道の整備を計画的に進める。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7度	令和9年度
主要幹線道路の改良率	41.2% (2.7km)	58.3% (3.5km)	75.0% (4.7km)

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7度	令和9年度
歩道の設置割合	48.2% (132.5km)	48.1% (133.9km)	48.9% (135.5km)

（繰越明許費　　119,366 千円）
・事　業　名　　社会資本整備総合交付金事業
・完 了 時 期　　令和9年2月

事業名	道路橋梁維持費（繰越明許）	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	3目 道路橋梁維持費 ）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					117,655	【117,761】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			23,620	0			
	県支出金	市債			0	38,500			
	財産運用収入	一般財源			0	55,535			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道路維持管理事業 道路パトロール、市民からの情報提供及び自治会等からの要望を基に、道路構造物の補修及び更新を実施し、道路の適正な維持管理を行うことにより、安全で快適な道路環境の保全に成果があった。 ・ 補修工事及び修繕件数　105件	継続	修繕・補修工事を実施した。 引き続き、修繕・補修工事を行うとともに適正な維持管理に努め、道路の利便性の向上に取り組む。
2 道路舗装補修事業 道路舗装の補修を実施したことで、安全で快適な道路交通の確保に成果があった。 ・ 市道今井小杉白石線舗装補修工事　外1路線	継続	道路舗装個別施設計画に基づき、2路線で舗装の補修工事を実施した。 引き続き、老朽化した道路舗装の補修を計画的に進める。

事業名	道路橋梁維持費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	3目 道路橋梁維持費 ）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			149,647	【267,647】	209,006	【281,335】		【299,595】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	5,423	0	1,253	0			
	県支出金	市債	0	9,900	0	23,600			
	財産運用収入	一般財源	0	134,324	0	184,153			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道路維持管理事業 道路パトロール、市民からの情報提供及び自治会等からの要望を基に、道路構造物の補修及び更新を実施し、道路の適正な維持管理を行うことにより、安全で快適な道路環境の保全に成果があった。 ・ 補修工事及び修繕件数　154件	継続	修繕・補修工事を実施した。 引き続き、修繕・補修工事を行うとともに適正な維持管理に努め、道路の利便性の向上に取り組む。
2 道路舗装補修事業 道路舗装の補修を実施したことで、安全で快適な道路交通の確保に成果があった。 ・ 市道七美本江中線舗装補修工事　外2路線	継続	道路舗装個別施設計画に基づき、3路線で舗装の補修工事を実施した。 引き続き、老朽化した道路舗装の補修を計画的に進める。
（繰越明許費　　71,503 千円） ・事　業　名　道路舗装補修事業等 ・完 了 時 期　令和8年12月		

事業名	交通安全施設整備費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	3目 道路橋梁維持費 ）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			23,226	【23,228】	13,593	【27,440】		【39,550】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			地元及び関係機関との協議・調整に不測の日数を要したため。
	使用料・手数料	繰入金	0	7,000	0	5,000			
	国庫支出金	諸収入	3,458	0	0	0			
	県支出金	市債	0	2,500	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	10,268	0	8,593			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 交通安全施設整備事業 住民の安全・安心及び快適な道路交通環境を確保するため、地区要望の中から早急に整備が必要な安全施設（反射鏡、防護柵、区画線等）を整備した。 ・ 補修工事及び修繕件数　N=52件 ・ 道路反射鏡　N=2基（新設） ・ 防護柵　L＝15.0m（新設） ・ 区画線　L＝4.9km	継続 多くの地区要望の中でも緊急性及び優先度の高い安全施設を整備し、住民の安全・安心及び快適な道路交通環境の確保に寄与した。 引き続き、道路利用者が安全に通行できる環境の確保に努める。
（繰越明許費　13,846 千円） ・事　業　名　市道作道三ケ線側溝改良工事 ・完 了 時 期　令和8年4月	

事業名	まちなみ環境整備事業費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	3目 道路橋梁維持費 ）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部用地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1,278	【1,439】	3,666	【5,846】		【1,548】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			自治会等からの要望に基づき事業を実施しているため、年度により事業費に変動がある。令和7年度は、雨水排水路整備事業において事業費の大きい地区が複数あったことにより、事業費が増加した。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	1,278	0	3,666			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 まちなみ環境整備事業費 自治会や町内会が主体となって実施する道路の改良舗装工事や雨水排水路整備工事のほか、公共用地維持管理のための草刈機を購入する際の費用の一部を助成することで、地域の生活環境の改善を図ることができた。 ・道路改良舗装事業　1地区 ・雨水排水路整備事業　2地区 ・公共用地維持管理事業　4地区	継続 地域の要望に即した有効な補助事業であり、今後も継続的に事業を進めていく。

事業名	橋梁長寿命化・耐震化対策事業費（繰越明許）	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	3目 道路橋梁維持費 ）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					78,951	【78,951】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			43,422	0			
	県支出金	市債			0	22,800			
	財産運用収入	一般財源			0	12,729			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市道小杉駅南線（駅南大橋）橋梁補修工事外4工事【国55/100】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市道小杉駅南線（駅南大橋）外4橋の補修工事を実施した。 実施内訳 ・ 補修工事：橋長15m以上　N=2橋（駅南大橋・放生津橋） ・ 補修工事：橋長2m以上15m未満　N=3橋（無名橋12・無名橋148・無名橋61）	完了	5橋（駅南大橋・放生津橋・無名橋12・無名橋148・無名橋61）の補修工事の実施により、橋梁の長寿命化と安全な交通機能が図られた。
2 市道大門針原線（橋下条大橋）補修設計業務委託外3業務委託【国55/100】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、次年度以降に補修工事を計画している市道大門針原線（橋下条大橋）や市道大島北野鷲塚線（小杉大橋）の実施設計及び51橋の橋梁詳細点検を実施した。 実施内訳 ・ 補修設計：N=2橋（橋下条大橋・小杉大橋） ・ 橋梁詳細点検：橋長15m以上　N=11橋、橋長2m以上15m未満　N=40橋	完了	2橋（橋下条大橋・小杉大橋）の補修設計の実施により、工事の範囲や工法等を決定した。 橋梁詳細点検の実施により、51橋の健全性を把握した。

事業名	橋梁長寿命化・耐震化対策事業費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	3目 道路橋梁維持費 ）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			72,511	【151,462】	124,542	【208,500】		【195,860】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	39,881	0	68,498	0			
	県支出金	市債	0	23,000	0	39,600			
	財産運用収入	一般財源	0	9,630	0	16,444			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費【国55/100】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市道立町八幡町三丁目線（放生津橋）外4橋の補修工事を実施した。 ・ 委託料　補修設計：N=8橋 橋梁詳細点検：橋長15m以上　N=12橋、橋長2m以上15m未満　N=85橋 ・ 工事請負費　補修・塗替塗装工事：橋長15m以上　N=5橋	継続	5橋（放生津橋・二ノ井橋・丸山橋・橋下条大橋・藤巻2号橋）の補修・塗替塗装工事を実施し、内2橋（二ノ井橋・丸山橋）の工事の実施により、橋梁の長寿命化と安全な交通機能が図られた。 引き続き、補修工事を計画的に進めていく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
橋梁の補修割合	18.3% （11橋）	31.7% （19橋）	60% （36橋）

（繰越明許費　83,958 千円）
・事　業　名　市道大門針原線（橋下条大橋）橋梁補修工事外5工事
市道大島北野鷲塚線（小杉大橋）床版更新詳細設計業務委託外2業務委託
・完 了 時 期　令和9年3月

事業名	除雪対策費（繰越明許）	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	4目 雪害対策費 ）	決算書	105 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					55,858	【55,932】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			37,032	0			
	県支出金	市債			0	16,600			
	財産運用収入	一般財源			0	2,226			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道路除雪事業【国2/3】 凍結防止剤散布車　2 台 除雪ドーザ　1 台	継続	除雪関係機械を購入した。 引き続き、除雪関係機械の更新に取り組んでいく。

事業名	除雪対策費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	4目 雪害対策費 ）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			771,137	【953,955】	580,838	【601,889】		【330,870】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	122,486	0	58,616	5,961			
	県支出金	市債	4,061	0	0	900			
	財産運用収入	一般財源	0	644,590	0	515,361			
	財産売払収入		0		0				

大雪に伴う除雪対策のため、専決処分にて予算の増額を行なったため。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道路除雪事業【国2/3】、臨時道路除雪事業費補助【国1/2】 冬期間の市民生活や社会活動の安定を図るため、除雪計画路線を機械除雪又は消雪装置により効率的に除排雪することで、安全で円滑な道路交通の確保に効果があった。 <除雪計画路線> 区分 / 延長 市道 856.5km うち機械除雪 534.1km うち消雪路線 182.3km 計 716.4km <除雪機械台数及び協力業者数> 除雪車 357台 協力業者 130社 <除雪車出動日数> ・ 市内全域除雪（早朝・日中）　5日 ・ 一部区域除雪（早朝・日中）　3日 ・ 排雪作業　12日 ・ 凍結防止剤散布　13日	継続	センサーやカメラ等のＩｏＴを活用した積雪及び路面状況の把握に努め、効率的な除排雪を行った。 引き続き、冬期間においても安全で円滑な道路交通の確保に努める。
（繰越明許費　7,502 千円） ・事　業　名　除雪対策費 ・完 了 時 期　令和9年3月		

事業名	地域ぐるみ除排雪促進費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	4目 雪害対策費 ）	決算書	105 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,113	【7,596】	12,966	【20,868】		【15,914】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	10,000			企業版ふるさと納税による寄附があり、小型タイヤショベル3台を更新したため。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	1,348	0	1,392	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,765	0	1,574			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 地域ぐるみ除排雪事業【県1/3】

冬期間における道路の円滑な交通確保のため、地域振興会や除排雪協議会等に小型除雪機械を貸与し、生活道路や歩道等の除排雪を地域ぐるみで行うことで、きめ細やかで市民ニーズに対応した道路利用の確保が図られた。

・ 小型タイヤショベルの購入等
地域ぐるみ除排雪のため、新たに小型タイヤショベル3台を購入し、3団体の機械を更新した。

・ 事業実施団体数　51団体
・ 除雪機械台数　　83台

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
地域ぐるみ除排雪機械台数	77台	83台	82台

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

除雪機械の更新を3台行い、冬期間における安全で円滑な道路交通の確保及び除雪体制の強化を図った。
引き続き、地域と連携を図りながら地域ぐるみ除排雪に取り組み、冬期間における円滑な交通確保に努めていく。

事業名	消雪施設維持管理費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	4目 雪害対策費 ）	決算書	105 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			219,443	【219,495】	272,344	【284,065】		【247,633】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			関係機関との協議・調整に不測の日数を要したため。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	39,875	1,235	58,529	1,110			
	県支出金	市債	0	23,900	0	35,100			
	財産運用収入	一般財源	0	154,433	0	177,605			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 消雪施設維持管理費【国60/100】

冬期間の円滑な交通確保のために消雪施設の修繕・更新を実施した。

・ 機械設備更新　N=2か所
・ その他修繕　　N=164か所
・ 射水市消雪施設遠隔管理システム整備　　N=32施設

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
消雪施設遠隔監視システムの導入割合	18.4%（27施設）	85.7%（126施設）	100%（147施設）

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

消雪施設の修繕・更新工事を実施した。
今後も計画的に更新を行うとともに適正な維持管理に努める。

（繰越明許費　　11,502 千円）
・事　業　名　　射水市消雪施設遠隔管理システム整備（その5）工事、小杉5号消雪施設取水ポンプ更新工事
・完 了 時 期　　令和9年2月

事業名	河川管理費（繰越明許）	（ 8款 土木費	2項 海岸河川費	1目 海岸河川総務費 ）	決算書	105 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					31,777	【42,818】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	31,777			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 和田川浸水対策概略設計業務 和田川浸水対策基本方針を踏まえ、水門閉鎖による浸水軽減効果及び内水影響等を分析し、水門施設改良の施工方法等を検討する「和田川浸水対策概略設計業務」を実施した。 委 託 先　日本工営㈱　富山事務所 委託期間　令和7年7月1日～令和8年3月10日 委 託 料　23,283千円	完了 水門施設の整備方針が決定したことで、浸水被害の軽減に向けた取組が進捗した。 令和8年度はフラップゲート設置工事に着手するとともに、水門施設の補修等に関する設計業務を実施する。
2 内川高潮対策施設及び和田川水門施設の適正管理 内川周辺や和田川に設置されている高潮対策施設及び水門施設における監視設備の設置や不具合箇所を修繕し、適正な施設管理の実施により地域住民の安全・安心の確保に努めた。	継続 高潮対策施設及び和田川水門施設が適正に稼働するよう監視設備の設置及び修繕等を実施した。 引き続き、適正管理に努めていく。

事業名	河川管理費	（ 8款 土木費	2項 海岸河川費	1目 海岸河川総務費 ）	決算書	105 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			30,653	【74,333】	28,192	【83,808】		【68,712】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	93	5,900	97	1,100			
	財産運用収入	一般財源	0	24,660	0	26,995			
	財産売払収入		0		0				

令和6年度は和田川水門施設及び排水ポンプ車付属設備の修繕等を実施したことによる。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 内川高潮対策施設及び和田川水門施設の適正管理 内川周辺や和田川に設置されている高潮対策施設及び水門施設の不具合箇所を修繕し、適正な施設管理の実施により地域住民の安全・安心の確保に努めた。	継続 高潮対策施設及び和田川水門施設が適正な状態を保つよう修繕等を実施した。 引き続き、適正管理に努めていく。
2 河川関連施設の維持 下条川散策路及び庄川水辺の楽校のトイレ等の施設管理や除草・植栽管理を実施し、施設の利用者に対して良好な河川環境を整えた。	継続 河川関連施設を良好な状態に保つよう維持管理に努めた。 引き続き、河川環境の保全を図っていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
（繰越明許費　　55,295 千円） ・事　業　名　和田川浸水対策に関する事業 完 了 時 期　令和8年12月 ・事　業　名　洪水ハザードマップ更新に関する事業 完 了 時 期　令和9年2月	

事業名	海岸総務費	（ 8款 土木費	2項 海岸河川費	1目 海岸河川総務費 ）	決算書	105 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			10,388	【12,952】	12,694	【13,517】		【14,341】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			物価・人件費高騰から樹木等管理業務に係る委託料が大幅に上がったことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	4,279	0	5,385	0			
	財産運用収入	一般財源	0	6,109	0	7,309			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 海老江海浜公園の清掃業務等委託業務【県1/2】 海老江海浜公園の「管理業務」、「樹木管理」を実施し、適切な管理を行い美観を維持するとともに、「海水浴場のパトロール」により安全・安心な利用環境を整えた。 ・ 海老江海浜公園海水浴場パトロール等業務委託 委 託 期 間：令和7年6月27日～9月30日 委　託　料：1,444千円	継続	海水浴場を含む海浜公園の清掃業務、樹木等の管理業務について専門業者に委託することで、美しい景観の維持を図るとともに、海水浴場のパトロールを業務委託することで利用者の安全・安心の確保に努めた。 今後も海老江海浜公園（海水浴場）の景観向上及び安全な管理運営について県と連携しながら進めていく。

事業名	みなとまちづくり事業費	（ 8款 土木費	3項 港湾費	1目 港湾総務費 ）	決算書	106 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,981	【4,819】	1,689	【2,527】		【3,287】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	1,000	0	0			観光・まちづくり課の「内川周辺エリアの賑わい創出事業」が、別予算項目となったことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	2,981	0	1,689			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 客船誘致促進事業補助金 クルーズ船の乗船客を市内に誘致し、射水ベイエリアの賑わい創出を図るため、富山新港港湾振興会に対して、補助金を交付し、内川モニターツアー等を実施することで賑わい創出を図った。 ・令和7年 5月9日　クルーズ船「アザマラ・パシュート」（海王岸壁寄港）　内川モニターツアー ・令和7年11月6日　クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」（伏木万葉岸壁寄港）　内川モニターツアー	継続	日本のクルーズ市場は年々高まりを見せており、本市海王岸壁への寄港回数を増やすことで、射水ベイエリアの賑わい創出を図っていく。

指標項目	基準	実績	目標
	平成27年度-令和元年度	令和5-7年度	令和5-9年度
旅客船接岸数（累計）	5回	2回	8回

事業名	港湾建設促進費（繰越明許）	（ 8款 土木費	3項 港湾費	2目 港湾建設費 ）	決算書	106 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					22,400	【22,400】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	22,400			
	財産運用収入	一般財源			0	0			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1　県単独港湾改良整備事業（中野整理場護岸補修）に対する地元自治体負担金（10分の4） ※中野整理場護岸補修工事 昭和40年代に整備され、建設後50年以上が経過しており護岸の老朽化が著しいことから護岸改修工事を行い、適切な港湾機能の保全を図る。	継続	県単独港湾改良整備事業に対する地元負担金を適正に支出し、中野整理場護岸の老朽化対策に寄与した。今後も県と連携し、港湾機能の維持保全を継続的に行う。

事業名	港湾建設促進費	（ 8款 土木費	3項 港湾費	2目 港湾建設費 ）	決算書	106 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			0	【22,400】	11,200	【14,000】		【26,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年能登半島地震に伴い、災害復旧工事数が激増し、業者の人手不足から令和6年度に予定していた中野整理場護岸工事について受注に至らなかったことによる。（不調）
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	7,200			
	財産運用収入	一般財源	0	0	0	4,000			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1　県単独港湾改良整備事業に対する地元自治体負担金（10分の4） ・中野整理場護岸補修工事 ・新湊大橋ライトアップ照明灯更新事業	継続	県単独港湾改良整備事業に対する地元負担金を適正に支出し、中野整理場護岸の老朽化対策及び新湊大橋ライトアップ照明灯の更新の円滑な推進に寄与した。今後も県と連携し、港湾機能の維持保全を継続的に行う。

事業名	海王丸パーク活用推進費	（ 8款 土木費	3項 港湾費	3目 海王丸パーク活用推進費 ）	決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			73,556	【76,734】	72,424	【73,403】		【83,347】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			単身赴任手当支給対象職員が異動に伴い減少したこと、及び時間外勤務の圧縮に努めたことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	2,013	0	1,373	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	71,543	0	71,051			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 （公財）伏木富山港・海王丸財団等への補助金及び負担金 海王丸パークのにぎわいを創出し、地域の活性化を図るため、（公財）伏木富山港・海王丸財団及び富山県に対して、帆船海王丸及び海王丸パークの維持管理やパークでの各種イベント等の実施に係る下記補助金等を支出した。 ・ 帆船海王丸保存活用等事業補助金 ・ 海王丸パーク等管理運営費補助金 ・ 海王丸パークイベント開催事業補助金 ・ （公財）伏木富山港・海王丸財団への県派遣職員の給与等に対する負担金 ・ 海王丸パーク管理業務経費に関する負担金	継続 令和7年度も海王丸の総帆展帆をはじめ、各種イベントの実施やＯＮＥＦＥＳ等の民間イベントの開催も含めて、にぎわい創出や交流人口拡大につなげた。 今後も射水ベイエリアの主要なコンテンツとして、より魅力的な観光名所となるよう、帆船海王丸を活用した人々の交流拠点として、にぎわい創出を図っていく。

事業名	都市計画総務費	（ 8款 土木費	4項 都市計画費	1目 都市計画総務費 ）	決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			16,063	【16,527】	4,278	【8,530】		【21,191】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			本開発地区土地区画整理事業の完了に伴う土地開発事業補助金の減による。
	使用料・手数料	繰入金	1,800	0	1,376	0			
	国庫支出金	諸収入	0	45	0	35			
	県支出金	市債	120	0	133	0			
	財産運用収入	一般財源	0	14,098	0	2,734			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 射水市都市計画決定図書作成業務委託 富山高岡広域都市計画市街化区域及び市街化調整区域の区分の変更において、国と関係機関との調整に必要な調書等を作成した。 委 託 先　（株）日本海コンサルタント　富山支店　射水営業所 委託期間　令和7年9月26日～令和8年10月23日 委 託 料　3,696千円 2 小杉駅周辺地区まちづくり補助金 小杉駅周辺地区のまちづくりを推進するため、小杉まちづくり協議会に補助金を交付することにより、まちづくり講演会の開催や先進地視察を行うなど、将来に向けて関係者のまちづくりに対する機運の醸成を図った。	継続 1.令和7年度に国・関係機関との調整に必要な調書を作成し、協議を完了させ、令和8年度中の市街化区域拡大の都市計画決定を行う。 2.小杉駅周辺地区のまちづくりの推進に向け、引き続き小杉まちづくり協議会等の関係団体と連携しながら具体的な事業を検討する。
（繰越明許費　4,006 千円） ・事　業　名　射水市都市計画決定図書作成業務委託 ・完 了 時 期　令和8年10月23日	

事業名	地籍調査費	（ 8款 土木費 4項 都市計画費 1目 都市計画総務費 ）	決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部用地課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			11,021	【11,991】	16,074	【20,791】		【19,782】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			事業実施地区による。 令和6年度：広上、上野、本江針山、港町 令和7年度：黒河、上野、本江針山、港町、川口宮袋
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	8,004	0	10,586	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,017	0	5,488			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 地籍調査事業【国1/2 県1/4】

土地の位置や境界、面積等を明確にすることにより、土地取引や公共事業の円滑な実施等に効果が期待できる地籍調査事業を実施した。

(1) 黒河3期地区 対象面積Ａ＝0.13㎢
委託期間 令和7年5月29日～令和8年2月24日
委 託 料 3,245千円

(2) 上野地区 対象面積Ａ＝0.16㎢
委託期間 令和7年5月29日～令和8年2月24日
委 託 料 2,420千円

(3) 本江針山地区 対象面積Ａ＝0.04㎢
委託期間 令和7年6月2日～令和8年2月24日
委 託 料 3,707千円

(4) 港町地区 対象面積Ａ＝0.06㎢
委託期間 令和7年11月25日～令和8年2月27日
委 託 料 2,659千円

(5) 川口宮袋地区 対象面積Ａ＝0.23㎢
委託期間 令和7年5月29日～令和8年2月24日
委 託 料 2,283千円

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
地籍調査実施率	22.2%	22.4%	25.1%

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

現在実施中の地区については、黒河及び川口宮袋は能登半島地震に伴う座標補正及び検証測量、上野は閲覧、本江針山は現地立会、港町は基準点設置を実施の上、それぞれ次工程に進むこととした。

今後も土地取引の活性化や公共事業の円滑な実施に向けて、地籍調査を推進していく。

事業名	街路事業費	（ 8款 土木費	4項 都市計画費	2目 街路事業費 ）	決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			19,450	【19,468】	16,280	【16,281】		【17,590】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			（都）二口北野線整備事業における負担金額の変更による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	12,800	0	11,300			
	財産運用収入	一般財源	0	6,650	0	4,980			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 都市計画道路整備事業（県事業） ・ （都）二口北野線整備負担金 大島北野地内の慢性的な交通渋滞の解消と、歩行者や自転車の安全確保を図るため、道路改良及び舗装工事を実施した。	継続	慢性的な交通渋滞の解消と、安全で円滑な交通の確保を図るため、今後も、(都)二口北野線の未整備区間の整備を求めていく。

事業名	都市再生整備事業費	（ 8款 土木費	4項 都市計画費	3目 市街地整備費 ）	決算書	108 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			123	【128】	20,842	【65,528】		【105,115】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和7年度は、小杉地区都市再生整備計画に基づき歩道整備の設計業務を実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	9,795	0			
	県支出金	市債	0	0	0	9,800			
	財産運用収入	一般財源	0	123	0	1,247			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 小杉地区都市再生整備計画【国:46.4%】 令和7年度に策定した小杉地区都市再生整備計画に基づき、太閤山地区の歩道及び公園の実施設計を行った。 ・市道中太閤山800号線歩道整備実施設計業務委託　道路延長L=0.9㎞ ・二の井公園再整備外実施設計業務委託　公園面積A=0.1ha,道路延長L=0.3㎞	継続	実施設計が完了し、今後の整備に向けて進捗が図られた。 小杉地区都市再生整備計画に基づき、安全で歩きたくなる歩道整備や滞在したくなる公園整備を実施しており、引き続き、歩道と公園整備を進めていく。
（繰越明許費　44,685 千円） ・事　業　名　二の井公園再整備工事 ・完 了 時 期　令和9年3月		

事業名	公園維持管理費（繰越明許）	（ 8款 土木費	4項 都市計画費	4目 公園費 ）	決算書	108 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					38,574	【38,686】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			14,978	0			
	県支出金	市債			0	13,400			
	財産運用収入	一般財源			0	10,196			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 公園施設長寿命化対策事業費【国1/2】 射水市公園施設長寿命化計画に基づき、基幹的な公園の園路の更新を実施した。 ・大島中央公園園路更新工事　A=1,510㎡ 2 公園施設補修工事 令和6年度に実施した遊具点検結果や地域振興会要望を受け、公園施設を補修し安全性を確保した。 3 県民公園新港の森管理負担金 県発注の施設更新工事が完了した。	継続	射水市公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の更新や補修を行い、施設の機能保全と安全対策を図ることができた。 引き続き、安全かつ快適な施設維持のため、維持管理と更新を計画的に行う。

事業名	公園維持管理費	（ 8款 土木費	4項 都市計画費	4目 公園費 ）	決算書	108 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			226,013	【265,919】	226,992	【248,261】		【512,323】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	9,348	0	9,134	0			
	国庫支出金	諸収入	44,800	7,102	28,025	4,060			
	県支出金	市債	0	30,700	0	39,500			
	財産運用収入	一般財源	0	134,063	0	146,273			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 公園維持管理及び遊具点検業務 都市公園（150か所）及びそれ以外の公園（152か所）の除草、剪定、防除等の維持管理や遊具の点検を実施した。 また、遊具点検結果を受け、遊具の損傷部等を修繕し、安全性を確保した。	継続	樹木や遊具等の公園施設の維持管理を図り、公園の安全を確保することができた。 引き続き、公園・緑地の適切な管理に努めていく。
2 都市公園ストック再編事業【国1/2】 地域の実情に応じた公園緑地の機能再編のために、射水市都市公園等ストック再編基本計画を策定した。 委 託 先　（株）日本海コンサルタント富山支店射水営業所 委託期間　令和7年6月30日～令和8年3月27日 委 託 料　6,050千円	継続	射水市都市公園等ストック再編基本計画を策定し、地域の実情に応じた公園緑地の機能再編の方向性を示すことができた。 今後は本計画に基づき、適正な配置と施設整備を進め、利用ニーズの変化に対応した公園づくりを目指す。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>3 公園施設長寿命化対策事業【国1/2】
(1) 射水市都市公園長寿命化計画に基づき、都市公園の園路及び遊具の更新を実施した。
・ 大島中央公園園路更新工事 A=690㎡
・ 歌の森運動公園園路更新工事 A=516㎡
<table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和7年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>都市公園長寿命化整備率</td><td>13.8%</td><td>35.0%</td><td>50.0%</td></tr><tr><td>基幹的な公園等へのインクルーシブ遊具の設置数(累計)</td><td>-</td><td>2基</td><td>5基</td></tr></table>(2) 射水市公園施設長寿命化計画策定支援業務【国1/2】
射水市公園施設長寿命化計画が、策定より5年経過することから、射水市公園施設長寿命化計画を改訂した。
委 託 先 （株）日本海コンサルタント富山支店射水営業所
委託期間 令和7年7月25日～令和8年1月23日
委 託 料 15,620千円</td><td>継続</td><td>射水市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を行い、施設の機能保全と安全対策を図ることができた。
引き続き、安全かつ快適な施設維持のため、維持管理と更新を計画的に行う。</td></tr>
<tr><td>（繰越明許費 18,743 千円）
・事 業 名 大島中央公園遊ぼ～館空調設備等設置工事
・完 了 時 期 令和8年12月</td><td></td><td></td></tr>
</table>

事業名	建築指導費（繰越明許）	（ 8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費 ）	決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					20,735	【68,934】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			相談件数を基に事業量を見込んでいたが、実際の申請件数及び補助対象工事費が見込みを下回ったことにより減少した。
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			1,200	0			
	県支出金	市債			10,256	0			
	財産運用収入	一般財源			0	9,279			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 令和6年能登半島地震による被災した住宅の復興支援事業（令和6年能登半島地震に伴う住宅・宅地復旧支援事業） 被害を受けた住宅の耐震改修・建替え工事費及び、宅地の復旧・地盤改良工事費を支援することにより、被災者の生活基盤の回復及び住環境の改善を図った。 (1)射水市液状化被害住宅耐震改修等支援事業費補助金(上限120万円)　4件【国1/4　県1/2】 (2)射水市宅地液状化等復旧支援事業補助金(上限766万円)　6件【県1/2】 (3)射水市被害住宅沈下傾斜対策支援事業(上限30万円)　1件	継続	継続している事業の適切な執行に努めるとともに、相談状況や申請実績を踏まえ、被災者の復興支援に努める。
（事故繰越　1,200 千円）1件 ・事　業　名　射水市液状化被害住宅耐震改修等支援事業費補助金【国1/4　県1/2】 ・完 了 時 期　令和8年10月		

事業名	建築指導費	（ 8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費 ）	決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			27,867	【109,312】	28,845	【32,684】		【327,261】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			相談件数を基に事業量を見込んでいたが、実際の申請件数及び補助対象工事費が見込みを下回ったことにより減少した。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	6,661	0			
	国庫支出金	諸収入	5,461	0	6,275	0			
	県支出金	市債	16,448	0	8,033	0			
	財産運用収入	一般財源	0	5,958	0	7,876			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 住宅関連情報提供事業 住宅相談所の運営を支援し、住宅に関する各種相談や令和6年能登半島地震により被害を受けた住宅に関する相談体制の確保を図った。 (1)住宅関連情報提供事業補助金（射水地域住宅相談所・新湊地域住宅相談所）【国45/100】 2 木造住宅耐震改修等支援事業 木造住宅の耐震化を促進することにより、地震による住宅の倒壊及び人的被害の軽減を図った。 (1)射水市木造住宅耐震改修等支援事業費補助金 ・ 木造住宅耐震改修補助（上限120万円）　11件【国1/4　県1/2】 ・ 木造住宅耐震改修に伴うリフォーム補助（上限30万円）　11件【国1/2】 ・ 木造住宅耐震改修設計補助（上限20万円）　11件【国1/4　県1/2】 ・ 危険ブロック塀除却補助（上限10万円）　8件【国1/4　県1/2】	継続	住まいに関する不安の解消や地震による家屋倒壊の防止と市民の安全確保に寄与した。市民の住まいに関する相談体制の充実及び耐震化の向上を図るため、引き続き本事業の利用を促進する。

事業名	市営住宅維持管理費（繰越明許）	（ 8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費 ）	決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					22,944	【22,966】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			7,719	0			
	国庫支出金	諸収入			11,325	0			
	県支出金	市債			0	3,900			
	財産運用収入	一般財源			0	0			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 海王町市営住宅3号棟外構災害復旧工事、海王町市営住宅3号棟外構災害復旧工事に伴う付帯工事	継続	令和6年能登半島地震による災害の復旧工事は完了し、安全確保と良好な住環境の回復に寄与した。引き続き、市営住宅の適正な維持管理に努める。

事業名	市営住宅維持管理費	（ 8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費 ）	決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			156,097	【200,894】	98,658	【106,077】		【144,051】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	57,248	0	83,010	0			
	国庫支出金	諸収入	45,006	0	14,848	0			
	県支出金	市債	0	53,843	0	800			
	財産運用収入	一般財源	0	0	0	0			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市営住宅の長寿命化 本市の公営住宅について、効果的な改善事業を実施することにより、建築物のライフサイクルコストの縮減に向けて、計画的に推進することとして策定した「射水市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、長寿命化改善を行った。 （1）本江市営住宅1号棟屋上・外壁改修工事（第Ⅱ期）【国1/2】 施工期間 令和7年7月2日～12月12日 工事請負費 47,543千円	継続	計画に基づき、令和8年度は海王町市営住宅1号棟において屋上外壁改修工事を実施することとし、以降も計画に沿って事業を推進していく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
公営住宅長寿命化改善率	21.4%	50.0%	71.4%

（繰越明許費 6,481 千円）
・事 業 名 海王市営住宅2号棟EV廻り外壁改修工事
・完 了 時 期 令和8年7月15日

事業名	住まい・まちづくり費	（ 8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費 ）	決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,224	【9,888】	7,509	【10,484】		【32,920】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			老朽危険空き家の解体補助金において、相談から実際解体にまで至った件数が当初見込みよりも少なかったことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,500	0	2,248	0			
	県支出金	市債	0	0	158	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,724	0	5,103			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 空き家対策事業

(1) 支援事業

老朽危険空き家の所有者に対し、解体及び解体後の新築に対する支援を行い住環境の向上を図った。

・ 老朽危険空き家解体補助（上限500千円）【国1/2】

・ 老朽空き家解体補助（上限250千円）

<補助実績>

年度	令和6年度	令和7年度
危険空き家解体	6件	8件
老朽空き家解体	6件	6件

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

老朽危険空き家等の対策として、空き家所有者による解体工事等に係る費用の支援を継続するとともに、制度の周知等を行うことで住環境の維持及び向上を図っていく。

事業名	重点密集市街地整備費（繰越明許）	（ 8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費 ）	決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					106,487	【107,448】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			51,208	0			
	県支出金	市債			0	42,600			
	財産運用収入	一般財源			0	12,679			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 放生津地区住宅市街地総合整備事業【国1/2】 ・ 委託料 道路詳細設計業務委託外 ・ 工事請負費 家屋解体 13棟 ・ 公有財産購入費 老朽建築物買収等 5棟 ・ 補償補填及び賠償金 奈呉町第二街区家屋補償 6件	継続 整備地区を6地区に分割して事業に取り組んでおり、これまでに6地区のうち4地区の整備が完了した。 引き続き、奈呉町第二街区で、事業の進捗を図っていく。 ・奈呉町第二街区（令和9年度完成予定）

事業名	重点密集市街地整備費	（ 8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費 ）	決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			47,655	【155,261】	132,634	【282,932】		【220,285】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	23,392	0	65,653	0			
	県支出金	市債	0	17,700	0	55,700			
	財産運用収入	一般財源	0	6,563	0	11,281			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 放生津地区住宅市街地総合整備事業【国1/2】 安全で安心して暮らせる活気あるまちづくり推進のため、地元住民、自治会及び権利者等に対して合意形成を図り、説明会及び個別面談を実施し、老朽建築物等の買収、解体を行うことにより、環境整備を図った。 (1) 個別面談の実施 土地利用の検討をするため、権利者に対して個別面談を実施した。 ・ 奈呉町第二街区 (2) 老朽建築物解体 老朽建築物の解体を実施した。 8棟 (3) 老朽建築物等買収 地区整備のために、権利者から老朽建築物等を買収した。 ・ 老朽建築物買収等 1棟	継続 整備地区を6地区に分割して事業に取り組んでいる。 これまで、令和3年度に四十物町地区が完成し、6地区のうち中町西部、奈呉町第一、山王町、四十物町の4地区の整備が完了した。 引き続き、奈呉町第二街区で、事業の進捗を図っていく。 ・奈呉町第二街区（令和9年度完成予定）
（繰越明許費 149,968 千円） ・事 業 名 放生津地区住宅市街地総合整備事業 ・完 了 時 期 令和9年2月	

地権者との交渉に不測の時間を要したことによる。

事業名	宅地液状化防止事業費	（ 8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費 ）	決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					56,519	【142,784】		【259,696】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			28,144	0			
	県支出金	市債			0	28,100			
	財産運用収入	一般財源			0	275			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 宅地液状化防止事業【国1/2】 港町地区における液状化対策 地下水位低下工法の有効性を検証するための実証実験の実施 実験場所：港町公園及び前面道路 実験規模：地下水位低下工法集水管を地表面から3.5mの地下に設置 集水管　長辺26m、短辺12m、総延長38m、模擬家屋　1箇所、排水ポンプ　2基交互運転	継続	港町地区における液状化対策として地下水位低下工法の有効性が確認できれば、地元合意を経て詳細設計、本工事を行い、液状化対策を進めていく。
（繰越明許費　86,264 千円） ・事　業　名　宅地液状化防止事業 ・完 了 時 期　令和9年2月		

9 款　消 防 費

事業名	常備消防費（繰越明許）	（ 9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費 ）	決算書	110 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					46,805	【46,857】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	46,805			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 はしご車オーバーホール 安全性・性能を確保するための、オーバーホールを実施した。 ・ 完了時期　令和7年6月25日	完了	主要構造部等の分解整備・部品交換を行うことにより、車両寿命の延命化を図ることができた。

事業名	常備消防費	（ 9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費 ）	決算書	110 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			44,340	【93,507】	71,999	【92,288】		【121,011】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	6,632	0	7,532	0			
	国庫支出金	諸収入	0	18,237	0	19,686			消防艇共同運航に伴う建造費負担金による。
	県支出金	市債	9,214	0	3,713	26,400			
	財産運用収入	一般財源	0	10,257	0	13,094			
	財産売払収入		0		1,574				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 消防学校等への派遣 消防に必要な知識・技能を習得するために、消防大学校、県消防学校へ職員を派遣し、専門知識・技術を習得した。 また、現場活動に必要な資格も取得した。 <職員研修派遣状況>	継続	複雑多様化する消防業務において、迅速かつ的確に対応するため各種研修等を通し、職員個々における能力の向上が図られた。 今後も安全かつ確実な災害現場活動を実施するため、現場活動に必要な知識、技能を習得し、より一層の災害現場活動の向上を図っていく。

区分	令和6年度	令和7年度
消防大学校	1人	1人
県消防学校	17人	17人
研修・講習会	21人	17人

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
2 富山市・高岡市・射水市消防艇共同運航 共同運航するにあたり、消防艇を3市で共同整備（令和7年度、令和8年度）し、新消防艇の建造等に係る経費を各都市の標準財政規模による割合で按分。 ＜契約額＞ 消防艇建造業務　624,228千円 消防艇建造監理業務　5,698千円	継続	消防艇を効果的及び効率的に運航し、海上における災害対応万全を期すとともに、消防力の充実強化を図っていく。

	令和７年度
富山市（61.34%）	106,678,825円
高岡市（23.46%）	40,800,214円
射水市（15.20%）	26,434,921円

事業名	救急業務高度化事業費	（ 9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費 ）	決算書	110 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			11,391	【12,744】	11,964	【13,020】		【16,617】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	11,391	0	11,964			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 救急講習会の実施 事業所・学校等の団体に対して講習会を開催することでＡＥＤの使用方法など応急手当に関する知識の普及啓発を図った。	継続	今後も受講者数の増加に努め、応急手当の普及啓発活動を継続していく。
2 救急隊員・救急救命士の養成 高度な救急サービスを可能にするため、消防学校や厚生連高岡病院等へ職員を派遣し、より高度な救命技術・知識を習得した救急隊員・救急救命士を養成した。 <研修派遣状況>	継続	引き続き、救急救命士等の資質向上に必要な研修、病院実習に積極的に参加し、救命率向上を図っていく。

区分	人数	区分	人数
救急救命士研修所（新規救命士）	1人	救急救命士研修所（指導救命士）	1人
県消防学校（救急科）	2人	気管挿管再教育病院実習	5人
実務病院実習	23人	薬剤投与病院実習	2人
気管挿管病院実習	1人		

事業名	消防団運営費	（ 9款 消防費 1項 消防費 2目 非常備消防費 ）	決算書	111 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			75,356	【88,932】	82,064	【94,416】		【110,232】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			消防団員新基準活動服の更新及び消防団の力向上モデル事業の実施による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,134	83	3,340	53			
	県支出金	市債	926	0	1,479	0			
	財産運用収入	一般財源	0	73,213	0	77,192			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 消防団の運営費

消防団員確保と運営の維持を図るとともに、団員の意識と資質の向上を図った。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
消防団員数	680人	673人	757人

2 消防団員報償

消防団員の士気を高めるとともに家族の理解を深めるために、勤続5年以上、15年以上の団員と勤続30年以上の団員の家族を表彰した。

- 優良団員表彰　29人　（令和6年度　39人）
- 家族表彰　5人　（令和6年度　11人）

3 消防団の力向上モデル事業【国10/10】

事　業　名　集まれ！魅力発見消防団親子体験教室
実　施　日　令和7年10月26日
委　託　料　3,340千円

4 男性消防団員新基準活動服【県1/2】

消防団員の安全確保を重視し、オレンジ色の配色を増やし再帰反射性プリントの射水市消防団名も追加することで夜間の視認性も高めた。

	数量
活動服上衣、下衣	118着

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続	消防団が地域に密着した活動を行うことにより、市民の防災意識の高揚、危機管理体制の充実につなげた。また、近年は地震や大雨など大規模災害が発生しており、消防本部と消防団との組織相互の連携体制を強化していく必要がある。
継続	地域における消防団活動を推進するとともに、消防団員の士気の高揚につなげた。 今後も地域防災力充実強化のため、地域や事業所等に消防団活動への理解と協力を求めていく。
完了	親子での体験を通じて、消防団の多岐にわたる役割と重要性を伝え、地域全体の防災意識の醸成に貢献し、消防団が身近な存在としての認知度を高めることができた。
継続	消防団員の活動服を一新することで射水市消防団の統一が図られ消防団員の士気の高揚につなげた。 また、統一が図られることにより市民への消防団のＰＲにもつながり入団促進にも期待ができる。

事業名	消火栓整備事業費	（ 9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費 ）	決算書	111 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			29,223	【30,130】	30,374	【33,600】		【39,150】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	29,100	0	30,300			
	財産運用収入	一般財源	0	123	0	74			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 消火栓整備事業

火災時に水利が不足する箇所に消火栓を整備し、消防水利の充実・強化を図った。

<消火栓整備状況>

区分	令和6年度	令和7年度
消火栓新設	2基	2基
消火栓移設	14基	12基
消火栓修理	12基	21基

（事故繰越 3,225 千円）
- 事　業　名　配水管布設替工事に伴う消火栓移設
- 完 了 時 期　令和8年5月8日

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

今後も消防水利の設置が少ない地域を考慮し消火栓の新設を進めるとともに、損傷している消火栓については適宜修繕を行っていく。

事業名	防火水槽整備事業費	（ 9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費 ）	決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			42,724	【56,232】	2,959	【3,861】		【23,300】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	36,286	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	2,300			
	財産運用収入	一般財源	0	6,438	0	659			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 防火水槽整備事業

久々湊地内新設防火水槽設計委託

委 託 期 間　令和7年6月30日～12月19日

委　託　料　2,310千円

（繰越明許費 847 千円）
- 事　業　名　作道地内防火水槽蓋取替修繕
- 完 了 時 期　令和8年4月13日

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

新設防火水槽の実施設計を実施したことで、今後の円滑な整備に向けた準備を進めることができた。

今後は、地域の水利状況を踏まえ計画的に整備を進めていく。

令和6年度は作道地内の新設防火水槽工事・撤去を実施し、令和7年度は久々湊地内新設防火水槽工事の実施設計を行ったことによる。

事業名	通信施設整備事業費	（ 9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費 ）	決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			48,277	【48,448】	45,785	【497,400】		【17,305】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	1,000			
	財産運用収入	一般財源	0	48,277	0	44,785			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 消防通信設備の維持管理 災害出動の受信・指令を行う、高機能消防指令システム等の適切な維持管理により、迅速な出動指令及び災害現場との情報伝達を確実に実施した。	継続	多種多様な災害通報（119番通報）等を受信し、消防隊等への出動指令業務を的確に行うことができた。 今後も迅速な出動指令及び情報伝達を確実に行うため、消防通信設備を適切に維持管理していく。
2 高機能消防指令センター更新整備に伴う設計監修業務委託 委託期間　令和7年4月28日～6月30日 委 託 料　2,178千円	完了	高機能消防指令システムの改修工事に着手し、次年度の完了に向けて着実に事業を推進している。 今後は、災害対応力・情報連携力・住民サービスの向上を総合的に進めていく。
（繰越明許費　451,341 千円） ・事　業　名　高機能消防指令システム改修 ・完 了 時 期　令和9年1月29日		

事業名	消防車両整備事業費（繰越明許）	（ 9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費 ）	決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					20,728	【20,745】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	20,600			
	財産運用収入	一般財源			0	128			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 消防団ポンプ自動車の更新 消防団車両1台の更新を行い、更なる消防力の強化を図った。 <更新車両> 区分：三ケ分団　消防ポンプ自動車／台数：1台	完了 災害に対応した最新の消防車両を導入することにより、消防力の維持に努めた。

事業名	消防車両整備事業費	（ 9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費 ）	決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1	【20,857】	23,403	【23,431】		【211,228】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	23,300			
	財産運用収入	一般財源	0	1	0	103			
	財産売払収入		0		0				

消防団車両の更新による。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 消防団ポンプ自動車の更新 消防団車両1台の更新を行い、更なる消防力の強化を図った。 <更新車両> 区分：二口分団　消防ポンプ自動車／台数：1台	継続 災害に対応した最新の消防車両を導入することにより、消防力の維持に努めた。 今後も車両更新計画に基づき、消防車両の整備に取り組んでいく。

事業名	消防団拠点施設整備事業費	（ 9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費 ）	決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			86,985	【93,350】	37,394	【43,589】		【92,200】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年度は堀岡分団屯所の移転新設工事及び旧新湊分団屯所の解体を実施し、令和7年度は池多分団屯所改修工事及び大門分団屯所改修工事実施設計業務を委託したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	83,500	0	26,800			
	財産運用収入	一般財源	0	3,485	0	10,594			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 消防団拠点施設整備事業 老朽化が著しい池多分団屯所の改修工事を行った。 ・ 池多分団屯所改修工事 施 工 期 間　令和7年7月2日～12月12日 工事請負額　16,005千円 ・ 大門分団屯所改修工事実施設計業務委託 委 託 期 間　令和7年5月29日～令和8年1月30日 契　約　額　4,721千円 ・旧堀岡分団屯所解体工事 施 工 期 間　令和7年10月22日～令和8年3月19日 工事請負額　16,652千円	継続	消防団屯所を適正に維持管理・更新することにより、地域に密着した消防機関として災害防御の拠点となり、初動段階から各種災害に大きな役割を果たすことができた。 今後も地域防災力の強化を目的として施設等の整備を図っていく。

事業名	消防庁舎等整備事業費（繰越明許）	（ 9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費 ）	決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					28,987	【35,000】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	28,987			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 消防本部庁舎屋上防水工事 施 工 期 間　令和7年7月23日～12月19日 工事請負額　27,984千円 2 射水消防署エレベーター部品取替修繕 施 工 期 間　令和7年12月18日～令和8年3月27日 工事請負額　1,003千円	完了	各種災害時の活動拠点となる消防庁舎の機能維持に努めた。 今後は、老朽化対策、防災拠点機能の強化など計画的に管理体制を構築していく。

10 款　教　育　費

事業名	教育委員会事務局費	（ 10款 教育費	1項 教育総務費	2目 事務局費 ）	決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			141,072	【158,858】	156,530	【171,558】		【163,765】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	1,000	480	0			・賃金改定に伴う報酬等の増による。 ・市制20周年を記念し、いみず鳳雛きらめき塾を台湾で実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	6,700			
	国庫支出金	諸収入	0	100	0	0			
	県支出金	市債	1,697	0	2,448	0			
	財産運用収入	一般財源	0	138,275	0	146,902			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 学習サポーター（延べ39人）の配置 学習の理解に時間を要する児童生徒や集中して授業に取り組むことのできない児童生徒の学習支援を行った。	継続	小中学校に学習サポーターを配置し、きめ細かな指導により児童生徒の見守り・支援に寄与した。 今後も小中学校の実態に応じた配置に努め、学校内の支援体制の充実を図っていく。
2 ティーム・ティーチング指導員（9人）の配置 生徒一人ひとりの理解度に応じた学習指導を行い、「わかる」「できる」と実感させ、生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図った。	継続	全中学校にティーム・ティーチング指導員を配置し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな学習指導・生徒指導の充実に寄与した。 今後も一人ひとりに寄り沿ったきめ細かな学習指導・生活指導を推進していく。
3 特別支援教育指導員（1人）の配置 保護者や学校との相談、保育園・幼稚園への訪問など、増加及び多様化する就学に関する支援体制の充実を図った。	継続	専任職員を配置し、保護者の就学相談や教員への指導助言などを行い、配慮が必要な児童に対する支援の充実に寄与した。幼児期から小学校の児童期への円滑な接続のための指導や環境づくりを推進していく。
4 いみず鳳雛きらめき塾 友好提携都市である台湾士林区において学校訪問交流やフィールドワーク、市内視察等を実施し、将来の射水市を担うたくましい人材を育成した。（令和7年度は市制20周年であるため、記念事業として台湾で実施した） ・ 参加学校　全中学校 ・ 参加人数　16人（小杉中学校及び大門中学校は4人、その他の学校は2人）	継続	新しい時代を切り拓くグローバルな人材を育成する貴重な機会であるため、継続して実施する。なお、通常は国内で実施することとし、数年に一度は台湾での実施を検討する。
5 コミュニティ・スクール導入推進事業 コミュニティ・スクール（ＣＳ)推進を図るため、ＣＳ推進会議や先進地視察を実施した。 市内全小中学校に学校運営協議会を設置するとともに、学校支援コーディネーターを委嘱し、学校支援ネットワークの構築に向けて取組を支援した。	継続	コミュニティ・スクール（ＣＳ）推進に向けた推進会議や先進地視察を実施し、学校支援ネットワーク構築に向けた体制強化に寄与した。

事業名	奨学金事務費	（ 10款 教育費	1項 教育総務費	2目 事務局費 ）	決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			6,060	【7,440】	6,900	【7,150】		【8,640】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	6,060	0	5,562			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	0	0	1,338			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 奨学資金事業 経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学資金の貸与を行った。 ・ 貸与実績　大学生14人	継続	奨学資金を貸与することで、有用な人材の育成につなげた。 今後も審査会を実施の上、適切な人材を選考し、人材の育成及び定住人口の増加を図るため、奨学金を貸与する。

事業名	学校図書館活動推進費	（ 10款 教育費	1項 教育総務費	2目 事務局費 ）	決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			46,473	【49,440】	49,009	【50,897】		【50,491】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	100	0	500			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	46,373	0	48,509			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 学校司書の配置 全小中学校へ学校司書を各1人配置した。（小学校　14人、中学校　6人） 学校司書の研修会を年2回開催し、専門家による講義・指導や、学校間の意見・情報交換により他校の取組を参考にするなど、学校司書の資質向上と学校図書館の利用促進を図った。	継続	教員と学校司書が協力し、読書活動や調べ学習等で学校図書館を活用することにより読解力・思考力・判断力等の向上に寄与した。 今後も学校図書館の有効活用に向け、学校司書の資質向上を図っていく。
2 児童生徒用図書の購入 学校図書館の蔵書の充実を図るため、小学校で3,488冊、中学校で1,893冊を購入した。	継続	小学校、中学校ともに国が示す蔵書冊数に達している。児童生徒に有益であり、関心の持てる図書の選書に努めるとともに、図書の展示や紹介を工夫するなど、児童生徒の読書意欲の向上を図っていく。

賃金改定に伴う報酬等の増による。

事業名	教育相談費	（ 10款 教育費	1項 教育総務費	3目 教育センター費 ）	決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			13,208	【14,160】	15,072	【17,427】		【18,075】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			校内教育支援センター設置校の増による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,149	0	938	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	12,059	0	14,134			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 教育相談事業 (1) 認定カウンセラーによる相談業務 布目分庁舎内相談室で週2回の教育相談を行い児童生徒、保護者の精神的な負担軽減を図った。 また、要請のあった学校において相談活動を展開し、児童生徒、教師のカウンセリングを行った。 ・ 来所相談等　286件　（令和6年度　505件） (2) スクールソーシャルワーカーによる支援 家庭、学校、関係機関をつなぎ、児童生徒、保護者の精神的な負担軽減、生活改善に貢献した。 ・ 訪問活動回数　1,661回　（令和6年度　1,649回） (3) 外国人相談員による支援 日本語指導が必要な外国人児童生徒への日本語指導及びその保護者を支援した。 ・ 訪問活動回数　351回　（令和6年度　265回） (4) 小・中学校家庭教育専門支援員による相談業務 児童生徒の抱える問題の解決に向けて学校や関係機関等と調整を行った。 ・ 訪問活動回数　235回　（令和6年度　253回） (5) 校内教育支援センターによる相談業務 教室に入りづらさを感じている児童生徒に安心して学ぶことができる居場所を設置し学校への登校につなげた。 ・ 設置校　小学校8校、中学校1校　（令和6年度　小学校4校、中学校1校） ・ 利用人数　60人　（令和6年度　46人） ・ 利用回数　1,687回　（令和6年度　1,009人）	継続	児童生徒、保護者や教職員の悩みや不安等の心の問題を改善、解決するため、相談体制を整えたり、校内教育支援センター設置校を増やすことにより、相談者の生活改善等につながった。 今後も適切にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、外国人相談員等を配置し、相談支援を図っていく。

事業名	教育支援センター運営費	（ 10款 教育費	1項 教育総務費	3目 教育センター費 ）	決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			11,114	【11,461】	11,594	【12,377】		【12,246】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	11,114	0	11,594			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 教育支援センター運営事業（指導員3人雇用） 不登校児童生徒の再登校を支援するため、教育支援センターを設置し、生活の指導や学校復帰、高等学校進学に向けて、基礎的・基本的学習内容を身に付けるよう努めた。 ・ 通級児童生徒数　40人　（令和6年度　28人） ・ 体験通級児童生徒数　13人　（令和6年度　22人）	継続	不登校児童生徒が通いやすい環境を整えるとともに、抱えている心理的な問題等の軽減を図りながら、自立する力やより良い人間関係づくりができるための支援につながった。 今後も相談体制を強化し支援を継続していく。

事業名	学力向上対策事業費	（ 10款 教育費	1項 教育総務費	3目 教育センター費 ）	決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			12,219	【12,742】	12,403	【12,916】		【13,018】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	1,000			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	165	0	295			
	県支出金	市債	1,697	0	1,763	0			
	財産運用収入	一般財源	0	10,357	0	9,345			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 小学生学び応援塾【国1/3　県1/3】 小学3年生を対象に、放課後に算数の補充学習を実施した。参加児童の理解度に合わせながら個別指導を行い、算数の基礎の定着と学力向上を図った。 ・ 参加児童数　各校20人（実施校：新湊放生津、小杉、歌の森、大門、大島） ・ 実施回数　　約25回/年	継続	一人ひとりのつまずき箇所を発見し、丁寧に指導することで、全ての参加児童の理解が深まり、学習意欲が高まった。 年度の実施校数を維持しながら、事業を継続していく。
2 学び高め合う集団づくり支援事業 ＷＥＢ形式の学級診断尺度調査（Ｑ－Ｕ調査）を全小中学校に導入し、早期に学級集団の特性の把握分析を行い、学級生活への満足度と意欲を高める学級経営の実現を図った。また、「学び高め合う集団づくり支援事業」の推進校へ、授業における学び高め合いと「いじめ・不登校予防対策」を支援するため、教育アドバイザーを派遣した。 令和7年度推進校・・・新湊南部中学校区（新湊南部中、作道小、塚原小） 小杉南中学校区（小杉南中、金山小、歌の森小、中太閤山小）	継続	ＷＥＢ形式による学級診断尺度調査（Ｑ－Ｕ調査）で、個々の児童生徒の学級生活への意欲や満足感及び学級集団の状態等を把握し、授業や指導等に活用した。 引き続き、教育アドバイザーを積極的に活用しながら、事業を継続していく。
3 イングリッシュ・キャンプ事業 グローバル人材の育成のため、小・中学生を対象に59人が参加し、「イングリッシュ・キャンプ」を実施した。 実践的な英語力の向上と英語への理解や興味の促進及び教職員の指導力の向上を図った。	継続	児童生徒の英語力の向上及び外国文化への理解・興味を促進するため、引き続き事業を継続していく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
「授業がよくわかる」児童生徒の割合	小学校93.4% 中学校85.9%	小学校93.2% 中学校89.7%	100%

事業名	学校給食センター管理費（繰越明許）	（ 10款 教育費	1項 教育総務費	4目 学校給食センター費 ）	決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					5,198	【5,690】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	5,198			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 ＬＰガス気化器更新工事 老朽化のため、給食センターの調理、洗浄、消毒機器の熱源である蒸気ボイラーのための気体ガスを作る設備を更新した。 給食調理業務の他、洗浄、消毒業務を安定して行うことができる環境を整備することができた。	継続	今後も給食を提供できる環境を整備することができた。引き続き安全に給食センターが稼働するよう適切な維持管理をしていく。

事業名	学校給食センター管理費	（ 10款 教育費	1項 教育総務費	4目 学校給食センター費 ）	決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			117,205	【123,545】	132,501	【168,778】		【659,940】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	16,200			
	財産運用収入	一般財源	0	117,205	0	116,301			
	財産売払収入		0		0				

令和7年度はＬＰガス気化器更新工事を実施したほか、蒸気ボイラー2基更新工事の前払金が発生したことによる。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 学校給食調理等・搬送事業 受配校への安全安心な給食の配給に努めた。 ・年間給食日数　203日（令和6年度　205日） ・年間給食数　　延べ　411,715食（令和6年度　　延べ　432,082食）	継続	小学校6校、中学校3校、幼稚園1施設の給食調理及び搬送について、適切な衛生管理に寄与した。 今後も安全で安心な学校給食の実施に努めていく。
2 地場産食材の活用 地産地消を促進するため地場産食材の活用に努めた。 ・射水市産食材の使用割合　16.0%（令和6年度　14.9%） ・富山県産食材の使用割合　41.9%（令和6年度　40.6%）	継続	積極的な地場産食材の使用に努め、食育の推進や学校給食の充実に寄与した。 今後も学校給食に携わる栄養教諭等で構成する献立作成会において、地場産食材を使ったメニューを検討していく。
（繰越明許費　　34,299 千円） ・事　業　名　学校給食センター蒸気ボイラー2基更新工事 ・完 了 時 期　令和8年8月		

事業名	学校管理費（小）（繰越明許）	（ 10款 教育費	2項 小学校費	1目 小学校管理費 ）	決算書	115 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					48,660	【58,344】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	40,600			
	財産運用収入	一般財源			0	8,060			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 中太閤山小学校照明ＬＥＤ化工事 校舎及び体育館の照明をＬＥＤ化工事を実施した。 工　期　　令和7年6月4日～10月31日 契約額　　45,181千円	完了	校舎及び体育館の照明のＬＥＤ化により、電気代及び二酸化炭素排出量の削減に寄与した。
2 大門小学校地下タンク廃止工事 ボイラー休止に伴い、灯油地下タンクを廃止した。 工　期　　令和7年6月27日～10月31日 契約額　　594千円	完了	ボイラー休止に伴い不要となった灯油地下タンクを廃止した。

事業名	学校管理費（小）	（ 10款 教育費	2項 小学校費	1目 小学校管理費 ）	決算書	115 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			167,958	【234,420】	170,193	【180,187】		【249,591】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	1,200			
	使用料・手数料	繰入金	203	2,000	196	2,000			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			賃金改定に伴う報酬等の増による。
	県支出金	市債	474	0	752	0			
	財産運用収入	一般財源	0	165,281	0	166,045			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 外国人児童生徒等支援事業 外国人相談員等の不在時でも、児童への指導や保護者と連絡をするため、ＡＩ通訳機を配置した。	継続	日本語指導が必要な児童及び日本語が理解できない保護者との意思疎通に取り組み、学校と保護者間の円滑なコミュニケーションに寄与した。 引き続き、支援を実施していく。
2 統合型校務支援システム運用事業 令和2年度に整備が完了した統合型校務支援システムを活用し教員の事務の効率化、長時間勤務の軽減及び教育の質の維持及び向上を図った。 ・ 事業費　2,926千円（小学校14校分）	継続	システムの利用状況を確認し、より有効的にシステムが活用できるよう支援及び改善を実施していく。
3 射水市立小学校劣化状況調査業務委託 市内全小学校の建物及び設備について、劣化状況の調査を実施した。 委託期間　　令和7年6月20日～令和8年3月10日 委 託 料　　7,601千円	完了	学校施設の適切な管理や長寿命化に寄与した。調査結果に基づき、順次、修繕等の必要な対応を実施していく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
（繰越明許費　　1,000 千円） ・事　業　名　学校備品購入（塚原小学校） ・完 了 時 期　令和8年12月	

事業名	学校給食費（小）	（ 10款 教育費	2項 小学校費	1目 小学校管理費 ）	決算書	115 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			157,853	【165,392】	158,591	【163,994】		【132,751】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	24,577	0	28,951	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	133,276	0	129,640			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 学校給食の食材費高騰対策補助（小学校14校分）（物価高騰対策№24）【交付金】 令和7年4月から令和8年3月までの児童に係る学校給食食材購入費の物価高騰による学校給食食材費の一時的な高騰分を市が負担した。 学校給食食材費高騰対策補助　28,951千円	完了	利用保護者の経済的負担の抑制につながった。今後は、給食費無償化で対応する。

事業名	教育振興運営費（小）	（ 10款 教育費	2項 小学校費	2目 教育振興費 ）	決算書	116 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			256,590	【260,560】	467,792	【472,552】		【144,796】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	200			児童・教員の学習専用端末の更新を行ったことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	8,000	0	4,000			
	国庫支出金	諸収入	2,080	0	0	0			
	県支出金	市債	2,199	0	197,979	11,100			
	財産運用収入	一般財源	0	244,311	0	254,513			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 教育環境の整備【国1/2】 小学校13校に理科・算数教育備品を整備し、教育環境の充実を図った。	継続	新学習指導要領において、今まで以上に観察実験が重視されており、引き続き、環境整備を図っていく。
2 ＡＬＴの配置 国際理解教育推進のため、外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し、英語教育の充実を図った。 ・ 全小学校の5・6年生を対象に5人配置	継続	国際理解教育の充実及び英語教育における実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、事業を継続していく。
3 射水っ子体力アップ応援事業【県1/3】 小学校体育の授業に体づくりや陸上競技の専門的指導者を派遣し、児童に指導を行うことで、児童の体力向上と運動への興味・関心を高めた。	継続	各学校の児童が自主的に運動を楽しめる活動と時間の確保に努めており、事業を継続していく。
4 児童生徒1人1台端末整備事業 ＧＩＧＡスクール構想実現のため整備した児童に1人1台端末や授業支援システム等を活用したＩＣＴ教育を推進した。 ・ 事業費　294,512千円（小学校14校分）	継続	整備したＩＣＴ機器の学習への有効な活用に向け、教員への研修会の実施や児童の発達段階に応じた体系的な指導に取り組んでいく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
授業でＩＣＴ機器を「ほぼ毎日」使用した児童生徒の割合（小学校）	ー %	37.8%	100.0%

事業名	就学援助費（小）	（ 10款 教育費	2項 小学校費	2目 教育振興費 ）	決算書	116 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			43,613	【46,849】	37,165	【42,275】		【23,682】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			就学援助受給児童数が昨年度より減少したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	2,254	0	2,202	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	41,359	0	34,963			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 就学支援事業 経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、給食費、学用品費、オンライン学習通信費等を援助した。 【特別支援教育就学奨励費のみ国1/2】 ・ 就学援助受給児童数　401人　（令和6年度　454人） ・ 特別支援教育就学奨励費受給児童数　126人　（令和6年度　128人）	拡充	経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者への支援を実施し、教育の機会均等に寄与した。 国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目は、年々「単価引上げ」や「追加」傾向にあり、本市の就学援助制度の拡充を図る。

事業名	放生津・新湊統合小学校整備費（繰越明許）	（ 10款 教育費	2項 小学校費	3目 学校建設費 ）	決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			18,598	【33,514】	16,896	【16,909】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	18,598	0	16,896			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 放生津小学校改修工事及び付帯工事 令和9年3月まで、放生津小学校の校舎を暫定利用するため（新湊小児童を受け入れるため）の改修工事を実施した。 工　期　令和6年9月18日～令和7年4月30日 契約額　26,686千円　（うち、令和6年度支出額：9,790千円、うち、令和7年度繰越分支出額：16,896千円）	完了	校舎を暫定利用するための改修工事を実施した。

事業名	新湊放生津小学校整備費	（ 10款 教育費	2項 小学校費	3目 学校建設費 ）	決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					471,212	【3,577,362】		【101,258】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			117,448	0			
	県支出金	市債			0	171,300			
	財産運用収入	一般財源			0	182,464			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 新湊放生津小学校改修工事【国1/2】 令和9年4月から利用を開始する新湊放生津小学校の改修工事を実施した。 工　期　令和7年6月26日～令和9年1月29日 契約額　3,265,570千円　（うち、令和7年度支出額：435,390千円）	継続	概ね予定どおり進ちょくしているが、プール改修については改修工事を取り止め、駐車場として整備することとした。 引き続き、令和8年度の改修工事を実施する。
2 新湊放生津小学校改修工事監理業務委託 上記工事の監理業務について業務委託を行った。 委託期間　令和7年5月27日～令和9年2月12日 委 託 料　35,406千円　（うち、令和7年度支出額：35,406千円）	継続	工事を概ね予定どおりに進めることができた。引き続き、令和8年度の改修工事における監理業務を委託する。
（継続費逓次繰越額　3,106,150 千円） ・事　業　名　新湊放生津小学校改修工事 ・完 了 時 期　令和9年2月12日		

事業名	学校管理費（中）（繰越明許）	（ 10款 教育費	3項 中学校費	1目 中学校管理費 ）	決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					901	【901】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	901			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 射北中学校高圧受変電設備（気中開閉器・避雷器）更新工事 高圧受変電設備を更新し、電気事故のリスク軽減を図った。 工　期　令和7年6月27日～9月5日 契約額　901千円	完了	高圧受変電設備を更新し、電気事故のリスク軽減と安全な教育環境の確保に寄与した。引き続き、他の設備についても適宜点検を行い、計画的な更新を実施していく。

事業名	学校管理費（中）	（ 10款 教育費	3項 中学校費	1目 中学校管理費 ）	決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			76,652	【81,049】	102,745	【107,684】		【891,232】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	13	1,000	13	1,000			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	15,600			
	財産運用収入	一般財源	0	75,639	0	86,132			
	財産売払収入		0		0				

中学校屋内運動場空調設備設置工事設計業務委託等を実施したことによる。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 外国人児童生徒等支援事業 外国人相談員等の不在時でも、生徒への指導や、保護者と連絡をするため、ＡＩ通訳機を配置した。	継続	日本語指導が必要な生徒及び日本語が理解できない保護者との意思疎通に取り組んだ。 学校と保護者間の円滑なコミュニケーションに寄与した。 引き続き、支援を実施していく。
2 統合型校務支援システム運用事業 令和2年度に整備が完了した統合型校務支援システムを活用し教員の事務の効率化、長時間勤務の軽減及び教育の質の維持及び向上を図った。 ・ 事業費　1,254千円（中学校6校分）	継続	システムの利用状況を確認し、より有効的にシステムが活用できるよう支援及び改善を実施していく。
3 射水市立中学校劣化状況調査業務委託 市内全中学校の建物及び設備について、劣化状況の調査を実施した。 委託期間　令和7年6月20日～令和8年3月10日 委 託 料　4,532千円	完了	学校施設の適切な管理や長寿命化に寄与した。調査結果に基づき、順次、修繕等の必要な対応を実施していく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
4 射水市立中学校屋内運動場空調設備設置工事設計業務委託（新湊南部・小杉・大門） 新湊南部・小杉・大門中学校の体育館に空調設備を設置するための設計業務を業務委託した。 委託期間　令和7年8月4日～令和8年2月27日 委 託 料　7,370千円	完了	設計結果に基づき、空調設備設置工事を実施していく。
5 射水市立中学校屋内運動場空調設備設置工事設計業務委託（新湊・射北・小杉南） 新湊・射北・小杉南中学校の体育館に空調設備を設置するための設計業務を業務委託した。 委託期間　令和7年8月4日～令和8年2月27日 委 託 料　8,250千円	完了	設計結果に基づき、空調設備設置工事を実施していく。

事業名	学校給食費（中）	（ 10款 教育費	3項 中学校費	1目 中学校管理費 ）	決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			71,375	【75,301】	75,100	【78,597】		【59,553】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和7年度は米飯をはじめとする食材納入価格が大幅に上昇したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	13,133	0	16,138	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	58,242	0	58,962			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 学校給食の食材費高騰対策補助（中学校6校分）（物価高騰対策№25）【交付金】 令和7年4月から令和8年3月までの生徒に係る学校給食食材購入費の物価高騰による学校給食食材費の一時的な高騰分を市が負担した。 ・ 学校給食食材費高騰対策補助　16,138千円	完了	利用保護者の経済的負担の抑制につながった。今後は、給食費無償化で対応する。

事業名	教育振興運営費（中）	（ 10款 教育費	3項 中学校費	2目 教育振興費 ）	決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			107,361	【120,128】	258,426	【273,068】		【125,962】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	3,000	0	0			生徒・教員の学習専用端末の更新による。
	使用料・手数料	繰入金	0	6,000	0	3,000			
	国庫支出金	諸収入	832	0	0	0			
	県支出金	市債	10,917	0	96,050	4,700			
	財産運用収入	一般財源	0	86,612	0	154,676			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 ＡＬＴの配置 国際理解教育推進のため、外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し、英語教育の充実を図った。 ・ 全中学校を対象に4人配置	継続	国際理解教育の充実及び英語教育における実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、事業を継続していく。
2 スポーツエキスパート派遣事業【県1/3】 運動部活動支援のため、生徒に専門的な技術指導を行うスポーツエキスパートを配置し、運動能力の向上を図った。 ・ 中学校5校を対象に20人配置	継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。部活動指導員への移行を踏まえながら、適宜配置を継続していく。
3 部活動指導員配置促進事業【国1/3　県1/3】 部活動の技術指導や大会への引率等を単独で行うことができる部活動指導員を配置し、教員の負担軽減を図るとともに、部活動の質の向上を図った。 ・ 中学校4校を対象に17人配置	継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。教員の負担軽減を図るため、事業を継続するとともに、地域展開を含めた更なる負担軽減を推進していく。
4 文化部等講師派遣事業 文化部活動等支援のため、吹奏楽、合唱の指導員を配置し、技術の向上を図った。 ・ 中学校3校を対象に7人配置	継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。部活動指導員への移行を踏まえながら、適宜配置を継続していく。
5 社会に学ぶ14歳の挑戦事業【県1/2】 社会に学ぶ14歳の挑戦事業については市内全中学校（6校）で実施した。 実施時期　　令和7年9月22日～9月26日 参加生徒数　711名　　受入事業所数　122か所	継続	実際に働く経験は、生徒の将来的な社会人としての自覚の基礎作りの一助となっていることに加え、生徒自身の成長や新たな発見につながっていることから、事業を継続していく。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>6 教育設備の整備【国1/2】
中学校6校に理科教育備品を整備し、教育設備の充実を図った。</td><td>継続</td><td>新学習指導要領において、今まで以上に観察実験が重視されており、引き続き、環境整備を図っていく。</td></tr>
<tr><td>7 射水っ子音楽活動推進事業
生徒の音楽活動をより一層推進するため、各学校設置する楽器の整備を実施した。
・ 事業費　　3,355千円（中学校4校分）
音楽活動を通じて、地域を元気付けるとともに、地域に貢献する心豊かな射水っ子の育成を目的に、中学校の吹奏楽部等の楽器整備や全国大会出場校への練習会場利用料に対し、助成を行ってきた。</td><td>継続</td><td>大会への出場のほか、ハートフルコンサート・地域行事への参加等、様々な成果発表の場は地域と触れ合う経験にもなるため、事業の継続を検討していく。</td></tr>
<tr><td>8 中学生夢づくり授業事業
中学生が将来の夢や自分の生き方を考える機会づくりとして、本市にゆかりがある（株）コラレアルチザンジャパン代表　山川氏を講師に招き、いみず夢づくり授業を開催した。
・実施校　射北中学校1年生　大門中学校2、3年生</td><td>継続</td><td>中学生に対し夢づくり授業を実施し、今後の生き方や将来の夢や仕事を考える機会であり継続していく。</td></tr>
<tr><td>9 児童生徒1人1台端末整備事業
ＧＩＧＡスクール構想実現のため整備した生徒に1人1台端末や授業支援システム等を活用したＩＣＴ教育を推進した。
・ 事業費　　126,220千円（中学校6校分）
<table>
<tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr>
<tr><th>令和4年度</th><th>令和7年度</th><th>令和9年度</th></tr>
<tr><td>授業でＩＣＴ機器を「ほぼ毎日」使用した児童生徒の割合（中学校</td><td>－　%</td><td>45.8%</td><td>100.0%</td></tr>
</table></td><td>継続</td><td>整備したＩＣＴ機器の学習への有効な活用に向け、教員への研修会の実施や生徒の発達段階に応じた体系的な指導を取り組んでいく。</td></tr>
<tr><td>10 休日部活動の地域移行等に向けた実証事業【県】
中学校の休日部活動を地域展開し、生徒の活動機会を確保するとともに、教職員の負担軽減を図った。
・ 実施部活動（バスケットボール、柔道、剣道、ハンドボール、卓球、ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、美術、軟式野球、サッカー、陸上競技、ヨット、バドミントン、体操、吹奏楽）</td><td>完了</td><td>平日部活動の地域展開の推進に向け、関係団体と協議を進める。</td></tr>
</table>

事業名	就学援助費（中）	（ 10款 教育費	3項 中学校費	2目 教育振興費 ）	決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			30,518	【34,134】	25,404	【30,433】		【19,045】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			就学援助受給生徒数が昨年度より減少したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	1,187	0	1,310	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	29,331	0	24,094			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 就学支援事業 経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、給食費、学用品費、オンライン学習通信費等を援助した。 【特別支援教育就学奨励費のみ国1/2】 ・ 就学援助受給生徒数　204人　（令和6年度　246人） ・ 特別支援教育就学奨励費受給生徒数　47人　（令和6年度　38人）	拡充	経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者への支援を実施し、教育の機会均等に寄与した。 国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目は、年々「単価引上げ」や「追加」傾向にあり、本市の就学援助制度の拡充を図る。

事業名	大門中学校整備費（逓次繰越）	（ 10款 教育費	3項 中学校費	3目 学校建設費 ）	決算書	119 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			30,503	【30,503】	260,196	【260,196】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金		0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金		0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	22,800	0	195,100			
	財産運用収入	一般財源	0	7,703	0	65,096			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 射水市立大門中学校グラウンド改修（その3）工事 野球場、テニスコート及び北側駐輪場の改修工事（付帯工事を含む）を実施した。 工　期　　令和7年3月25日～12月19日 契約額　　225,500千円	完了	野球場、テニスコート及び北側駐輪場の改修工事により、教育環境の改善が図られた。
2 射水市立大門中学校グラウンド（その3）に伴う土木付帯工事 野球場及びテニスコートの改修工事に伴う残土処理及び駐車場のアスファルト改修工事を実施した。 工　期　　令和8年1月6日～令和8年3月25日 契約額　　33,405千円　（うち令和7年度分支出額：2,488千円、令和7年度逓次繰越分支出額：30,917千円）	完了	野球場及びテニスコートの改修工事により、教育環境の改善が図られた。
3 射水市立大門中学校グラウンド（その3）に伴う区画線工事 野球場及びテニスコートの駐車場について、区画線工事を実施した。 工　期　　令和8年3月6日～3月27日 契約額　　462千円	完了	野球場及びテニスコートの改修工事により、教育環境の改善が図られた。
4 射水市立大門中学校グラウンド改修（その3）工事等監理業務委託 上記1の工事監理業務を委託実施した。 委託期間　令和7年4月7日～令和7年12月19日 委 託 料　5,632千円　（うち令和7年度分支出額：2,315千円、うち令和7年度逓次繰越分支出額：3,317千円）	完了	野球場、テニスコート及び北側駐輪場の改修工事により、教育環境の改善が図られた。

事業名	大門中学校整備費	（ 10款 教育費	3項 中学校費	3目 学校建設費 ）	決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			160,038	【420,234】	4,803	【12,193】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和5～7年度の継続事業であり、工事内容が年度により異なるため、昨年度決算額との差が生じたもの。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	9,308	0	0	0			
	県支出金	市債	0	112,200	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	38,530	0	4,803			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 射水市立大門中学校グラウンド（その3）に伴う土木付帯工事 野球場及びテニスコートの改修工事に伴う残土処理及び駐車場のアスファルト改修工事を実施した。 工　期　　令和8年1月6日～3月25日 契約額　　33,405千円　（うち令和7年度支出額：2,488千円、うち令和7年度逓次繰越分支出額：30,917千円）	完了	野球場及びテニスコートの改修工事により、教育環境の改善が図られた。
2 射水市立大門中学校グラウンド改修（その3）工事等監理業務委託 野球場、テニスコート及び北側駐輪場の改修工事に係る監理業務を業務委託した。 委託期間　令和7年4月7日～12月19日 委 託 料　5,632千円　（うち令和7年度分支出額：2,315千円、うち令和7年度逓次繰越分支出額：3,317千円）	完了	野球場及びテニスコートの改修工事により、教育環境の改善が図られた。

事業名	幼稚園管理費	（ 10款 教育費	4項 幼稚園費	1目 幼稚園費 ）	決算書	119 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,509	【6,573】	5,415	【8,737】		【55】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	3	0	2	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	28	239	29	230			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	5,239	0	5,154			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市立幼稚園管理運営 ・施設数　1園　（令和6年度　1園） ・定　員　50人　（令和6年度　50人） ・園児数　延べ60人【月平均5人】　（令和6年度　延べ57人【月平均5人】）	縮小	七美幼稚園について、令和8年度において在園する園児が見込まれないため、令和8年4月1日から休園することとした。 今後の在り方について、地元住民等関係者と協議していく。
2 給食食材料費高騰対策支援事業（物価高騰対策№26）【交付金】 物価高騰等に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立幼稚園における給食食材費の高騰相当分の負担を支援した。 ・事業費　29千円	完了	給食材料費高騰分の支援を行い、子育て世帯の経済的負担軽減に寄与した。
3 公立保育園等ＩＣＴ化推進事業 幼稚園に導入した教育・保育業務支援システムを用いて、園児の登降園管理や保護者連絡の効率化を図るなど業務負担の軽減を図った。	完了	業務効率化を支援し、教育・保育の質の向上及び幼稚園教諭の業務負担軽減につながった。

事業名	生涯学習推進事業費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	1目 社会教育総務費 ）	決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			10,285	【11,168】	11,096	【12,112】		【11,164】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	1,000			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	10,285	0	10,096			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 地域ごとの生涯学習講座の開催 地区コミュニティセンターを核に、身近な地域のニーズや資源を把握し有効に活用した学習活動を展開した。	継続	地区コミュニティセンターを核として、地域の特性を生かした生涯学習の機会を提供することができた。 今後も内容を充実させ、事業を継続していく。
2 生涯学習フェスティバル・生涯学習作品展 各コミュニティセンター等で活動しているサークルや放課後子ども教室での学習成果の発表の場を提供した。 ・ 開催日　令和7年12月21日 ・ 参加者数　フェスティバル　379人　作品展　325人	継続	市内の生涯学習関係者が一堂に会し開催に携わることで、連携を深めることにつなげた。 今後も生涯学習活動の楽しさや必要性を伝えられるよう、事業を継続していく。

指標項目	基準	実績	目標
	H28-H30平均	令和7年度	令和9年度
生涯学習講座の年間延べ受講者数（コミュニティセンター27館）	39,780人	33,431人	43,000人

事業名	二十歳のつどい式典費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	1目 社会教育総務費 ）	決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1,028	【1,091】	1,104	【1,141】		【1,081】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	1,028	0	1,104			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 二十歳のつどいの開催 二十歳の門出を祝福するとともに、社会人として自ら生き抜くことへの自覚を促すよう激励した。 毎年5月4日の開催としている。 ・ 令和6年度　729人参加（79.3%） ・ 令和7年度　743人参加（82.1%）	継続	広報紙やホームページ、また市公式ＬＩＮＥ等で周知し、5月4日の開催が定着してきたことにより、二十歳のつどいへの参加者が増加した。 引き続き、多くの方が参加できるよう努めながら事業を継続していく。

事業名	すこやかいみずっ子育成事業費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	1目 社会教育総務費 ）	決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			11,274	【13,673】	11,619	【13,633】		【16,193】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	3,778	0	4,115	0			
	財産運用収入	一般財源	0	7,496	0	7,504			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 放課後子ども教室【国1/3　県1/3】

市内の14小学校区で放課後に安全安心な子どもたちの活動の場を設け、地域の方々を指導者としてスポーツ、伝統芸能等の体験活動や交流活動を推進した。

また、研修会を実施して推進員等の資質の向上を図るとともに、放課後対策事業運営委員会を開催し、学校、放課後子ども教室及び放課後児童クラブとの意見交換を行うなど連携を図った。

<放課後子ども教室開催状況>

年度	教室数	サークル数	参加者人数（延べ）		年間開催回数
			子ども	推進員	
令和6年度	15教室	38サークル	7,409人	1,635人	470回
令和7年度	14教室	37サークル	7,312人	1,536人	445回

指標項目	基準	実績	目標
	H28-H30平均	令和7年度	令和9年度
放課後子ども教室等参加率	17.5%	18.5%	20.0%

2 土曜学習推進事業【国1/3　県1/3】

土曜日の安全安心な子どもたちの活動拠点を確保するため、地域の方々を指導者として将棋や茶道などの体験活動や交流活動を推進した。

<土曜学習推進事業開催状況>

年度	教室数	サークル数	参加者人数（延べ）		年間開催回数
			子ども	推進員	
令和6年度	5教室	6サークル	660人	206人	59回
令和7年度	5教室	6サークル	777人	221人	65回

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

地域の方々や異学年との交流の場となっており、曳山囃子やゆかたの着付け、パークゴルフなど、学校や家庭では体験できないような機会を設けることができた。

多くの子どもが有意義な時間を過ごせるよう、サークル活動の内容や対象学年を毎年検討しながら、放課後の活動等の充実に努める。また、より多くの地域住民の参画を得ることができるよう研修会を実施していく。

継続

土曜日の安全安心な子どもたちの活動拠点を確保した。

サークル活動の内容等を毎年検討しながら、地域の方々との体験活動や交流活動の推進を図っていく。

事業名	家庭教育力向上支援事業費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	1目 社会教育総務費 ）	決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1,122	【1,221】	1,088	【1,242】		【1,241】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	1,122	0	1,088			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 いみず親学びスクール

家庭教育力の向上のために、小学生の児童を持つ保護者や家庭教育支援者等を対象として、講師を招いた講座を実施することで、家庭教育の重要性や家族のコミュニケーション力の向上を図った。

・ 年5回実施　講義型1回　親子体験型4回

2 親学び講座の活用・啓発

子育て井戸端会議の中で親学び講座の事例や手法を活用するとともに、保護者が気軽に参加できる機会が増えるよう親学び講座の開催に対する啓発を行った。

指標項目	基準	実績	目標
	H28-H30平均	令和7年度	令和9年度
親を学び伝える学習プログラムの参加率	55.0%	53.5%	70.0%

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

いみず親学びスクールでは、昆虫の観察や走り方教室など親子で一緒に体験する講座を実施することで、家族のコミュニケーションの促進や家庭での教育力の向上につなげた。

今後も、子どもへの関わり方などの知識習得や保護者同士の交流の機会を提供していく。

事業名	文化財保存費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	2目 文化財保護費 ）	決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			14,126	【15,323】	14,939	【18,185】		【20,482】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	5	0	5	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	4,758	0	5,040	0			
	財産運用収入	一般財源	0	9,363	0	9,894			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 文化財の保存・継承に関する補助

文化財の維持管理や修理等に要する経費の一部を補助することにより、文化財の適切な保護継承を図った。

(1) 曳山車保存修理事業費補助金

補助事業者	内容	事業費	市補助額	補助事業者負担額
長徳寺曳山委員会	市指定文化財長徳寺曳山標識及び心柱の修理	2,094	1,478	616

(2) 建造物保存修理事業費補助金【地震】

補助事業者	内容	事業費	市補助額	補助事業者負担額
六渡寺自治会	地震で被害を受けた市指定文化財六渡寺日枝神社玉垣の修理	2,352	1,176	1,176

(3) 文化財の維持管理に関する補助金

・ 国・県指定民俗文化財及び天然記念物の保存継承に関する補助　5件

2 史跡公園の活用

市が管理する史跡公園の保護と市民への公開活用機会の充実のため、良好な環境・景観の維持管理に努めた。

・ 飛鳥工人の館（国指定：小杉丸山遺跡）　入館者数　1,671人

3 文化財の保存活用

(1) 文化財の保存継承支援

市内の文化財所有者・管理者等が行う各種取組を支援することにより、文化財の適切な保存継承が図られた。

・ 「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」保存修理事業準備委員会を立ち上げ、事業実施のために必要となる修理仕様や年次計画等について検討し、事業採択につながった。

・ 令和6年能登半島地震で被災した文化財等建造物の被害状況調査を完了した。
　文化財ドクター派遣事業による被災建造物の技術支援調査（3次調査）　12件(棟)

評価と今後の方向性（担当課意見）

拡充	文化財の維持管理や修理等の支援を継続するとともに、新たに「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」保存修理事業に取り組み、文化財保存継承の一層の推進を図る。
継続	引き続き、国・県・市指定史跡の保存活用のため、史跡公園等として公開している史跡の保存と良好な環境の維持とともに、活用の促進と情報発信に取り組んでいく。
継続	引き続き、文化財保存継承のための所有者等への支援を継続するとともに、文化財保護の方向性を定める保存活用計画の策定に取り組む。 また、文化財調査等と並行して主要な文化財等を中心に外部への情報発信を推進し、市民の文化財保護意識の醸成を図っていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
(2) 文化財の普及啓発 「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」のユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」への登録を記念して、懸垂幕の掲揚や市内文化施設等においてユネスコ無形文化遺産に関するパネル展を開催し、無形文化遺産の普及啓発を図った。 ＜パネル展会場及び開催期間＞ ・ 射水市役所１階エントランスホール　令和8年1月19日～1月27日 ・ 射水市民病院　令和8年1月28日～2月9日 ・ 新湊中央文化会館　令和8年2月12日～2月20日 ・ 小杉展示館　令和8年3月20日～3月29日	

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
指定文化財及び登録有形文化財の件数	146件	150件	147件

（繰越明許費　　2,555 千円）
・事　業　名　指定文化財等解説板整備（2件）
建造物保存修理事業費補助金（光専寺鐘楼門の保存修理）　【地震】
・完 了 時 期　令和9年3月

事業名	図書館活動推進費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	4目 図書館費 ）	決算書	122 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			12,372	【12,395】	12,403	【12,460】		【20,917】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	12,372	0	12,403			
	財産売払収入		0		0				

1 図書館活動推進事業

市内4図書館や県内外の図書館との連携を図り、図書館活動の推進に努めた。

(1) 子ども会・読書会等

図書館を利用して読書の楽しみを広げてもらうための読み聞かせや子ども会行事、読書会を開催した。

講座・講演	令和6年度		令和7年度	
	開催数	延人数	開催数	延人数
子ども会（絵本・紙芝居の読み聞かせ）	104回	1,084人	108回	1,098人
児童集会季節行事	40回	306人	38回	552人
読書会	69回	483人	71回	552人

(2) 関連図書展示

季節や話題に応じた図書を集めて紹介するテーマ展示を70 回開催した。

(3) 貸出数等

- 図書貸出者数（延べ） 99,604人 （令和6年度 102,291人）
- 図書貸出者数（実） 9,712人 （令和6年度 9,826人）
- 貸出冊数 410,266冊 （令和6年度 427,266冊）
- 貸出用図書購入冊数 5,231冊 （令和6年度 5,627冊）

指標項目	基準	実績	目標
	H28-H30平均	令和7年度	令和9年度
市民1人当たりの図書貸出冊数	5.3冊	4.6冊	6.3冊

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

4館のバランスに配慮しながら、本市として保存すべき資料及び市民ニーズに応じた資料の受け入れに努めた。

雑誌スポンサーの確保に努め、今後も企業等との連携を推進し、図書館資料の充実を図っていく。

貸出冊数・利用者数を向上させるため、図書館情報の発信について拡充を図る。

事業名	芸術文化振興費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	5目 文化振興費 ）	決算書	122 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			22,454	【22,642】	72,927	【76,660】		【79,950】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			文化施設2館（新湊中央文化会館・小杉文化ホール）の指定管理業務に含めていた芸術文化振興事業について、事業費を振り替え、新たに芸術文化振興事業補助金として実施したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	9,500	0	7,300			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	12,954	0	65,627			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 市民主体の芸術文化活動の推進

芸術文化にかかる市民の発表活動を支援するとともに、市民団体と連携して市民が文化に親しむ機会を提供することで、さらなる活動への参加促進を図り、市民が芸術文化活動への意欲を高め、心豊かで潤いのある生活を実感できる環境づくりを行った。

(1) 射水市展の開催

広く市民等から作品を募集し、日本画、洋画、書などの5部門からなる「射水市展」を開催することで、発表と鑑賞の機会を提供した。

・ 令和7年度出品数　145 作品　（令和 6年度　129 作品）

事業名	開催期間	開催場所	入場者数	
			令和6年度	令和7年度
射水市展	令和7年10月7日～13日	新湊中央文化会館	1,335人	1,179人

(2) 芸術文化活動への支援

市民が主体となって開催する市民の芸術文化活動への参加機会を提供する事業や子どもに体験機会を提供する事業に支援を行った。

〈主な市民主体の芸術文化事業〉

事業名	開催期間	開催場所	入場者数	
			令和6年度	令和7年度
射水市芸術文化協会美術展	令和7年9月19日～21日	新湊中央文化会館	578人	720人
芸能フェスティバルｉｎいみず	令和7年11月9日	新湊中央文化会館	1,030人	800人
射水市いけばな展	令和7年11月22日～23日	新湊中央文化会館	2,117人	1,200人
いみずジュニアアート展	令和7年12月5日～7日	新湊中央文化会館	373人	366人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

市民の作品の発表の機会及び鑑賞の機会の提供や芸術文化活動への支援により、創作意欲の向上や芸術文化に触れる機会を創出した。

引き続き、活動団体等との連携や支援等により、市民主体の芸術文化活動を推進する。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	

〈子どもの体験活動の提供（射水市芸術文化協会）〉

事業名	開催期間	開催場所
子ども呈茶体験	令和7年5月18日、6月8日、 9月21日、11月23日	新湊中央文化会館、 新湊博物館
描いて遊ぼう　集まれアート体験（出前講座）	令和7年7月8日、7月15日、7月22日	新湊放生津小学校
射水市芸術文化協会美術展　ワークショップ	令和7年9月19日～21日	新湊中央文化会館
子どもいけばな体験	令和7年11月22日～23日	新湊中央文化会館
ふれあい体験コンサート（出前講座）	令和7年10月21日	東明小学校
ふれあい体験コンサート（出前講座）	令和7年10月28日	小杉小学校

(3) 市民の伝統文化活動への支援

（一財）自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を活用し、獅子舞用具等の備品購入・整備に助成し、地域の伝統文化活動を支援した。

・　令和7年度　3 件　 7,300 千円　　（令和6年度　4 件　 9,500 千円）

事業実施主体名	事業内容	助成金額
東町西部自治会	太鼓、天狗面など獅子舞用具の整備	2,500千円
海老江東町自治会	蚊帳、前掛など獅子舞用具の整備	2,300千円
海老江中町自治会	獅子頭、胴幕など獅子舞用具の整備	2,500千円

継続

地域コミュニティに根差した伝統文化活動の継承に寄与しており、引き続き、同助成事業を活用した支援を継続していく。

(4) 芸術文化振興事業補助金

芸術文化の振興のため、鑑賞・体験・参加機会の充実や市民の芸術文化活動への支援などに要する費用として、射水市文化振興財団へ補助金を交付した。

ア 市民の鑑賞機会の充実のため、芸術文化及び文化施設への興味関心を引き出す公演等を開催した。

事業名	開催日	開催場所	入場者数
東京楽竹団ライブ	令和7年8月3日	新湊中央文化会館小ホール	68人
松丸亮吾謎解き＆トークショー	令和7年6月1日	新湊中央文化会館大ホール	509人
森高千里コンサート	令和7年11月16日	新湊中央文化会館大ホール	1,118人
千住真理子＆千住明リサイタル	令和7年6月21日	小杉文化ホールひびきホール	297人
ラポール　ニューイヤーコンサート	令和8年1月11日	小杉文化ホールひびきホール	486人
モチモチの木富山公演	令和8年2月28日	小杉文化ホールひびきホール	588人

継続

芸術文化の企画運営を補助事業としたことにより、ロビーコンサート10周年記念フェスタや若い芽♪こども音楽コンクールの開催など、柔軟に事業を実施することができ、市民の参加機会の創出を図った。

引き続き、市民が芸術文化に親しむことのできる機会の創出や芸術文化活動の普及・育成など、本市の芸術文化の振興に継続して補助を行っていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）

イ 市ゆかりのアーティストや芸術文化団体に対して、ホール等で発表する機会を提供した。

事業名	開催日	開催場所	出演団体	入場者数
射水市合唱祭	令和7年8月24日	小杉文化ホールひびきホール	7団体	334人
こすぎ童謡フェスティバル	令和7年10月19日	小杉文化ホールひびきホール	5団体	300人
射水市吹奏楽フェスティバル	令和7年11月2日	新湊中央文化会館大ホール	6団体	650人
ロビーコンサート	令和7年4月20日、5月18日 6月7日、7月21日 8月9日、8月31日 9月23日、12月7日	新湊中央文化会館　6回 小杉文化ホール　　2回	24団体	1,234人
ロビーコンサート10周年記念フェスタ	令和8年2月22日	新湊中央文化会館大ホール	15団体	755人

ウ 市民に対して気軽に芸術文化活動に参加し体験できる機会を創出した。

事業名	開催日	開催場所	参加者数
東京楽竹団ワークショップ	令和7年8月2日	新湊中央文化会館展示室	8人
若い芽♪こども音楽コンクール	令和7年10月5日	小杉文化ホールひびきホール	63人
中学校アウトリーチコンサート	令和7年10月20日、11月10日	新湊南部中学校、新湊中学校	410人
ひなまつりコンサート（出前コンサート）	令和8年3月2日	キッズポートいみず	235人

事業名	新潟博物館維持管理費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	6目 博物館費 ）	決算書	123 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			21,782	【23,579】	24,593	【26,458】		【88,090】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			人件費の増加に加え、冷温水発生機の不具合により、ガス使用料が著しく増加したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	906	0	866	0			
	国庫支出金	諸収入	0	367	0	400			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	20,509	0	23,327			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 博物館事業（展示事業）

市民に、本市に関わる歴史、芸術及び民俗について理解を深めてもらうため、企画展・館蔵品展を実施したところ、幅広い年代の来館があった。

開催期間	企画展名	入館者数	備考
令和7年4月1日～4月20日	天空	325人	会期：令和7年2月14日～4月20日
令和7年4月25日～7月6日	いい湯だな	1,106人	
令和7年7月11日～9月21日	海の守護神	1,269人	
令和7年9月26日～12月7日	市制20周年記念「いみず紀行」	11,435人	11月21～30日無料開館（10,542人）
令和7年12月12日～令和8年2月15日	人間国宝認定70周年記念　石黒宗麿	1,137人	
令和8年2月20日～3月31日	日本人の心と妖怪	1,867人	会期：令和7年2月14日～4月20日

※3月31日までの入館者数

2 博物館事業（講演会等）

道の駅まるごと射水のリニューアルオープンに合わせて11月21日から30日まで無料開館を実施したところ、10,542人の来館者があった。この結果、令和7年度の総来館者数は17,139人となり、令和6年度（6,538人）に対し10,601人増加した。

また企画展の内容に合わせて外部講師を招いた講演会や担当学芸員による展示解説会を行い、観覧者の展示に対する理解促進を図った（講演会5回192人、展示解説会14回115人）。

3 博物館資料整備事業（未データ化資料整理・取得資料の撮影等）

資料の恒久的保存と利用簡便化を図るためデジタル化を進めた。

事業費　　291千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続	展示に対する市民等の要望をリサーチしながら、機を捉えた展示を開催することができた。 また、ワークショップの定期開催を実施したところ、リピーターの確保につながった。 引き続き、地域及び他館の動向も注視しながら、市民の歴史、芸術への関心が高まるよう展示を行っていく。
継続	道の駅まるごと射水や周辺施設との連携を強化し、観覧者数の増加を図っていく。
継続	収集資料のデジタル化を進めるとともに、ホームページに掲載し、資料公開の充実を図っていく。

事業名	小杉展示館・竹内源造記念館管理運営費（繰越明許）	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費 ）	決算書	124 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					7,528	【9,960】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			3,249	0			
	県支出金	市債			0	3,800			
	財産運用収入	一般財源			0	479			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 小杉展示館地震被害外部復旧工事【国2/3】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、外壁や屋根等の復旧工事を行った。 工　　期　令和7年8月22日　～　12月3日 契 約 額　7,139千円 2 竹内源造記念館ワイヤレス監視カメラ修繕 ワイヤレス監視カメラの修繕を行った。 工　　期　令和7年7月25日　～　9月1日 契 約 額　389千円	完了	文化財としての保存に留意しつつ施設の安全な利用及び管理運営に必要な整備を行った。

事業名	小杉展示館・竹内源造記念館管理運営費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費 ）	決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			14,782	【24,742】	15,923	【16,002】		【16,823】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	4	0	4	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	14,778	0	15,919			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 小杉展示館の指定管理　/　小杉まちづくり協議会（令和5年4月1日～令和10年3月31日） 国登録有形文化財である建造物を活用した展示施設として、地元住民や出身者等の作品の展示のほか、コンサートの開催など、市民が芸術文化に親しむ機会を提供した。 ・ 入館者数　5,267 人　（令和 6年度　　5,129 人） 〈主な主催事業〉	継続	地域ゆかりの作家や団体の発表により、芸術文化活動に対する市民の興味関心を喚起することができた。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。

事業名	開催期間	入館者数
軌跡　高校生の僕がみる世界（写真展）	令和7年8月21日～30日	129人
桜哉＆大島未鈴2人展　天文浪漫学	令和7年9月27日～28日	283人
エコーいみず野　秋風にのせて調べを（コンサート）	令和7年10月25日	33人
アーティフィシャルフラワー展	令和7年11月20日～30日	142人
児童書初め展	令和8年1月18日～2月3日	691人
児童版画展	令和8年2月14日～3月4日	612人
暮らしを彩る立体折り紙	令和8年3月11日～17日	178人

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>2 竹内源造記念館の指定管理　/　小杉まちづくり協議会（令和5年4月1日～令和10年3月31日）
国登録有形文化財である建造物を活用した本市鏝絵文化の発信拠点として、小杉左官の名工・竹内源造の鏝絵鑑賞や鏝絵制作体験の機会を提供した。
(1) 鏝絵体験教室運営事業
幅広い年齢層が手軽に取り組むことのできる鏝絵体験教室を開催し、市内外から訪れた見学者に鏝絵文化に触れる機会を提供した。
・ 鏝絵体験参加者数　368 人（令和 6年度　215 人）
(2)「鏝絵のまち小杉」情報発信・施設利用促進事業
鏝絵と下条川千本桜まつり等各種イベントの開催にあわせ「鏝絵のまち小杉」の魅力を発信し、交流人口の拡大を目指した。
・ 入館者数　3,467 人　（令和 6年度　3,636 人）
〈主な主催事業〉
<table>
<tr><th>事業名</th><th>開催期間</th><th>入館者数</th></tr>
<tr><td>射水鏝絵座　弦楽の響き</td><td>令和7年11月2日</td><td>25人</td></tr>
</table>
</td><td>継続</td><td>鏝絵制作体験教室の実施等により、本市特有の鏝絵文化の普及や発信を図った。
引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。</td></tr>
</table>

事業名	陶房「匠の里」管理運営費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費 ）	決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			10,159	【10,159】	19,322	【26,579】		【15,062】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和7年度からの指定管理期間更新に伴い、人件費や燃料費高騰、利用料収入の減少を反映した指定管理料に見直したことによる。 施設照明ＬＥＤ化工事の施工による。
	使用料・手数料	繰入金	7	0	13	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	3,800			
	財産運用収入	一般財源	0	10,152	0	15,509			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 陶房「匠の里」の指定管理 / ㈱ジャパン・フラワー・コーポレーション（令和7年4月1日～令和12年3月31日）

手作り文化振興のため、様々な陶芸教室や、施設の魅力向上のためのワークショップ等を開講することにより、市民に幅広い体験学習の機会と芸術活動の場を提供した。

・ 令和7年度施設利用者総数 15,461 人 （令和6年度 13,605 人）

(1) 陶芸教室事業

コース名	概要	開催状況	利用者数	
			令和6年度	令和7年度
体験コース	初心者向けの半日陶芸体験コース	開館日の午前、午後(随時)	3,641人	3,957人
定期コース	3～6か月間継続して陶芸を学ぶコース	全6コース（延べ16コース）	3,770人	3,318人
匠コース	上級者向けの自由に作陶できるコース	会員コース	2,280人	2,698人
自主事業コース	指定管理者が企画した特別な陶芸体験コース	全5コース	375人	571人

(2) 陶芸教室以外の主なイベント事業（自主事業）

事業名	開催期間	参加者数
食香バラワークショップ	令和7年5月23日、6月1日	21人
匠の里マルシェ	令和7年4月19日～20日	600人
陶芸祭＆匠の里マルシェ	令和7年10月11日～12日	1,000人
星と炎のヨガ	令和7年10月13日	50人
ものづくり特化型・体験施設「キョウミタス」	通年（年間48回）	365人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

ＳＮＳを利用した積極的な広報活動、地元で栽培されている食香バラをはじめ様々なテーマを設けたワークショップなど、指定管理者による自主事業イベントの開催により施設の魅力向上につながった。

引き続き、指定管理者による適切な管理運営及び事業運営により、市特有の手づくり文化の振興に努めていく。

2 陶房「匠の里」照明器具更新工事

施設照明のＬＥＤ化更新工事を行った。

工　　期　令和7年9月25日　～　令和8年5月29日

契 約 額　10,670千円　（うち、令和7年度支出額：4,260千円）

継続

引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。

（繰越明許費　7,257 千円）

・事　業　名　陶房「匠の里」照明器具更新工事
　窯室棟電気窯熱線張替修繕

・完 了 時 期　令和8年6月

事業名	小杉文化ホール管理運営費（繰越明許）	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費 ）	決算書	124 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					12,959	【13,099】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	12,959			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 小杉文化ホール非常用発電設備修繕工事 老朽化した非常用発電設備の取替工事を行った。 工　　期　令和7年8月5日　～　11月17日 契 約 額　7,040千円 2 小杉文化ホールまどかホール時計更新工事 まどかホールの時計設備の更新工事を行った。 工　　期　令和7年8月18日　～　令和8年1月21日 契 約 額　4,423千円 3 小杉文化ホールひびきホール迫搬入口修繕工事 ひびきホールの故障した機材搬入エレベーターの修繕工事を行った。 工　　期　令和8年1月30日　～　3月31日 契 約 額　1,496千円	継続	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。

事業名	新潟中央文化会館・小杉文化ホール管理運営費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費 ）	決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			154,237	【167,337】	148,934	【160,979】		【173,868】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和7年度からの指定管理期間更新に伴い、指定管理業務に含めていた芸術文化振興事業を補助事業として芸術文化振興費に振り替えるとともに、人件費及び燃料費高騰を反映した指定管理料に見直したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	152	0	83	0			
	国庫支出金	諸収入	0	4,400	0	4,400			
	県支出金	市債	0	0	0	10,200			
	財産運用収入	一般財源	0	149,685	0	134,251			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 新湊中央文化会館の指定管理　/　（公財）射水市文化振興財団（令和7年4月1日～令和12年3月31日） ホールや展示室、会議室等の各設備の良好な管理運営により、市民の芸術文化活動の場の提供に努めた。 ・ 令和7年度施設利用者総数　83,249 人 （令和6年度 82,339 人） ・ 令和7年度指定管理料　70,983千円	継続	市民が芸術に親しむことのできる機会を創出した。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
(1) 主なホールイベント 事業名／開催日／開催場所／入場者数 東京楽竹団ライブ（再掲）／令和7年8月3日／小ホール／68人 松丸亮吾謎解き＆トークショー（再掲）／令和7年6月1日／大ホール／509人 立川志の輔　独演会／令和7年9月5日／大ホール／1,196人 射水市吹奏楽フェスティバル（再掲）／令和7年11月2日／大ホール／650人 森高千里コンサート（再掲）／令和7年11月16日／大ホール／1,118人 ロビーコンサート10周年記念フェスタ（再掲）／令和8年2月22日／大ホール／755人 (2) ホール活性化事業 事業名／開催日／開催場所／参加者数 バックステージツアー　(4回)／令和7年8月5日～6日／大ホール、小ホール／32人		
2 小杉文化ホール・新湊中央文化会館誘導灯更新工事 避難誘導灯のＬＥＤ化工事を行った。 工　　期　令和7年10月22日　～　令和8年5月29日 契 約 額　新湊中央文化会館分　7,953千円（うち、令和7年度支出額：3,180千円）	継続	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。
3 新湊中央文化会館中央監視室空調機更新工事 老朽化した中央監視室の空調機の更新を行った。 工　　期　令和7年6月2日　～　7月8日 契 約 額　352千円 4 新湊中央文化会館非常用蓄電池設備仮設工事 老朽化し発火等の恐れがあった蓄電池について、仮設蓄電池の設置を行った。 工　　期　令和7年7月25日　～　8月5日 契 約 額　1,111千円	完了	施設の安全な利用及び管理運営に必要な整備を行った。
5 小杉文化ホールの指定管理　/　（公財）射水市文化振興財団（令和7年4月1日～令和12年3月31日） ホールや練習室、会議室等の各設備の良好な管理運営により、市民の芸術文化活動の場の提供に努めた。 ・ 令和7年度施設利用者総数　59,468 人（令和6年度 61,114 人） ・ 令和7年度指定管理料　65,371千円 (1) 主なホールイベント 事業名／開催日／開催場所／入場者数 千住真理子＆千住明リサイタル（再掲）／令和7年6月21日／ひびきホール／297人 射水市合唱祭（再掲）／令和7年8月24日／ひびきホール／334人 若い芽♪こども音楽コンクール（再掲）／令和7年10月5日／ひびきホール／200人 こすぎ童謡フェスティバル（再掲）／令和7年10月19日／ひびきホール／300人 ラポール　ニューイヤーコンサート（再掲）／令和8年1月11日／ひびきホール／486人 モチモチの木富山公演（再掲）／令和8年2月28日／ひびきホール／588人	継続	市民が芸術に親しむことのできる環境づくりを図った。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>(2) ホール活性化事業
<table>
<tr><th>事業名</th><th>開催日</th><th>開催場所</th><th>参加者数</th></tr>
<tr><td>ホールでスタインウェイピアノを
弾いてみよう！！（2回）</td><td>令和7年11月3日、
令和8年1月25日</td><td>ひびきホール</td><td>39人</td></tr>
</table></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>6 小杉文化ホール・新湊中央文化会館誘導灯更新工事
避難誘導灯のＬＥＤ化工事を行った。
工　　期　令和7年10月22日　～　令和8年5月29日
契 約 額　小杉文化ホール分　9,152千円　　（うち、令和7年度支出額：3,660千円）</td><td>継続</td><td>引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。</td></tr>
<tr><td>7 小杉文化ホール非常放送設備更新工事
故障した非常放送設備の更新工事を行った。
工　　期　令和7年12月1日　～　令和8年3月13日
契 約 額　4,167千円</td><td>完了</td><td>施設の安全な利用及び管理運営に必要な整備を行った。</td></tr>
<tr><td>（繰越明許費　　10,265 千円）
・事　業　名　小杉文化ホール・新湊中央文化会館誘導灯更新工事
・完 了 時 期　令和8年6月</td><td></td><td></td></tr>
</table>

事業名	大門総合会館管理運営費（繰越明許）	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費 ）	決算書	124 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					2,387	【2,387】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	0			
	財産運用収入	一般財源			0	2,387			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 大門総合会館冷温水発生機2号機冷温水ポンプ更新工事 冷温水発生機の老朽化した部品の更新を行った。 工　　期　令和7年5月16日　～　8月25日 契 約 額　2,387千円	継続	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。

事業名	大門総合会館管理運営費	（ 10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費 ）	決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			32,211	【34,598】	43,841	【61,975】		【48,438】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	538	0	923	0			照明器具更新工事の実施による。
	使用料・手数料	繰入金	3,041	0	2,832	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	9,800			
	財産運用収入	一般財源	0	28,632	0	30,286			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 大門総合会館及び正力・小林記念館の指定管理　/　（公財）射水市文化振興財団（令和4年4月1日～令和9年3月31日） ホールや会議室、展示室等の各設備の良好な管理運営に努めるとともに、練習会や研修会等、市民活動の場の提供に努めた。 ・ 令和7年度施設利用者総数　47,045 人　（令和6年度　40,870 人） 大門総合会館　46,482 人　（令和6年度　40,390 人） 正力・小林記念館　563 人　（令和6年度　480 人） 〈主なホールイベント〉	継続	市民の文化活動や交流の場を提供した。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。

事業名	開催日	開催場所	入館者数
大門寄席	令和7年9月28日	大ホール	131人
立川談州落語会	令和7年11月22日	大ホール	186人

2 大門総合会館照明器具更新工事 大ホール等を除く館内の一般照明器具のＬＥＤ化更新工事を行った。 工　　期　令和7年9月5日　～　令和8年4月10日 契 約 額　29,374千円　（うち、令和7年度支出額：11,410千円）	継続	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。
（繰越明許費　17,964 千円） ・事　業　名　大門総合会館照明器具更新工事 ・完 了 時 期　令和8年4月		

事業名	大島絵本館管理運営費	(10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費)	決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			80,784	【80,784】	92,857	【97,522】		【91,492】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和7年度からの指定管理期間更新に伴い、人件費や光熱費の高騰を反映した指定管理料に見直したことによる。
	使用料・手数料	繰入金	19	0	1	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	500			
	財産運用収入	一般財源	0	80,765	0	92,356			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 大島絵本館の指定管理　/　（公財）射水市絵本文化振興財団（令和7年4月1日～令和12年3月31日） 絵本文化の振興を図るため、施設の良好な管理運営に努めるとともに、各種ワークショップの開催や手づくり絵本コンクール、絵本原画展を開催するなど、市民が絵本に親しむことができる環境づくり及び市内外への絵本文化の発信に努めた。 ・ 令和7年度施設利用者総数 28,273 人 （令和6年度 29,707 人） (1) 主なイベント事業	継続	子どもたちの感性に刺激を与える鑑賞や体験、絵本を通じた創作発表の機会の提供を提供した。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営により、本市特有の絵本文化の振興に努めていく。
2 大島絵本館誘導灯取替工事 避難誘導灯のＬＥＤ化工事を行った。 工　　期　令和7年11月13日　～　令和8年3月11日 契 約 額　520千円	完了	施設の安全な利用及び管理運営に必要な整備を行った。
（繰越明許費　4,620 千円） ・事　業　名　館内放送設備更新工事 ・完 了 時 期　令和9年3月		

事業名	開催期間
絵本原画企画展示（6回）、カフェギャラリー展示（12回）等	通年
おおしま国際手づくり絵本コンクール2025（236点）	令和7年4月～8月
おおしま国際手づくり絵本コンクール2025　ジュニアの部（779点）	令和7年8月～12月
絵本館まつり（開館31周年記念感謝デー）	令和7年8月24日
こころコンサートⅦ	令和7年9月15日
いのちの絵本	令和7年11月3日
ジャンボかるた大会	令和8年1月11日
公募絵本ライブⅧ	令和8年2月22日
人形劇団クラルテ「しずかなおはなし」「ソーニャと森の魔女」	令和8年3月21日

(2) 創作活動事業
・ 創作教室（参加人数の上限を40人として開催）　年 6回　（令和 6年度　年 6回）
令和7年度登録家族　105組　（令和 6年度　年 120組）
・ ワークショップ、ＣＧワークショップ等

(3) 広報・情報発信事業
・ マグちゃん通信発刊（年6回　90,000部）

(4) 出前講座事業
市内外の小学校や高校、図書館等で、絵本の読み聞かせや絵本づくり等の出前講座を実施し、広く絵本に触れる機会を創出した。
・ 令和7年度実施回数 33回　1,370 人参加　（令和 6年度　37回　1,360 人参加）

事業名	スポーツ推進事務管理費	（ 10款 教育費	6項 保健体育費	1目 体育総務費 ）	決算書	124 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			47,074	【48,706】	40,883	【42,085】		【40,810】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			スポーツ協会事務局補助金のうち、人事異動に伴う人件費の減による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	114	0			
	県支出金	市債	53	0	47	0			
	財産運用収入	一般財源	0	47,021	0	40,722			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 射水市スポーツ協会事務局補助金 射水市スポーツ協会事務局の人件費及び事務費として補助金を交付することで、市民のスポーツ活動の普及振興が図られた。 ・ 交付額　20,905千円	継続	射水市スポーツ協会に対する補助を通じて、スポーツイベントの開催や加盟団体の育成等を支援し、本市のスポーツ振興につなげた。
2 幼児の体力向上支援事業 幼児に多様な運動遊びを経験させることで、運動する楽しさや喜びを実感させるとともに、様々な体の動かし方の習得や体力向上を図り、たくましい子どもの成長につなげた。 ・ 延べ実施日数 40日　14施設（令和6年度　延べ実施日数45日　15施設）	継続	走る・跳ぶや器械運動など多様な運動遊びを経験する機会を提供できた。 今後も継続して支援を行っていく。

事業名	スポーツ団体活動費	（ 10款 教育費	6項 保健体育費	1目 体育総務費 ）	決算書	124 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			7,166	【7,245】	6,939	【7,100】		【6,925】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	7,166	0	6,939			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 スポーツ団体の育成、活動補助 スポーツ少年団、各競技団体及び地区体育協会等に補助し、市民のスポーツ活動を積極的に支援することで、スポーツの普及振興を図った。 ・ スポーツ協会加盟団体　58団体　（競技団体29、地区団体26、その他3） ・ スポーツ少年団　　登録38単位団　667人	継続	スポーツを通じた市民の健康増進につなげた。 今後も継続して補助を行っていく。

事業名	スポーツ行事推進費	（ 10款 教育費	6項 保健体育費	1目 体育総務費 ）	決算書	124 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			18,779	【19,636】	17,865	【18,811】		【17,950】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	155	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	18,779	0	17,710			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 スポーツ大会等の開催 市民スポーツ大会等を開催し、市民の健康・体力増進と競技力向上を図った。 富山マラソン2025では、新湊大橋の上から望む美しい富山湾と雄大な立山連峰の眺望などベイエリアの魅力をＰＲすることができた。 地域おこし協力隊（スポーツ推進コーディネーター）がハンドボールのルール等を解説しながら、アランマーレを応援するパブリックビューイングを開催し、市民の中にアランマーレを応援しようという機運が高まった。 (1)市民スポーツ大会　参加者4,906人 27競技中、27競技が実施　（令和7年4月27日～令和8年2月15日：市内一円） (2)富山マラソン2025 ・ フルマラソンの部　参加者13,648人 ・ ジョギングの部　参加者1,194人 (3)アランマーレパブリックビューイング（実施回数2回） ・ 令和7年6月14日　会場：大門総合会館　参加者：約130人 ・ 令和8年2月21日　会場：アイザック小杉文化ホールラポール　参加者：約150人 (4)夏期巡回ラジオ体操 ・ 令和7年8月20日　会場：オリバースポーツフィールド射水　参加者：約1,200人 (5)金メダリスト講演会 ・ 令和7年10月25日　会場：アルビス小杉総合体育センター　参加者：約300人	継続	スポーツ大会、スポーツイベントの開催・補助により市民の健康・体力増進を図るとともに、スポーツの魅力を発信することができた。 今後も継続して実施していく。

事業名	スポーツ強化育成費	（ 10款 教育費	6項 保健体育費	1目 体育総務費 ）	決算書	124 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,955	【4,249】	3,082	【3,651】		【3,951】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	3,955	0	3,082			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 全国大会等の出場激励金等交付事業 全国大会等に出場する選手又は監督に激励金を交付することにより、市の代表選手としての意識の高揚や競技力の向上に成果を上げた。また、その大会で優秀な成績を収めた選手に対して褒賞金を贈呈した。 ・ 出場激励金 団体　2団体、個人　295人 ・ 成績優秀者褒賞金 個人　6人	継続	激励金を交付することにより、出場選手が郷土の代表として誇りを持って活躍できるよう支援することができた。 今後も継続して交付を行っていく。
2 スポーツ選手強化育成事業 (1) 選手強化事業 競技協会が行う強化練習会や強化合宿の実施に対し補助することにより、選手の技術力向上を図った。 ・ ヨット協会、サッカー協会、バスケットボール協会、ハンドボール協会、ソフトテニス協会、卓球協会、剣道連盟、空手協会、クレー射撃部（計9団体） (2) 未来を担う中学生の競技力推進事業 競技協会が中学生のスポーツ活動をサポートする事業の実施に対し補助することにより、未来を担う中学生の競技力向上及び推進を図った。 ・ サッカー協会（1団体）	継続	競技団体が行う強化練習会等への補助や、中学生の競技力推進事業を通じて、次世代を担う選手の育成と競技力の向上につなげた。今後も各競技団体と一体となった効果的な強化育成事業を継続し、本市のスポーツ振興を推進していく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
スポーツ指導者数	199人	282人	220人

事業名	スポーツ施設維持管理費	（ 10款 教育費	6項 保健体育費	2目 体育施設費 ）	決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			123,016	【151,537】	157,531	【172,088】		【149,412】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	7,200	0	0			体育施設指定管理者の更新に伴う指定管理料の増による。
	使用料・手数料	繰入金	7,133	0	7,791	0			
	国庫支出金	諸収入	0	5,310	0	5,357			
	県支出金	市債	0	2,200	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	101,173	0	144,383			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 指定管理（令和7年4月1日～令和12年3月31日） ・ 新湊総合体育館及び新湊テニスコートの指定管理 ／ 特定非営利活動法人新湊カモンスポーツクラブ ・ 小杉総合体育センターの指定管理 ／ 特定非営利活動法人こすぎ総合スポーツクラブきらり ・ 小杉体育館の指定管理 ／ 特定非営利活動法人こすぎ総合スポーツクラブきらり ・ 大門総合体育館の指定管理 ／ 特定非営利活動法人だいもんスポーツクラブ ・ 大島体育館及び大島弓道場の指定管理 ／ 特定非営利活動法人おおしまスポーツクラブ ・ 下村体育館、下村グラウンド及び下村テニスコートの指定管理 ／ 特定非営利活動法人しもむらスポーツクラブまいけ ・ サン・ビレッジ新湊の指定管理 ／ 公益財団法人射水市スポーツ協会 ・ 下村馬事公園の指定管理 ／ 特定非営利活動法人しもむらスポーツクラブまいけ 2 スポーツ施設の維持管理 市民が安全安心に利用できるよう市内スポーツ施設の維持管理及び修繕を行い、市民のスポーツ活動の推進並びに健康の保持増進を図った。 ・ 小杉総合体育センター冷温水発生機2号機溶液スプレーポンプ取替修繕 ・ 大島弓道場雨漏修繕	継続	人件費や物価高騰に伴い指定管理料を増額し、適切な施設管理を図った。 引き続き安全安心に利用できるよう、修繕等適正な維持管理に努めていく。
（繰越明許費 13,538 千円） ・事 業 名 主要体育館等施設及び設備等修繕事業 ・完 了 時 期 令和9年3月		

事業名	パークゴルフ場維持管理費	（ 10款 教育費	6項 保健体育費	2目 体育施設費 ）	決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			18,354	【18,477】	19,863	【21,589】		【19,990】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			体育施設指定管理者の更新に伴う指定管理料の増による。
	使用料・手数料	繰入金	198	0	110	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	18,156	0	19,753			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 指定管理（令和7年4月1日～令和12年3月31日） ・ パークゴルフ南郷の指定管理 ／ 特定非営利活動法人だいもんスポーツクラブ ・ 下村パークゴルフ場の指定管理 ／ 特定非営利活動法人しもむらスポーツクラブまいけ 2 パークゴルフ場の管理運営 パークゴルフを通して市民の健康体力づくりの促進及びレクリエーションの普及を図った。 ・ 入場者数 パークゴルフ南郷 25,990人 （令和6年度 24,671人） 下村パークゴルフ場 28,659人 （令和6年度 29,461人）	継続 人件費や物価高騰に伴い指定管理料を増額し、適切な施設管理を図った。 市民の健康体力づくり及びレクリエーションの普及に大きく貢献しており、引き続き、安全安心に利用できるよう、適正な維持管理及び修繕に努めていく。
（繰越明許費 1,604 千円） ・ 事 業 名 中山公園パークゴルフ場トイレ洋式化改修工事 ・ 完 了 時 期 令和8年7月	

事業名	海竜スポーツランド維持管理費	（ 10款 教育費	6項 保健体育費	2目 体育施設費 ）	決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			45,070	【60,304】	65,685	【66,855】		【64,914】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			体育施設指定管理者の更新に伴う指定管理料の増による。
	使用料・手数料	繰入金	167	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	44,903	0	65,685			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 海竜スポーツランドの指定管理 ／ 公益財団法人射水市スポーツ協会 （令和7年4月1日～令和12年3月31日） 2 海竜スポーツランド維持管理事業 指定管理による海竜スポーツランドの適正な運営に努めた。 ・ 利用者数 69,811人（令和6年度 69,135人）	継続	人件費や物価高騰、特にプールの熱源設備に必要な電気代の高騰に伴い指定管理料を増額し、適切な施設管理を図った。 市民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康の保持増進を図るため、引き続き、適正な運営に努めていく。
（繰越明許費 869 千円） ・事 業 名 アプローチ土間コンクリート打設修繕 ・完 了 時 期 令和8年6月		

事業名	フットボールセンター管理運営費	（ 10款 教育費	6項 保健体育費	2目 体育施設費 ）	決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			29,052	【29,979】	37,172	【41,794】		【16,601】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			施設の利用再開に伴い、令和6年度は減免となっていた県有地借受料など、施設運営に係る費用が発生したため。
	使用料・手数料	繰入金	9,157	0	26,341	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	6,738			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	19,895	0	4,093			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 フットボールセンター管理運営事業

令和6年能登半島地震からの復旧が完了し、人工芝フィールド2面の供用が再開された。
近隣高校生の日常練習や大会の開催、県外の強豪校が参加する強化合宿の開催により、競技力の向上、宿泊施設等への経済波及効果があった。また、幼児から小学生を対象とした多様なスポーツを体験できるイベント「オリスポフェス」を開催するなど、賑わい創出に努めた。

・ 利用者数　　78,120人（令和6年度　　13,989人）
・ 観戦者数　　約34,200人（令和6年度　約4,500人）

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
スポーツ合宿の誘致数	7件	4件	30件

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

令和6年能登半島地震からの復旧が完了し、人工芝フィールド2面の供用が再開された。引き続き、利用者増加や合宿等誘致に取り組んでいく。

（繰越明許費　　1,221 千円）
・ 事　業　名　　フットボールセンターＡＩカメラ常設設置修繕
・ 完 了 時 期　　令和8年6月

11 款 災 害 復 旧 費

事業名	土木災害復旧費（事故繰越）	（ 11款 災害復旧費 1項 土木施設災害復旧費 1目 土木災害復旧費 ）	決算書	126 ページ	担当部課	都市整備部道路課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					36,997	【36,997】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	36,900			
	財産運用収入	一般財源			0	97			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
令和6年能登半島地震災害復旧 1 市道災害復旧【国75.1%】 【地震】 ・ 市道朴木鏡宮線（元気橋）橋梁災害架替工事に係る資材単価特別調査業務委託 ・ 市道復旧箇所数 4件	継続	令和6年能登半島地震により被災した市道の災害復旧工事を着実に実施し、安全な道路交通網の復旧に寄与した。引き続き、被災箇所の工事を計画的かつ迅速に進める。

事業名	土木災害復旧費（繰越明許）	（ 11款 災害復旧費 1項 土木施設災害復旧費 1目 土木災害復旧費 ）	決算書	126 ページ	担当部課	都市整備部道路課・建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					190,028	【313,556】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			117,922	0			
	県支出金	市債			2,208	35,100			
	財産運用収入	一般財源			0	34,798			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
令和6年能登半島地震災害復旧 1 市道災害復旧【国75.1%】 【地震】 ・ 市道堀岡151号線外5路線道路災害復旧測量設計業務委託 ・ 市道復旧箇所数 4件	継続	令和6年能登半島地震により被災した市道の災害復旧工事を着実に実施し、安全な道路交通網の復旧に寄与した。引き続き、被災箇所の工事を計画的かつ迅速に進める。
2 住宅の応急修理【県10/10】 【地震】 ・ 部分修理 準半壊 343千円以下 3件 準半壊以上 706千円以下 2件	完了	住宅の応急修理（部分修理）対応を行った。（工事完了期限は令和7年10月31日）
（事故繰越し 80,230 千円） ・ 事 業 名 市道新湊294号線外2路線道路災害復旧工事 ・ 完 了 時 期 令和8年10月 ・ 事 業 名 市道新湊294号線外2路線道路災害復旧工事に伴う支障移転 ・ 完 了 時 期 令和8年9月		

事業名	土木災害復旧費	（ 11款 災害復旧費　1項 土木施設災害復旧費　1目 土木災害復旧費 ）	決算書	126 ページ	担当部課	都市整備部道路課・建築住宅課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			203,357	【518,090】	138,241	【426,362】		【325,150】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			令和6年能登半島地震により被災した市道の災害復旧工事を実施しており、復旧が進んでいるため工事件数は減っているが、用地測量等の業務委託を行った。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	134,737	0	0	0			
	県支出金	市債	10,114	56,400	0	104,600			
	財産運用収入	一般財源	0	2,106	0	33,641			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
令和6年能登半島地震災害復旧 1 市道災害復旧【国75.1%】　【地震】 ・ 市道金山300号線道路災害復旧用地測量業務委託　外4件 ・ 市道復旧箇所数　2件	継続	令和6年能登半島地震により被災した市道の災害復旧工事を着実に実施し、安全な道路交通網の復旧に寄与した。引き続き、被災箇所の工事を計画的かつ迅速に進める。
（繰越明許費　211,141 千円） ・ 事　業　名　市道朴木鏡宮線（元気橋）橋梁災害復旧工事　外 ・ 完 了 時 期　令和9年3月		

事業名	農業用施設災害復旧費（繰越明許）	（ 11款 災害復旧費	3項 農林水産業施設災害復旧費	1目 農林水産業災害復旧費 ）	決算書	127 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					45,065	【63,510】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			1,049	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			26,566	0			
	県支出金	市債			0	13,000			
	財産運用収入	一般財源			0	4,450			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業用施設災害復旧測量設計業務【国1/2】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、概略設計にかかる設計業務を実施。 委 託 期 間　令和7年2月28日～令和8年3月23日 委　託　料　20,988千円	継続	北陸農政局と設計条件の確認を行い、詳細設計に向けた準備を行った。
2 農業用施設災害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、工事を実施。 工 事 期 間　令和7年9月18日～令和8年3月31日 工事請負費　20,974千円（15件）	継続	速やかに農業用施設の災害復旧工事を実施し、安心して営農活動を継続できる環境整備に寄与した。引き続き、復旧工事を行う。

事業名	農業用施設災害復旧費	（ 11款 災害復旧費	3項 農林水産業施設災害復旧費	1目 農林水産業災害復旧費 ）	決算書	126 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			53,890	【117,400】	11,625	【15,334】		【211,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	1,990	0	484	0			令和6年度は震災対応、令和7年度は大雨対応に係る執行による。
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	1,201			
	国庫支出金	諸収入	418	0	1,552	0			
	県支出金	市債	0	24,000	0	6,000			
	財産運用収入	一般財源	0	27,482	0	2,388			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業用施設災害復旧工事【大雨】 令和7年8月7日及び9月20日大雨災害に伴う災害復旧として、工事を実施。 工 事 期 間　令和7年9月18日～令和8年3月31日 工事請負費　11,625千円（15件）	継続	速やかに農業用施設の災害復旧工事を実施し、安心して営農活動を継続できる環境整備に寄与した。引き続き、復旧工事を行う。

事業名	農地災害復旧費（繰越明許）	（ 11款 災害復旧費 3項 農林水産業施設災害復旧費 1目 農林水産業災害復旧費 ）	決算書	127 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					703	【703】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			35	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	200			
	財産運用収入	一般財源			0	468			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農地災害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、工事を実施した。 工 事 期 間　令和7年9月5日～令和8年3月19日 工事請負費　703千円（2件）	完了	速やかに農地の災害復旧工事を実施し、安心して営農活動を継続できるように努めた。

事業名	農地災害復旧費	（ 11款 災害復旧費 3項 農林水産業施設災害復旧費 1目 農林水産業災害復旧費 ）	決算書	126 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			32,542	【68,453】	8,734	【9,235】		【25,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	125	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	625	0			
	県支出金	市債	0	14,600	0	1,100			
	財産運用収入	一般財源	0	17,942	0	6,884			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農地災害復旧工事【大雨】 令和7年8月7日及び9月20日大雨災害に伴う災害復旧として、工事を実施。 工 事 期 間　令和7年10月24日～令和8年3月19日 工事請負費　3,157千円（6件）	継続	速やかに農地の災害復旧工事を実施し、安心して営農活動を継続できる環境整備に寄与した。引き続き、復旧工事を行う。
2 農地災害復旧測量設計業務【国1/2】【大雨】 令和7年8月7日及び9月20日大雨災害に伴う災害復旧として、災害査定にかかる測量設計業務を実施。 委 託 期 間　令和7年9月10日～令和8年1月30日 委　託　料　5,577千円（3件）	完了	速やかに農地の災害復旧査定を受験し、補助金交付申請を行った。

事業名	林道災害復旧費	（ 11款 災害復旧費	3項 農林水産業施設災害復旧費	1目 農林水産業災害復旧費 ）	決算書	126 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					1,964	【1,980】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	1,200			
	財産運用収入	一般財源			0	764			
	財産売払収入				0				

1	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 林道災害復旧工事【大雨】 令和7年9月20日の大雨に伴う災害復旧として、工事を実施した。 工事期間　令和8年1月20日～3月19日 工事請負費　1,964千円（3件）	完了	速やかに林道の災害復旧工事を実施し、安心して林業活動を継続できる環境整備に寄与した。

事業名	水産業施設災害復旧費（繰越明許）	（ 11款 災害復旧費	3項 農林水産業施設災害復旧費	1目 農林水産業災害復旧費 ）	決算書	127 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					35,247	【36,000】			
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			0	0			
	県支出金	市債			0	35,200			
	財産運用収入	一般財源			0	47			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 堀岡船溜まり上架施設災害復旧工事　【地震】 令和6年能登半島地震で被災した堀岡船溜まり上架施設の復旧工事を実施した。 工　　期　令和7年7月1日　～　令和8年3月31日 契 約 額　35,247千円	完了	令和6年能登半島地震で被災した水産業施設の復旧工事を実施し、安心して漁業を継続できる環境の整備に寄与した。

事業名	体育施設災害復旧費（繰越明許）	（ 11款 災害復旧費	4項 文教施設災害復旧費	1目 文教施設災害復旧費 ）	決算書	127 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
					326,572	【356,920】		【0】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金			0	0			
	使用料・手数料	繰入金			0	0			
	国庫支出金	諸収入			211,360	0			
	県支出金	市債			0	106,700			
	財産運用収入	一般財源			0	8,512			
	財産売払収入				0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 フットボールセンター災害復旧工事【国2/3】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧工事を実施した。 ・施工期間　令和6年8月30日～令和7年5月30日 ・工事請負費　530,200千円　（国庫支出金352,746千円、市債167,300千円）	完了	災害復旧工事を速やかに完了し、早期の供用再開につなげた。

12 款 公 債 費

事業名	公債費元金償還費	（ 12款 公債費	1項 公債費	1目 元金 ）	決算書	127 ページ	担当部課	財務管理部財政課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,763,376	【5,763,377】	5,238,924	【5,241,763】		【4,818,091】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	15,805	0	15,912	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	5,747,571	0	5,223,012			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 繰上償還の実施 公的資金の繰上償還を実施し、財政の一層の健全化を図った。 ・ 公的資金繰上償還 526,363千円 ・ 市債繰上償還による利子負担軽減額 16,868千円	

事業名	公債費利子償還費	（ 12款 公債費	1項 公債費	2目 利子 ）	決算書	127 ページ	担当部課	財務管理部財政課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			217,427	【217,561】	246,575	【246,575】		【338,356】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	217,427	0	246,575			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 利子 ・ 長期借入金利子 236,859千円 ・ 基金繰替運用利子 9,716千円	

事業名	公債諸費	（ 12款 公債費	1項 公債費	3目 公債諸費 ）	決算書	127 ページ	担当部課	財務管理部財政課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			5,826	【14,294】	3,475	【17,918】		【11】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	5,826	0	3,475			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 補償金 ・ 公的資金繰上償還に伴う補償金　　3,475千円	

13 款 予 備 費

事業名	予備費	（ 13款 予備費	1項 予備費	1目 予備費 ）	決算書	127 ページ	担当部課	財務管理部財政課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			0	【15,732】	0	【85,780】		【100,000】	
財源内訳	分担金・負担金	寄附金	0	0	0	0			
	使用料・手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫支出金	諸収入	0	0	0	0			
	県支出金	市債	0	0	0	0			
	財産運用収入	一般財源	0	0	0	0			
	財産売払収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 充当先 (1) 令和6年能登半島地震災害対応 ・ 災害弔慰金　　2,500千円 (2) その他 ・ 農地災害復旧費　（荒町地内農地災害復旧測量設計委託）　1,947千円 ・ 農地災害復旧費　（青井谷地内及び串田地内農地災害復旧測量設計業務委託）　3,630千円 ・ 農地災害復旧費　（沖塚原地内及び朴木地内農地災害復旧工事）　1,238千円 ・ 農業用施設災害復旧費　（荒町地内農業用施設応急工事）　1,694千円　等	

※参考:人件費の状況

令和7年度職員人件費決算額の前年度比較(2･3･4節)

(単位:人、千円)

		職員数	給　料	職員手当等	児童手当除く手当	児童	共済費	人件費合計	給与費(児童手当除)
一般会計	R7年度	666	2,660,364	1,602,979	1,526,749	76,230	1,262,191	5,525,534	4,187,113
	R6年度	664	2,535,232	1,484,985	1,441,540	43,445	1,161,833	5,182,050	3,976,772
	差 額	2	125,132	117,994	85,209	32,785	100,358	**343,484**	**210,341**
うち特別職	R7年度	3	28,200	11,672	11,672	0	16,728	56,600	39,872
	R6年度	3	28,200	11,527	11,527	0	16,353	56,080	39,727
	差 額	0	0	145	145	0	375	**520**	**145**
うち一般職	R7年度	663	2,632,164	1,591,307	1,515,077	76,230	1,245,463	5,468,934	4,147,241
	R6年度	661	2,507,032	1,473,458	1,430,013	43,445	1,145,480	5,125,970	3,937,045
	差 額	2	125,132	117,849	85,064	32,785	99,983	**342,964**	**210,196**

※　決算額の百円単位を四捨五入して千円単位に変更。ただし、合計額を一致させるために一部の項目において調整を実施。

(2) 国民健康保険事業特別会計決算の状況

① 歳入の状況

（単位：千円、％）

区　　分	予算額 A	決算額 B	差引額 （B－A）	収入率 （B／A）	前年度決算額 C	前年度比 （B－C）
1 国民健康保険税	1,357,417	1,390,214	32,797	102.4	1,403,791	▲ 13,577
2 使用料及び手数料	400	608	208	152.0	585	23
3 国庫支出金	9,249	9,293	44	100.5	6,438	2,855
4 県支出金	5,328,514	5,214,879	▲ 113,635	97.9	5,303,706	▲ 88,827
5 財産収入	2,788	2,788	0	100.0	451	2,337
6 繰入金	488,080	472,688	▲ 15,392	96.8	486,973	▲ 14,285
7 繰越金	131,397	131,396	▲ 1	100.0	110,246	21,150
8 諸収入	14,176	14,828	652	104.6	14,159	669
合　　計	**7,332,021**	**7,236,693**	**▲ 95,328**	**98.7**	**7,326,350**	**▲ 89,657**

② 歳出の状況

（単位：千円、％）

区　　分	予算額 A	決算額 B	差引額 （A－B）	執行率 （B／A）	前年度決算額 C	前年度比 （B－C）
1 総務費	122,756	109,466	13,290	89.2	102,355	7,111
2 保険給付費	5,188,662	5,056,163	132,499	97.4	5,127,468	▲ 71,305
3 国民健康保険事業費納付金	1,756,057	1,756,055	2	100.0	1,717,118	38,937
4 財政安定化基金拠出金	1	0	1	0.0	0	0
5 保健事業費	85,614	80,410	5,204	93.9	82,074	▲ 1,664
6 基金積立金	101,706	101,705	1	100.0	120,165	▲ 18,460
7 公債費	50	0	50	0.0	0	0
8 諸支出金	47,385	45,621	1,764	96.3	45,776	▲ 155
9 予備費	29,790	0	29,790	0.0	0	0
合　　計	**7,332,021**	**7,149,421**	**182,600**	**97.5**	**7,194,954**	**▲ 45,533**

※　歳入総額7,236,693千円－歳出総額7,149,421千円－翌年度へ繰越すべき財源0千円＝実質収支87,272千円

歳　入

（単位：千円、％）

区分・内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B／A)
1款　国民健康保険税	1,357,417	1,390,214	32,797	102.4
1項　国民健康保険税	1,357,417	1,390,214	32,797	102.4
1目　一般被保険者国民健康保険税	1,357,249	1,389,760	32,511	102.4
医療給付費分現年課税分	891,493	901,654	10,161	101.1
後期高齢者支援金分現年課税分	326,277	329,401	3,124	101.0
介護納付金分現年課税分	94,673	96,581	1,908	102.0
医療給付費分滞納繰越分	32,333	43,051	10,718	133.1
後期高齢者支援金分滞納繰越分	8,169	12,867	4,698	157.5
介護納付金分滞納繰越分	4,304	6,206	1,902	144.2
2目　退職被保険者等国民健康保険税	168	454	286	270.3
医療給付費分滞納繰越分	155	452	297	291.9
後期高齢者支援金分滞納繰越分	7	1	▲ 6	16.9
介護納付金分滞納繰越分	6	1	▲ 6	8.3
2款　使用料及び手数料	400	608	208	152.0
1項　手数料	400	608	208	152.0
1目　督促手数料	400	608	208	152.0
3款　国庫支出金	9,249	9,293	44	100.5
1項　国庫補助金	9,249	9,293	44	100.5
1目　子ども・子育て支援事業費補助金	9,130	9,174	44	100.5
2目　社会保障・税番号制度システム整備費補助金	119	119	0	100.0
4款　県支出金	5,328,514	5,214,879	▲ 113,635	97.9
1項　県負担金	5,328,513	5,214,879	▲ 113,634	97.9
1目　保険給付費等交付金	5,328,513	5,214,879	▲ 113,634	97.9
保険給付費等交付金（普通交付金）	5,176,662	5,065,382	▲ 111,280	97.9
保険給付費等交付金（特別交付金）	151,851	149,497	▲ 2,354	98.4
2項　財政安定化基金交付金	1	0	▲ 1	0.0
1目　財政安定化基金交付金	1	0	▲ 1	0.0
5款　財産収入	2,788	2,788	0	100.0
1項　財産運用収入	2,788	2,788	0	100.0
1目　利子及び配当金	2,788	2,788	0	100.0
6款　繰入金	488,080	472,688	▲ 15,392	96.8
1項　他会計繰入金	488,080	472,688	▲ 15,392	96.8
1目　一般会計繰入金	488,080	472,688	▲ 15,392	96.8
保険基盤安定繰入金（保険税軽減分）	208,062	208,063	1	100.0
保険基盤安定繰入金（保険者支援分）	127,714	127,715	1	100.0
未就学児均等割保険税繰入金	2,354	2,354	0	100.0
職員給与費等繰入金	98,753	89,551	▲ 9,202	90.7
産前産後保険税繰入金	401	401	0	100.1
出産育児一時金等繰入金	12,000	5,818	▲ 6,182	48.5
財政安定化支援事業繰入金	27,717	27,717	0	100.0
その他一般会計繰入金	11,079	11,069	▲ 10	99.9
2項　基金繰入金	0	0	0	0.0
1目　国民健康保険財政調整基金繰入金	0	0	0	0.0
7款　繰越金	131,397	131,396	▲ 1	100.0
1項　繰越金	131,397	131,396	▲ 1	100.0
1目　その他繰越金	131,397	131,396	▲ 1	100.0
8款　諸収入	14,176	14,828	652	104.6
1項　延滞金、加算金及び過料	8,000	10,057	2,057	125.7
1目　延滞金	8,000	10,057	2,057	125.7
一般被保険者延滞金	7,995	10,053	2,058	125.7
退職被保険者等延滞金	5	3	▲ 2	63.0
2項　預金利子	1	0	▲ 1	0.0
1目　預金利子	1	0	▲ 1	0.0
3項　貸付金元利収入	450	0	▲ 450	0.0
1目　貸付金元利収入	450	0	▲ 450	0.0
4項　雑入	5,725	4,772	▲ 953	83.4
1目　滞納処分費	1	0	▲ 1	0.0
2目　一般被保険者第三者納付金	5,458	2,548	▲ 2,910	46.7
3目　一般被保険者返納金	1	1,543	1,542	154,296.4
4目　雑入	265	680	415	256.8
合計	7,332,021	7,236,693	▲ 95,328	98.7

事業名	趣旨普及費	（ 1款 総務費 4項 趣旨普及費 1目 趣旨普及費 ）	決算書	142 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			774	【778】	1,006	【1,007】		【746】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	774	0	1,006	0			
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 趣旨普及事業 国民健康保険制度や事業内容等について周知を図るため、被保険者に対して、資格確認書等の更新時や加入時に分かりやすいパンフレットを配付し、制度に対する理解を図った。	継続	被保険者に対し、資格確認書等更新時や加入時にパンフレットを配付した。 今後も引き続き、国保制度の周知を図っていく。

事業名	医療費適正化特別対策事業費	（ 1款 総務費 5項 医療費適正化特別対策事業費 1目 医療費適正化特別対策事業費 ）	決算書	142 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			6,335	【7,431】	6,892	【8,471】		【7,804】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	6,335	0	6,892	0			
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 レセプト点検等委託事業 診療報酬等の適正な給付を確保するために、レセプトの資格・内容を点検し、疑義があるものについては、再審査の申出を行った。 ・ 点検、再審査件数 2,460件 （令和6年度 2,736件）	継続	疑義該当レセプトを効率的に抽出するなど、より効果的に、引き続き実施していく。
2 医療費通知事業 日頃の健康保持や医療の適正受診に対する認識を深めるため、被保険者に対して、2か月ごとに医療費通知を送付した。 ・ 発送件数 44,219件 （令和6年度 46,494件）	継続	被保険者数の減少により、件数も減少している。 令和8年度からは通知を年1回とし、通知を通じて医療の適正受診に関する意識啓発を図っていく。
3 後発医薬品差額通知事業 被保険者の自己負担額の軽減や、後発医薬品の利用促進を図るため、後発医薬品差額通知を発送した。 ・ 発送件数 55件 （令和6年度 140件） また、資格確認書及び資格情報のお知らせの更新時に後発医薬品希望表示用シールを同封した。	継続	年2回、後発医薬品差額通知を送付した。 引き続き、被保険者の自己負担の軽減や後発医薬品の利用促進を図っていく。

事業名	一般被保険者療養給付費	（ 2款 保険給付費	1項 療養諸費	1目 一般被保険者療養給付費 ）	決算書	142 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			4,363,001	【4,731,778】	4,277,280	【4,364,349】		【4,266,054】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	1,905	0	0	0			
	県負担金	諸収入	4,361,096	0	4,277,280	0			療養給付費の減による。
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 一般被保険者療養給付費

一般被保険者に係る現物給付（診療、投薬、注射、手術、処置、病院への入院など）

年度	療養給付費	1人当たり療養給付費	平均被保険者数
令和6年度	4,363,001千円	318,607円	13,694人
令和7年度	4,277,280千円	326,959円	13,082人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

被保険者数の減少に伴い、療養給付費総額は減少したが、一人当たり療養給付費は伸びている。

事業名	一般被保険者療養費	（ 2款 保険給付費	1項 療養諸費	2目 一般被保険者療養費 ）	決算書	142 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			52,499	【60,544】	55,424	【59,972】		【50,848】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	52,499	0	55,424	0			療養費の増による。
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 一般被保険者療養費

一般被保険者に係る現金給付（療養に要した費用を一旦支払い、事後に保険者が現金で支給するもの）

年度	療養費	1人当たり療養費	平均被保険者数
令和6年度	52,499千円	3,833円	13,694人
令和7年度	55,424千円	4,237円	13,082人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

被保険者数は減少したが、療養費総額は増加し、1人当たり療養費も伸びている。

事業名	審査支払手数料	（ 2款 保険給付費	1項 療養諸費	3目 審査支払手数料 ）	決算書	142 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			12,358	【14,628】	11,564	【13,992】		【13,356】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	12,358	0	11,564	0			
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 レセプト審査支払手数料

1件当たり53円

年度	レセプト審査件数	金額
令和6年度	233,173件	12,358千円
令和7年度	218,192件	11,564千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

被保険者数の減少に伴い、審査件数が減少している。

事業名	一般被保険者高額療養費	（ 2款 保険給付費	2項 高額療養費	1目 一般被保険者高額療養費 ）	決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			684,728	【736,976】	699,861	【727,340】		【704,437】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	684,728	0	699,861	0			高額療養費の増による。
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 一般被保険者高額療養費

一般被保険者に係る高額療養費

年度	高額療養費	1人当たり高額療養費	平均被保険者数
令和6年度	684,728千円	50,002円	13,694人
令和7年度	699,861千円	53,498円	13,082人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

被保険者数は減少したが、高額療養費総額は増加し、1人当たり高額療養費も伸びている。

事業名	出産育児一時金	（ 2款 保険給付費 4項 出産育児諸費 1目 出産育児一時金 ）	決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			11,445	【22,500】	8,728	【18,000】		【18,000】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	7,630	0	5,818			出産申請件数の減少に伴う出産育児一時金の減による。
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	3,815	0	2,910	0			
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 出産育児一時金

被保険者が出産した場合に、その世帯主に対して支給するもの。

年度	件数	金額
令和6年度	23件	11,445千円
令和7年度	17件	8,728千円

・ 出産育児一時金

令和5年3月31日以前　　1件408千円＋加算額12千円（※）

令和5年4月1日以降　　1件488千円＋加算額12千円（※）

（※）産科医療補償制度加入医療機関で出産した場合に加算

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

少子化の影響により出産育児一時金の申請件数も減少傾向にある。

事業名	葬祭費	（ 2款 保険給付費 5項 葬祭諸費 1目 葬祭費 ）	決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,970	【4,200】	2,730	【3,900】		【3,600】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	2,970	0	2,730	0			
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 葬祭費

被保険者が死亡した場合、その葬祭を行うものに対して、葬祭費を支給するもの。

1件 30千円

年度	件数	金額
令和6年度	99件	2,970千円
令和7年度	91件	2,730千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

被保険者の高齢化が進んでいるものの、平均寿命の延伸等もあり、75歳未満での死亡件数はほぼ横ばいである。（75歳から後期高齢者医療へ移行）

事業名	一般被保険者医療給付費分	（ 3款 国民健康保険事業費納付金 1項 医療給付費分 1目 一般被保険者医療給付費分 ）	決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1,100,378	【1,100,379】	1,196,749	【1,196,750】		【1,300,166】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	242,040	0	259,012			医療給付費分の増による。
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	51,842	0	44,083	0			
	県補助金	一般財源	0	806,496	0	893,654			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 一般被保険者医療給付費分

国民健康保険事業に要する費用に充てるため、県に納入する納付金

		1人当たり納付金	被保険者数（推計）	納付金計
令和6年度	射水市	82,493円	13,339人	1,100,378千円
	県	83,257円		
令和7年度	射水市	93,533円	12,795人	1,196,749千円
	県	95,936円		

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

本市の一般被保険者医療給付費分は、1人当たり納付金が前年度比13.4%増、被保険者数が4.1%減となり、納付金総額で8.8%の増となった。

事業名	一般被保険者後期高齢者支援金等分	（ 3款 国民健康保険事業費納付金 2項 後期高齢者支援金等分 1目 一般被保険者後期高齢者支援金等分 ）	決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			465,743	【465,744】	414,860	【414,860】		【431,581】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	110,981	0	76,817			後期高齢者支援金等分の減による。
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	53,993	0	26,356	0			
	県補助金	一般財源	0	300,769	0	311,687			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 一般被保険者後期高齢者支援金等分

県において負担する後期高齢者支援金等納付金に充てるため、県に納入する納付金

		1人当たり納付金	被保険者数（推計）	納付金計
令和6年度	射水市	34,916円	13,339人	465,743千円
	県	35,466円		
令和7年度	射水市	32,424円	12,795人	414,860千円
	県	33,067円		

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

本市の一般被保険者後期高齢者支援金等分は、1人当たり納付金が前年度比7.1%減、被保険者数が4.1%減となり、納付金総額で10.9%の減となった。

事業名	介護納付金分	（ 3款 国民健康保険事業費納付金 3項 介護納付金分 1目 介護納付金分 ）	決算書	144 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			150,996	【150,996】	144,446	【144,447】		【147,626】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	33,861	0	32,147			介護納付金分の減による。
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	17,093	0	4,836	0			
	県補助金	一般財源	0	100,042	0	107,463			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 介護納付金分

県において負担する介護納付金に充てるため、県に納入する納付金

		1人当たり納付金	被保険者数（推計）	納付金計
令和6年度	射水市	37,589円	4,017人	150,996千円
	県	37,260円		
令和7年度	射水市	36,348円	3,974人	144,446千円
	県	35,702円		

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

本市の介護納付金分は、1人当たり納付金が前年度比3.3%減、被保険者数が1.1%減となり、納付金総額で4.3%の減となった。

事業名	保健衛生普及費	（ 5款 保健事業費 1項 保健事業費 1目 保健衛生普及費 ）	決算書	144 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			7,429	【7,702】	7,595	【8,494】		【10,998】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	7,429	0	7,595	0			
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 特定健診未受診者への受診勧奨事業 特定健診未受診者に受診勧奨することで、受診率の向上を図った。 年度 / 勧奨者計（ハガキ） 令和6年度 8,709人 令和7年度 7,996人	継続	対象者を複数のパターンに分け、パターン別にハガキの内容を変えて送付する手法に変更した。 受診率の向上につながるよう、引き続き適切な受診勧奨に努めていく。
2 健診結果説明会及び健康相談会の開催 特定健診の受診率の向上及び継続的な受診を勧めることで、生活習慣病の予防、医療費適正化を図るため、市内2会場で健診結果説明会及び健康相談会を開催した。 年度 / 小杉会場参加者 / 大島会場参加者 / 合計 令和6年度 25人 36人 61人 令和7年度 42人 36人 78人	継続	令和7年度は予約方法の変更を行い参加人数を増やすことができた。 新規参加者を増やすためにも内容を見直し、引き続き広く周知することで参加を呼び掛けていく。
3 若年健診の実施 若いうちから、自分の健康状態を認識し、生活習慣を見直す機会とするため、35歳から39歳までの被保険者を対象とした若年健診を実施した。 年度 / 対象者数 / 受診者数 / 受診率 令和6年度 402人 94人 23.4% 令和7年度 410人 97人 23.7%	継続	集団健診でも受診できる機会を設けたが、受診率は横ばいである。 特定健診受診につなげるための重要な事業であり、38、39歳の被保険者へ重点的に健診期間中の受診勧奨を引き続き実施していく。

<table>
<tr><th>主な事業内容・成果</th><th colspan="2">評価と今後の方向性（担当課意見）</th></tr>
<tr><td>

4 生活習慣病の一次予防の取組
日常生活運動の積み重ねによる運動習慣の定着化を図るため、市内5体育館で「身体すっきり教室」を開催し、生活習慣病の予防に努めた。

<table>
<tr><th>年度</th><th>開催数</th><th>参加者数(延べ)</th></tr>
<tr><td>令和6年度</td><td>10回</td><td>165人</td></tr>
<tr><td>令和7年度</td><td>10回</td><td>218人</td></tr>
</table>

※ポイントラリー達成者（5回以上参加） 22人 （令和6年度 5回以上参加 15人）

</td><td>継続</td><td>運動習慣の定着により生活習慣病の予防を図る重要な事業であるため、引き続き継続参加を勧奨していく。
また、特定保健指導の対象者には積極的な参加を引き続き呼び掛けていく。</td></tr>
<tr><td>

5 血圧・血糖コントロール不良者の保健指導
特定健診受診者のうち、医療機関を受診しているが、血圧や血糖の数値が改善されていない被保険者宅を訪問し、保健指導を実施した。

<table>
<tr><th>年度</th><th>対象者数</th><th>実施者数</th></tr>
<tr><td>令和6年度</td><td>2,391人</td><td>633人</td></tr>
<tr><td>令和7年度</td><td>2,413人</td><td>589人</td></tr>
</table>

</td><td>継続</td><td>県の国保ヘルスアップ支援事業を活用し、県栄養士会から派遣を受けているが、保健師等他の専門職の確保が課題である。
引き続き、専門職の確保に努め、保健指導を実施していく。</td></tr>
<tr><td>

6 多受診者等への受診指導
重複受診、頻回受診、重複服薬者に対し、訪問により受診指導を実施した。
・ 重複受診 1か月間に同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している者
・ 頻回受診 1か月間に8回以上受診している者
・ 重複服薬 1か月間に同系の医薬品が複数の医療機関（薬局）で処方され、その日数合計が60日を超える者

<table>
<tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="4">指導実施者</th><th rowspan="2">指導後の
行動変容率</th></tr>
<tr><th>重複受診</th><th>頻回受診</th><th>重複服薬</th><th>計</th></tr>
<tr><td>令和6年度</td><td>3人</td><td>17人</td><td>5人</td><td>25人</td><td>100.0%</td></tr>
<tr><td>令和7年度</td><td>2人</td><td>10人</td><td>4人</td><td>16人</td><td>93.8%</td></tr>
</table>

</td><td>継続</td><td>多受診者等への受診指導は事業者に委託しており、指導後に高い率で行動変容が見られていることから、効果的な対象者の選定に努めながら、引き続き実施していく。</td></tr>
<tr><td>

7 多剤通知事業
多剤併用による薬物有害事象を防ぐことを目的に、多くの薬剤を服用している者に対し、適切な服薬を促す通知書を送付し、薬剤使用の適正化につなげた。

<table>
<tr><th>年度</th><th>通知件数</th><th>医薬品数改善割合</th></tr>
<tr><td>令和6年度</td><td>429人</td><td>25.9%</td></tr>
<tr><td>令和7年度</td><td>408人</td><td>25.9%</td></tr>
</table>

</td><td>継続</td><td>医師会及び薬剤師会の協力のもと多剤通知事業を実施した。
通知による改善がみられたことから、引き続き実施していく。</td></tr>
</table>

事業名	疾病予防費	（ 5款 保健事業費 1項 保健事業費 2目 疾病予防費 ）	決算書	144 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			13,823	【16,252】	12,735	【14,545】		【17,125】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			国保被保者数減少に伴う、人間ドック受検数の減による。
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	6,440	0	12,735	0			
	県補助金	一般財源	0	7,383	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 人間ドック受検費用の助成 疾病の早期発見、早期治療及び健康管理の促進を目的に、被保険者を対象に人間ドック受検費用の助成を行った。 （助成率 6割） 年度 / 受検者数 / 平均被保険者数 / 受検率 令和6年度 479人 13,694人 3.5% 令和7年度 466人 13,082人 3.6%	継続	人間ドック受検は疾病予防に重要であり、また、特定健診の受診率の向上にもつながる。 受検者を増やすため、節目ドックを新設するとともに、引き続き周知に努めていく。
2 糖尿病性腎症重症化予防事業 (1)糖尿病性腎症重症化予防事業（糖尿病未治療者に対する医療機関受診勧奨） 疾病の早期治療、重症化予防につなげるため、特定健診の結果、受診勧奨判定値以上の者に通知書の送付及び訪問をし、医療機関への受診を促した。 年度 / 実施者数 / 受診者数 / 受診率 令和6年度 8人 3人 37.5% 令和7年度 8人 5人 62.5% (2) 糖尿病治療中断者に対する医療機関受診勧奨 疾病の早期治療、重症化予防につなげるため、糖尿病治療中断者に通知書を送付、訪問するなど、医療機関受診の再開を促した。 年度 / 対象者数 / 受診者数 / 受診率 令和6年度 8人 3人 37.5% 令和7年度 5人 2人 40.0% (3) 糖尿病性腎症患者等に対する保健指導 人工透析への移行を防止するため、治療中の糖尿病性腎症患者や糖尿病性腎症の可能性の高い者に対し、進行予防に向けて、医療と連携した保健指導を実施した。 年度 / 実施者数 令和6年度 5人 令和7年度 5人	継続	糖尿病を早期に治療し、人工透析への移行を一人でも多く防ぐための必要な事業であり、医療機関との連携強化を図りながら、引き続き保健指導を実施していく。

事業名	特定健康診査費事業費	（ 5款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費 1目 特定健康診査費事業費 ）	決算書	145 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			54,169	【61,580】	52,472	【53,584】		【57,274】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	74	0	9,353			国保被保者数減少に伴う、特定健康診査受診数の減による。
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	32,095	0	27,217	0			
	県補助金	一般財源	0	22,000	0	15,902			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 特定健康診査費事業

糖尿病等の生活習慣病予防に取り組むため、40歳から74歳までの被保険者を対象として、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」を実施し、被保険者の健康保持に努めた。

令和6年度は未受診者に対し、集団健診を7回（平日4回、休日3回）実施した。

指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和6年度	令和9年度
特定健康診査受診率	47.0%	49.7%	60.0%

特定健康診査受診率

年度	対象者数	受診者数	受診率
令和5年度	10,337人	5,131人	49.6%
令和6年度	9,618人	4,782人	49.7%

※最新の数値は令和6年度

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

受診率は、やや上昇している。

受診率の向上を目指し、医療機関との連携や受診勧奨の手法を工夫するなど、引き続き未受診者の受診機会を増やす取組を進めていく。

事業名	特定保健指導費事業費	（ 5款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費 2目 特定保健指導費事業費 ）	決算書	145 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			6,653	【11,953】	7,609	【8,541】		【11,220】	
財源内訳	手数料	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	県負担金	諸収入	6,653	0	7,609	0			
	県補助金	一般財源	0	0	0	0			
	財政安定化基金交付金		0		0				
	財産運用収入		0		0				

主な事業内容・成果

1 特定保健指導費事業

特定健康診査の結果を基に、リスクの高い該当者を階層化し、生活習慣病予防のための「特定保健指導」を実施し、被保険者の健康保持に努めた。

指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和6年度	令和9年度
特定保健指導実施率	48.7%	38.2%	60.0%

特定保健指導実施率

年度	対象者数	実施者数	実施率
令和5年度	608人	215人	35.4%
令和6年度	544人	208人	38.2%

※最新の数値は令和6年度

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

実施率は前年度よりやや上昇したが、対象者の拒否等に苦慮している。

実施率の向上を図るため、専門職の確保に努めるとともに、委託医療機関における健診の流れから指導に結び付ける方策についても検討していく。

(3) 後期高齢者医療事業特別会計決算の状況

① 歳入の状況

（単位：千円、％）

区　　分	予算額 A	決算額 B	差引額 （B－A）	収入率 （B／A）	前年度決算額 C	前年度比 （B－C）
1 後期高齢者医療保険料	1,237,498	1,241,099	3,601	100.3	1,151,175	89,924
2 使用料及び手数料	100	85	▲ 15	85.0	86	▲ 1
3 国庫支出金	803	1,650	847	205.5	0	1,650
4 繰入金	1,542,710	1,538,800	▲ 3,910	99.7	1,458,532	80,268
5 諸収入	22,196	21,572	▲ 624	97.2	38,292	▲ 16,720
6 繰越金	3,341	3,341	0	100.0	3,036	305
合　　計	**2,806,648**	**2,806,547**	**▲ 101**	**100.0**	**2,651,120**	**155,427**

② 歳出の状況

（単位：千円、％）

区　　分	予算額 A	決算額 B	差引額 （A－B）	執行率 （B／A）	前年度決算額 C	前年度比 （B－C）
1 総務費	45,408	44,145	1,263	97.2	41,157	2,988
2 後期高齢者医療広域連合納付金	2,759,240	2,756,051	3,189	99.9	2,605,148	150,903
3 諸支出金	2,000	1,272	728	63.6	1,474	▲ 202
合　　計	**2,806,648**	**2,801,468**	**5,180**	**99.8**	**2,647,779**	**153,689**

※　歳入総額2,806,547千円－歳出総額2,801,468千円－翌年度へ繰越すべき財源0千円＝実質収支5,080千円

歳　入

（単位：千円、％）

区分・内容				予算額 A	決算額 B	差引額（B－A）	収入率（B／A）
1款	後期高齢者医療保険料			1,237,498	1,241,099	3,601	100.3
	1項	後期高齢者医療保険料		1,237,498	1,241,099	3,601	100.3
		1目	特別徴収保険料	844,348	845,542	1,194	100.1
			現年度分特別徴収保険料	844,348	845,542	1,194	100.1
		2目	普通徴収保険料	393,150	395,557	2,407	100.6
			現年度分普通徴収保険料	387,108	388,944	1,836	100.5
			滞納繰越分普通徴収保険料	2,061	2,194	133	106.4
			過年度分普通徴収保険料	3,981	4,420	439	111.0
2款	使用料及び手数料			100	85	▲ 15	85.0
	1項	手数料		100	85	▲ 15	85.0
		1目	督促手数料	100	85	▲ 15	85.0
3款	国庫支出金			803	1,650	847	205.5
	1項	国庫補助金		803	1,650	847	205.5
		1目	高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	803	1,650	847	205.5
4款	繰入金			1,542,710	1,538,800	▲ 3,910	99.7
	1項	一般会計繰入金		1,542,710	1,538,800	▲ 3,910	99.7
		1目	事務費繰入金	98,845	95,204	▲ 3,641	96.3
		2目	保険基盤安定繰入金	280,688	280,688	0	100.0
		3目	療養給付費繰入金	1,147,346	1,147,347	1	100.0
		4目	健康診査費繰入金	15,831	15,561	▲ 270	98.3
5款	諸収入			22,196	21,572	▲ 624	97.2
	1項	延滞金、加算金及び過料		50	99	49	198.2
		1目	延滞金	50	99	49	198.2
	2項	償還金及び還付加算金		2,000	1,272	▲ 729	63.6
		1目	保険料還付金	1,900	1,272	▲ 629	66.9
		2目	還付加算金	100	0	▲ 100	0.0
	3項	受託事業収入		2,056	2,047	▲ 9	99.6
		1目	受託事業収入	2,056	2,047	▲ 9	99.6
	4項	雑入		18,090	18,154	64	100.4
		1目	雑入	18,090	18,154	64	100.4
6款	繰越金			3,341	3,341	0	100.0
	1項	繰越金		3,341	3,341	0	100.0
合計				2,806,648	2,806,547	▲ 101	100.0

事業名	保健事業費	（ 1款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費 ）	決算書	155 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】		令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		4,822	【5,063】	5,180	【5,396】		【5,611】	
財源内訳	手数料	0		0				
	国庫補助金	0		0				
	繰入金	3,046		3,133				
	繰越金	0		0				
	諸収入	1,776		2,047				
	一般財源	0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 健康診査 後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施し、被保険者の健康維持に努めた。	継続

年度	対象者数	受診者数	受診率
令和6年度	15,664人	6,092人	38.9%
令和7年度	16,020人	6,271人	39.1%

後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、生活習慣病予防のための健康診査を実施している。
早い段階で体の異変に気付き、早期に対処することは大変重要であり、今後も継続していく。

事業名	後期高齢者医療広域連合納付金	（ 2款 後期高齢者医療広域連合納付金 1項 後期高齢者医療広域連合納付金 1目 後期高齢者医療広域連合納付金 ）	決算書	155 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,592,919	【2,592,992】	2,743,622	【2,746,749】		【3,087,887】	
財源内訳	手数料		0		0				後期高齢者医療広域連合への負担金であり、被保険者数の増加に伴い、医療費が増加したことによる。
	国庫補助金		0		0				
	繰入金		1,414,318		1,491,695				
	繰越金		0		0				
	諸収入		25,790		8,772				
	一般財源		1,152,811		1,243,155				

主な事業内容・成果

1 後期高齢者医療広域連合納付金

富山県後期高齢者医療広域連合が実施する後期高齢者医療に要する費用に充てるため、保険料収入及び一般会計からの繰入金を広域連合に納付した。

(1) 事務費負担金

後期高齢者医療広域連合の事務にかかる費用を高齢者や人口の割合等に応じて市町村に按分したもの。

年度	金額
令和6年度	76,722千円
令和7年度	74,744千円

(2) 保険料負担金

射水市の被保険者が納付した保険料を後期高齢者医療広域連合に納付するもの。

年度	金額
令和6年度	1,151,193千円
令和7年度	1,240,843千円

(3) 保険基盤安定制度負担金

低所得者や被用者保険の被扶養者であった人に対する保険料の軽減措置を市と県が補填するもの。

年度	金額
令和6年度	280,004千円
令和7年度	280,688千円

(4) 療養給付費負担金

療養給付費の市町村の定率公費負担分（1/12）を各市町村の医療給付実績に応じて按分したもの。

年度	金額
令和6年度	1,085,000千円
令和7年度	1,147,347千円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

被保険者数と医療費が年々増加しており、今後もその傾向は続いていくと考えられる。

引き続き保健事業等を実施して、医療費の抑制に努めていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）

＜参考＞後期高齢者医療の状況

平均被保険者数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
県	188,495人	194,629人	199,999人	203,774人
市	15,405人	16,131人	16,667人	17,054人

医療費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
県	175,914,657千円	185,125,250千円	189,586,731千円	194,043,239千円
市	13,480,421千円	14,392,374千円	14,913,477千円	15,547,872千円

一人当たり医療費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
県	933,259円/人	951,170円/人	947,938円/人	952,247円/人
市	875,068円/人	892,218円/人	894,791円/人	911,685円/人

事業名	後期高齢者医療広域連合補助金	（ 2款 後期高齢者医療広域連合納付金 1項 後期高齢者医療広域連合納付金 2目 後期高齢者医療広域連合補助金 ）	決算書	155 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課

決算額【予算額】		令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		12,229	【13,061】	12,429	【12,491】		【13,034】	
財源内訳	手数料	0		0				
	国庫補助金	0		0				
	繰入金	12,229		12,429				
	繰越金	0		0				
	諸収入	0		0				
	一般財源	0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）

1 後期高齢者医療広域連合補助金

富山県後期高齢者医療広域連合が実施する後期高齢者を対象とした健康診査に要する費用に対する補助金であり、基準額の3分の1を広域連合に補助した。

年度	金額
令和6年度	12,229千円
令和7年度	12,429千円

継続

後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査に要する費用に対する補助金であり、生活習慣病予防のための健康診査に対して今年度も引き続き補助していく。

(4) 介護保険事業特別会計決算の状況

① 歳入の状況

（単位：千円、％）

区　　分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B／A)	前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
1 保険料	2,162,241	2,167,018	4,777	100.2	2,139,102	27,916
2 使用料及び手数料	100	90	▲ 10	90.0	102	▲ 12
3 国庫支出金	2,177,199	2,174,905	▲ 2,294	99.9	2,067,213	107,692
4 支払基金交付金	2,503,785	2,503,785	0	100.0	2,517,627	▲ 13,842
5 県支出金	1,340,094	1,339,976	▲ 118	100.0	1,326,334	13,642
6 財産収入	3,276	3,274	▲ 2	99.9	1,225	2,049
7 繰入金	1,580,573	1,469,510	▲ 111,063	93.0	1,494,969	▲ 25,459
8 繰越金	14,063	14,063	0	100.0	83,284	▲ 69,221
9 諸収入	2,679	2,512	▲ 167	93.8	4,790	▲ 2,278
合　　計	**9,784,010**	**9,675,134**	**▲ 108,876**	**98.9**	**9,634,644**	**40,490**

② 歳出の状況

（単位：千円、％）

区　　分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A－B)	執行率 (B／A)	前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
1 総務費	244,871	235,334	9,537	96.1	201,159	34,175
2 保険給付費	9,187,731	9,088,755	98,976	98.9	9,010,210	78,545
3 地域支援事業費	238,320	232,993	5,327	97.8	227,171	5,822
4 保健福祉事業費	2,738	2,529	209	92.4	2,348	181
5 基金積立金	3,276	3,274	2	99.9	1,225	2,049
6 公債費	50	0	50	0.0	0	0
7 諸支出金	98,037	94,942	3,095	96.8	178,468	▲ 83,526
8 予備費	8,987	0	8,987	0.0	0	0
合　　計	**9,784,010**	**9,657,828**	**126,182**	**98.7**	**9,620,581**	**37,247**

※　歳入総額9,675,134千円－歳出総額9,657,828千円－翌年度へ繰越すべき財源0千円＝実質収支17,306千円

歳　入

（単位：千円、％）

区分・内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B／A)
1款 保険料	2,162,241	2,167,018	4,777	100.2
1項 介護保険料	2,162,241	2,167,018	4,777	100.2
1目 第１号被保険者保険料	2,162,241	2,167,018	4,777	100.2
現年度分特別徴収保険料	2,007,706	2,011,529	3,823	100.2
現年度分普通徴収保険料	152,949	153,650	701	100.5
滞納繰越分普通徴収保険料	1,586	1,840	254	116.0
2款 使用料及び手数料	100	90	▲ 10	90.0
1項 手数料	100	90	▲ 10	90.0
1目 督促手数料	100	90	▲ 10	90.0
3款 国庫支出金	2,177,199	2,174,905	▲ 2,294	99.9
1項 国庫負担金	1,754,665	1,754,667	2	100.0
1目 介護給付費負担金	1,754,665	1,754,667	2	100.0
現年度分介護給付費負担金	1,753,317	1,753,318	1	100.0
過年度分介護給付費負担金	1,348	1,349	1	100.0
2項 国庫補助金	422,534	420,239	▲ 2,295	99.5
1目 調整交付金	334,784	335,411	627	100.2
現年度分調整交付金	334,784	335,411	627	100.2
2目 地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	34,840	33,342	▲ 1,498	95.7
現年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	34,840	33,342	▲ 1,498	95.7
3目 地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	24,672	23,248	▲ 1,424	94.2
現年度分地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	24,528	23,248	▲ 1,280	94.8
過年度分地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	144	0	▲ 144	0.0
4目 保険者機能強化推進交付金	7,978	7,978	0	100.0
保険者機能強化推進交付金	7,978	7,978	0	100.0
5目 介護保険保険者努力支援交付金	16,740	16,740	0	100.0
介護保険保険者努力支援交付金	16,740	16,740	0	100.0
6目 介護保険システム改修事業補助金	3,520	3,520	0	100.0
介護保険システム改修事業補助金	3,520	3,520	0	100.0
4款 支払基金交付金	2,503,785	2,503,785	0	100.0
1項 支払基金交付金	2,503,785	2,503,785	0	100.0
1目 介護給付費交付金	2,447,247	2,447,247	0	100.0
現年度分介護給付費交付金	2,447,247	2,447,247	0	100.0
2目 地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	56,538	56,538	0	100.0
現年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	56,538	56,538	0	100.0
5款 県支出金	1,340,094	1,339,976	▲ 118	100.0
1項 県負担金	1,297,618	1,297,618	0	100.0
1目 介護給付費負担金	1,297,618	1,297,618	0	100.0
現年度分介護給付費負担金	1,297,618	1,297,618	0	100.0
2項 県補助金	42,476	42,358	▲ 118	99.7
1目 地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	21,775	21,775	0	100.0
現年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	21,775	21,775	0	100.0
2目 地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	12,264	12,146	▲ 118	99.0
現年度分地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	12,264	12,146	▲ 118	99.0
7目 生産性向上普及推進事業費補助金	8,437	8,437	0	100.0
生産性向上普及推進事業費補助金	8,437	8,437	0	100.0
6款 財産収入	3,276	3,274	▲ 2	99.9
1項 財産運用収入	3,276	3,274	▲ 2	99.9
1目 利子及び配当金	3,276	3,274	▲ 2	99.9
介護保険財政調整基金運用利子	3,276	3,274	▲ 2	99.9
7款 繰入金	1,580,573	1,469,510	▲ 111,063	93.0
1項 一般会計繰入金	1,483,350	1,469,510	▲ 13,840	99.1
1目 介護給付費繰入金	1,148,281	1,135,806	▲ 12,475	98.9
現年度分介護給付費繰入金	1,148,281	1,135,806	▲ 12,475	98.9
2目 地域支援事業繰入金(介護予防・日常生活支援総合事業)	21,775	21,400	▲ 375	98.3
3目 地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)	12,273	12,300	27	100.2
4目 低所得者保険料軽減繰入金	68,807	68,807	0	100.0
現年度分低所得者保険料軽減繰入金	68,807	68,807	0	100.0
5目 その他一般会計繰入金（介護保険事業）	232,155	231,142	▲ 1,013	99.6
6目 その他一般会計繰入金（地域支援事業）	59	53	▲ 6	90.5
2項 基金繰入金	97,223	0	▲ 97,223	0.0
1目 介護保険事業財政調整基金繰入金	97,223	0	▲ 97,223	0.0
8款 繰越金	14,063	14,063	0	100.0
1項 繰越金	14,063	14,063	0	100.0
前年度繰越金	14,063	14,063	0	100.0
9款 諸収入	2,679	2,512	▲ 167	93.8
1項 延滞金、加算金及び過料	1	80	79	8,000.0
1目 第１号被保険者延滞金	1	80	79	8,000.0
2項 雑入	2,678	2,432	▲ 246	90.8
1目 弁償金	1	0	▲ 1	0.0
2目 第三者納付金	1,106	1,106	0	100.0
3目 返納金	1,570	1,223	▲ 347	77.9
4目 雑入	1	103	102	10,324.2
合計	9,784,010	9,675,134	▲ 108,876	98.9

事業名	介護認定審査会事業費	（ 1款 総務費 3項 介護認定審査会費 1目 介護認定審査会費 ）	決算書	170 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			13,915	【14,195】	10,343	【10,590】		【10,844】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			令和6年度に介護認定審査会のデジタル化が完了したことによる。
	国庫負担金	繰入金	0	11,572	0	10,343			
	国庫補助金	繰越金	2,343	0	0	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	0	0	0			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護認定審査会事業 保健、医療、福祉の専門家から構成された介護認定審査会を開催し、要介護・要支援申請者の審査判定を行った。 ・ 委 員 数 40名（任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日） ・ 合議体数 8 (1) 認定審査会の開催 要介護・要支援申請者の審査判定を行うために、毎週月・水曜日に、それぞれ2合議体が隔週で審査会を開催した。 ・ 開催回数年間 167回 （令和6年度 168回） ・ 審査件数年間 4,748件 （令和6年度 4,782件） (2) 全体会 審査会運営体制に関する協議を行った。 ・ 開催日 令和7年4月1日 ・ 出席委員数 35人 (3) 正副委員長会議 審査会運営体制等に関する協議を行った。 ・ 開催日 令和8年3月3日 ・ 出席委員数 13人	継続	今後、高齢化率の上昇に伴い、要介護等認定者数の増加が見込まれることから、適正かつ迅速な審査会の実施を継続していく。

事業名	認定調査事務費	（ 1款 総務費 3項 介護認定審査会費 2目 認定調査費 ）	決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			27,501	【28,456】	27,992	【29,126】		【49,046】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	27,501	0	27,992			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	0	0	0			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果

1 認定調査事務費

要介護等認定申請の際に認定調査及び認定調査員の資質向上を図るために、研修会を実施した。

(1) 認定調査

要介護等認定申請の際に市の職員等が被保険者の自宅を訪問し、心身の状態を調べるために、本人と家族などから聞き取り調査を行った。会計年度任用職員が行う調査（直営）と、居宅介護支援事業所や介護保険老人施設等に委託する調査がある。

・ 調査件数 4,802件（委託1,793件、直営3,009件） （令和6年度 4,776件（委託1,691件、直営3,085件）

(2) 認定調査員研修の実施

認定調査に従事する者が、要介護認定及び要支援認定における公平・公正かつ適正な認定調査を実施するために必要な知識、技能を修得することを目的に研修を行った。

区分	受講期間	参加者
新任認定調査員研修（ｅラーニング受講等）	令和7年7月9日～令和8年3月13日（随時）	9人
現任認定調査員研修（ｅラーニング受講等）	令和8年2月17日～3月17日	21人

(3) 主治医意見書作成料

要介護認定審査会の審査判定の資料となる主治医意見書作成に関する費用を主治医の医療機関へ支払った。

・ 支払件数 年間 4,804件 （令和6年度 4,839件）

・ 支払金額 年間 22,065千円（令和6年度 21,939千円）

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

高齢化率の上昇に伴い、要介護等認定者数の増加が見込まれることから、認定調査員の更なる資質向上を図り、要介護認定の適正化に取り組んでいく。

事業名	事業計画策定・推進費	（ 1款 総務費 4項 事業計画推進委員会費 1目 事業計画推進委員会費 ）	決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			126	【197】	3,846	【4,003】		【4,257】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			老人福祉法に基づく「高齢者保健福祉計画」と介護保険法に基づく「介護保険事業計画」を一体的に作成する「高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」策定に向けて、アンケート調査を実施したことによる。
	国庫負担金	繰入金	0	126	0	3,846			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	0	0	0			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 事業計画策定・推進費 (1) 射水市高齢者保健福祉・介護保険事業計画推進委員会の開催 高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の実施状況について報告した。 ・ 委員数 15名 ・ 開催日 （第1回）令和7年7月10日、（第2回）令和7年11月25日	継続	アンケート調査の結果を基に、委員会での協議を重ね、高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画（令和9年度～令和11年度）を策定する。
(2) 高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画策定に向けた基礎調査と計画策定業務を委託した。 ・アンケート調査 日常生活圏域ニーズ調査（4,000人）、在宅介護実態調査（603人）、事業所調査（167事業所） ・委 託 先 ㈱ジャパンインターナショナル総合研究所 ・委託期間 令和7年11月10日～令和9年3月31日 ・委 託 料 6,600千円 （令和7年度分 2,838千円）	継続	計画策定に向け、アンケート調査を実施し、分析・課題の抽出等を的確に行うことができた。 引き続き、業務支援を受け、計画を策定していく。

事業名	居宅介護サービス費	（ 2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 1目 居宅介護サービス費 ）	決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,358,236	【3,375,675】	3,425,979	【3,434,952】		【3,520,030】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			訪問介護と居宅介護支援の利用者数が増加したことによる。
	国庫負担金	繰入金	613,686	444,972	685,196	454,184			
	国庫補助金	繰越金	122,507	0	123,336	0			
	支払基金交付金	諸収入	917,113	0	925,013	0			
	県負担金	一般財源	480,972	778,986	428,246	810,004			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果

1 居宅介護サービス費

要介護認定者が生活機能の維持・改善を図り、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスの給付を行った。

サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月
訪問介護	令和6年度	7,575人	93,759円
	令和7年度	7,774人	94,985円
通所介護	令和6年度	15,016人	64,430円
	令和7年度	14,949人	64,298円
短期入所生活介護	令和6年度	4,076人	86,733円
	令和7年度	3,746人	85,087円
居宅介護支援	令和6年度	28,608人	14,905円
	令和7年度	29,240人	14,624円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

引き続き、自立支援・重度化防止を図り、高齢者の在宅生活の継続を支援していく。

事業名	介護予防サービス費	（ 2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 2目 介護予防サービス費 ）	決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			142,332	【143,006】	155,077	【156,609】		【175,616】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			介護予防通所リハビリテーションと介護予防支援の利用者数が増加したことによる。
	国庫負担金	繰入金	26,010	18,859	31,015	20,559			
	国庫補助金	繰越金	5,192	0	5,583	0			
	支払基金交付金	諸収入	38,870	0	41,871	0			
	県負担金	一般財源	20,385	33,016	19,385	36,664			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果

1 介護予防サービス費

要支援認定者が、生活機能の維持・改善を図り、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスの給付を行った。

サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月
介護予防通所リハビリテーション	令和6年度	569人	33,264円
	令和7年度	638人	32,713円
介護予防短期入所生活介護	令和6年度	130人	31,148円
	令和7年度	99人	28,299円
介護予防支援	令和6年度	7,676人	4,593円
	令和7年度	8,281人	4,578円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

引き続き、自立支援・重度化防止を図り、高齢者の在宅生活の継続を支援していく。

事業名	施設介護サービス費	（ 2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 3目 施設介護サービス費 ）	決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,914,796	【2,931,272】	2,954,352	【2,960,316】		【3,049,078】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			介護老人保健施設と介護医療院の利用者数が増加したことによる。
	国庫負担金	繰入金	532,651	386,216	590,870	391,660			
	国庫補助金	繰越金	106,332	0	106,357	0			
	支払基金交付金	諸収入	796,011	0	797,675	0			
	県負担金	一般財源	417,461	676,125	369,294	698,496			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果

1 施設介護サービス費

在宅での生活が困難な要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護及びその他の日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話や看護・医学管理下での介護などを行った。

サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月
介護老人福祉施設	令和6年度	6,595人	271,607円
	令和7年度	6,540人	271,370円
介護老人保健施設	令和6年度	2,552人	304,964円
	令和7年度	2,616人	309,714円
介護医療院	令和6年度	882人	391,469円
	令和7年度	944人	391,291円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続　引き続き、介護や治療の必要性に応じた施設利用を支援していく。

事業名	地域密着型介護サービス費	（ 2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 4目 地域密着型介護サービス費 ）	決算書	172 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,219,509	【2,254,408】	2,185,511	【2,228,658】		【2,257,181】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			地域密着型通所介護施設の定員減や休止等により、利用者数が減少したことによる。
	国庫負担金	繰入金	405,595	294,090	437,102	289,735			
	国庫補助金	繰越金	80,967	0	78,678	0			
	支払基金交付金	諸収入	606,134	0	590,088	0			
	県負担金	一般財源	317,882	514,841	273,189	516,719			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果

1 地域密着型介護サービス費

市内に住民登録がある要介護認定を受けた高齢者等が、地域の特性を生かしたサービスを受けることで住み慣れた地域での生活を続けることができた。

サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	令和6年度	300人	146,947円
	令和7年度	229人	129,129円
夜間対応型訪問介護	令和6年度	9人	17,098円
	令和7年度	12人	17,919円
地域密着型通所介護	令和6年度	3,602人	68,566円
	令和7年度	3,331人	64,743円
認知症対応型通所介護	令和6年度	1,164人	111,435円
	令和7年度	1,190人	109,002円
小規模多機能型居宅介護	令和6年度	3,362人	221,307円
	令和7年度	3,322人	223,453円
認知症対応型共同生活介護	令和6年度	2,950人	262,720円
	令和7年度	2,994人	265,195円
介護予防認知症対応型通所介護	令和6年度	0人	0円
	令和7年度	0人	0円
介護予防小規模多機能型居宅介護	令和6年度	216人	75,571円
	令和7年度	193人	79,175円
介護予防認知症対応型共同生活介護	令和6年度	0人	0円
	令和7年度	1人	32,499円
小規模特別養護老人ホーム	令和6年度	348人	312,326円
	令和7年度	346人	321,904円
複合型サービス（看護小規模多機能）	令和6年度	633人	244,098円
	令和7年度	607人	242,760円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

引き続き、地域のニーズを反映させた地域密着型サービスの提供を進めていく。

事業名	特定入所者介護サービス費	（ 2款 保険給付費 2項 特定入所者介護サービス等費 1目 特定入所者介護サービス費 ）	決算書	172 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			159,386	【165,521】	149,187	【165,016】		【157,616】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			特定入所者介護サービスの利用が減少したことによる。
	国庫負担金	繰入金	29,126	21,119	22,378	19,777			
	国庫補助金	繰越金	5,814	0	5,371	0			
	支払基金交付金	諸収入	43,527	0	40,281	0			
	県負担金	一般財源	22,828	36,972	26,108	35,272			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果

1 特定入所者介護サービス費

市町村民税非課税世帯の要介護認定者が一定の条件を満たした場合、申請により介護保険施設等の入所やショートステイを利用した際の食費や居住費を軽減した。

サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月
特定入所者介護サービス	令和6年度	6,522人	24,383円
	令和7年度	6,254人	23,807円
特例特定入所者介護サービス	令和6年度	12人	16,656円
	令和7年度	7人	22,200円
特定入所者介護予防サービス	令和6年度	45人	3,566円
	令和7年度	39人	3,664円
特例特定入所者介護予防サービス	令和6年度	0人	0円
	令和7年度	0人	0円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

今後も低所得者の支援として事業を継続していく。

事業名	高額介護サービス費	（ 2款 保険給付費 3項 高額介護サービス等費 1目 高額介護サービス費 ）	決算書	172 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			206,288	【209,106】	208,706	【232,237】		【213,989】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			高額医療・高額介護合算サービスの利用者数が増加したことによる。
	国庫負担金	繰入金	37,697	27,333	41,741	27,668			
	国庫補助金	繰越金	7,525	0	7,513	0			
	支払基金交付金	諸収入	56,336	0	56,351	0			
	県負担金	一般財源	29,545	47,852	26,088	49,345			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果

1 高額介護サービス費

(1) 高額介護・高額介護予防サービス費

同じ月に利用した介護保険の利用者負担の合計（同じ世帯内に複数の利用者がいる場合には、世帯合計）が、上限額を超える場合は申請により超えた分を後から支給した。

サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月
高額介護サービス	令和6年度	15,364人	11,953円
	令和7年度	15,251人	12,050円
高額介護予防サービス	令和6年度	64人	466円
	令和7年度	75人	515円

(2) 高額医療・高額介護合算サービス費

介護保険と医療保険の両方の負担額が高額になったとき、年間の負担額を合算して限度額を超える場合は申請により超えた分を後から支給した。

サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月
高額医療合算介護（予防）サービス	令和6年度	850人	26,798円
	令和7年度	935人	26,631円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

今後も利用者の負担軽減のため、適切な支給を図っていく。

事業名	審査支払手数料	（ 2款 保険給付費 4項 その他諸費 1目 審査支払手数料 ）	決算書	172 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			9,663	【9,677】	9,942	【9,943】		【10,235】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	1,766	1,280	1,988	1,318			
	国庫補助金	繰越金	353	0	358	0			
	支払基金交付金	諸収入	2,639	0	2,684	0			
	県負担金	一般財源	1,384	2,241	1,243	2,351			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果

1 介護報酬請求明細書審査支払手数料

富山県国民健康保険団体連合会が介護給付費に係る審査支払を行う手数料（1件当たり70円）

サービス区分	年間延利用件数	
	令和6年度	令和7年度
審査支払手数料	138,042件	142,034件

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

富山県国民健康保険団体連合会は、保険給付を行うための必要な業務（介護給付の資格審査、支給限度額の管理等）を担っており、引き続き、事業を継続していく。

事業名	一般介護予防事業費	（ 3款 地域支援事業費 1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 1目 一般介護予防事業費 ）	決算書	172 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,503	【3,006】	2,382	【3,169】		【2,244】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	313	0	298			
	国庫補助金	繰越金	1,110	0	1,143	0			
	支払基金交付金	諸収入	720	0	643	0			
	県負担金	一般財源	0	0	0	0			
	県補助金		360		298				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護予防普及啓発事業 【国25/100 県12.5/100 】 高齢者等を対象に、要介護状態となっても、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを図るため、介護予防の普及・啓発と介護予防活動の支援を行った。 (1) 介護予防きときと倶楽部 運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等に関する教室を開催し、介護予防に関する正しい知識の普及・啓発に努めた。 ・ 開催回数 38回、延べ参加者数 484人 （令和6年度 開催回数 26回、延べ参加者数 223人） (2) 脳いきいき健康講座 軽度認知障害の疑いのある人、認知症について不安のある人及び家族が相談や受診等、早期に適切な対応ができるよう講座を実施した。 ・ 開催回数 11回、延べ参加者数 179人 （令和6年度 開催回数 18回、延べ参加者数 297人）	継続	引き続き、普及啓発事業を実施し、高齢者の介護予防、認知症予防を推進していく。 また、脳いきいき健康講座で、認知機能検診を周知し、軽度認知障害の早期発見、早期対応を行うことで認知症の重症化の予防を図っていく。

事業名	介護予防・生活支援サービス事業費	（ 3款 地域支援事業費 1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 2目 介護予防・生活支援サービス事業費 ）	決算書	172 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			163,634	【171,633】	168,821	【171,032】		【173,901】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			通所介護相当サービスで、利用が増加したことによる。
	国庫負担金	繰入金	0	20,454	0	21,102			
	国庫補助金	繰越金	59,929	0	52,635	0			
	支払基金交付金	諸収入	47,077	0	47,549	0			
	県負担金	一般財源	0	12,601	0	26,058			
	県補助金		23,573		21,477				

主な事業内容・成果

1 介護予防・生活支援サービス事業費

サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月
訪問介護相当サービス費	令和6年度	1,067人	13,721円
	令和7年度	1,138人	12,765円
訪問型Aサービス費	令和6年度	73人	11,107円
	令和7年度	0人	0円
通所介護相当サービス費	令和6年度	5,763人	21,290円
	令和7年度	6,037人	21,554円
通所型Aサービス費	令和6年度	628人	12,019円
	令和7年度	585人	12,251円
通所型Cサービス費	令和6年度	35人	26,743円
	令和7年度	7人	24,195円
介護予防ケアマネジメント費	令和6年度	3,528人	4,549円
	令和7年度	3,449人	4,559円
高額総合事業サービス費	令和6年度	88人	1,614円
	令和7年度	89人	2,038円

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

今後も要支援相当者の介護予防・重度化防止の事業として継続して実施していく。

事業名	地域ケア推進事業費	（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業費 ）	決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			36,315	【37,272】	36,842	【37,924】		【37,324】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	7,826	0	7,510			
	国庫補助金	繰越金	21,403	0	22,050	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	0	0	71			
	県補助金		7,086		7,211				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 在宅医療・介護連携推進事業 【国38.5/100 県19.25/100】 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けるため、在宅医療と介護を一体的に提供できるよう、医療機関と介護事業関係者の連携を図った。 (1) 在宅医療・介護連携推進協議会開催 ・ 年間2回 （令和6年度 年間2回） (2) 在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置 ・ 相談件数 156件 （令和6年度 170件） (3) 市民公開講座の開催 ・ 参加者 132人 ※ 一部事業を（公）射水市医師会に委託している。	継続	在宅療養者を支援する多職種間の円滑な情報連携をサポートし、在宅療養者が安心した生活を送るための多職種連携支援システム（ＩＣＴツール）の活用を推進し、更なる在宅医療・介護連携を図る。 また、在宅療養者の看取りや、人生の最終段階の医療・ケアについて考え、話し合い、共有する取組を実施していく。
2 認知症施策推進事業 【国38.5/100 県19.25/100】 認知症の知識の普及・啓発、早期発見・早期対応に向けた体制整備及び認知症高齢者と家族への支援体制の充実を図った。 (1) 認知症初期集中支援チーム設置 訪問・面談延べ件数 35件 （令和6年度 18件） 委 託 先 （公）射水市医師会 (2) 認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに1人配置し、相談会や認知症カフェを開催した。認知症ケアパスを使用し、認知症の進行に合った介護サービスや支援について普及啓発を図った。 委 託 先 （福）射水万葉会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会、（福）射水市社会福祉協議会	継続	地域での認知症の理解を促進し、認知症の方の考えや視点を取り入れながら、認知症の方と家族への支援の充実を図っていく。
3 地域ケア会議推進事業 【国38.5/100 県19.25/100】 多職種が協働して個別ケースの支援内容を検討する事例検討会を実施した。 ・ 会議実施回数 27回 （令和6年度 38回）	継続	高齢者の自立支援・重度化防止に向け、多職種連携を強化し、引き続き、地域ケア会議を開催していく。

事業名	介護給付等費用適正化事業費（介護保険）	（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）	決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			3,389	【3,750】	3,489	【3,669】		【3,760】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	660	0	679			
	国庫補助金	繰越金	1,288	0	1,340	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	776	0	800			
	県補助金		665		670				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護支援専門員を配置し、認定調査の事後点検、ケアプランの点検や医療情報との突合・縦覧点検を実施し、介護給付の適正化に取り組んだ。	継続	介護給付費の適正化を図るため、取組の重点化を図りながら引き続き点検を実施していく。

事業名	介護給付等費用適正化事業費（地域支援）	（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）	決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			90	【91】	54	【56】		【55】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	18	0	10			
	国庫補助金	繰越金	34	0	21	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	20	0	13			
	県補助金		18		10				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 ケアプラン研修会の開催 【国38.5/100 県19.25/100】 居宅・施設ケアプランの点検やサービス事業者を対象とした研修会を開催し、介護給付の適正化を図った。 ・ 開催回数 3回 （令和6年度 5回）	見直し	利用者の自立支援に資する適切なケアプランとなっているか点検を行った。 今後事業の見直しを行い、資質向上を目的とした研修会の開催に重点を置き、更に自立支援に資する質の高いケアマネジメントを目指し、介護給付の適正化を図っていく。

事業名	権利擁護等自立支援事業費	（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）	決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			450	【1,120】	1,612	【1,615】		【1,568】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			成年後見制度利用支援事業助成金の申請件数の増による。
	国庫負担金	繰入金	0	84	0	299			
	国庫補助金	繰越金	171	0	596	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	14	0	63			
	県負担金	一般財源	0	93	0	355			
	県補助金		88		299				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 成年後見制度の普及啓発及び利用支援のための相談会の開催、経済的理由や親族不在等の理由で家庭裁判所への申立てができない場合の申立てに係る支援や経済的支援を行った。 【国38.5/100 県19.25/100】 ・ 相談会開催回数 12回、相談者数 20人 （令和6年度 開催回数 12回、相談者数 21人） ・ 市長申立て 2件 （令和6年度 4件） ・ 利用支援事業助成件数 7件 （令和6年度 2件）	継続 高齢者が安心して自立した生活を送ることができるよう、成年後見制度の普及啓発及び利用に必要な支援を継続していく。

事業名	家族介護支援事業費	（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）	決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			18,283	【18,827】	17,187	【17,304】		【17,959】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			おむつ支給事業の支給上限額を引き下げたことによる。
	国庫負担金	繰入金	0	3,520	0	3,301			
	国庫補助金	繰越金	6,970	0	6,483	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	40			
	県負担金	一般財源	0	4,201	0	3,909			
	県補助金		3,592		3,454				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
1 寝たきり高齢者等おむつ支給事業 【国38.5/100 県19.25/100】 介護用品の支給や家族介護教室の開催等を通じ、在宅で介護する家族のネットワークの形成や身体的・精神的・経済的負担の軽減を図った。 ・ 支給実人数 484人 （令和6年度 460人）	見直し 持続可能な事業とするため、対象者の範囲や支給の額などの在り方について検討していく。

事業名	地域自立生活支援事業費	（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）	決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1,584	【1,875】	1,659	【1,993】		【1,819】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	305	0	319			
	国庫補助金	繰越金	604	0	639	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	364	0	382			
	県補助金		311		319				

主な事業内容・成果

1 介護相談員を介護保険施設等に派遣し、利用者や家族からの相談を受け、事業所との橋渡しをすることにより、質の高い介護サービスの提供に努めた。

〈あったか介護サービス相談員活動状況〉

区分	相談員数	相談施設数	延べ相談者数
令和6年度	12人	22施設	435人
令和7年度	12人	20施設	388人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

介護サービスの質の向上が図られるよう、引き続き、利用者等から寄せられた意見を施設と共有していく。

事業名	住宅改修支援事業費	（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）	決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			154	【300】	154	【299】		【300】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	30	0	29			
	国庫補助金	繰越金	59	0	59	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	35	0	37			
	県補助金		30		29				

主な事業内容・成果

1 居宅介護支援又は介護予防支援を受けていない被保険者が住宅改修費の支給を受けるため、介護支援専門員等が「住宅改修が必要な理由書」を作成した場合において支援を行った。

項目	令和6年度	令和7年度
作成者人数	77人	77人

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

適正な住宅改修が行えるよう、引き続き、介護支援専門員による理由書作成を行っていく。

事業名	その他事業費	（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）	決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			771	【1,307】	794	【1,259】		【979】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	148	0	153			
	国庫補助金	繰越金	294	0	305	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	178	0	183			
	県補助金		151		153				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 認知症サポーター養成講座 【国38.5/100 県19.25/100】 認知症に関する正しい知識の普及のため、サポーター養成講座を開催した。 ・ 実施回数 26回、参加者数 776人（令和6年度 25回、828人）	継続	引き続き、事業所などに講座開催を呼びかけ、認知症に関する知識の普及啓発を更に推進していく。
2 「食」の自立支援 【国38.5/100 県19.25/100】 配食みまもりサービス事業 民間活力を導入し、栄養バランスのとれた食事を提供（利用者の希望する食数を配送。弁当実費は利用者負担）するとともに、ひとり暮らし高齢者等の見守り体制の充実を図った。 ・ 実利用者数 17人 （令和6年度 24人）	継続	民間活力を導入した高齢者の食の確保と見守り体制の充実を図っていく。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和7年度	令和9年度
認知症サポーター養成者累計人数	15,101人	17,685人	20,400人

事業名	保険者機能強化推進事業費	（ 4款 保健福祉事業費 1項 保健福祉事業費 1目 保険者機能強化推進事業費 ）	決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			2,348	【2,869】	2,529	【2,738】		【3,030】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	0	0	0			
	国庫負担金	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	2,348	0	2,529	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	0	0	0			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 認知機能検診事業 【国10/10】 軽度認知障害（ＭＣＩ）の疑いのある者を早期に発見し、適切な対応を行うことで、認知症の重症化を予防する。 ・ 受診者数 認知機能テストのみ 67件 （令和6年度 57件） 認知機能テスト・ＭＣＩスクリーニング検査 38件 （令和6年度 41件）	継続	検診を促進することにより、軽度認知障害の早期発見、早期治療につなげていく。
2 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 【国10/10】 保険に加入することで、認知症の人や家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境整備を図った。 ・ 加入者数 25人	継続	引き続き、認知症の人やその家族が地域で安心して暮らし続けられる支援を継続していく。
3 寝たきり高齢者等おむつ支給事業【国10/10】 介護用品の支給を通じ、在宅で介護する家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減を図った。 ・ 支給実人数 37人（地域支援事業（家族介護支援事業）対象外の者） （令和6年度 29人）	見直し	持続可能な事業とするため、対象者の範囲や支給の額などの在り方について検討していく。

事業名	介護保険事業財政調整等基金積立金	（ 5款 基金積立金 1項 基金積立金 1目 介護保険事業財政調整等基金積立金 ）	決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】			令和6年度		令和7年度		令和8年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			1,225	【1,225】	3,274	【3,276】		【2,412】	
財源内訳	手数料	財産収入	0	1,225	0	3,274			基金運用の金利が上昇したことによる。
	国庫負担金	繰入金	0	0	0	0			
	国庫補助金	繰越金	0	0	0	0			
	支払基金交付金	諸収入	0	0	0	0			
	県負担金	一般財源	0	0	0	0			
	県補助金		0		0				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護保険事業財政調整等基金積立金 ・ 介護保険事業財政調整基金 3,274千円	継続	引き続き、保険給付の適正化に努めるとともに、基金の適切な管理運営に努めていく。

３　財 産 の 状 況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

3　財産に関する調書

(1) 公有財産

（単位：㎡、千円）

区　　分		令和6年度末 現在高	令和7年度中 増減高	令和7年度末 現在高	増減高の内訳
土　　地		3,201,042.10	2,949.34	3,203,991.44	
	行政財産	2,607,697.26	5,017.00	2,612,714.26	公園5,017.00
	普通財産	593,344.84	▲ 2,067.66	591,277.18	宅地▲2,067.66
建　　物		393,061.42	▲ 944.77	392,116.65	
	行政財産	380,360.53	▲ 150.39	380,210.14	消防施設（非木造）▲150.39
	普通財産	12,700.89	▲ 794.38	11,906.51	非木造▲794.38
有　価　証　券		552,858	▲ 5,480	547,378	
	株券等	552,858	▲ 5,480	547,378	富山空港ターミナルビル㈱▲5,480
出資による権利		382,424	0	382,424	
	出資及び出捐金	382,424	0	382,424	

(2) 重要物品（80万円以上）

区　　分	令和6年度末 現在高	令和7年度中 増減高	令和7年度末 現在高	増減高の内訳
自動車ほか	690点	8点	698点	受入13点（普通貨物自動車、消防自動車、除雪車等） 払出5点（消防自動車、カメラ等）

(3) 債権

（単位：千円）

区　　分	令和6年度末 現　在　高 A	令和7年度中増減高 貸　付　額 B	 償 還 額 等 C	令和7年度末 現在高 A+B-C	
鉄道軌道資産取得資金貸付金	53,334	0	0	53,334	
奨学金貸付金（保育士等）	3,360	2,040	0	5,400	
奨学金貸付金（介護福祉士）	780	480	0	1,260	
母子家庭等小口貸付金	230	120	10	340	
災害援護資金貸付金	1,700	0	0	1,700	
奨学金貸付金	45,394	6,900	6,018	46,277	
合　　計	**104,798**	**9,540**	**6,028**	**108,311**	(出納整理期間含む)

(4) 基金

（単位：千円）

区　　分	令和6年度末 現　在　高 A	令和7年度中増減高 積　立　額 B	令和7年度中増減高 取　崩　額 C	令和7年度末 現　在　高 A+B-C
財政調整基金	4,625,145	26,778	200,000	4,451,922
減債基金	1,929,178	95,420	81,000	1,943,598
公共施設建設等基金	2,126,322	12,823	342,000	1,797,145
小林與三次基金	45,985	275	0	46,260
福祉振興基金	7,006	42	0	7,048
小杉インターパーク管理基金	96,062	575	900	95,737
合併地域振興基金	2,650,500	15,126	320,000	2,345,627
ふるさと射水応援基金	215,592	437,492	185,201	467,883
漁業振興基金　※	66	0	66	0
森林環境保全基金	31,707	13,610	17,811	27,506
新型コロナウイルス感染症対策基金　※	18	0	18	0
田中基金	0	273,300	0	273,300
小　　計	**11,727,581**	**875,441**	**1,146,996**	**11,456,026**
国民健康保険事業財政調整基金	481,941	101,705	0	583,647
介護保険事業財政調整基金	675,612	3,274	0	678,886
小　　計	**1,157,553**	**104,980**	**0**	**1,262,533**
合　　計	**12,885,134**	**980,421**	**1,146,996**	**12,718,559**

※令和7年4月1日廃止

（出納整理期間含む）

4　市 債 の 状 況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

4　市債の現況

①　一般会計

（ア）　目的別現在高の状況

（単位：千円）

区　　分	令和6年度末 現在高 A	令和7年度 発行額 B	令和7年度元利償還額		令和7年度末 現在高 （A＋B－C）
			元金 C	利子	
1　普通債	14,082,112	1,962,700	1,137,640	84,057	14,907,172
(1) 総務債	703,460	207,300	67,113	3,360	843,647
(2) 民生債	212,494	44,700	28,527	664	228,667
(3) 衛生債	2,660,509	65,700	127,135	18,842	2,599,074
(4) 農林水産債	506,455	82,800	51,196	2,517	538,060
(5) 商工債	124,200	495,100	1,038	1,042	618,263
(6) 土木債	2,651,963	447,800	331,201	14,656	2,768,562
(7) 公営住宅債	147,799	0	15,912	1,717	131,887
(8) 消防債	427,235	130,700	43,111	2,035	514,824
(9) 教育債	6,647,998	488,600	472,408	39,223	6,664,190
2　災害復旧債	802,000	684,600	0	7,474	1,486,600
(1) 衛生債	271,200	217,100	0	2,503	488,300
(2) 農林水産債	103,600	56,700	0	941	160,300
(3) 土木債	368,400	204,700	0	3,529	573,100
(4) 公営住宅債	16,600	4,700	0	158	21,300
(5) 公共施設等債	28,000	27,600	0	190	55,600
(6) 文教施設債	14,200	173,800	0	152	188,000
3　その他	36,731,027	0	4,101,284	145,328	32,629,743
(1) 減税補てん債	24,625	0	17,080	8	7,545
(2) 減収補てん債	55,436	0	9,235	11	46,201
(3) 合併特例事業債	22,525,544	0	2,715,982	107,984	19,809,562
(4) 臨時財政対策債	14,123,721	0	1,358,987	37,325	12,764,734
(5) 県貸付金	1,700	0	0	0	1,700
合　　計	**51,615,139**	**2,647,300**	**5,238,924**	**236,858**	**49,023,515**

（出納整理期間含む）

② 借入先別現在高の状況

（単位：千円）

区　　分	令和6年度末 現在高 A	令和7年度 発行額 B	令和7年度 元金償還額 C	令和7年度末 現　在　高 （A＋B－C）
1　政府資金	12,854,753	0	1,226,038	11,628,716
財政融資資金	12,624,382	0	1,173,831	11,450,551
旧郵貯資金	24,625	0	17,080	7,545
旧簡保資金	205,747	0	35,126	170,620
2　地方公共団体金融機構資金	13,554,337	94,700	1,833,559	11,815,478
3　市中銀行	11,668,712	0	1,144,424	10,524,288
4　その他の金融機関	12,696,784	2,351,200	949,532	14,098,451
5　共済等	838,853	201,400	85,371	954,882
6　県貸付金	1,700	0	0	1,700
合　　計	**51,615,139**	**2,647,300**	**5,238,924**	**49,023,515**

（出納整理期間含む）

参考　令和７年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業一覧（一般会計）

No.	細目名称	事業名	事業概要	総事業費（実績額）	うち交付金	実施状況	事業の効果	担当課	報告書ページ
1	公共施設マネジメント推進費	射水市指定管理者支援金	光熱費の高騰の影響を受ける指定管理施設について、住民に負担を求めることなく円滑な施設運営を維持するため、光熱費高騰分を支援するもの。	10,474,000円	9,893,281円	指定管理施設（13施設）に対して、光熱費高騰相当分計10,474千円を支援。	指定管理者におけるエネルギー価格高騰分を支援することで施設の安定した運営を維持した。	公共施設マネジメント推進課	34
2	地域交通対策費	燃料価格高騰対策支援事業（民間路線バス、タクシー、あいの風とやま鉄道）	燃料価格高騰の影響を受け厳しい経営状況にある交通事業者（民間路線バス、タクシー、あいの風とやま鉄道）を県と協調し支援するもの。	443,200円	443,200円	燃料価格高騰の影響を受けている民間路線バス事業者（2社）、タクシー事業者（2社）、鉄道会社（1社）に対して、燃料経費高騰分計443千円を支援。	燃料価格の高騰により経営に影響が生じた民間路線バス事業者、タクシー事業者、鉄道会社に対して燃料費の一部を補助することで事業継続を支援した。	生活安全課	60
3	地域交通対策費	バス路線維持費等特別補助金（民間路線バス）	物価高騰等の影響を受け、厳しい経営状況にあるバス運行を維持するための経費に対して、近隣自治体と協調して支援する。	8,060,459円	8,060,459円	物価高騰により運行経費に係る欠損が拡大している路線バスを維持するため、民間路線バス事業者に対して、費用8,060千円を支援。	民間路線バス事業者に対し運行経費の一部を補助することで運行本数の維持を支援した。	生活安全課	60
4	コミュニティバス運行費	燃料価格高騰対策支援事業（コミュニティバス、のるーと射水）	燃料価格高騰の影響を受け厳しい経営状況にある交通事業者（コミュニティバス、のるーと射水）を県と協調し支援するもの。	265,000円	265,000円	燃料価格高騰の影響を受けているコミュニティバス、のるーと射水事業者（4社）に対して、燃料費高騰分計265千円を支援。	燃料価格の高騰により経営に影響が生じたコミュニティバス及びのるーと射水事業者に対して、燃料費の一部を補助することで経営の安定化につなげた。	生活安全課	61
5	万葉線対策費	燃料価格高騰対策支援事業（万葉線）	燃料価格高騰の影響を受け厳しい、経営状況にある交通事業者（万葉線（株））を県と協調し支援するもの。	132,000円	132,000円	燃料価格高騰の影響を受けている万葉線（株）に対して、燃料費高騰分計132千円を支援。	燃料価格の高騰により経営に影響が生じた万葉線（株）に対して、燃料費の一部を支援したことで経営の安定化につなげた。	生活安全課	63
6	定額減税補足臨時給付金給付費	定額減税補足給付金（不足額給付）	令和6年度に実施した定額減税補足給付金の支給額に不足が生じた場合に、追加で給付を行うもの。	303,009,632円	303,009,632円	所得税又は住民税が定額減税額を下回る納税義務者に対して、差額計289,930千円を給付。	物価高騰の影響が続く中、該当する納税義務者の経済的負担の軽減に寄与した。	課税課	70
7	高齢者福祉施設費	社会福祉施設物価高騰対策支援事業（介護福祉施設）	物価高騰の影響を受けている介護福祉サービス事業所及び障害福祉サービス事業所に対し光熱費、ガソリン代及び食材料費の一部を支援することで、安定したサービス提供を支援するもの。	28,349,500円	28,349,500円	介護福祉サービス等事業所を運営する法人（66法人）に対し、光熱費、ガソリン代及び食材料費の高騰影響額28,350千円を支援。	市内で介護サービス事業所を運営する法人に対して、物価高騰による施設運営の経費増加分を支援し、サービス提供体制の確保を図った。	介護保険課	82
8	障害者福祉施設支援費	社会福祉施設物価高騰対策支援事業（障害福祉施設）	物価高騰の影響を受けている介護福祉サービス事業所及び障害福祉サービス事業所に対し光熱費、ガソリン代及び食材料費の一部を支援することで、安定したサービス提供を支援するもの。	4,347,800円	4,347,800円	障がい者福祉サービス等事業所を運営する法人(33法人）に対し、光熱費、ガソリン代及び食材料費の高騰影響額4,348千円を支援。	市内で障がい福祉サービス事業所を運営する法人に対して、物価高騰による施設運営の経費増加分を支援し、サービス提供体制の確保を図った。	社会福祉課	87
9	非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費（繰越明許）	射水市物価高騰臨時給付金	世帯全員の令和6年度住民税が非課税の世帯へ1世帯当たり3万円、また支給を決定した世帯のうち18歳以下の児童がいる世帯へ児童1人当たり2万円を支給するもの。	40,453,101円	40,423,101円	令和6年度住民税非課税世帯（6,932世帯）に対し、1世帯当たり3万円（+児童1人当たり2万円）（計220,880千円）を給付。	国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページへ掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。	社会福祉課	88
10	高齢者世帯等物価高騰対策事業費	高齢者世帯・生活保護世帯物価高騰対策支援事業（おこめ券支給）	物価高騰の影響を受ける高齢者世帯・生活保護世帯に対し、おこめ券を支給することで支援するもの。	39,837,449円	39,837,449円	75歳以上の高齢者のみの世帯及び生活保護世帯へ1世帯当たり4,840円分（11枚）のおこめ券を配付。(6,780世帯)	おこめ券の配付について広報いみず、ホームページへ掲載し周知を図った。対象者は住民基本台帳情報を基に抽出し申請不要としたことから、速やかに配付することができた。 物価高騰の影響が続く中、引き続き迅速かつ適正な事務に努めながら物価高騰に対する生活支援を継続して実施する。	社会福祉課	89

参考　令和７年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業一覧（一般会計）

No.	細目名称	事業名	事業概要	総事業費（実績額）	うち交付金	実施状況	事業の効果	担当課	報告書ページ
11	保育園等管理運営費	給食食材料費高騰対策支援事業（公立保育園等）	物価高が続く中で、物価高騰に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立保育園等における給食食材費（教職員等を除く）の高騰相当分の負担を支援するもの。	5,829,120円	5,829,120円	公立保育園（対象園児12,144人）に対し、給食食材費に係る物価高騰分5,829千円を支援。	給食材料費高騰分の支援を行い、保護者から徴収する副食費への転嫁を回避することで、子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。	子育て支援課	99
12	保育園等運営委託等事業費	給食食材料費高騰対策支援事業（民間保育園等）	物価高が続く中で、物価高騰に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、民間保育園等における給食食材費（教職員等を除く）の高騰相当分の負担を支援するもの。	10,618,750円	10,618,750円	民間保育園（対象園児22,164人）に対し、給食食材費に係る物価高騰分10,619千円を支援。	給食材料費高騰分の支援を行い、保護者から徴収する副食費への転嫁を回避することで、子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。	子育て支援課	102
13	保育園等運営委託等事業費	民間保育園等エネルギー価格高騰対策支援事業	物価高騰の影響を受けている民間保育園等に対し光熱水費の一部を支援することで、安定したサービス提供を支援するもの。	3,331,240円	3,331,240円	民間保育園17施設に対し、光熱費の高騰分3,331千円を支援。	民間保育園等におけるエネルギー価格高騰分を支援することで、保育園の安定した運営を維持できた。	子育て支援課	102
14	塵芥収集費	一般廃棄物収集運搬業務物価高騰対策支援事業	燃料費高騰の影響を受けている一般廃棄物収集運搬業務委託業者に対し、高騰分を支援することで負担を軽減し、サービスの質の維持と公共調達に係る燃料費の価格転嫁を図るもの。	3,328,600円	3,232,781円	一般廃棄物収集運搬業務委託業者4社に対し、燃料費等の高騰分3,329千円について委託料の増額を実施。	燃料費高騰分を支援することで、一般廃棄物収集運搬業務委託業者の安定的な経営を維持する効果があった。	環境課	122
15	病院事業会計繰出金	市民病院原油価格･物価高騰対策事業〔病院事業会計繰出金〕	光熱水費等の高騰による単価増に係る経費について、一般会計から繰出すことにより地域医療を支えるもの。	30,000,000円	18,716,485円	射水市民病院に対し、電気料金等高騰影響額30,000千円を支援した。	365日間、医療機器、空調、照明等を稼働させ、安全・安心・快適な医療体制の提供が図られた。	市民病院経営管理課（財政課）	-
16	水道事業会計繰出金	水道料金負担軽減対策事業	物価高騰等の影響を受けている世帯や事業者に対し、水道料金の基本料金相当額を補助することで、経済的負担の軽減を図るもの。	97,936,713円	97,519,203円	各世帯、各事業者の水道料金に係る基本料金相当額（約3千円）の支援を実施。	物価高騰の影響を受ける市民、事業者に対し支援することで、家計支援、事業者支援につながった。	上下水道業務課（財政課）	-
17	農業振興推進費	農業用施設電気料金支援事業	光熱費高騰の影響を受けるJAいみず野等が運営する共同利用施設や大規模生産者が運営する乾燥調製施設の電気代高騰額（R7とR4比較）を支援するもの。	1,606,000円	1,606,000円	いみず野農業協同組合の共同利用施設及び大規模生産者における乾燥調製に係る電気料金高騰影響額計1,606千円を支援。	電気代高騰の影響額を補助することで農協や大規模生産者の負担を軽減し、共同利用施設使用料を抑制することにより、市内農業経営体の負担を軽減した。	農林水産課	133
18	農業振興推進費	共同利用施設燃料費高騰支援事業	燃料価格の高騰の影響を受けている農業共同利用施設における燃料費（灯油）高騰影響額を支援するもの。	401,365円	401,365円	いみず野農業協同組合の共同利用施設における燃料費（灯油）の高騰影響額計401千円を支援した。	燃料価格高騰の影響額を補助することで農協の負担を軽減し、共同利用施設使用料を抑制することにより、市内農業経営体の負担を軽減した。	農林水産課	133
19	農地管理費	農業水利施設電気料金高騰対策緊急支援事業	光熱費高騰の影響をうける射水平野土地改良区が管理運営する農業水利施設の電気代高騰分のうち土地改良区負担分に対し支援するもの。	75,798円	75,798円	射水平野土地改良区に対し、電気代の高騰分76千円を支援。	射水平野土地改良区に対して燃料費高騰分を支援することで、土地改良事業者の安定的な経営の維持が図られた。	農林水産課	141
20	海面漁業振興費	漁業燃油価格高騰緊急支援事業	燃油価格高騰の影響をうける漁業者に対し漁業者の経営安定を支援するもの。	597,373円	597,373円	国の漁業経営セーフティネット構築事業に係る燃油補填積立金の一部、計597千円を支援。	セーフティネット加入漁業者（23経営体）の積立金を補助することで漁業者の経営安定化に寄与した。	農林水産課	147

参考　令和７年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業一覧（一般会計）

No.	細目名称	事業名	事業概要	総事業費（実績額）	うち交付金	実施状況	事業の効果	担当課	報告書ページ
21	海面漁業振興費	漁業者物価高騰支援事業	光熱費高騰の影響を受ける漁業者に対し光熱費の削減に寄与する設備の改良に係る費用の一部を支援するもの。	4,400,000円	4,400,000円	新湊漁業協同組合のICTブイ改良に係る費用に対し4,400千円の支援。	陸上で沖合の様子を確認し、無駄な出漁を減らすことで、漁業経営の省コスト化に寄与した。	農林水産課	147
22	海面漁業振興費	漁業共同利用施設支援事業	光熱費高騰の影響を受けている漁協が所有する共同利用施設のR7年度の電気代において、同施設のR4年度の電気代との高騰差額分を支援するもの。	381,894円	381,894円	新湊漁業協同組合が所管する共同利用施設における電気料金の高騰影響額計382千円を支援。	漁業協同組合の負担を軽減し、施設利用料金への影響を緩和することで、共同利用施設を利用する漁業者の負担の軽減に寄与した。	農林水産課	147
23	商工業振興費	生活支援･消費喚起事業	物価高が続く中で、物価高騰の影響を受ける生活者に対し、地域内で使用できる電子商品券を発行し、消費を下支えする取組を行う事業に対して支援を行うもの。	58,717,193円	58,044,515円	射水市商工協議会が発行するプレミアム額30%の電子商品券に係る事業に対し58,717千円を支援。	30%のプレミアム付電子商品券（1セット13,000円分を10,000円で購入）を25,000セット販売。 約321,130千円の経済効果があった。	商工企業立地課	149
24	学校給食費（小）	給食食材料費高騰対策支援事業(小学校)	物価高騰に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立小学校における給食費（教職員等を除く）の高騰相当分の負担を支援するもの。	28,950,820円	28,950,820円	市内小学校及び給食センターに対し、給食食材購入費に係る物価高騰分計28,951千円を支援。	利用保護者の経済的負担の抑制につながった。	学校教育課	197
25	学校給食費（中）	給食食材料費高騰対策支援事業(中学校)	物価高騰に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立中学校における給食費（教職員等を除く）の高騰相当分の負担を支援するもの。	16,138,140円	16,138,140円	市内小学校及び給食センターに対し、給食食材購入費に係る物価高騰分計16,138千円を支援。	利用保護者の経済的負担の抑制につながった。	学校教育課	202
26	幼稚園管理費	給食食材料費高騰対策支援事業(公立幼稚園)	物価高が続く中で、物価高騰に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立幼稚園における給食食材費（教職員等を除く）の高騰相当分の負担を支援するもの。	28,800円	28,800円	公立幼稚園（対象園児60人）に対し、給食食材費に係る物価高騰分29千円を支援。	給食材料費高騰分の支援を行い、保護者から徴収する副食費への転嫁を回避することで、子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。	子育て支援課	208